

bizhub PRO

951

ユーザーズガイド POD管理者編



もくじ

1 はじめに

1.1	ご挨拶.....	1-2
1.1.1	マニュアル体系について	1-2
1.1.2	ユーザーズガイドについて	1-3
1.2	ページの見かた	1-4
1.2.1	本文中の記号について	1-4
1.2.2	原稿と用紙の表示について	1-5
1.2.3	ポートレート原稿とランドスケープ原稿	1-6

2 本書の概要

2.1	機械状態画面での設定	2-2
2.1.1	〔トレイ設定〕	2-2
2.1.2	〔表裏調整〕	2-3
2.1.3	〔調整〕	2-3
2.1.4	〔コントローラー設定〕	2-4
2.1.5	〔用紙条件登録／削除〕	2-4
2.1.6	〔不定形サイズ登録／削除〕	2-5
2.2	設定メニュー画面での設定	2-6
2.3	ブラウザ操作での設定	2-7
2.3.1	Web Utilities 設定	2-7
2.3.2	PageScope Web Connection 設定	2-7

3 トレイ設定

3.1	用紙設定の概要	3-2
3.2	トレイ設定の概要	3-3
3.3	〔トレイ設定〕の操作.....	3-6
3.3.1	トレイ設定の操作概要	3-6
3.3.2	用紙サイズの設定	3-8
3.3.3	用紙条件の設定：設定呼出し	3-13
3.3.4	用紙条件の設定：設定変更	3-13
3.3.5	用紙条件の登録	3-18
3.3.6	エアブローの設定	3-20
3.3.7	PI トレイの用紙サイズ設定	3-21
3.4	〔用紙条件登録／削除〕の操作	3-22
3.4.1	用紙条件の登録	3-22
3.4.2	用紙条件の削除	3-27
3.5	〔不定形サイズ登録／削除〕の操作	3-30
3.5.1	不定形サイズの登録	3-30
3.5.2	不定形サイズの削除	3-32

4 表裏調整

4.1	〔表裏調整〕の操作.....	4-2
-----	----------------	-----

5 調整

5.1	調整の概要	5-2
5.1.1	調整項目一覧	5-2
5.2	〔01 マシン調整〕.....	5-8
5.2.1	〔01 倍率調整〕－〔01 プリンター通紙方向倍率調整（オモテ面）〕	5-8

5.2.2	[01 倍率調整] – [02 プリンター通紙方向倍率調整 (ウラ面)]	5-9
5.2.3	[01 倍率調整] – [03 プリンター通紙交差方向倍率 (オモテ面)]	5-10
5.2.4	[01 倍率調整] – [04 プリンター通紙交差方向倍率 (ウラ面)]	5-11
5.2.5	[02 タイミング調整] – [01 プリンター先端タイミング調整 (オモテ面)]	5-12
5.2.6	[02 タイミング調整] – [02 プリンター先端タイミング調整 (ウラ面)]	5-13
5.2.7	[02 タイミング調整] – [03 スキャナー (原稿ガラス) 先端タイミング調整]	5-14
5.2.8	[02 タイミング調整] – [04 スキャナー (ADF) 先端タイミング調整]	5-15
5.2.9	[03 片寄り調整] – [01 プリンター片寄り調整]	5-16
5.2.10	[04 LPH 調整] – [01 LPH チップ間ギャップ補正]	5-17
5.3	[02 フィニッシャー調整] (フィニッシャー FS-532)	5-19
5.3.1	[01 平とじ機 (メイン) 調整] – [01 ステープル位置調整]	5-19
5.3.2	[01 平とじ機 (メイン) 調整] – [02 ステープル紙幅調整]	5-20
5.3.3	[01 平とじ機 (メイン) 調整] – [03 FD 整合板押込み量調整]	5-22
5.3.4	[01 平とじ機 (メイン) 調整] – [04 排紙ガイド部材紙幅調整]	5-23
5.3.5	[01 平とじ機 (メイン) 調整] – [05 巻き戻しパドル下降量調整]	5-24
5.3.6	[01 平とじ機 (メイン) 調整] – [06 巻き戻し機能動作選択]	5-25
5.3.7	[01 平とじ機 (メイン) 調整] – [07 グリッパー上動作選択]	5-26
5.3.8	[01 平とじ機 (メイン) 調整] – [08 排紙整合板動作選択]	5-26
5.3.9	[02 平とじ機 (折り) 調整] – [01 中とじピッチ調整]	5-27
5.3.10	[02 平とじ機 (折り) 調整] – [02 中とじ紙幅調整]	5-28
5.3.11	[02 平とじ機 (折り) 調整] – [03 中とじステープル位置調整]	5-29
5.3.12	[02 平とじ機 (折り) 調整] – [04 中とじ折り位置調整]	5-30
5.3.13	[02 平とじ機 (折り) 調整] – [05 中折り折り位置調整]	5-31
5.3.14	[02 平とじ機 (折り) 調整] – [06 三つ折り調整] – [01 三つ折り位置調整]	5-33
5.3.15	[02 平とじ機 (折り) 調整] – [06 三つ折り調整] – [02 2 折りプレート押込み量調整]	5-34
5.3.16	[02 平とじ機 (折り) 調整] – [07 中折り強さ調整]	5-35
5.3.17	[03 平とじ機 (パンチ) 調整] – [01 タテ位置調整 (通紙交差方向)]	5-36
5.3.18	[03 平とじ機 (パンチ) 調整] – [02 ヨコ位置調整 (通紙方向)]	5-37
5.3.19	[03 平とじ機 (パンチ) 調整] – [03 レジスト調整]	5-38
5.3.20	[04 平とじ機 (PI) 調整] – [01 PI レジスト調整]	5-39
5.4	[02 フィニッシャー調整] (Z 折りユニット ZU-608)	5-40
5.4.1	[05 Z 折りユニット調整] – [01 Z 折り位置調整]	5-40
5.4.2	[05 Z 折りユニット調整] – [02 パンチ調整] – [01 タテ位置調整 (通紙交差方向)]	5-41
5.4.3	[05 Z 折りユニット調整] – [02 パンチ調整] – [02 ヨコ位置調整 (通紙方向)]	5-42
5.4.4	[05 Z 折りユニット調整] – [02 パンチ調整] – [03 パンチレジストループ量調整]	5-43
5.5	[03 サイズメモリー回復モード]	5-45
5.6	[04 帯電手動清掃]	5-46
5.7	[05 感光体メモリー回復モード]	5-47
5.8	[06 感光体リフレッシュモード]	5-48

6 コントローラー設定

6.1	コントローラー設定の概要	6-2
6.1.1	コントローラー設定一覧	6-2
6.2	[08 管理者設定]	6-4
6.2.1	管理者設定画面の概要	6-4
6.2.2	[08 管理者設定] – [01 メモリースイッチ]	6-5
6.2.3	[08 管理者設定] – [02 デフォルト設定]	6-9

7 設定メニュー画面

7.1	設定メニュー画面での設定の概要	7-2
7.1.1	設定メニュー画面を表示する	7-2
7.1.2	設定メニュー画面設定一覧	7-4
7.2	[01 環境設定]	7-16
7.2.1	[01 言語設定]	7-16

7.2.2	[02 単位系設定].....	7-16
7.2.3	[03 操作／報知音設定]－[01 音量設定].....	7-17
7.2.4	[03 操作／報知音設定]－[02 報知音項目別設定].....	7-17
7.2.5	[04 1SHOT メッセージ表示時間].....	7-18
7.2.6	[05 デフォルト画面設定].....	7-19
7.2.7	[06 オートリセット設定].....	7-19
7.2.8	[07 キー応答時間].....	7-20
7.2.9	[08 ユーザーパスワード変更].....	7-20
7.2.10	[09 ショートカットキー登録]－[01 コピー応用設定登録].....	7-21
7.2.11	[09 ショートカットキー登録]－[02 コピー出力設定登録].....	7-22
7.2.12	[09 ショートカットキー登録]－[03 ファンクションキー登録].....	7-22
7.2.13	[09 ショートカットキー登録]－[04 スキャン応用設定登録].....	7-24
7.3	[02 機能設定].....	7-25
7.3.1	[01 給紙トレイ設定]－[01 給紙トレイ自動選択].....	7-25
7.3.2	[01 給紙トレイ設定]－[02 ATS 許可].....	7-25
7.3.3	[01 給紙トレイ設定]－[03 ATS 設定].....	7-26
7.3.4	[01 給紙トレイ設定]－[04 自動用紙の種類選択].....	7-26
7.3.5	[02 個別機能切替え設定].....	7-27
7.3.6	[03 プリンター先端画像消去量設定].....	7-28
7.3.7	[04 濃度設定]－[01 原稿画質の濃度シフト].....	7-29
7.3.8	[04 濃度設定]－[02 登録濃度設定].....	7-29
7.3.9	[04 濃度設定]－[03 写真モード濃度選択].....	7-30
7.3.10	[04 濃度設定]－[04 画像濃度選択].....	7-30
7.3.11	[05 登録倍率設定].....	7-31
7.3.12	[06 タンデム設定]－[01 相手機常時一括読み].....	7-32
7.3.13	[06 タンデム設定]－[02 相手機 Wait/Proof].....	7-33
7.3.14	[06 タンデム設定]－[03 相手機シフト値設定].....	7-34
7.3.15	[06 タンデム設定]－[04 割振りリカバリ].....	7-35
7.3.16	[06 タンデム設定]－[05 ジョブ終了後のタンデム設定].....	7-36
7.4	[03 コピー設定].....	7-37
7.4.1	[01 リセット設定]－[01 初期設定].....	7-37
7.4.2	[01 リセット設定]－[02 リセット機能任意設定].....	7-38
7.4.3	[01 リセット設定]－[03 キーカウンター／コピーカード挿入時イニシャル].....	7-38
7.4.4	[02 個別機能切替え設定].....	7-39
7.5	[04 スキャン設定].....	7-41
7.5.1	[01 デフォルト宛先設定].....	7-41
7.5.2	[02 初期設定（読み込み設定）].....	7-41
7.5.3	[03 個別機能切替え設定].....	7-42
7.6	[05 タッチパネル調整].....	7-43
7.7	[06 管理者設定]－[01 環境設定].....	7-45
7.7.1	[01 パワーセーブ設定]－[01 パワーセーブ設定].....	7-45
7.7.2	[01 パワーセーブ設定]－[02 ErP 設定].....	7-46
7.7.3	[02 日時設定].....	7-46
7.7.4	[03 ウィークリータイマー設定]－[01 ウィークリータイマー使用設定].....	7-47
7.7.5	[03 ウィークリータイマー設定]－[02 タイマー予約時刻設定].....	7-48
7.7.6	[03 ウィークリータイマー設定]－[03 動作日設定].....	7-49
7.7.7	[03 ウィークリータイマー設定]－[04 昼休み OFF 機能設定].....	7-50
7.7.8	[03 ウィークリータイマー設定]－[05 時間外パスワード設定].....	7-50
7.7.9	[04 リスト／カウンター].....	7-51
7.7.10	[05 ユーザー操作禁止設定].....	7-52
7.7.11	[06 エキスパート調整]－[01 プリンター画質調整].....	7-53
7.7.12	[06 エキスパート調整]－[02 コーナーステーブル（奥側）角度設定].....	7-54
7.7.13	[06 エキスパート調整]－[03 片寄り検知 JAM 設定].....	7-54
7.7.14	[06 エキスパート調整]－[04 主電源自動 OFF 設定].....	7-55
7.7.15	[06 エキスパート調整]－[05 原稿読み取り領域設定].....	7-55
7.7.16	[06 エキスパート調整]－[06 ADF 枠消し].....	7-56

7.7.17	[06 エキスパート調整] – [07 原稿外消去設定]	7-57
7.7.18	[06 エキスパート調整] – [08 スキャン画質調整]	7-57
7.7.19	[07 サイズ設定]	7-58
7.7.20	[08 任意スタンプ設定]	7-59
7.7.21	[09 キーボード種類設定]	7-65
7.7.22	[10 操作画面カスタマイズ設定] – [01 表示文字太さ設定]	7-65
7.7.23	[10 操作画面カスタマイズ設定] – [02 コピー画面カスタマイズ設定]	7-66
7.7.24	[10 操作画面カスタマイズ設定] – [03 スキャン画面カスタマイズ設定]	7-66
7.7.25	[10 操作画面カスタマイズ設定] – [04 保存画面カスタマイズ設定]	7-67
7.8	[06 管理者設定] – [02 管理者登録]	7-68
7.9	[06 管理者設定] – [03 ユーザー認証／部門管理]	7-69
7.9.1	[01 認証方式]	7-70
7.9.2	[02 ユーザー認証設定] – [01 管理設定]	7-72
7.9.3	[02 ユーザー認証設定] – [02 ユーザー登録]	7-73
7.9.4	[02 ユーザー認証設定] – [03 ユーザーカウンター]	7-80
7.9.5	[03 部門管理] – [01 部門登録]	7-82
7.9.6	[03 部門管理] – [02 部門カウンター]	7-87
7.9.7	[04 認証指定なし印刷]	7-88
7.9.8	[05 認証装置設定] – [01 認証方式]	7-89
7.9.9	[06 外部サーバー設定]	7-89
7.9.10	[07 ユーザー／部門共通設定]	7-93
7.10	[06 管理者設定] – [04 ネットワーク設定]	7-94
7.10.1	[01 本体 NIC 設定] – [01 TCP/IP 設定]	7-94
7.10.2	[01 本体 NIC 設定] – [02 http 通信設定]	7-95
7.10.3	[01 本体 NIC 設定] – [03 メール初期設定]	7-95
7.10.4	[02 コントローラー NIC 設定]	7-97
7.10.5	コントローラー NIC 設定一覧	7-97
7.11	[06 管理者設定] – [05 コピー／プリンター設定]	7-110
7.11.1	[01 仕分け設定] – [01 ジョブオフセット動作]	7-111
7.11.2	[01 仕分け設定] – [02 オフセット排紙方法]	7-112
7.11.3	[02 連続プリント (プリンター)]	7-113
7.11.4	[03 小冊子時のページ印字位置]	7-113
7.11.5	[04 プリント前定着予備回転設定]	7-114
7.11.6	[05 サンプル排紙設定]	7-114
7.11.7	[06 確認プリント (先頭 1 枚) 設定]	7-116
7.11.8	[07 JAM 識別表示設定]	7-117
7.11.9	[08 自動画像回転]	7-117
7.11.10	[09 割込み停止方法]	7-118
7.11.11	[10 コピー予約の操作性]	7-118
7.11.12	[11 トレイ引抜きによる読込み停止]	7-119
7.11.13	[12 連続プリント (コピー)]	7-120
7.11.14	[13 原稿ガラス 1 枚排紙方法]	7-120
7.11.15	[14 1 枚送り自動設定]	7-121
7.12	[06 管理者設定] – [06 システム連携]	7-122
7.12.1	[01 管理者発信]	7-122
7.13	[06 管理者設定] – [07 セキュリティー設定]	7-123
7.13.1	[01 管理者パスワード]	7-123
7.13.2	[02 HDD 管理設定] – [01 フォルダー／ボックス一覧削除]	7-123
7.13.3	[02 HDD 管理設定] – [02 HDD 保存データ自動削除期間設定]	7-125
7.13.4	[02 HDD 管理設定] – [03 HDD ロックパスワード]	7-125
7.13.5	[02 HDD 管理設定] – [04 一時データ上書き削除設定]	7-126
7.13.6	[02 HDD 管理設定] – [05 全データ上書き削除設定]	7-127
7.13.7	[02 HDD 管理設定] – [06 HDD 暗号化設定]	7-128
7.13.8	[03 セキュリティー強化設定]	7-128
7.14	[06 管理者設定] – [08 スキャン宛先登録]	7-130
7.14.1	[01 宛先編集]	7-130

7.15	[06 管理者設定] — [09 OpenAPI 認証管理設定]	7-134
7.15.1	[01 禁止コード設定]	7-134

8 Web Utilities 設定

8.1	Web Utilities について	8-2
8.2	部門管理データの編集	8-4
8.2.1	部門管理データをブラウザで新規登録する	8-4
8.2.2	登録済み部門管理データをブラウザで編集する	8-6
8.3	リモートパネル、リモートモニター、マルチモニターを設定する	8-12
8.4	ネットワークスキャナーを設定する	8-15
8.5	設定データを転送する	8-19
8.6	ボックスエクスプローラを使用する	8-25
8.6.1	ボックスエクスプローラ画面を表示する	8-25
8.6.2	本体 HDD に対する操作	8-26
8.6.3	本体 USB ポートに接続された USB メモリー / USB-HDD に対する操作	8-28
8.6.4	本体操作部からボックスエクスプローラを終了する	8-29
8.7	ジョブ履歴を表示する	8-30
8.7.1	ジョブ履歴機能を ON/OFF する	8-30
8.7.2	ジョブ履歴一覧を表示する	8-32

9 PageScope Web Connection 設定

9.1	PageScope Web Connection の概要	9-2
9.1.1	システム環境	9-2
9.1.2	Web ブラウザーの設定	9-2
9.2	アクセスのしかた	9-4
9.3	管理者モード画面の構成	9-6
9.4	[メンテナンス] タブ	9-7
9.4.1	カウンター	9-7
9.4.2	ROM バージョン	9-7
9.4.3	インポート / エクスポート	9-8
9.4.4	状態通知設定	9-9
9.4.5	本体登録	9-10
9.4.6	サポート情報	9-11
9.4.7	初期化 > ネットワーク設定クリア	9-12
9.4.8	初期化 > コントローラー設定クリア	9-12
9.4.9	メモリースイッチ設定	9-13
9.5	[セキュリティ] タブ	9-14
9.5.1	認証設定 > ユーザー認証 / 部門管理	9-14
9.5.2	認証設定 > 外部認証サーバー登録	9-15
9.5.3	認証設定 > 初期機能制限設定	9-16
9.5.4	ユーザー登録	9-17
9.5.5	部門登録	9-19
9.5.6	PKI 設定 > デバイス証明書設定	9-21
9.5.7	PKI 設定 > SSL 使用設定	9-26
9.5.8	PKI 設定 > プロトコル設定	9-26
9.5.9	PKI 設定 > 外部証明書設定	9-28
9.5.10	証明書検証設定	9-29
9.5.11	自動ログアウト	9-30
9.5.12	管理者パスワード設定	9-30
9.6	[ボックス] タブ	9-31
9.7	[プリンター設定] タブ	9-32
9.7.1	デフォルト設定	9-32
9.7.2	ジョブスプール設定	9-35
9.7.3	インターフェース設定	9-35



9.7.4	ポート別出力設定	9-36
9.8	[スキャナー] タブ	9-37
9.8.1	E-mail 件名	9-37
9.8.2	E-mail 本文	9-38
9.8.3	スキャン設定	9-39
9.9	[ネットワーク] タブ	9-40
9.9.1	TCP/IP 設定> TCP/IP 設定	9-40
9.9.2	TCP/IP 設定> IP フィルタリング	9-41
9.9.3	TCP/IP 設定> IPsec 設定	9-42
9.9.4	時刻補正設定	9-43
9.9.5	E-mail 設定> E-mail 受信 (POP)	9-44
9.9.6	E-mail 設定> E-mail 送信 (SMTP)	9-45
9.9.7	LDAP 設定> LDAP 設定	9-45
9.9.8	LDAP 設定> LDAP サーバー登録	9-46
9.9.9	IPP 設定	9-47
9.9.10	FTP 設定> FTP 送信設定	9-47
9.9.11	FTP 設定> FTP サーバー設定	9-48
9.9.12	SNMP 設定	9-48
9.9.13	SMB 設定> WINS 設定	9-49
9.9.14	SMB 設定> クライアント設定	9-50
9.9.15	SMB 設定> プリント設定	9-50
9.9.16	SMB 設定> Direct Hosting 設定	9-51
9.9.17	Web サービス設定> Web サービス設定	9-52
9.9.18	Web サービス設定> プリント設定	9-52
9.9.19	Web サービス設定> スキャン設定	9-53
9.9.20	Bonjour 設定	9-54
9.9.21	NetWare 設定> NetWare 設定	9-54
9.9.22	NetWare 設定> NetWare 状態	9-55
9.9.23	AppleTalk 設定	9-56
9.9.24	OpenAPI 設定	9-56
9.9.25	TCP Socket 設定	9-57
9.9.26	IEEE802.1X 認証設定> IEEE802.1X 認証設定	9-58
9.9.27	IEEE802.1X 認証設定> IEEE802.1X 認証試行	9-60
9.9.28	JSP 設定	9-60

10 付録

10.1	文字を入力するには	10-2
10.1.1	文字入力画面のキーについて	10-2
10.1.2	文字入力について	10-3
10.2	用語集	10-6

11 索引

11.1	項目別索引	11-2
11.2	キー索引	11-3



はじめに

1 はじめに

1.1 ご挨拶

このたびは弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドは、日頃の使い方に合わせて機械を設定したり、機械を調整または管理したりする方法などを記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをごらんください。

1.1.1 マニュアル体系について

印刷物のマニュアル	概要
[ユーザーズガイド セキュリティー編]	セキュリティー機能について記載しています。セキュリティー強化機能の使い方、セキュリティー強化機能使用時の機械の操作について知りたい場合は、このユーザーズガイドをお読みください。
[オペレーションクイックガイド]	使用頻度の高い機能について、操作手順を中心に記載しています。本機の特長を理解したい場合は、このガイドをお読みください。
[安全にお使いいただくために]	本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。製品のご使用前に必ずお読みください。
ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
[ユーザーズガイド コピー編]	機械の概要やコピー機能について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体、オプションの概要および仕様 ・ 電源の入れ方、切り方 ・ 使用する用紙の仕様 ・ 基本コピーのとり方および設定方法 ・ 給紙、廃棄部材、出力紙の処理 ・ 応用設定、出力設定、ジョブリスト ・ トラブルの対処方法
[ユーザーズガイド POD 管理者編]	日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズしたり、機械を管理したりする方法について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ設定 ・ 表裏調整 ・ コントローラー設定 ・ 調整、設定メニュー画面 ・ ネットワーク設定 ・ PageScope Web Connection 設定 ・ Web Utilities 設定
[ユーザーズガイド プリンター編]	プリンタードライバーおよびユーティリティツールの設定について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ PCL ドライバー ・ PS Plug-in ドライバー ・ PS PPD ドライバー ・ PageScope Web Connection 設定
[ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編]	ネットワークスキャナー機能の操作について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体用ハードディスクに保存／出力 ・ メールで送信 ・ コントローラー用ハードディスクに保存 ・ FTP サーバーに送信 ・ SMB サーバーに送信 ・ グループに送信
[商標／ライセンス]	商標およびライセンスについて記載しています。製品のご使用前に必ずごらんください。

1.1.2 ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、本機を管理する管理者を対象としています。

本機をより便利にお使いいただくための設定、機械のパフォーマンスを維持するための調整、および機械の管理方法について説明しています。

なお、設定、調整、および管理方法には、製品についての基本的な技術知識が必要です。設定、調整、および管理は、本書で説明している範囲内で行ってください。お困りのときは、サービス実施店にお問い合わせください。

1.2 ページの見かた

1.2.1 本文中の記号について

本書は、さまざまな情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

重要

本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。物的損害を避けるために指示に従ってください。

手順文について

- ✓ このチェック記号は、手順文の前提条件や、手順を実行する前にあらかじめ知っておいたほうがよい情報を示しています。

- このスタイルの1は、最初の手順を表します。
- このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。
→ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

手順の動作を
イラストで
表しています。

- この記号は、目的のメニューにアクセスする操作パネルの遷移を表します。



目的の画面を表示しています。

**参照**

参照先を表しています。

必要に応じてご覧ください。

キー記号について

[]

タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザズガイド名称などを表します。

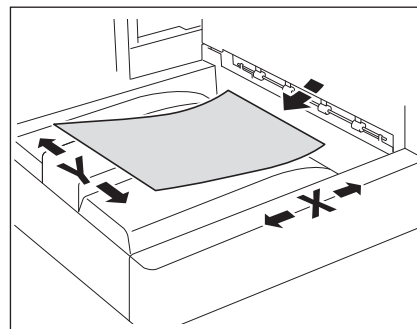
文中の太字

操作パネル上のキー名称、部品名称、製品名、オプション名などを表します。

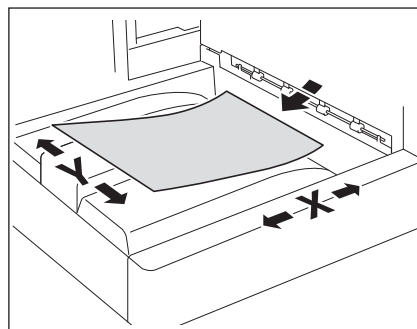
1.2.2 原稿と用紙の表示について**用紙の大きさ**

本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。

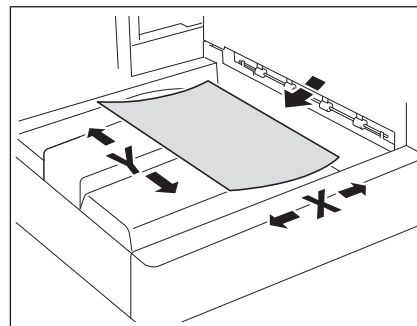
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。

**用紙の表示**

幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが大きいものを □ と表示します。




幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが小さいものを ▢ と表示します。

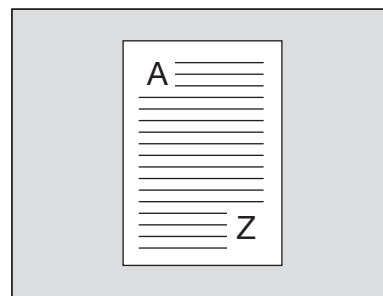
**インデックス紙**


インデックス紙は、画面では原稿、用紙とも □、□ と表示されますが、本文中は、T □、T □ と表示します。

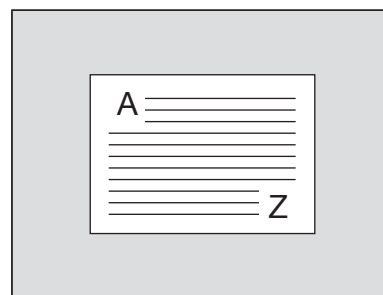
(例) A4 □ → A4T □、A4 □ → A4T □

1.2.3 ポートレート原稿とランドスケープ原稿

原稿の天を上にするとう横送り  になる原稿をポートレート原稿と表現します。



原稿の天を上にするとう縦送り  になる原稿をランドスケープ原稿と表現します。



2

本書の概要

2 本書の概要

2.1 機械状態画面での設定

機械状態画面の下部には、[トレイ設定]、[表裏調整]、[調整]、[コントローラー設定]、[用紙条件登録／削除]、[不定形サイズ登録／削除]のボタンがあります。

2.1.1 [トレイ設定]

[トレイ設定] を押すと、トレイ設定画面が表示されます。



任意の用紙設定をデフォルトとして各トレイに設定します。トレイ設定をするときは、事前に登録した用紙条件を呼出ししたり、新しく用紙サイズ、用紙条件、エアブローの設定をしたりします。

[閉じる] を押すと、機械状態画面にもどります。

コピー画面には、[用紙予約設定] ボタンがあります。任意のトレイをデフォルトとして設定されているトレイ設定以外の用紙設定で使用するときに操作します。

機械状態画面には、[用紙条件登録／削除] ボタンがあります。用紙設定のうち用紙条件をあらかじめ登録するときに操作します。登録された用紙条件は、トレイ設定や用紙予約設定のときに呼出します。



参照

トレイ設定の用紙設定には、4つの設定項目があります。詳しくは、3-2 ページをごらんください。

コピー予約設定については、コピー編の6章をごらんください。

用紙条件登録／削除については、3-22 ページをごらんください。

2.1.2 [表裏調整]

[表裏調整] を押すと、表裏調整画面が表示されます。



両面コピー時、オモテ面とウラ面にプリントする画像の倍率や画像位置を調整します。また、チャート調整による位置の調整ができます。これらの調整は各トレイに設定します。

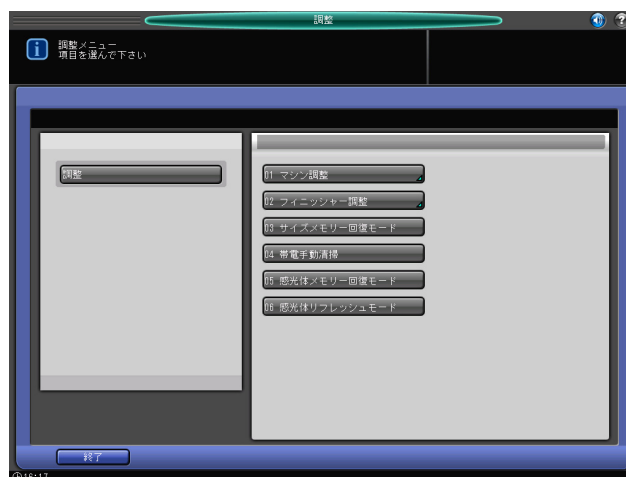
[OK] または [キャンセル] を押すと、機械状態画面にもどります。

機械状態画面の [トレイ設定] やコピー画面の [用紙予約設定] を選択し、用紙条件の [設定変更] を選択して表示される画面にも [表裏調整] ボタンがあります。機械状態画面の [表裏調整] とまったく同じ機能です。

機械状態画面の [用紙条件登録/削除] を選択し、[追加/編集] ボタンを選択して表示される画面に [表裏調整] ボタンがあります。この表裏調整は、トレイではなく用紙名称に用紙条件として登録します。この用紙条件を呼出すると、トレイには登録された表裏調整が反映されます。

2.1.3 [調整]

[調整] を押すと、調整メニュー画面が表示されます。



本体の出力および原稿スキャンの調整をします。オプションの後処理装置を装着している場合は、それぞれの機能の調整ができます。

[終了] を押すと、機械状態画面にもどります。

2.1.4 [コントローラー設定]

[コントローラー設定] を押すと、コントローラー設定メニュー画面が表示されます。



コントローラーの設定ができます。

[閉じる] を押すと、機械状態画面にもどります。

2.1.5 [用紙条件登録／削除]

[用紙条件登録／削除] を押すと、用紙条件登録／削除画面が表示されます。



用紙条件登録／削除画面であらかじめ用紙条件を登録しておいて、トレイ設定や用紙予約設定をするとき、呼出します。256 まで登録できます。

用紙条件登録／削除画面では、用紙条件の登録および削除ができます。

トレイ設定はトレイに用紙設定をしますが、そのとき設定した用紙条件の登録ができます。削除はできません。

用紙予約設定は、一時的にトレイ設定を変更しますが、そのとき設定した用紙条件の登録はできません。削除もできません。

[OK] または [キャンセル] を押すと、機械状態画面にもどります。

2.1.6 [不定形サイズ登録／削除]

[不定形サイズ登録／削除] を押すと、不定形サイズ登録／削除画面が表示されます。



不定形サイズ登録／削除画面であらかじめ不定形サイズを登録しておいて、トレイ設定や用紙予約設定の用紙サイズを設定するとき、不定形サイズを読み出します。20 まで登録できます。

不定形サイズの登録／削除は、不定形サイズ登録／削除画面以外ではできません。

[閉じる] を押すと、機械状態画面にもどります。

2.2 設定メニュー画面での設定

操作パネルの設定メニュー／カウンターを押すと、設定メニュー画面が表示されます。



設定メニュー画面のうち、[01 環境設定] から [05 タッチパネル調整] までは、ユーザーが任意に設定できますが、[06 管理者設定] は、管理者パスワードの入力をしなければ設定不可にできます。

[06 管理者設定] の設定項目は、機械のパフォーマンスのほか、認証やセキュリティなどの機械の管理に関わる内容が含まれています。選任の管理者だけが、この設定を行うようにすることをおすすめします。

管理者パスワードの設定は、サービス実施店にお問い合わせください。

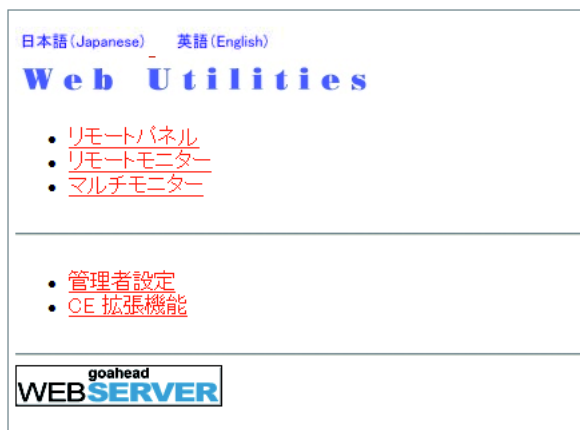
[終了] を押すと、機械状態画面にもどります。

設定メニュー画面の [05 タッチパネル調整] を表示しないように設定できます。サービス実施店にお問い合わせください。

2.3 ブラウザー 操作での設定

本機がローカルネットワークで PC とつながっているとき、その PC のブラウザーソフトを使って、本体およびイメージコントローラーの管理や設定ができます。

2.3.1 Web Utilities 設定



本機がネットワークでつながっているとき、PC のブラウザーを使って、下記の操作ができます。

設定

部門管理データ編集	本機タッチパネルや操作パネルで行う管理者設定の部門管理設定を PC 上で行います。
リモートパネル設定／ジョブ履歴設定	ブラウザーを使って本機を操作したり、本機の状態を監視したりします。
ネットワークスキャナー設定	本機タッチパネルや操作パネルで行う管理者設定のスキャン送信先登録を PC 上で行います。
設定データのインポート／エクスポート	ブラウザーを使って本機にある設定データを PC に転送（エクスポート）したり、PC にある設定データを本機に転送（インポート）したりします。
ボックスエクスプローラ	ブラウザーを使って、本体用 HDD 内のボックスデータ（フォルダー、ボックス、ファイル）のコピー、削除、および名前を変更します。また、USB メモリー／USB-HDD へのボックスデータのバックアップやリストアをします。
ジョブ履歴一覧	ブラウザーを使って、本体の出力履歴を表示します。
Billing Counter	本体に課金カウンターの設定をすると機能します。

詳しくは、8 章をごらんください。

2.3.2 PageScope Web Connection 設定



PageScope Web Connection は、本機に標準で内蔵されている HTTP サーバーが提供するデバイス監理用のユーティリティプログラムです。

このユーティリティは、ブラウザーを通じて本機のプリンター、スキャナー、ネットワークのステータスを表示したり、デフォルトやネットワークの設定を変更したりすることができます。

詳しくは、9 章をごらんください。



トレイ設定

3 トレイ設定

各トレイには、あらかじめ用紙設定がトレイ設定として設定されています。ここでは、デフォルトとして各トレイに設定するトレイ設定について説明します。

3.1 用紙設定の概要

用紙設定には、下記の 4 つの設定項目があります。

- 用紙トレイ
- 用紙サイズ
- 用紙条件
- エアークロー（ペーパーフィーダーユニット PF-706 使用時のトレイ 3～5 だけ）

用紙設定には、設定する対象によって 3 つの操作があります。

操作種類	設定項目	説明
トレイ設定	用紙トレイ 用紙サイズ 用紙条件 エアークロー	各トレイに用紙サイズ、用紙条件、ペーパーフィーダーユニット PF-706 にエアークローの設定をします。トレイ設定するときに、設定した用紙条件を登録できます。
用紙予約設定	用紙トレイ 用紙サイズ 用紙条件	トレイ設定と異なった用紙を一時的にトレイにセットするとき、使用するトレイに用紙サイズと用紙条件を設定します。エアークローの設定はできません。また、設定した用紙条件は登録できません。
用紙条件登録／削除	用紙条件	トレイ設定や用紙予約設定のとき、用紙設定を設定するため、4 つの用紙設定項目のうち用紙条件だけをあらかじめ登録します。また、登録した用紙条件を削除します。

用紙設定は、機械状態画面の「トレイ設定」、またはコピー画面の「用紙予約設定」で行います。用紙設定を行うとき、あらかじめ登録した用紙条件を呼出せます。呼出す用紙条件の登録は、機械状態画面の「用紙条件登録／削除」で行います。

機械状態画面の「トレイ設定」で行う用紙設定は、デフォルトとして出力するときに使用する用紙設定です。

コピー画面の「用紙予約設定」で行う用紙設定は、トレイ設定でデフォルトとして設定されている用紙設定とは異なる用紙に出力され、一時的に設定する用紙設定です。そのため、「用紙予約設定」で設定した用紙設定は、リセット機能が働いたとき、「トレイ設定」で設定した用紙設定にもどります。また、「用紙予約設定」で設定した用紙設定は、登録して残すことができません。

3.2 トレイ設定の概要

ここでは、デフォルトとして各トレイに設定するトレイ設定について説明します。



参照

一時的に用紙設定する用紙予約設定は、コピー画面で行います。詳細は、コピー編の 6 章をごらんください。

トレイ設定は、下記の用紙サイズ、用紙条件、およびエアブローで構成され、各トレイに設定します。

用紙設定項目	説明	選択項目
用紙トレイ	用紙予約設定をする任意のトレイを選択します。	トレイ 1、トレイ 2（本体トレイ） トレイ 3（大容量給紙ユニット LU-409/LU-410） トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5（ペーパーフィーダーユニット PF-706） PI1、PI2* ¹ （ポストインサーター PI-502）
用紙サイズ	<p>定形サイズを選択すると、そのトレイにセットされている用紙の定形サイズを検知します。</p> <p>不定形サイズは、任意のサイズを入力します。最大 20 個までの不定形サイズを登録、呼出しできます。ワイド紙は、[サイズ選択] で 12 種類*² のワイド紙から 1 つ選択し、画像位置を [先端合わせ] [後端合わせ] [中央合わせ] から選択します。ワイド紙のサイズは事前に [サイズ入力] で数値入力します。</p> <p>インデックス紙は、10 種類*² のサイズから 1 つ選択するか、不定形サイズを入力します。また、インデックス数（1 ～ 15）を設定します。</p> <p>はがきは、本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）*³ とペーパーフィーダーユニット PF-706（トレイ 3 ～トレイ 5）*⁴ に設定できます。</p>	<p>定形サイズ： 検知する定形サイズは、給紙トレイによって異なります。 トレイ 1、トレイ 2（本体トレイ）の不定形サイズ： 最小タテ 182 mm × ヨコ 139 mm ～ 最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm の範囲</p> <p>トレイ 3（大容量給紙ユニット LU-409）の不定形サイズ： 最小タテ 250 mm × ヨコ 176 mm ～ 最大タテ 314 mm × ヨコ 229 mm の範囲</p> <p>大容量給紙ユニット LU-410（トレイ 3）の不定形サイズ： 最小タテ 203 mm × ヨコ 195 mm ～ 最大タテ 324 mm × ヨコ 483 mm の範囲</p> <p>トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5（ペーパーフィーダーユニット PF-706）の不定形サイズ： 最小タテ 182 mm × ヨコ 139 mm ～ 最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm の範囲</p> <p>小サイズガイド使用時： 最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ～ 最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm ※不定形サイズは、短辺：長辺 = 1：2 以下を推奨</p> <p>ワイド紙： 12 × 18W □、11 × 17W □、 8.5 × 11W □、8.5 × 11W □、 5.5 × 8.5W □、A3W □、A4W □、 A4W □、A5W □、B4W □、B5W □、 B5W □</p> <p>定型インデックス： 11 × 17T □、8.5 × 11T □、 8.5 × 11T □、5.5 × 8.5T □、 A3T □、A4T □、A4T □、B4T □、 B5T □、B5T □</p> <p>はがき</p>

用紙設定項目		説明	選択項目
用紙条件	用紙種類	用紙表面のなめらかさや用途によって 5 種類に分類します。用紙種類の詳細は、次の「用紙種類の説明」の表をごらんください。	上質紙、普通紙、書籍用紙、ラフ紙、未印字挿入紙
	坪量	10 種類の坪量から 1 つ選択します。 301 - 350 g/m ² (81 - 93 lb Bond) の用紙をセットできるのは、ペーパーフィーダーユニット PF-706 のトレイ 4 だけです。用紙種類で書籍用紙、またはラフ紙を選択すると、217 g/m ² (58 lb Bond) 以上の坪量を設定できません。	40 - 49 g/m ² (11 - 13 lb Bond) 50 - 61 g/m ² (14 - 16 lb Bond) 62 - 74 g/m ² (17 - 20 lb Bond) 75 - 91 g/m ² (21 - 24 lb Bond) 92 - 135 g/m ² (25 - 36 lb Bond) 136 - 162 g/m ² (37 - 43 lb Bond) 163 - 216 g/m ² (44 - 57 lb Bond) 217 - 244 g/m ² (58 - 65 lb Bond) 245 - 300 g/m ² (66 - 80 lb Bond) 301 - 350 g/m ² (81 - 93 lb Bond)
	色紙	用紙の色を選択します。用紙の色が混ざってプリントするのを防ぎます。	白色、透明、黄色、桃色、青色、緑色
	パンチ	パンチ穴がある用紙かどうかを選択します。パンチ穴のない用紙と併せてプリントするのを防ぎます。	パンチ穴あり、パンチ穴なし
	表裏調整	両面印刷時、印刷のオモテ面とウラ面の画像位置を合わせるため、オモテ、ウラにそれぞれ倍率（タテ倍、ヨコ倍）、イメージシフト（上下、左右）を調整します。	タテ倍： オモテ 10 ～ + 10（1 ステップ = 0.05%）、ウラ 5 ～ + 5（1 ステップ = 0.05%） ヨコ倍： - 10 ～ + 10（1 ステップ = 0.05%） イメージシフト上下： - 100 ～ + 100（1 ステップ = 0.1 mm） イメージシフト左右： - 100 ～ + 100（1 ステップ = 0.1 mm）
	プロセス調整	転写電流オフセット調整とプロセス速度設定をします。	転写電流オフセット調整： 先端 1 オフセット（オモテ） 先端 1 オフセット（ウラ） 先端 2 オフセット（オモテ） 先端 2 オフセット（ウラ） 先端 3 オフセット（オモテ） 先端 3 オフセット（ウラ） 中央オフセット（オモテ） 中央オフセット（ウラ） 後端オフセット（オモテ） 後端オフセット（ウラ） （調整範囲はすべて - 128 ～ + 127） プロセス速度設定： デフォルト、高速、低速
	片寄り検知設定	用紙の片寄りを検知して、画像位置を自動補正するかどうかを選択します。	ON、OFF
	カール調整	機械で出力紙のカールを補正するかしないかを選択します。	上側に矯正、OFF
エアブロー		トレイの先端と側面ガイドから用紙に空気を吹きつけ、用紙種類によって発生する重送や紙づまりを防ぎます。設定するのは、ペーパーフィーダーユニット PF-706 だけです。	自動、ON、OFF

*1：ポストインサーター PI-502 上段トレイ、下段トレイに設定できる用紙設定は、用紙サイズの検知サイズ設定だけです。

*2：大容量給紙ユニット LU-409/LU-410（トレイ 3）を選択したとき、選択できないサイズがあります。詳しくは、コピー編の 3 章をごらんください。

*³：本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）に郵政はがきをセットする場合は、ハガキアダプター（オプション）が必要です。サービス実施店にお問い合わせください。

*⁴：ペーパーフィーダーユニット PF-706 に郵政はがきをセットする場合は、小サイズガイドを使用します。詳しくは、コピー編の 5 章をごらんください。

*⁵：フィニッシャー FS-532 の最大平とじ枚数は用紙の坪量によって変わりますが、トレイ設定の坪量範囲とは異なる場合があります。詳しくは、コピー編の 3 章をごらんください。

用紙種類の説明

用紙種類	説明
上質紙	上質紙は、オフセット印刷で一般的に使用されている非塗工紙印刷用紙です。白 色度が高く、さまざまな用途に用いられています。このような用紙をセットする トレイは、[上質紙] に設定します。
普通紙	普通紙は、複写機やプリンターで用いられる「PPC 用紙」といわれているコ ピー／プリント用紙で、通常再生紙を使用しないものをいいます。普通紙や再生 紙をセットするトレイは、[普通紙] に設定します。
書籍用紙	書籍用紙は、書籍の本文用紙に用いられる、裏抜け（印刷が裏から透けて見える こと）がないように不透明度を高くしたり、文字が読みやすいようにクリーム色 にしたりした用紙です。このような用紙をセットするトレイは、[書籍用紙] に 設定します。
ラフ紙	ラフ紙は、表面が粗くざらざらしていて、定着性の悪い用紙をセットするトレイ は、[ラフ紙] に設定します。上質紙の中でもコットンペーパーなどはラフ紙に 含みます。
未印字挿入紙	未印字挿入紙は、用紙表面のなめらかさによる分類ではなく、本機でプリントし ないで通紙するだけの用紙をセットするトレイに設定します。 インターシート白紙表紙／白紙挿入の機能を使うとき、既に印刷されていて本機 で印刷しない用紙や白紙の状態で使用する用紙をセットするトレイは、[未印字 挿入紙] を設定します。

3.3 「トレイ設定」の操作

機械状態画面の「トレイ設定」ボタンを押して行う、トレイ設定の基本的な操作手順を説明します。

重要

トレイ設定で設定した用紙条件は、機械状態画面の「用紙条件登録／削除」ボタンを押して用紙条件を登録するのと同じように登録できます。

3.3.1 トレイ設定の操作概要

- 1 機械状態画面の「トレイ設定」を押します。
トレイ設定画面が表示されます。
- 2 設定するトレイを選択します。
→ 「用紙トレイ」下の、任意のトレイボタンを選択します。選択したトレイのトレイ設定が右側に表示されます。
→ トレイ設定は、機械が他のジョブ出力中でも設定できます。



- 3 用紙サイズを設定変更します。
→ 「用紙サイズ」右の「設定変更」を押して、サイズ設定画面を表示します。詳しい設定方法については、3-8 ページをごらんください。



4 用紙条件を変更します。

- 用紙条件を呼出すときは、トレイ設定画面右下の「設定呼出し」を押して、設定呼出し画面を表示します。詳しい設定方法については、3-13 ページをごらんください。



- 用紙条件を設定変更するときは、トレイ設定画面右下の「設定変更」を押して、設定変更画面を表示します。詳しい設定方法については、3-13 ページをごらんください。



- 用紙条件を登録するときは、トレイ設定画面中央下の「設定登録」を押して、設定登録画面を表示します。詳しい設定方法については、3-18 ページをごらんください。



- 5 トレイ設定画面のリストでトレイ設定の内容を確認します。



- 6 トレイ設定画面の「閉じる」を押して、機械状態画面にもどります。

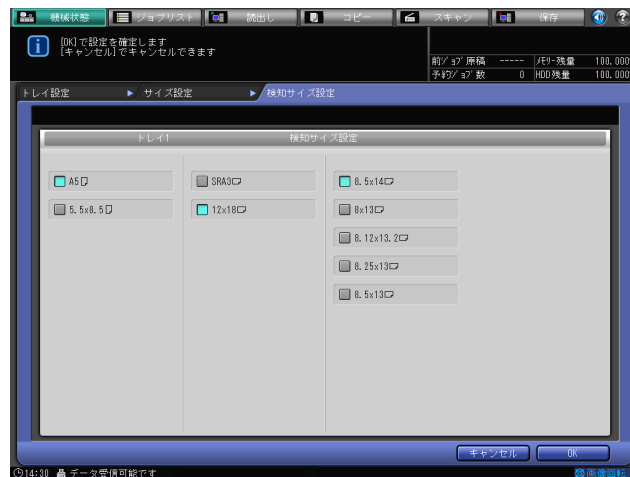
3.3.2 用紙サイズの設定

「定形サイズ」の選択

- 1 サイズ設定画面の「定形サイズ」を選択します。
 - 「定形サイズ」を選択した場合、そのトレイに定形サイズの用紙をセットしたとき、自動的に定形サイズを検知します。
 - 検知する定形サイズは、給紙トレイによって異なります。



- 2 検知サイズを変更したいときは、「検知サイズ設定」を押します。
 - 機械がサイズを検知するとき、サイズの違いがあまりなく、機械では区別できないサイズ群があります。これらのサイズを1つに特定して、機械で判断できるようにします。検知サイズ設定画面が表示されます。
- 3 タテ列のサイズの1つを押して選択します。
 - タテ列で区切られているサイズ群が、区別のむずかしいサイズです。



- 4 [OK] を押します。
トレイ設定画面にもどります。

「不定形サイズ」の選択

- 1 サイズ設定画面の「不定形サイズ」を選択します。
不定形サイズ画面が表示されます。
- 2 用紙のタテ／ヨコのサイズを入力します。
 - [(1)] を押してから、画面のテンキー、[▼]、[▲]、または操作パネルのテンキーで、用紙のタテサイズを入力します。[(2)] を押して、ヨコサイズを同様に入力します。
 - トレイによって、入力できるサイズは異なります。
- 3 「画像位置」を選択します。
 - 画像を転写する位置の基準として、「画像位置」下の「先端合わせ」、「後端合わせ」または「中央合わせ」から1つ選択します。



- 4 事前に登録した不定形サイズを呼出すときは、「サイズ読出し」を押します。
サイズ読出し画面が表示されます。
- 「前頁」または「次頁」を押して、任意の不定形サイズを表示します。[01] から [20] まで表示できます。
 - 使用する不定形サイズの左側のナンバーボタンを押して、[OK] を押します。



- 5 [OK] を押します。
トレイ設定画面にもどります。



参照

不定形サイズの登録は、機械状態画面の「不定形サイズ登録／削除」で行います。詳しくは、3-30 ページをご覧ください。

「ワイド紙」の選択

- 1 サイズ設定画面の「ワイド紙」を選択します。
ワイド紙画面が表示されます。
- 2 任意のサイズボタンを押します。
- 3 「画像位置」を選択します。
→ 画像を転写する位置の基準として、「画像位置」下の「先端合わせ」、「後端合わせ」または「中央合わせ」から 1 つ選択します。



- 4 「サイズ入力」を押して、サイズ入力画面を表示します。
→ ワイド紙は、サイズ名が同じであっても、実際の大きさが異なることがあります。ご使用になるワイド紙のサイズを確認してから、その数値を入力してください。
- 5 用紙のタテ／ヨコのサイズを入力します。
→ [(1)] を押してから、画面のテンキー、[▼]、[▲]、または操作パネルのテンキーで、用紙のタテサイズを入力します。入力できるのは、手順 2 で選択したワイド紙の定形タテ寸法以上～最大 324 mm です。

- 同様に、[(2)] を押してヨコサイズを入力します。入力できるのは、手順 2 で選択したワイド紙の定形ヨコ寸法以上～最大 483 mm です。
- トレイによって、入力できるサイズは異なります。



- 6 サイズ選択画面にもどるときは、[サイズ選択] を押します。
- 7 [OK] を押します。
トレイ設定画面にもどります。

「インデックス紙」の選択

- 1 サイズ設定画面の「インデックス紙」を選択します。
インデックス紙画面が表示されます。
- 2 「インデックス紙」を押します。
 - インデックス紙のサイズ設定には、定形サイズを設定する画面と不定形サイズを設定する画面とがあります。それぞれの画面に表示されている「定形サイズ」、「不定形サイズ」を押して切替えます。
- 3 任意の定形サイズボタンを押します。
- 4 インデックスの数を設定します。
 - 「インデックス数設定」下のテンキー、[▼]、または [▲] を押して、インデックス数を入力します。1～15 まで設定できます。



- 5 インデックス紙のサイズを任意に設定する場合は、「不定形サイズ」を押します。

6 用紙のタテ／ヨコのサイズ、およびインデックス幅を入力します。

- [(1)] を押してから、画面のテンキー、[▼]、[▲]、または操作パネルのテンキーで、任意のタテサイズを入力します。同様に、[(2)] を押してヨコサイズを、[(3)] を押してインデックス幅を入力します。
- インデックスの数を設定する場合は、[インデックス数設定] を押してから、任意のインデックス数を入力します。



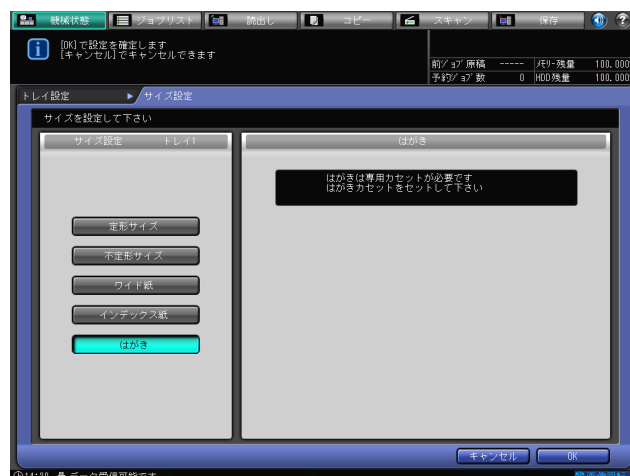
- 7 [OK] を押します。
トレイ設定画面にもどります。

【はがき】の選択

- 1 サイズ設定画面の【はがき】を選択します。

ハガキ画面が表示されます。

- 用紙トレイで【トレイ 1】または【トレイ 2】を選択したとき、選択した本体トレイにハガキアダプターをセットする必要があります。サービス実施店にお問い合わせください。
- 用紙トレイで大容量給紙ユニット LU-409/LU-410 の【トレイ 3】を選択したとき、【はがき】ボタンは表示されず、選択できません。
- 用紙トレイでペーパーフィーダーユニット PF-706 の【トレイ 3】、【トレイ 4】または【トレイ 5】を選択したとき、選択したトレイの小サイズガイドを開きます。詳しくは、コピー編の 5 章をご覧ください。



- 2 [OK] を押します。
トレイ設定画面にもどります。

3.3.3 用紙条件の設定：設定呼出し

- 1 トレイ設定画面右下の「設定呼出し」を押します。
設定呼出し画面が表示されます。
- 2 登録した用紙条件を選択します。
→ [▼] または [▲] を押して、登録されている用紙条件のリストから、任意の行を選択します。



- 3 詳細を確認したい場合は、「詳細確認」を押します。
選択した用紙条件の詳細を表示します。確認したら「閉じる」を押します。



- 4 [OK] を押します。
トレイ設定画面にもどります。



参照

用紙条件の登録は、トレイ設定画面の「設定登録」、または機械状態画面の「用紙条件登録／削除」で行います。詳しくは、3-18 ページおよび 3-30 ページをごらんください。

3.3.4 用紙条件の設定：設定変更

- ✓ 用紙条件の一部を修正して使用する場合は、「設定呼出し」の手順で、登録されている設定を呼出してから変更することをおすすめします。
- 1 トレイ設定画面右下の「設定変更」を押します。
設定変更画面が表示されます。

- 2 「用紙種類」を押します。
 用紙種類画面が表示されます。
 → 「用紙種類」下の任意のボタンを押して、用紙の種類を選択します。



- 3 「坪量」を押します。
 坪量画面が表示されます。
 → 坪量を選択します。



- 301 - 350 g/m² (81 - 93 lb Bond) の用紙をセットできるのは、ペーパーフィーダーユニット PF-706 のトレイ 4 だけです。
 → 用紙種類で書籍用紙、またはラフ紙を選択すると、217 g/m² 以上の坪量を設定できません。

- 4 「色紙」を押します。
 色紙画面が表示されます。
 → 用紙の色を選択します。



5 「パンチ」を押します。

パンチ画面が表示されます。

→ 「パンチ」下の「パンチ穴あり」または「パンチ穴なし」を選択します。



6 「表裏調整」を押します。

表裏調整画面が表示されます。

- 「オモテ」または「ウラ」を押して、調整するプリント面を選択してから、「タテ倍」、「ヨコ倍」、「上下」、または「左右」を押して調整項目を選択します。画面のテンキー、「▼」、または「▲」を押して、任意の調整値を入力します。「+ <-> -」を押すと、調整値の＋を選択できます。設定を変更すると、「表裏調整」右の表示が「オフセット変更あり」に変わります。
- トレイ設定の表裏調整では、チャート調整ができます。
- 表裏調整およびチャート調整についての詳細は、3-22 ページをごらんください。



- 7 「プロセス調整」を押します。
プロセス調整画面が表示されます。



- 8 プロセス調整画面の「転写電流オフセット調整」を押します。
転写電流オフセット調整画面が表示されます。
オモテ面、ウラ面それぞれに、「先端 1」、「先端 2」、「先端 3」、「中央」、「後端」の 5 つの電流オフセット値を設定できます。
- 転写電流オフセット調整画面左の任意のボタンを選択します。
 - 画面のテンキー、または操作パネルのテンキーを押して、任意の調整値を入力します。
 - [+ <-> -] を押して、調整値の+-を選択します。
 - [セット] を押して、設定を変更すると、選択した箇所の転写電流オフセット値（現在値）が入力した調整値に変わります。
 - - 128 ~ + 127 の範囲で調整できます。
 - 設定が完了したら、[OK] を押します。



〔プロセス調整〕右の表示が〔転写変更あり〕に変わります。プロセス速度設定も変更していると、〔転写速度変更あり〕と表示されます。

9 プロセス調整画面の〔プロセス速度設定〕を押します。

プロセス速度設定画面が表示されます。

用紙種類が上質紙、普通紙、書籍用紙、またはラフ紙を設定し、坪量が 40 - 49 g/m² (11 - 13 lb Bond)、50 - 61 g/m² (14 - 16 lb Bond)、または 62 - 74 g/m² (17 - 20 lb Bond) を設定しているとき機能します。

プロセス速度とボタンの関係は次のとおりです。

ボタン	プロセス速度
デフォルト=高速	460 mm/s
高速	460 mm/s
低速	290 mm/s

→ 設定が完了したら、〔OK〕を押します。



〔プロセス調整〕右の表示が〔速度変更あり〕に変わります。転写電流オフセット調整も変更していると、〔転写速度変更あり〕と表示されます。

→ 転写電流オフセット調整の詳細については、サービス実施店にお問い合わせください。

10 〔片寄り検知設定〕を押します。

片寄り検知設定画面が表示されます。

→ 〔片寄り検知設定〕下の〔ON〕または〔OFF〕を選択します。

用紙の片寄りを検知して画像位置を自動補正するときは、〔ON〕を選択します。自動補正しないときは、〔OFF〕を選択します。



- 11 「カール調整」を押します。
カール調整画面が表示されます。
→ 「カール調整」下の「上側に矯正」または「OFF」を選択します。



- 12 「OK」を押します。
トレイ設定画面にもどります。

3.3.5 用紙条件の登録

トレイ設定で設定した用紙条件を登録する手順を説明します。

参照

用紙条件の登録は、ほかに機械状態画面の「用紙条件登録／削除」ボタンを押して行う方法があります。これは、トレイに設定する用紙条件ではないので、トレイの制約なしに用紙条件を設定できます。また、登録した用紙条件を削除できます。詳しくは、3-27 ページをごらんください。

- 1 トレイ設定画面右下の「設定変更」を押します。
設定変更画面が表示されます。
→ 用紙条件の設定：設定変更の手順に従って、用紙条件を設定します。
→ 設定変更画面の「OK」を押して、トレイ設定画面にもどります。
- 2 トレイ設定画面の「設定登録」を押します。
設定登録画面が表示されます。

- 3 用紙条件の登録先を選択します。
スクロールボタン「▼」または「▲」を押して登録先を表示して、登録先の行を選択します。



用紙名称入力画面が表示されます。

→ このとき、用紙名称欄にすでに用紙名称が表示されている行を選択すると、上書きされ、登録していた用紙条件はなくなります。

- 4 用紙名称を入力します。

→ 用紙名称は、全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字で 11 文字、半角の英数字、記号、カタカナで 22 文字まで入力できます。

→ 用紙名称欄に何も表示されていない欄を選択したとき、用紙名称入力画面には、用紙種類が表示されます。用紙種類を用紙名称にする場合は、そのまま「OK」を押します。



- 5 「OK」を押します。
設定登録画面にもどります。
- 6 「OK」を押します。
トレイ設定画面にもどります。
- 7 「閉じる」を押します。
機械状態画面にもどります。

3.3.6 エアブローの設定

トレイ設定でエアブローの設定をする手順を説明します。

重要

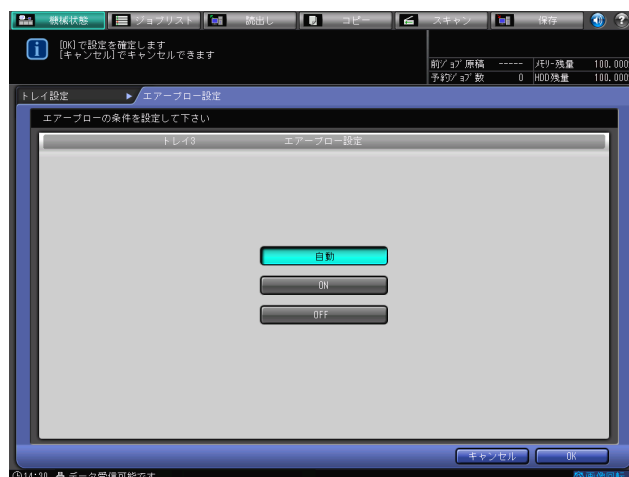
エアブローの設定ができるのは、ペーパーフィーダーユニット PF-706 のトレイ 3～トレイ 5 だけです。

- 1 トレイ設定画面の【用紙トレイ】下のトレイボタンから、【トレイ 3】、【トレイ 4】、または【トレイ 5】を選択します。
トレイ設定画面に【エアブロー】が表示されます。
- 2 【エアブロー】右の【設定変更】を押します。



エアブロー設定画面が表示されます。

- 3 【エアブロー設定】下の【自動】、【ON】、または【OFF】を選択します。



- 4 エアブロー設定画面の【OK】を押します。
トレイ設定画面にもどります。

3.3.7 PIトレイの用紙サイズ設定

PIトレイとは、フィニッシャー FS-532 に装着されているポストインサーター PI-502 の給紙トレイです。

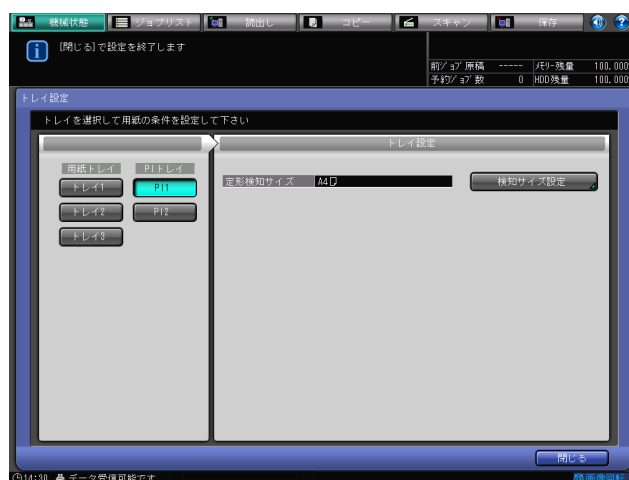
PIトレイには、下記の用紙をセットします。

- インターシートのオモテ表紙／ウラ表紙／挿入紙
- 手でパンチ／折り／中とじ／ステープルする用紙

インターシートのオモテ表紙／ウラ表紙／挿入紙をPIトレイにセットするため、トレイ設定で、定形検知サイズを変更できます。それ以外のトレイ設定は必要ありません。

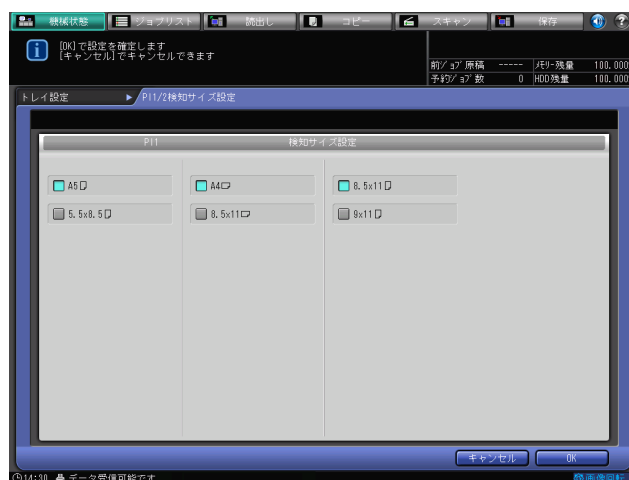
手でパンチ／折り／中とじ／ステープルをするとき、トレイ設定をする必要はありません。

- 1 トレイ設定画面の「PIトレイ」下のトレイボタンから、「PI1」または「PI2」を選択します。
トレイ設定画面に「検知サイズ設定」が表示されます。
- 2 「検知サイズ設定」を押します。



検知サイズ設定画面が表示されます。

- 3 タテ列のサイズの1つを押して選択します。
 - 機械がサイズを検知するとき、サイズの違いがあまりなく、機械では区別できないサイズ群があります。これらのサイズを1つに特定して、機械で判断できるようにします。
 - タテ列で区切られているサイズ群が、区別のむずかしいサイズです。



- 4 「OK」を押します。
トレイ設定画面にもどります。

3.4 [用紙条件登録／削除] の操作

機械状態画面の[用紙条件登録／削除] ボタンを押して行う、用紙条件登録／削除の基本的な操作手順を説明します。

3.4.1 用紙条件の登録

- 1 [機械状態] タブを押して、機械状態画面を表示します。
- 2 [用紙条件登録／削除] を押します。



用紙条件登録／削除画面が表示されます。

- 3 用紙条件の登録先を選択します。
スクロールボタン [▼] または [▲] を押して登録先を表示して、登録先の行を選択します。
→ 登録済みの用紙条件を編集する場合は、その行を選択します。



- 4 [追加／編集] を押します。
追加／編集画面が表示されます。
- 5 [用紙種類] を押します。
用紙種類画面が表示されます。
→ [用紙種類] 下の任意のボタンを押して、用紙の種類を選択します。



- 6 「用紙名称」を押します。
用紙名称入力画面が表示されます。
- 7 用紙名称を入力します。
 - 用紙名称は、全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字で 11 文字、半角の英数字、記号、カタカナで 22 文字まで入力できます。
 - 用紙名称欄に何も表示されていない欄を選択したとき、用紙名称入力画面には、用紙種類が表示されます。用紙種類を用紙名称にする場合は、そのまま「OK」を押します。



- 8 「OK」を押します。
追加／編集画面にもどります。
- 9 「坪量」を押します。
坪量画面が表示されます。
 - 坪量を選択します。



10 「色紙」を押します。

色紙画面が表示されます。

→ 用紙の色を選択します。



11 「パンチ」を押します。

パンチ画面が表示されます。

→ 「パンチ」下の「パンチ穴あり」または「パンチ穴なし」を選択します。



12 【表裏調整】を押します。

表裏調整画面が表示されます。

- 【オモテ】または【ウラ】を押して、調整するプリント面を選択してから、【タテ倍】、【ヨコ倍】、【上下】、または【左右】を押して調整項目を選択します。画面のテンキー、【▼】、または【▲】を押して、任意の調整値を入力します。【+ <-> -】を押すと、調整値の+-を選択できます。設定を変更すると、【表裏調整】右の表示が【オフセット変更あり】に変わります。
- 表裏調整についての詳細は、4-2 ページをごらんください。



13 【プロセス調整】を押します。

プロセス調整画面が表示されます。



14 プロセス調整画面の【転写電流オフセット調整】を押します。

転写電流オフセット調整画面が表示されます。

オモテ面、ウラ面それぞれに、「先端 1」、「先端 2」、「先端 3」、「中央」、「後端」の 5 つの電流オフセット値を設定できます。

- 転写電流オフセット調整画面左の任意のボタンを選択します。
- 画面のテンキー、または操作パネルのテンキーを押して、任意の調整値を入力します。
- 【+ <-> -】を押して、調整値の+-を選択します。
- 【セット】を押して、設定を変更すると、選択した箇所の転写電流オフセット値（現在値）が入力した調整値に変わります。
- - 128 ~ + 127 の範囲で調整できます。
- 設定が完了したら、【OK】を押します。



〔プロセス調整〕右の表示が〔転写変更あり〕に変わります。プロセス速度設定も変更していると、〔転写速度変更あり〕と表示されます。

15 プロセス調整画面の〔プロセス速度設定〕を押します。

プロセス速度設定画面が表示されます。

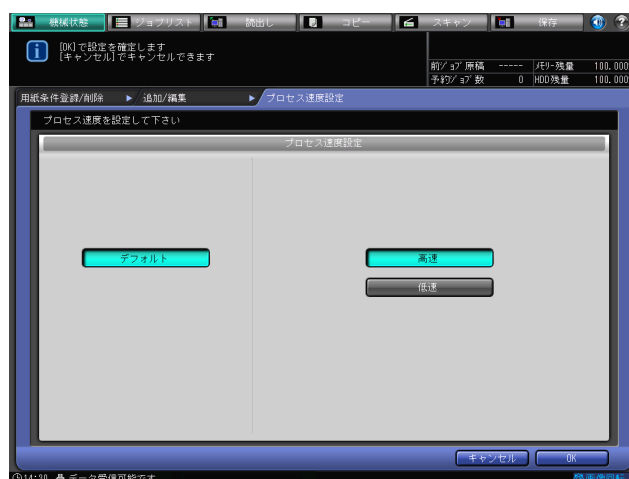
用紙種類が上質紙、普通紙、書籍用紙、またはラフ紙を設定し、坪量が 40 - 49 g/m² (11 - 13 lb Bond)、50 - 61 g/m² (14 - 16 lb Bond)、または 62 - 74 g/m² (17 - 20 lb Bond) を設定しているとき機能します。

プロセス速度とボタンの関係は次のとおりです。

ボタン	プロセス速度
デフォルト=高速	460 mm/s
高速	460 mm/s
低速	290 mm/s

→ 転写電流オフセット調整画面左の任意のボタンを選択します。

→ 設定が完了したら、〔OK〕を押します。



〔プロセス調整〕右の表示が〔速度変更あり〕に変わります。転写電流オフセット調整も変更していると、〔転写速度変更あり〕と表示されます。

→ 転写電流オフセット調整の詳細については、サービス実施店にお問い合わせください。

16 [片寄り検知設定] を押します。

片寄り検知設定画面が表示されます。

→ [片寄り検知設定] 下の [ON] または [OFF] を選択します。

用紙の片寄りを検知して画像位置を自動補正するときは、[ON] を選択します。自動補正しないときは、[OFF] を選択します。



- 17 [カール調整] を押します。
カール調整画面が表示されます。
→ [カール調整] 下の [上側に矯正] または [OFF] を選択します。



- 18 追加／編集画面の [OK] を押します。
用紙条件登録／削除画面にもどります。
- 19 用紙条件登録／削除画面の [OK] を押します。
機械状態画面にもどります。

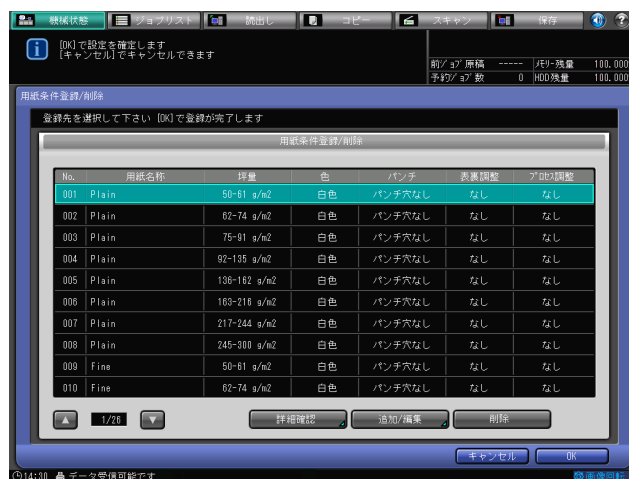
3.4.2 用紙条件の削除

- 1 [機械状態] タブを押して、機械状態画面を表示します。
- 2 [用紙条件登録／削除] を押します。

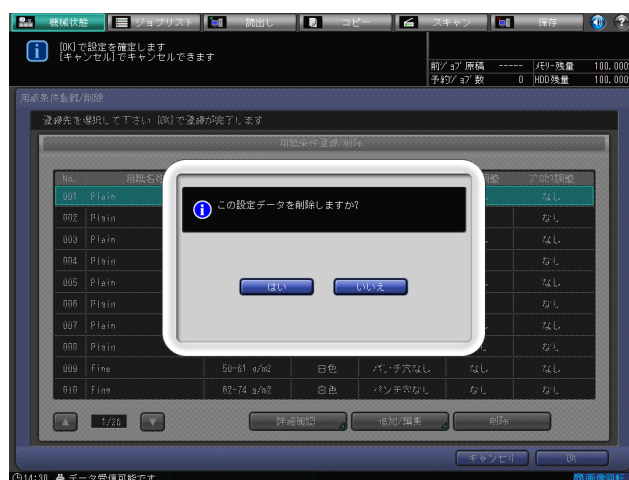


用紙条件登録／削除画面が表示されます。

- 3 登録削除する行を選択します。
スクロールボタン [▼] または [▲] を押して登録先を表示して、削除する行を選択します。



- 4 「削除」を押します。
削除確認のダイアログが表示されます。



- 5 「はい」を押します。
手順 3 で選択した行が削除されます。

- 6 用紙条件登録／削除画面の [OK] を押します。
機械状態画面にもどります。

3.5 「不定形サイズ登録／削除」の操作

機械状態画面の「不定形サイズ登録／削除」ボタンを押して行う、不定形サイズ登録／削除の基本的な操作手順を説明します。

3.5.1 不定形サイズの登録

- 1 「機械状態」タブを押して、機械状態画面を表示します。
- 2 「不定形サイズ登録／削除」を押します。



不定形サイズ登録／削除画面が表示されます。

- 3 不定形サイズの登録先を選択します。
 - 「前頁」または「次頁」を押して、登録先を表示します。[01] から [20] まで表示できます。
 - 登録するナンバーボタンを選択します。



- 4 「追加／編集」を押します。
追加／編集画面が表示されます。
- 5 用紙のタテ／ヨコのサイズを入力します。
 - [(1)] を押してから、画面のテンキー、[▼]、[▲]、または操作パネルのテンキーで、用紙のタテサイズを入力します。入力できるサイズは、タテ 95 mm ～ 324 mm です。
 - [(2)] を押して、ヨコサイズを同様に入力します。入力できるサイズは、ヨコ 133 mm ～ 483 mm です。

6 「画像位置」を選択します。

→ 画像を転写する位置の基準として、「画像位置」下の「先端合わせ」、「後端合わせ」または「中央合わせ」から1つ選択します。



7 「OK」を押します。

不定形サイズ名称入力画面が表示されます。



8 不定形サイズ名称を入力します。

→ 不定形サイズ名称は、半角の英数字、記号で9文字まで入力できます。

9 「OK」を押します。

不定形サイズ登録／削除画面にもどります。

10 「閉じる」を押します。

機械状態画面にもどります。

3.5.2 不定形サイズの削除

- 1 「機械状態」タブを押して、機械状態画面を表示します。
- 2 「不定形サイズ登録／削除」を押します。



不定形サイズ登録／削除画面が表示されます。

- 3 登録削除するナンバーボタンを選択します。
「前頁」または「次頁」を押して、削除するナンバーボタンを選択します。



- 4 「削除」を押します。
削除確認のダイアログが表示されます。



- 5 「はい」を押します。
手順 3 で選択したナンバーボタンの不定形サイズが削除されます。
- 6 不定形サイズ登録／削除画面の「閉じる」を押します。
機械状態画面にもどります。



表裏調整

4 表裏調整

4.1 「表裏調整」の操作

下記トレイにセットした用紙のオモテ／ウラにプリントする画像の倍率および位置を調整します。また、チャート調整による位置の調整ができます。これらの調整は各トレイに設定します。

- 本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）
- 大容量給紙ユニット LU-409/LU-410（トレイ 3）
- ペーパーフィーダーユニット PF-706（トレイ 3～トレイ 5）

重要

表裏調整をトレイに設定するのではなく、表裏調整を含めた用紙条件を用紙名称に登録し、用紙名称から用紙条件を読み出して、トレイに表裏調整を設定できます。用紙名称に用紙条件を登録するとき、チャート調整は登録できません。



参照

用紙名称に用紙条件を登録する方法については、3-18 ページをごらんください。

ここでは、機械状態画面の「表裏調整」を押したときの調整手順を説明します。

- 1 「機械状態」タブを押して、機械状態画面を表示します。
- 2 「表裏調整」を押します。



表裏調整画面が表示されます。

- 3 「用紙トレイ」下の任意のトレイボタンを押して、表裏調整の設定をするトレイを選択します。
- 4 オモテ面の調整をするため、「表裏調整」下の「オモテ」タブを押します。
→ ウラ面の調整をするときは、手順 10 に進みます。



オモテ面の調整画面が表示されます。

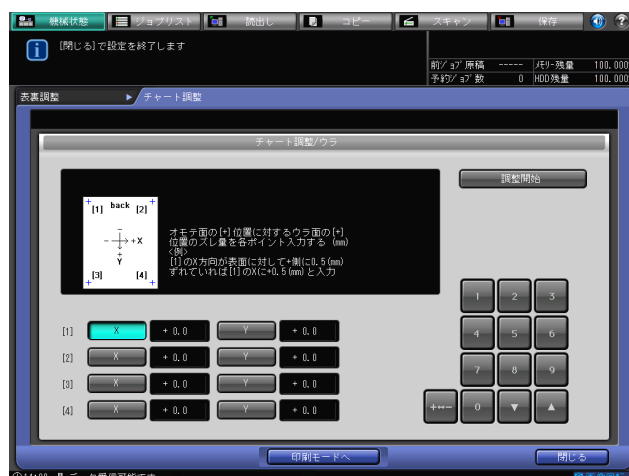
- 5 [倍率] 下の [タテ倍] と [ヨコ倍] をそれぞれ選択して、画面のテンキー、[▼]、[▲]、または操作パネルのテンキーで倍率を入力します。
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
 - 数値を [0] にもどすときは [クリア] を押します。
 - 調整範囲 タテ倍: - 10 ~ + 10 (1 ステップ = 0.05%)、ヨコ倍: - 10 ~ + 10 (1 ステップ = 0.05%)
- 6 [イメージシフト] 下の [上下] と [左右] をそれぞれ選択して、画面のテンキー、[▼]、[▲]、または操作パネルのテンキーでイメージシフト量を入力します。
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
 - 数値を [0] にもどすときは [クリア] を押します。
 - 調整範囲 上下: - 100 ~ + 100 (1 ステップ = 0.1 mm)、左右: - 100 ~ + 100 (1 ステップ = 0.1 mm)
- 7 [チャート調整] を押して、チャート調整/オモテ画面を表示します。
 - 用紙に表裏調整を設定する場合は、チャート調整はできません。
- 8 チャートを出力して各ポイントを測定してから、測定距離を入力します。
 - [印刷モードへ] を押して、操作パネルのスタートを押します。
 - 出力したチャートの各ポイントを測定して、画面のテンキーや [▼]、[▲] でその距離を入力します。
 - 入力した数値を [0] にするときは、[クリア] を押します。



- 9 「調整開始」を押します。
- 調整しないときは、「閉じる」を押します。
 - 「調整開始」を押しても、「閉じる」を押しても、入力した調整値はクリアされます。調整してから、表裏調整画面にもどります。
- 10 ウラ面の調整をするため、「表裏調整」下の「ウラ」タブを押します。
ウラ面の調整画面が表示されます。



- 11 「倍率」下の「タテ倍」と「ヨコ倍」をそれぞれ選択して、画面のテンキー、「[▼]」、「[▲]」、または操作パネルのテンキーで倍率を入力します。
- 「+ <-> -」で数値のプラス/マイナスを選択します。
 - 数値を「0」にもどすときは「クリア」を押します。
 - 調整範囲 タテ倍: -5 ~ +5 (1 ステップ = 0.05%)、ヨコ倍: -10 ~ +10 (1 ステップ = 0.05%)
- 12 「イメージシフト」下の「上下」と「左右」をそれぞれ選択して、画面のテンキー、「[▼]」、「[▲]」、または操作パネルのテンキーでイメージシフト量を入力します。
- 「+ <-> -」で数値のプラス/マイナスを選択します。
 - 数値を「0」にもどすときは「クリア」を押します。
 - 調整範囲 上下: -100 ~ +100 (1 ステップ = 0.1 mm)、左右: -100 ~ +100 (1 ステップ = 0.1 mm)
- 13 「チャート調整」を押して、チャート調整/ウラ画面を表示します。
- 用紙に表裏調整を設定する場合は、チャート調整はできません。
- 14 チャートを出力して各ポイントを測定してから、ズレ量を入力します。
- 「印刷モードへ」を押して、操作パネルのスタートを押します。
 - 出力したチャートの各ポイントを測定して、画面のテンキーや「[▼]」、「[▲]」でそのズレ量を入力します。
 - 「+ <-> -」で数値のプラス/マイナスを選択します。
 - 数値を「0」にもどすときは「クリア」を押します。



15 「調整開始」を押します。

- 調整しないときは、「閉じる」を押します。
- 「調整開始」を押しても、「閉じる」を押しても、入力した調整値はクリアされます。調整してから、表裏調整画面にもどります。

16 手順 4～手順 15 の表裏調整の設定をリセットしたいときは、「リセット」を押します。



17 [OK] を押します。

機械状態画面にもどります。

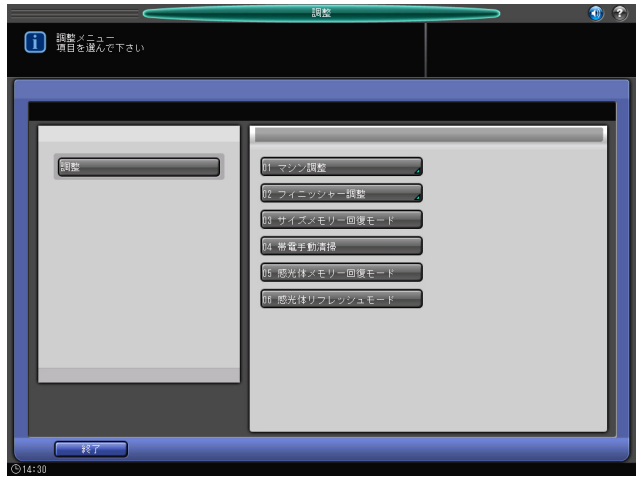
5 調整



5 調整

5.1 調整の概要

機械状態画面の「調整」を押すと、調整メニュー画面が表示されます。



本体の出力および原稿スキャンの調整ができます。
フィニッシャーを装着している場合は、それぞれの機能の調整ができます。
感光体に起因した画像ムラの調整や帯電極の清掃などを行います。

5.1.1 調整項目一覧

設定項目と説明		設定値
01 マシン調整		
01 倍率調整		
01 プリンター通紙方向倍率調整（オモテ面） プリンターエンジンの通紙方向の倍率を調整します。		調整範囲： （短い）－10～10（長い） （1ステップ＝0.05％）
02 プリンター通紙方向倍率調整（ウラ面） プリンターエンジンのウラ面の通紙方向の倍率オフセットを調整します。 前準備：プリンター通紙方向倍率調整（オモテ面）が終了していること		調整対象： トレイ1、トレイ2（本体トレイ） トレイ3（大容量給紙トレイ LU-409/LU-410） トレイ3～トレイ5（ペーパーフィーダーユニット PF-706） トレイ6～トレイ8は調整しても機能しません。 調整範囲： （短い）－10～0（長い） （1ステップ＝0.05％）
03 プリンター通紙交差方向倍率（オモテ面） プリンターエンジンの通紙交差方向の倍率を調整します。		調整範囲： （短い）－10～10（長い） （1ステップ＝0.05％）

設定項目と説明	設定値
04 プリンター通紙交差方向倍率（ウラ面） プリンターエンジンのウラ面通紙交差方向の倍率オフセットを調整します。 前準備：プリンター通紙交差倍率調整（オモテ面）が終了していること	調整対象： トレイ 1、トレイ 2（本体トレイ） トレイ 3（大容量給紙トレイ LU-409/LU-410） トレイ 3～トレイ 5（ペーパーフィーダーユニット PF-706） トレイ 6～トレイ 8 は調整しても機能しません。 調整範囲： （短い）－10～0（長い） （1 ステップ＝0.05 %）
02 タイミング調整	
01 プリンター先端タイミング調整（オモテ面） プリンターエンジンの通紙方向画像先端位置を調整します。 前準備：倍率調整が終了していること	調整対象： 全トレイ、トレイ 1 オフセット、トレイ 2 オフセット（本体トレイ） トレイ 3 オフセット（大容量給紙トレイ LU-409/LU-410） トレイ 3 オフセット～トレイ 5 オフセット（ペーパーフィーダーユニット PF-706） トレイ 6 オフセット～トレイ 8 オフセットは調整しても機能しません。 調整範囲： （短い）－30～30（長い） （1 ステップ＝0.1 mm）
02 プリンター先端タイミング調整（ウラ面） プリンターエンジンのウラ面通紙方向画像先端位置のオフセットを調整します。 前準備：倍率調整が終了していること	調整対象： トレイ 1 オフセット、トレイ 2 オフセット（本体トレイ） トレイ 3 オフセット（大容量給紙トレイ LU-409/LU-410） トレイ 3 オフセット～トレイ 5 オフセット（ペーパーフィーダーユニット PF-706） トレイ 6 オフセット～トレイ 8 オフセットは調整しても機能しません。 調整範囲： （短い）－30～30（長い） （1 ステップ＝0.1 mm）
03 スキャナー（原稿ガラス）先端タイミング調整 原稿ガラスでの原稿スキャン時の読み込み開始位置を調整します。 前準備：倍率調整が終了していること	調整範囲： （画像早い）－40～40（画像遅い） （1 ステップ＝0.1 mm）
04 スキャナー（ADF）先端タイミング調整 ADF 原稿スキャン時の読み込み開始位置を調整します。 前準備：倍率調整が終了していること	調整対象： オモテ面、ウラ面 調整範囲： （画像早い）－50～50（画像遅い） （1 ステップ＝0.1 mm）
03 片寄り調整	
01 プリンター片寄り調整 プリンターエンジンの用紙交差方向の画像片寄りを調整します。 前準備：プリンター通紙交差方向倍率（オモテ面／ウラ面）が終了していること	調整範囲： （画像手前）－64～63（画像奥） （1 ステップ＝0.1 mm）
04 LPH 調整	
01 LPH チップ間ギャップ補正 LPH チップ間ギャップ 39 箇所を補正します。	調整範囲： （うすい）－8～8（こい） （1 ステップ＝1.0%） テストパターン選択：Dark Gray（デフォルト）、Light Gray ライン描画：あり、なし（デフォルト） 全体オフセット

設定項目と説明	設定値
02 フィニッシャー調整（フィニッシャー FS-532）	
01 平とじ機（メイン）調整	
01 ステープル位置調整 平とじステープルの2箇所のとじ間隔およびステープル位置を調整します。	調整対象： 2箇所ピッチ（120 mm）、2箇所ピッチ（140 mm）、2箇所ピッチ（165 mm）、奥斜め、奥平行、手前平行 調整範囲： （広く）－5～5（狭く）（1ステップ＝1.0 mm）
02 ステープル紙幅調整 フィニッシャー FS-532 のステープル束の整合板幅を調整します。ストレート排紙で、メイントレイにスタックした用紙に不揃いがあるときに調整します。	調整対象： 全体、11×17□、A3□、B4□、8.5×14□、A4□、8.5×11□、8.5×11□、A4□、B5□、A5□、5.5×8.5□、8×13□、8.125×13.25□、8.5×13□、8.25×13□、8K□、16K□、16K□、12×18□、A3W□、B4W□、A4W□、A4W□、B5W□、A5W□、12×18W□、11×17W□、8.5×11W□、8.5×11W□、5.5×8.5W□、不定形、SRA3□、SRA4□、9×11□ 調整範囲： （広く）－20～20（狭く）（1ステップ＝0.1 mm）
03 FD 整合板押込み量調整 フィニッシャー FS-532 のステープル束のタテ整合部材の押込み量を調整します。	調整対象： 全体、A4□、B5□、A5□、8.5×11□、16K□、5.5×8.5□、A4W□、B5W□、A5W□、8.5×11W□、5.5×8.5W□、不定形、9×11□ 調整範囲： （広く）－50～50（狭く）（1ステップ＝0.1 mm）
04 排紙ガイド部材紙幅調整 フィニッシャー FS-532 の排紙整合時の排紙製合板（前と奥）の位置を調整します。ノンステープル排紙において、メイントレイにスタックした用紙に不揃いがあるときに調整します。	調整対象： 全体、11×17□、A3□、B4□、8.5×14□、A4□、8.5×11□、8.5×11□、A4□、B5□、A5□、5.5×8.5□、8×13□、8.125×13.25□、8.5×13□、8.25×13□、8K□、16K□、16K□、12×18□、A3W□、B4W□、A4W□、A4W□、B5W□、A5W□、12×18W□、11×17W□、8.5×11W□、8.5×11W□、5.5×8.5W□、不定形、SRA3□、SRA4□、9×11□ 調整範囲： （広く）－50～50（狭く）（1ステップ＝0.1 mm）
05 巻き戻しパドル下降量調整 巻き戻しパドルの下降量を調整します。	調整対象： 全体、11×17□、A3□、B4□、8.5×14□、A4□、8.5×11□、8.5×11□、A4□、B5□、A5□、5.5×8.5□、8×13□、8.125×13.25□、8.5×13□、8.25×13□、8K□、16K□、16K□、12×18□、A3W□、B4W□、A4W□、A4W□、B5W□、A5W□、12×18W□、11×17W□、8.5×11W□、8.5×11W□、5.5×8.5W□、不定形、SRA3□、SRA4□、9×11□ 調整範囲： （小）－10～10（大）（1ステップ＝0.2 mm）

設定項目と説明	設定値
06 巻き戻し機能動作選択 巻き戻し機能の動作を選択します。	自動、動作、停止
07 グリッパ上動作選択 巻き戻し機能の動作を選択します。	自動、動作、停止
08 排紙整合板動作選択 排紙整合板の動作を選択します。	自動、動作、停止
02 平とじ機（折り）調整 フィニッシャー FS-532 に中とじ機 SD-510 を装着したとき表示され、設定できます。	
01 中とじピッチ調整 中とじ機 SD-510 のステープル間隔を調整します。ステープル間隔が規格値から外れているときに調整します。	調整対象： 全体、SRA3 □、A3 □、B4 □、 SRA4 □、A4 □、B5 □、12 × 18 □、 11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、 8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、 8.25 × 13 □、8 × 13 □、8K □、 16K □、A3W □、B4W □、A4W □、 B5W □、12 × 18 □、11 × 17 □、 8.5 × 11W □、不定形（中）、不定形（大） 調整範囲： （狭く）－ 300 ～ 300（広く）（1 ステップ ＝ 0.1 mm）
02 中とじ紙幅調整 中とじ機 SD-510 で中折り、重ね三つ折りの紙束内にズレがあるとき、整合時の整合板の間隔を調整します。	調整対象： 全体、SRA3 □、A3 □、B4 □、 SRA4 □、A4 □、B5 □、12 × 18 □、 11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、 8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、 8.25 × 13 □、8 × 13 □、8K □、 16K □、A3W □、B4W □、A4W □、 B5W □、12 × 18 □、11 × 17 □、 8.5 × 11W □、不定形（中）、不定形（大） 調整範囲： （狭く）－ 50 ～ 50（広く）（1 ステップ＝ 0.1 mm）
03 中とじステープル位置調整 中とじ機 SD-510 のステープル位置を調整します。	調整対象： 全体、SRA3 □、A3 □、B4 □、 SRA4 □、A4 □、B5 □、12 × 18 □、 11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、 8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、 8.25 × 13 □、8 × 13 □、8K □、 16K □、A3W □、B4W □、A4W □、 B5W □、12 × 18 □、11 × 17 □、 8.5 × 11W □、不定形（中）、不定形（大） 調整範囲： 1 折（排紙上面）が（短く）－ 50 ～ 50 （長く）（1 ステップ＝ 0.1 mm）
04 中とじ折り位置調整 中とじ機 SD-510 の中とじ機能の中折り位置を調整します。中折り位置が規格値から外れているときに調整します。	調整対象： 全体、SRA3 □、A3 □、B4 □、 SRA4 □、A4 □、B5 □、12 × 18 □、 11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、 8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、 8.25 × 13 □、8 × 13 □、8K □、 16K □、A3W □、B4W □、A4W □、 B5W □、12 × 18 □、11 × 17 □、 8.5 × 11W □、不定形（中）、不定形（大） 調整範囲： 1 折り（排紙上面）が（短く）－ 50 ～ 50 （長く）（1 ステップ＝ 0.1 mm）

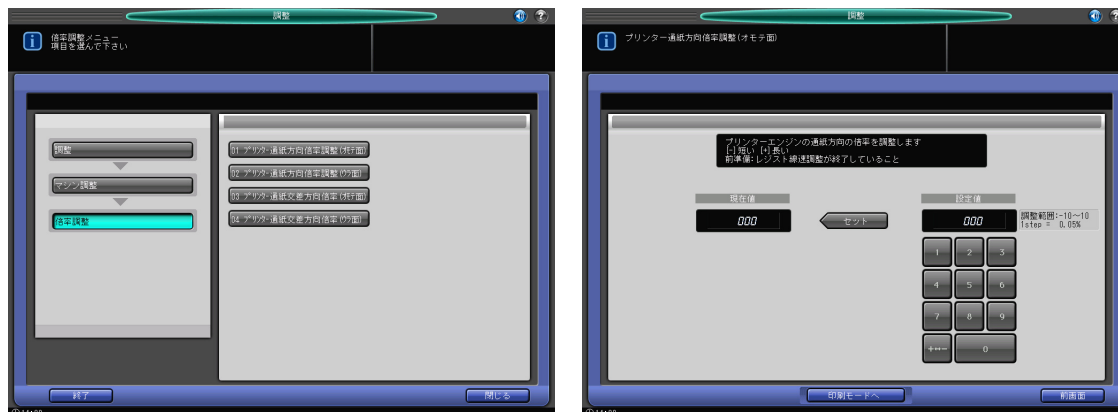
設定項目と説明	設定値
<p>05 中折り折り位置調整 中とじ機 SD-510 の中折り位置を調整します。</p>	<p>調整対象： 全体、SRA3 □、A3 □、B4 □、 SRA4 □、A4 □、B5 □、12 × 18 □、 11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、 8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、 8.25 × 13 □、8 × 13 □、8K □、 16K □、A3W □、B4W □、A4W □、 B5W □、12 × 18 □、11 × 17 □、 8.5 × 11W □、不定形（中）、不定形 （大） 調整範囲： 1 折り（排紙上面）が（短く）－ 50 ～ 50 （長く）（1 ステップ＝ 0.1 mm）</p>
06 三つ折り調整	
<p>01 三つ折り位置調整 中とじ機 SD-510 の三つ折りの 1 折り位置 および 2 折り位置を調整します。三つ折り時 のそれぞれの折り位置が規格値から外れてい るときに調整します。</p>	<p>調整対象： A4 □、8.5 × 11 □ 調整範囲： 1 折り：（短く）－ 50 ～ 50（長く）（1 ス テップ＝ 0.1 mm） 2 折り：（短く）－ 50 ～ 50（長く）（1 ス テップ＝ 0.1 mm）</p>
<p>02 2 折りプレート押込み量調整 中とじ機の 2 折りプレートの押込み量を調整 します。2 折りの束ずれが大きいときに挿入 量を深くします。</p>	<p>調整対象： A4 □、8.5 × 11 □ 調整範囲： （浅く）－ 50 ～ 50（深く）（1 ステップ＝ 0.1 mm）</p>
<p>07 中折り強さ調整 冊子の折り目をローラーで押圧する時間を調整し ます。入力値は秒数を示します。押圧時間を長く するだけ生産性は低下します。</p>	<p>調整範囲： 0 ～ 10（1 ステップ＝ 1sec）</p>
<p>03 平とじ機（パンチ）調整 フィニッシャー FS-532 にパンチキット PK-522 を装着したとき表示され、設定できます。</p>	
<p>01 タテ位置調整（通紙交差方向） 用紙サイズごとに、出力された用紙のセンターと パンチ穴中央のズレを調整します。</p>	<p>調整対象： 全体、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □、 A4 □、B5 □、A5 □、12 × 18 □、 11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、 8.5 × 11 □、8.125 × 13.25 □、 8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8 × 13 □、 8K □、16K □、5.5 × 8.5 □、16K □、 9 × 11 □ 調整範囲： （手前方向へ）－ 50 ～ 50（奥方向へ）（1 ステップ＝ 0.1 mm）</p>
<p>02 ヨコ位置調整（通紙方向） 出力された用紙の端とパンチ穴中央までの距離を 調整します。</p>	<p>調整対象： 全体、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □、 A4 □、B5 □、A5 □、12 × 18 □、 11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、 8.5 × 11 □、8.125 × 13.25 □、 8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8 × 13 □、 8K □、16K □、5.5 × 8.5 □、16K □、 9 × 11 □ 調整範囲： （近づく方向へ）－ 50 ～ 50（離れる方向 へ）（1 ステップ＝ 0.1 mm）</p>
<p>03 レジスト調整 パンチ位置が傾いているとき、レジストローラー 部の用紙のループ量を調整して、用紙の曲り、し わを調整します。</p>	<p>調整対象： 反転排紙、ADU 給紙 調整範囲： （小さい）－ 50 ～ 50（大きい）（1 ステッ プ＝ 0.1 mm）</p>

設定項目と説明		設定値
04 平とじ機 (PI) 調整 フィニッシャー FS-532 にポストインサーター PI-502 を装着したとき表示され、設定できます。		
01 PI レジスト調整 パンチ位置が傾いているとき、レジストローラー部の用紙のループ量を調整して、用紙の曲り、しわを調整します。		調整対象： PI 上段、PI 下段 調整範囲： (小さい) - 5 ~ 5 (大きい) (1 ステップ = 1.0mm)
05 Z 折りユニット調整 フィニッシャー FS-532 に Z 折りユニット ZU-608 を装着したとき表示され、設定できます。		
01 Z 折り位置調整 Z 折りの 1 折りおよび 2 折りの位置をそれぞれ調整します。		調整対象： 全体、A3 □、B4 □、11 × 17 □、 8.5 × 14 □、8K □ 調整範囲： (短く) - 128 ~ 127 (長く) (1 ステップ = 0.1 mm)
02 パンチ調整		
01 タテ位置調整 (通紙交差方向) Z 折りユニット ZU-608 に装着されているパンチユニットの奥行き方向のパンチ穴位置を調整します。		調整対象： 全体、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □、 A4 □、B5 □、B5 □、A5 □、A5 □、 11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、 8.5 × 11 □、5.5 × 8.5 □、5.5 × 8.5 □、 8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、 8.25 × 13 □、8 × 13 □、8K □、16K □、 16K □、9 × 11 □ 調整範囲： (手前方向へ) - 50 ~ 50 (奥方向へ) (1 ステップ = 0.1 mm)
02 ヨコ位置調整 (通紙方向) Z 折りユニット ZU-608 に装着されているパンチユニットの用紙搬送方向のパンチ穴位置を調整します。		調整範囲： (近づく方向へ) - 50 ~ 50 (離れる方向へ) (1 ステップ = 0.1 mm)
03 パンチレジストループ量調整 Z 折りユニット ZU-608 に装着されているパンチユニットのパンチ位置が傾いているとき、レジストローラー部の用紙のループ量を調整して、用紙の曲り、しわを調整します。		調整対象： 反転排紙、ADU 給紙 調整範囲： (小さい) - 20 ~ 20 (大きい) (1 ステップ = 0.8 mm)
03 サイズメモリー回復モード ドラム予備回転を 1 分間実施します。		スタート
04 帯電手動清掃 帯電極を清掃します。		スタート
05 感光体メモリー回復モード ドラム予備回転を 3 分間実施します。		スタート
06 感光体リフレッシュモード 感光体を回転させ、表面をリフレッシュします。		スタート

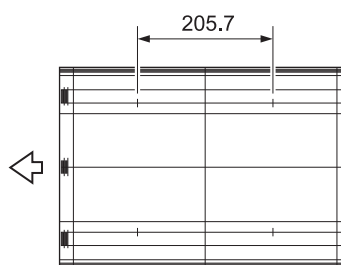
5.2 [01 マシン調整]

5.2.1 [01 倍率調整] – [01 プリンター通紙方向倍率調整（オモテ面）]

プリンターエンジンのオモテ面だけの通紙方向倍率を調整します。用紙オモテ面先端から約 300 mm の位置、2 枚目以降の用紙先端から約 150 mm の位置、または不規則な位置に転写ズレが起こる場合は、通紙方向倍率をプラス方向に調整し、転写ズレを低減します。



- 1 機械状態画面の「調整」を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [01 マシン調整]、[01 倍率調整]、[01 プリンター通紙方向倍率調整（オモテ面）] を順に押します。プリンター通紙方向倍率調整（オモテ面）画面が表示されます。
- 3 [印刷モードへ] を押します。
- 4 任意のトレイに A3 □ をセットして、そのトレイボタンを選択します。
- 5 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 6 紙送り方向の倍率をスケールで測定します。
規格値：± 0.5%以下（等倍時）
205.7 ± 1 mm 以内



- 7 [閉じる] を押して、プリンター通紙方向倍率調整（オモテ面）画面にもどります。
- 8 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
→ 調整範囲：（短い）－ 10 ～ 10（長い）（1 ステップ＝ 0.05%）
→ [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 9 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 10 希望する結果が得られるまで、手順 3 ～手順 9 を繰り返します。
- 11 [前画面] を押して、倍率調整メニュー画面にもどります。

5.2.2 [01 倍率調整] – [02 プリンター通紙方向倍率調整（ウラ面）]

プリンターエンジンのウラ面だけの通紙方向倍率を調整します。転写ズレが起こる場合に、通紙方向倍率を調整し、転写ズレを低減します。

調整対象：トレイ 1～トレイ 8 の各トレイを調整します。

トレイ 1、トレイ 2 は、本体トレイの調整です。

トレイ 3 の調整は、大容量給紙ユニット LU-409 / LU-410 を装着したときに機能します。

トレイ 3～トレイ 5 の調整は、ペーパーフィーダーユニット PF-706 を装着したときに機能します。

トレイ 6～トレイ 8 の調整は、bizhub PRO 951 では調整しても機能しません。

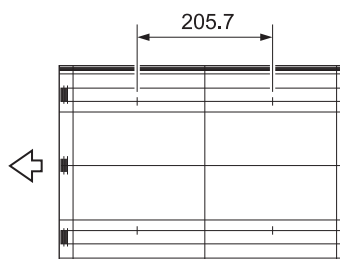
重要

[01 プリンター通紙方向倍率調整（オモテ面）] が終了してから、この調整を行ってください。



- 1 機械状態画面の[調整]を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [01 マシン調整]、[01 倍率調整]、[02 プリンター通紙方向倍率調整（ウラ面）]を順に押します。
プリンター通紙方向倍率調整（ウラ面）画面が表示されます。
- 3 調整対象のトレイ（トレイ 1～トレイ 5）のボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ]を押します。
- 5 手順 3 で選択したトレイに A3 □ をセットして、そのトレイボタンを選択します。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 紙送り方向の倍率をスケールで測定します。

規格値：± 0.5%以下（等倍時）
205.7 ± 1 mm 以内



- 8 [閉じる]を押して、プリンター通紙方向倍率調整（ウラ面）画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲：(短い) - 10 ~ 0 (長い) (1 ステップ = 0.05%)
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。

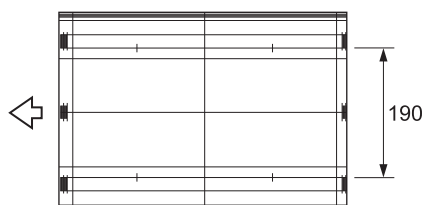
- 10 [セツト] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順 3 ～手順 10 を繰り返します。
- 12 [前画面] を押して、倍率調整メニュー画面にもどります。

5.2.3 [01 倍率調整] – [03 プリンター通紙交差方向倍率（オモテ面）]

プリンターエンジンのオモテ面だけの通紙交差方向倍率を調整します。露光前の画像処理で倍率を変更します。



- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [01 マシン調整]、[01 倍率調整]、[03 プリンター通紙交差方向倍率（オモテ面）] を順に押します。プリンター通紙交差方向倍率（オモテ面）画面が表示されます。
- 3 [印刷モードへ] を押します。
- 4 任意のトレイに A3 □ をセツトして、そのトレイボタンを選択します。
- 5 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 6 紙送り方向に対して垂直方向の倍率をスケールで測定します。
規格値：± 0.5%以下（等倍時）
190 mm に対して± 1 mm 以内



- 7 [閉じる] を押して、プリンター通紙交差方向倍率（オモテ面）画面にもどります。
- 8 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
→ 調整範囲：(短い) - 10 ~ 10 (長い) (1 ステップ = 0.05%)
→ [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 9 [セツト] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 10 希望する結果が得られるまで、手順 3 ～手順 9 を繰り返します。
- 11 [前画面] を押して、倍率調整メニュー画面にもどります。

5.2.4 [01 倍率調整] – [04 プリンター通紙交差方向倍率（ウラ面）]

プリンターエンジンのウラ面だけの通紙交差方向倍率を調整します。露光前の画像処理で倍率を変更します。

調整対象：トレイ 1～トレイ 8

トレイ 1、トレイ 2 は、本体トレイの調整です。

トレイ 3 の調整は、大容量給紙ユニット LU-409 / LU-410 を装着したときに機能します。

トレイ 3～トレイ 5 の調整は、ペーパーフィーダーユニット PF-706 を装着したときに機能します。

トレイ 6～トレイ 8 の調整は、bizhub PRO 951 では調整しても機能しません。

重要

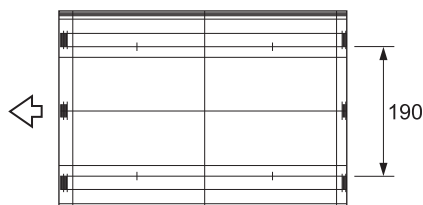
[03 プリンター通紙交差方向倍率（オモテ面）] が終了してから、この調整を行ってください。



- 1 機械状態画面の[調整]を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [01 マシン調整]、[01 倍率調整]、[04 プリンター通紙交差方向倍率（ウラ面）]を順に押します。プリンター通紙交差方向倍率（ウラ面）画面が表示されます。
- 3 調整対象のトレイ（トレイ 1～トレイ 5）のボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ]を押します。
- 5 手順 3 で選択したトレイに A3 □ をセットして、そのトレイボタンを選択します。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 紙送り方向に対して垂直方向の倍率をスケールで測定します。

規格値：± 0.5%以下（等倍時）

190 mm に対して± 1 mm 以内



- 8 [閉じる]を押して、プリンター通紙交差方向倍率（ウラ面）画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲：（短い）－ 10 ～ 0 （長い）（1 ステップ＝ 0.05%）
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 10 [セット]を押して、現在値を設定値に変更します。

11 希望する結果が得られるまで、手順 3 ～手順 10 を繰り返します。

12 [前画面] を押して、倍率調整メニュー画面にもどります。

5.2.5 [02 タイミング調整] – [01 プリンター先端タイミング調整（オモテ面）]

LPH 露光タイミングを変更して、プリンターエンジンの通紙方向画像先端位置を調整します。プリント時にオモテ面の画像先端が欠けたり、余白がでけたりするときに調整します。

調整対象：全トレイ、トレイ 1 オフセット～トレイ 8 オフセット

[全トレイ] は、使用できる給紙トレイを一度に調整するときに選択します。

各トレイのボタンは、個別に調整するときに選択します。

[トレイ 1 オフセット]、[トレイ 2 オフセット] は、本体トレイの調整です。

[トレイ 3 オフセット] の調整は、大容量給紙ユニット LU-409 / LU-410 を装着したときに機能します。

[トレイ 3 オフセット] ～ [トレイ 5 オフセット] の調整は、ペーパーフィーダーユニット PF-706 を装着したときに機能します。

[トレイ 6 オフセット] ～ [トレイ 8 オフセット] の調整は、bizhub PRO 951 では調整しても機能しません。

重要

[01 倍率調整] – [01 プリンター通紙方向倍率調整（オモテ面）] が終了してから、この調整を行ってください。



1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。

2 [01 マシン調整]、[02 タイミング調整]、[01 プリンター先端タイミング調整（オモテ面）] を順に押します。

プリンター先端タイミング調整画面（オモテ面）が表示されます。

3 給紙するトレイを一度に調整するときは [全トレイ] を選択します。個別に調整するときは、調整するトレイボタンを選択します。

4 [印刷モードへ] を押します。

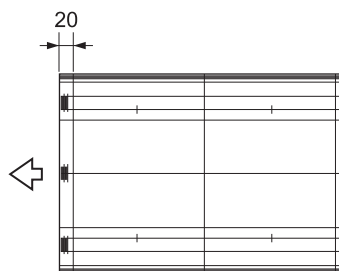
5 [全トレイ] を選択した場合は任意のトレイに、個別のトレイを選択した場合は、手順 3 で選択したトレイに A3 □ をセットして、そのトレイボタンを選択します。

6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。

7 先端タイミングを確認します。

規格値：20 ± 0.5 mm (A3 系)

規格値：25.4 (1 インチ) ± 0.5 mm (インチ系)



- 8 [閉じる] を押して、プリンター先端タイミング調整（オモテ面）画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲：（短い） - 30 ~ 30（長い）（1 ステップ = 0.1mm）
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 10 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順 3 ~ 手順 10 を繰り返します。
- 12 [前画面] を押して、タイミング調整メニュー画面にもどります。

5.2.6 [02 タイミング調整] - [02 プリンター先端タイミング調整（ウラ面）]

LPH 露光タイミングを変更して、プリンターエンジンのウラ面通紙方向画像先端位置のオフセットを調整します。プリント時にウラ面の画像先端が欠けたり、余白がでけたりするときに調整します。

調整対象：トレイ 1 オフセット～トレイ 8 オフセット

[トレイ 1 オフセット]、[トレイ 2 オフセット] は、本体トレイの調整です。

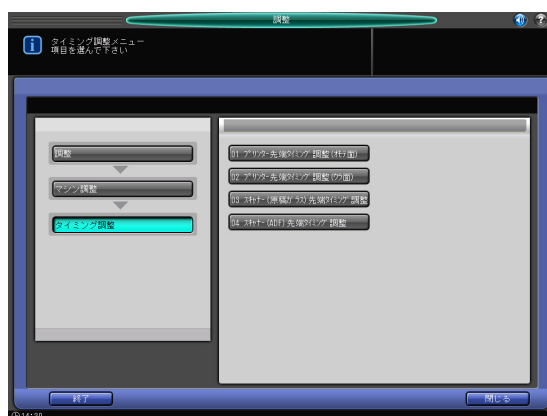
[トレイ 3 オフセット] の調整は、大容量給紙ユニット LU-409 / LU-410 を装着したときに機能します。

[トレイ 3 オフセット] ～ [トレイ 5 オフセット] の調整は、ペーパーフィーダーユニット PF-706 を装着したときに機能します。

[トレイ 6 オフセット] ～ [トレイ 8 オフセット] の調整は、bizhub PRO 951 では調整しても機能しません。

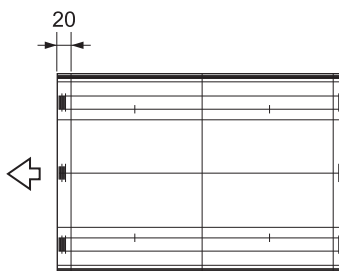
重要

[01 倍率調整] - [02 プリンター通紙方向倍率調整（ウラ面）] と [02 タイミング調整] - [01 プリンター先端タイミング調整（オモテ面）] が終了してから、この調整を行ってください。



- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [01 マシン調整]、[02 タイミング調整]、[02 プリンター先端タイミング調整（ウラ面）] を順に押します。
プリンター先端タイミング調整（ウラ面）画面が表示されます。

- 3 調整対象のトレイ（トレイ 1～トレイ 5）のボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。
- 5 手順 3 で選択したトレイに A3 □ をセットして、そのトレイボタンを選択します。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 先端タイミングを確認します。
規格値：20 ± 0.5 mm（AB 系）
規格値：25.4（1 インチ）± 0.5 mm（インチ系）



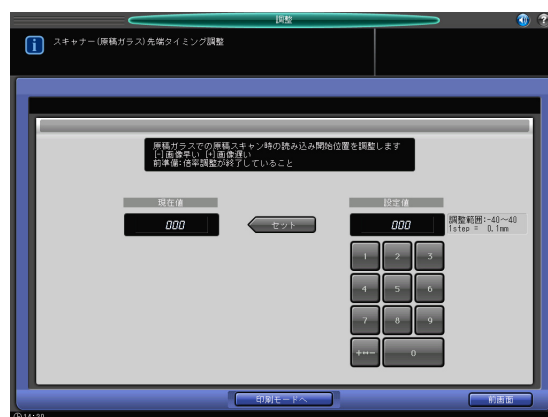
- 8 [閉じる] を押して、プリンター先端タイミング調整（ウラ面）画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
→ 調整範囲：（短い）－ 30 ～ 30（長い）（1 ステップ = 0.1 mm）
→ [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 10 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順 3～手順 10 を繰り返します。
- 12 [前画面] を押して、タイミング調整メニュー画面にもどります。

5.2.7 [02 タイミング調整] — [03 スキャナー（原稿ガラス）先端タイミング調整]

原稿ガラスで原稿スキャンしたときの先端タイミング（露光ユニットで原稿を読取るときの開始位置）を調整します。原稿ガラスで原稿をスキャンしたとき、画像先端が欠けたり、余白ができていたりしないように調整します。

重要

[02 タイミング調整] — [01 プリンター先端タイミング調整（オモテ面）] と [02 タイミング調整] — [02 プリンター先端タイミング調整（ウラ面）] が終了してから、この調整を行ってください。



- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。

- 2 [01 マシン調整]、[02 タイミング調整]、[03 スキャナー（原稿ガラス）先端タイミング調整] を順に押します。
スキャナー（原稿ガラス）先端タイミング調整画面が表示されます。
- 3 [印刷モードへ] を押します。
- 4 任意のトレイに A3 □ をセットして、そのトレイボタンを選択します。
- 5 テストチャートを原稿ガラスにセットし、操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 6 出力紙と原稿とを合わせて、ズレを確認します。
規格値：0 ± 1.5 mm 以内
- 7 [閉じる] を押して、スキャナー（原稿ガラス）先端タイミング調整画面にもどります。
- 8 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
→ 調整範囲：（画像早い） - 40 ~ 40（画像遅い）（1 ステップ= 0.1 mm）
→ [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 9 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 10 希望する結果が得られるまで、手順 3 ~ 手順 9 を繰り返します。
- 11 [前画面] を押して、タイミング調整メニュー画面にもどります。

5.2.8 [02 タイミング調整] - [04 スキャナー（ADF）先端タイミング調整]

ADF で原稿スキャンしたときの先端タイミング（露光ユニットで原稿を読むときの開始位置）を原稿オモテ面とウラ面を別々に調整します。ADF で原稿スキャンしたとき、画像先端が欠けたり、余白ができてりしないように調整します。

調整対象：オモテ面、ウラ面

重要

[02 タイミング調整] - [01 プリンター先端タイミング調整（オモテ面）] と [02 タイミング調整] - [02 プリンター先端タイミング調整（ウラ面）] が終了してから、この調整を行ってください。



- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [01 マシン調整]、[02 タイミング調整]、[04 スキャナー（ADF）先端タイミング調整] を順に押します。
ADF 先端タイミング調整画面が表示されます。
- 3 [オモテ面] または [ウラ面] を選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。

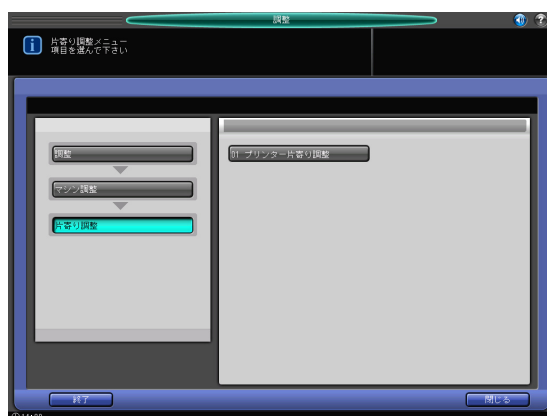
- 5 任意のトレイに A3 □ をセットして、そのトレイボタンを選択します。
- 6 テストチャートを ADF にセットし、操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 出力紙と原稿とを合わせて、ズレを確認します。
規格値：0 ± 2 mm 以内
- 8 [閉じる] を押して、ADF 先端タイミング調整画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
→ 調整範囲：(画像早い) - 50 ~ 50 (画像遅い) (1 ステップ = 0.1 mm)
→ [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 10 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順 3 ~ 手順 10 を繰り返します。
- 12 [前画面] を押して、タイミング調整メニュー画面にもどります。

5.2.9 [03 片寄り調整] - [01 プリンター片寄り調整]

LPH 書込み位置を変更し、プリンターエンジンの通紙交差方向画像先端位置を調整します。プリントしたとき、通紙交差方向に画像の片寄りがある場合に調整します。

重要

[01 倍率調整] - [03 プリンター通紙交差方向倍率 (オモテ面)] と [01 倍率調整] - [04 プリンター通紙交差方向倍率 (ウラ面)] が終了してから、この調整を行ってください。



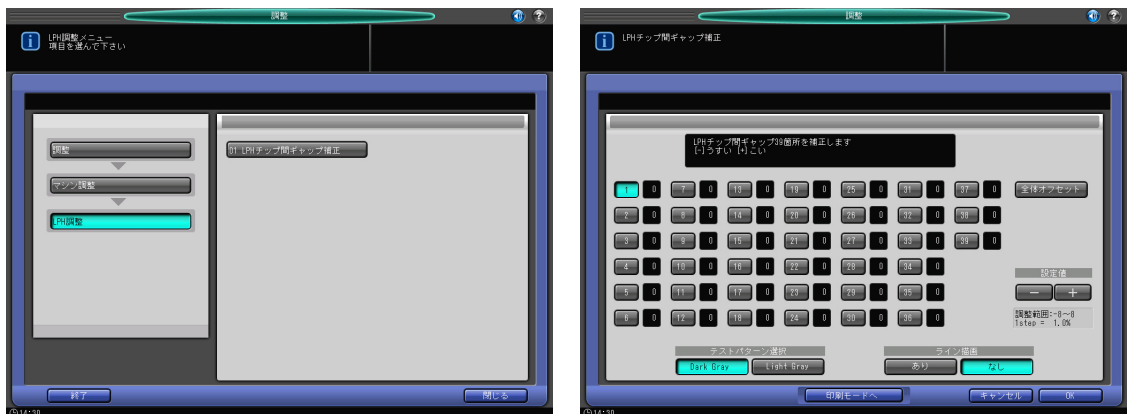
- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [01 マシン調整]、[03 片寄り調整]、[01 プリンター片寄り調整] を順に押します。
プリンター片寄り調整画面が表示されます。
- 3 [印刷モードへ] を押します。
- 4 任意のトレイに A3 □ をセットして、そのトレイボタンを選択します。
- 5 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 6 出力された用紙の送り方向の中心で 2 つ折りし、プリント中心のラインとのズレを確認します。
規格値：0 ± 1.5 mm 以内
- 7 [閉じる] を押して、プリンター片寄り調整画面にもどります。

- 8 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲：(画像手前) - 64 ~ 63 (画像奥) (1 ステップ = 0.1 mm)
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 9 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 10 希望する結果が得られるまで、手順 3 ~ 手順 9 を繰り返します。
- 11 [前画面] を押して、片寄り調整メニュー画面にもどります。

5.2.10 [04 LPH 調整] - [01 LPH チップ間ギャップ補正]

LPH チップ間ギャップ 39 箇所を補正します。

調整範囲：(うすい) - 8 ~ 8 (こい) (1 ステップ = 1.0%)



- 1 機械状態画面の[調整]を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [01 マシン調整]、[04 LPH 調整]、[01 LPH チップ間ギャップ補正]を順に押します。
LPH チップ間ギャップ補正画面が表示されます。
- 3 [テストパターン選択]で[Dark Gray]または[Light Gray]を選択します。
 - 白いスジが発生しているときは[Dark Gray]、黒いスジが発生しているときは[Light Gray]を選択すると、判別しやすくなります。
- 4 [ライン描写]で[なし]を選択し、[印刷モードへ]を押します。
- 5 任意のトレイにA4 □ をセットして、そのトレイボタンを選択します。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 [閉じる]を押します。
- 8 [ライン描写]で[あり]を選択し、[印刷モードへ]を押します。
- 9 手順 5 と同様に、A4 □ の用紙がセットされているトレイボタンを選択します。
- 10 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 11 [閉じる]を押します。
- 12 手順 6 と手順 10 で出力したテストを比較して、ギャップ補正する箇所を確認します。
 - 白いラインと黒いラインが描写され、黒いラインがそれぞれ 10 個単位のギャップ箇所を表します。
 - 白スジと黒スジの発生を確認します。LPH に起因するスジは、シャープになります。このシャープなスジに着目して、発生箇所を特定してください。

- プロセスに起因するスジは、幅広でぼやけたスジになります。このようなスジは、ギャップ箇所には特定しないでください。



- 13** LPH チップ間ギャップ補正画面で、特定したスジの発生箇所に該当する [1] ～ [39] のチップ間箇所のボタンを選択し、[+] または [-] を押して調整値を入力します。全体を一括で補正する場合は、[全体オフセット] を選択して、調整値を入力します。
- 白スジの場合は、[+] 側の数値を入力します。
 - 黒スジの場合は、[-] 側の数値を入力します。
 - 調整範囲：- 8 ～ 8 (1 ステップ = 1 %)
 - チップ間補正值が大きすぎると黒スジになり、小さすぎると白スジになります。
- 14** 希望する結果が得られるまで、手順 3 ～ 手順 13 を繰り返します。
- 15** [OK] を押して、LPH 調整メニュー画面にもどります。

5.3 [02 フィニッシャー調整] (フィニッシャー FS-532)

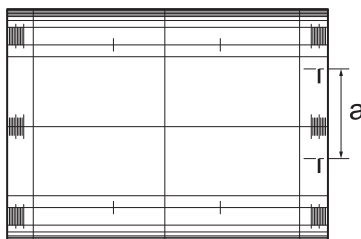
5.3.1 [01 平とじ機 (メイン) 調整] - [01 ステープル位置調整]

平とじステープルの2箇所のとじ間隔およびステープル位置を調整します。

調整対象：2箇所ピッチ (120 mm)、2箇所ピッチ (140 mm)、2箇所ピッチ (165 mm)、奥斜め、奥平行、手前平行

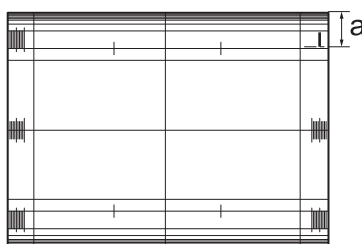


- 1 機械状態画面の[調整]を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[01 平とじ機 (メイン) 調整]、[01 ステープル位置調整]を順に押します。
ステープル位置調整画面が表示されます。
- 3 [2箇所ピッチ (120 mm)]、[2箇所ピッチ (140 mm)]、[2箇所ピッチ (165 mm)]、[奥斜め]、[奥平行]、[手前平行]の中から調整するステープル位置を選択します。
- 4 [印刷モードへ]を押します。
- 5 任意のトレイにA3 をセットして、そのトレイボタンを選択します。
→ 出力設定は、自動的に[ステープル]が選択され、手順3で選択したステープル位置が選択されます。設定部数は、自動的に2部に設定されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 出力された用紙のステープル位置aを確認します。
→ [2箇所ピッチ (120 mm)]、[2箇所ピッチ (140 mm)]、[2箇所ピッチ (165 mm)]の場合
[2箇所ピッチ (120 mm)]の規格値：a = 120 ± 3 mm
[2箇所ピッチ (140 mm)]の規格値：a = 140 ± 3 mm
[2箇所ピッチ (165 mm)]の規格値：a = 165 ± 3 mm



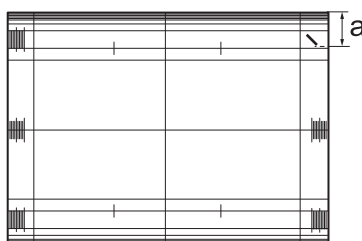
→ [奥斜め] の場合

規格値 : $a = 19.6 \pm 2 \text{ mm}$



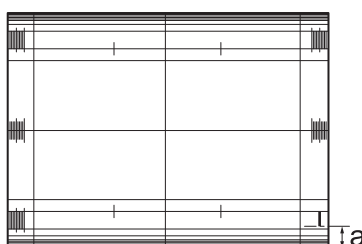
→ [奥平行] の場合

規格値 : $a = 15.2 \pm 3 \text{ mm}$



→ [手前平行] の場合

規格値 : $a = 6.4 \pm 3 \text{ mm}$



8 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。

→ [2 箇所ピッチ (120mm)]、[2 箇所ピッチ (140mm)]、[2 箇所ピッチ (165mm)] の調整範囲 : (広く) $-6 \sim +6$ (狭く) (1 ステップ = 0.1 mm)

→ [奥斜め]、[奥平行]、[手前平行] の調整範囲 : (広く) $-6 \sim +6$ (狭く) (1 ステップ = 0.1 mm)

→ [+ <-> -] で数値の+/-を選択します。

9 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。

10 希望する結果が得られるまで、手順 3 ~ 手順 9 を繰り返します。

11 [前画面] を押して、平とじ機 (メイン) 調整メニュー画面にもどります。

5.3.2 [01 平とじ機 (メイン) 調整] - [02 ステープル紙幅調整]

ステープルするとき、用紙束を通紙交差方向で整合するスタッカーのヨコ整合板幅を調整します。ステープル時の用紙束内に、通紙交差方向のズレがあるときに調整します。

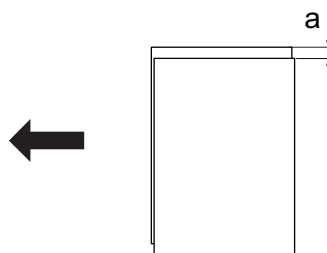
調整対象 : 全体、11 × 17 □、A3 □、B4 □、8.5 × 14 □、A4 □、8.5 × 11 □、8.5 × 11 □、A4 □、B5 □、A5 □、5.5 × 8.5 □、8 × 13 □、8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8K □、16K □、16K □、12 × 18 □、A3W □、B4W □、A4W □、A4W □、B5W □、A5W □、12 × 18W □、11 × 17W □、8.5 × 11W □、8.5 × 11W □、5.5 × 8.5W □、不定形、SRA3 □、SRA4 □、9 × 11 □

重要

〔全体〕で数値を入力すると、すべての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値+〔全体〕の入力値が設定量になります。



- 1 機械状態画面の〔調整〕を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 〔02 フィニッシャー調整〕、〔01 平とじ機（メイン）調整〕、〔02 ステープル紙幅調整〕を順に押します。
ステープル紙幅調整画面が表示されます。
- 3 〔▲〕または〔▼〕を押して、調整したいサイズボタンを選択します。
- 4 〔印刷モードへ〕を押します。
- 5 手順3で選択したサイズの用紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に〔ステープル〕が選択されます。設定部数は、自動的に2部に設定されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 出力された用紙の通紙交差方向のズレ量 a を確認します。
 a の規格値：2 - 15 枚とじて 1.0 mm 以下、16 - 100 枚とじて 1.5 mm 以下



- 8 〔閉じる〕を押して、ステープル紙幅調整画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
→ 調整範囲：（広く）- 20 ~ 20（狭く）（1ステップ= 0.1 mm）
→ 〔+ <-> -〕で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 10 〔セット〕を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順4～手順13を繰り返します。
- 12 〔前画面〕を押して、平とじ機（メイン）調整メニュー画面にもどります。

5.3.3 [01 平とじ機 (メイン) 調整] - [03 FD 整合板押込み量調整]

ステーブルするとき、用紙束を通紙方向で整合するスタッカーのタテ整合部材の押込み量を調整します。

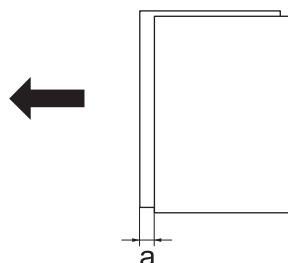
調整対象：全体、A4 □、B5 □、A5 □、8.5 × 11 □、16K □、5.5 × 8.5 □、A4W □、B5W □、A5W □、8.5 × 11W □、5.5 × 8.5W □、不定形、9 × 11 □

重要

[全体] で数値を入力すると、すべての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全体] の入力値が設定量になります。



- 1 機械状態画面の[調整]を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[01 平とじ機 (メイン) 調整]、[03 FD 整合板押込み量調整] を順に押します。
FD 整合板押込み量調整画面が表示されます。
- 3 [▲] または [▼] を押して、調整したいサイズボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。
- 5 手順 3 で選択したサイズの用紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。設定部数は、自動的に 2 部に設定されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 出力された用紙の通紙方向のズレ量 a を確認します。
 a の規格値：2 - 15 枚とじて 1.0 mm 以下、16 - 100 枚とじて 1.5 mm 以下



→ 紙束が湾曲していないか確認します。押込み量が大きいと紙束が湾曲します。

- 8 [閉じる] を押して、FD 整合板押込み量調整画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
→ 調整範囲：(広く) - 50 ~ 50 (狭く) (1 ステップ = 0.1 mm)
→ [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。

- 10 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順 4 ～手順 13 を繰り返します。
- 12 [前画面] を押して、平とじ機 (メイン) 調整メニュー画面にもどります。

5.3.4 [01 平とじ機 (メイン) 調整] – [04 排紙ガイド部材紙幅調整]

ステーブルしないでメイントレイに排紙した用紙の積載に不揃いがあるとき、調整します。排紙された用紙を整合する排紙整合板 (手前側と奥側) の位置を調整します。

調整対象：全体、11 × 17 □、A3 □、B4 □、8.5 × 14 □、A4 □、8.5 × 11 □、8.5 × 11 □、A4 □、B5 □、A5 □、5.5 × 8.5 □、8 × 13 □、8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8K □、16K □、16K □、12 × 18 □、A3W □、B4W □、A4W □、A4W □、B5W □、A5W □、12 × 18W □、11 × 17W □、8.5 × 11W □、8.5 × 11W □、5.5 × 8.5W □、不定形、SRA3 □、SRA4 □、9 × 11 □

重要

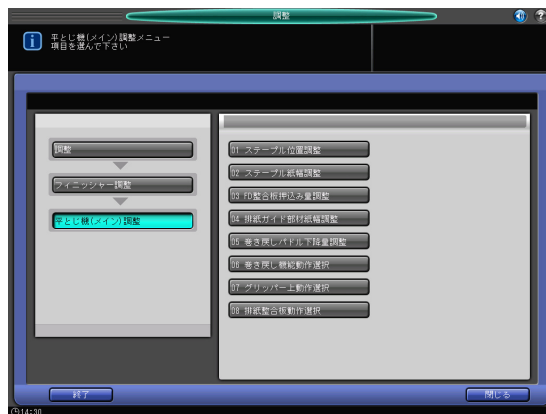
この調整は、ストレート排紙では用紙送り方向の用紙幅 182 mm 以上 (B5 □)、シフト排紙では 210 mm 以上 (A4 □) の用紙だけに行います。排紙整合動作を行わない小さいサイズ (A5 □、B6 □、5.5 × 8.5 □) の用紙に対する調整は、無効です。

重要

この調整の前に必ず、[01 平とじ機 (メイン) 調整] – [02 ステーブル紙幅調整] を行ってください。

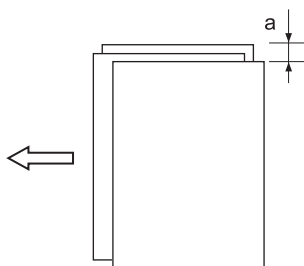
重要

[全体] で数値を入力すると、すべての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全体] の入力値が設定量になります。



- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[01 平とじ機 (メイン) 調整]、[04 排紙ガイド部材紙幅調整] を順に押します。
排紙ガイド部材紙幅調整画面が表示されます。
- 3 [▲] または [▼] を押して、調整したいサイズボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。
- 5 手順 3 で選択したサイズの用紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。手順 6 で [仕分けソート] を選択する場合は、210 mm 以上 (A4 タテ) の用紙を選択します。
設定部数は、自動的に 2 部に設定されます。
- 6 出力設定で [ソート] または [仕分けソート] を選択します。
- 7 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 8 メイントレイに排紙された用紙のズレ a を確認します。
排紙された用紙から整合動作中の排紙整合板のズレを確認し、調整量の目安とします。

a の規格値：紙幅から +1 mm 以内



- 9 [閉じる] を押して、排紙ガイド部材紙幅調整画面にもどります。
- 10 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲：（広く）－ 50 ～ 50（狭く）（1 ステップ＝ 0.1 mm）
 - [＋ <-> －] で数値のプラス／マイナスを選択します。
 - 過度に狭く調整すると、紙送り方向に排紙不揃いとなることがあります。
- 11 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 12 希望する結果が得られるまで、手順 4 ～手順 11 を繰り返します。
- 13 [前画面] を押して、平とじ機（メイン）調整メニュー画面にもどります。

5.3.5 [01 平とじ機（メイン）調整] － [05 巻き戻しパドル下降量調整]

メイントレイ排紙口の巻き戻しパドルの下降量を調整します。

調整対象：全体、11 × 17 □、A3 □、B4 □、8.5 × 14 □、A4 □、8.5 × 11 □、8.5 × 11 □、A4 □、B5 □、A5 □、5.5 × 8.5 □、8 × 13 □、8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8K □、16K □、16K □、12 × 18 □、A3W □、B4W □、A4W □、A4W □、B5W □、A5W □、12 × 18W □、11 × 17W □、8.5 × 11W □、8.5 × 11W □、5.5 × 8.5W □、不定形、SRA3 □、SRA4 □、9 × 11 □

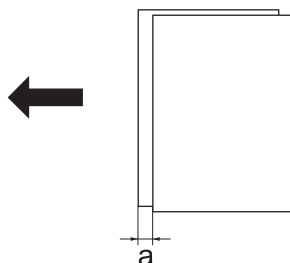
重要

[全体] で数値を入力すると、すべての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値＋[全体] の入力値が設定量になります。



- 1 機械状態画面の[調整]を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[01 平とじ機（メイン）調整]、[05 巻き戻しパドル下降量調整] を順に押します。
巻き戻しパドル下降量調整画面が表示されます。
- 3 [▲] または [▼] を押して、調整したいサイズボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。

- 5 手順 3 で選択したサイズ of 用紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に「ステープル」が選択されます。設定部数は、自動的に 2 部に設定されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 メイントレイに排紙された用紙のズレ a を確認します。
排紙された用紙からパドルの巻き戻しズレを確認し、調整量の目安とします。
規格値： $a = \pm 1 \text{ mm}$

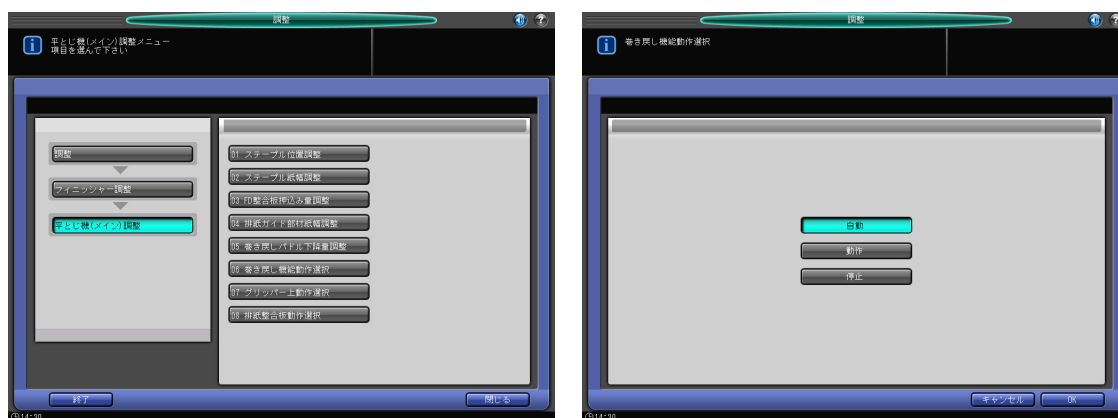


- 8 「閉じる」を押して、巻き戻しパドル下降量調整画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
→ 調整範囲：(小) - 10 ~ 10 (大) (1 ステップ = 0.2 mm)
→ [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 10 希望する結果が得られるまで、手順 4 ~ 手順 9 を繰り返します。
- 11 「前画面」を押して、平とじ機 (メイン) 調整メニュー画面にもどります。

5.3.6 [01 平とじ機 (メイン) 調整] - [06 巻き戻し機能動作選択]

メイントレイ排紙口の巻戻しパドルの動作を選択します。

調整対象：自動、動作、停止



- 1 機械状態画面の「調整」を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[01 平とじ機 (メイン) 調整]、[06 巻き戻し機能動作選択] を順に押します。
巻き戻し機能動作選択画面が表示されます。
- 3 巻戻しパドルの動作として、「自動」、「動作」、「停止」のいずれかを選択します。
- 4 「OK」を押して、平とじ機 (メイン) 調整メニュー画面にもどります。

5.3.7 [01 平とじ機 (メイン) 調整] – [07 グリッパ上動作選択]

メイントレイ排紙口のグリッパ上の動作を選択します。



- 1 機械状態画面の[調整]を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[01 平とじ機 (メイン) 調整]、[07 グリッパ上動作選択] を順に押します。
グリッパ上動作選択画面が表示されます。
- 3 グリッパ上の動作として、[自動]、[動作]、[停止] のいずれかを選択します。
- 4 [OK] を押して、平とじ機 (メイン) 調整メニュー画面にもどります。

5.3.8 [01 平とじ機 (メイン) 調整] – [08 排紙整合板動作選択]

排紙された用紙を整合する排紙整合板の動作を選択します。



- 1 機械状態画面の[調整]を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[01 平とじ機 (メイン) 調整]、[08 排紙整合板動作選択] を順に押します。
排紙整合板動作選択画面が表示されます。
- 3 排紙整合板の動作として、[自動]、[動作]、[停止] のいずれかを選択します。
- 4 [OK] を押して、平とじ機 (メイン) 調整メニュー画面にもどります。

5.3.9 [02 平とじ機 (折り) 調整] – [01 中とじピッチ調整]

フィニッシャー FS-532 に装着されている中とじ機 SD-510 で中とじステープルしたときのステープル間隔を調整します。ステープル間隔が規格値から外れているときに調整します。

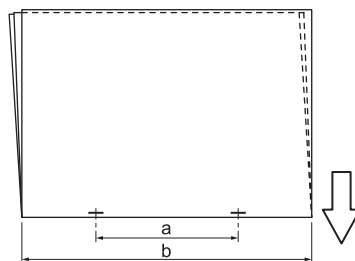
調整対象：全体、SRA3 □、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □、B5 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8 × 13 □、8K □、16K □、A3W □、B4W □、A4W □、B5W □、12 × 18W □、11 × 17W □、8.5 × 11W □、不定形 (中)、不定形 (大)

重要

[全体] で数値を入力すると、すべての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全体] の入力値が設定量になります。



- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
 - 2 [02 フィニッシャー調整]、[02 平とじ機 (折り) 調整]、[01 中とじピッチ調整] を順に押します。中とじピッチ調整画面が表示されます。
 - 3 [▲] または [▼] を押して、調整したいサイズボタンを選択します。
 - 4 [印刷モードへ] を押します。
 - 5 手順 3 で選択したサイズの用紙をそのトレイにセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に [中とじ] が選択されます。設定部数は、自動的に 2 部に設定されます。
 - 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 重要**
スタートする前に、折りトレイ先端ストッパーを開きます。
- 7 用紙サイズ b に対するステープル間の距離 a を確認します。
規格値： $a = b/2 \pm 2 \text{ mm}$



- 8 [閉じる] を押して、中とじピッチ調整画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
→ 調整範囲：(狭く) - 300 ~ 300 (広く) (1 ステップ = 0.1 mm)

→ [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。

10 [セツト] を押して、現在値を設定値に変更します。

11 希望する結果が得られるまで、手順 4 ~ 手順 10 を繰り返します。

用紙サイズによって調整範囲に制限があります。最小値は、ステープラーの移動可能範囲が制限条件となり、最大値は中とじ整合板とステープラーが干渉しないことが条件となります。

紙サイズ：最小調整範囲（最大調整範囲）

B5 □：設定不可（91 mm 固定）

B4 □：- 20 ~ + 20 mm（108.5 ~ 148.5 mm）

A4 □：- 14 ~ + 14 mm（91 ~ 119 mm）

A3 □：- 20 ~ + 16.5 mm（128.5 ~ 165 mm）

12 [前画面] を押して、平とじ機（折り）調整メニュー画面にもどります。

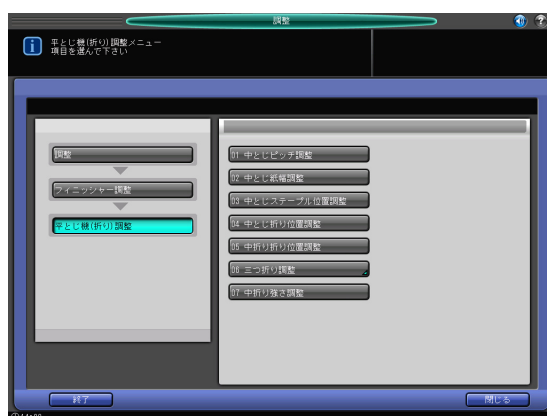
5.3.10 [02 平とじ機（折り）調整] - [02 中とじ紙幅調整]

フィニッシャー FS-532 に装着されている中とじ機 SD-510 で、中折り、重ね三つ折りの用紙束にズレがあるとき、ヨコ整合板の間隔を調整します。

調整対象：全体、SRA3 □、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □、B5 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8 × 13 □、8K □、16K □、A3W □、B4W □、A4W □、B5W □、12 × 18W □、11 × 17W □、8.5 × 11W □、不定形（中）、不定形（大）

重要

[全体] で数値を入力すると、すべての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全体] の入力値が設定量になります。



- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[02 平とじ機（折り）調整]、[02 中とじ紙幅調整] を順に押します。
中とじ紙幅調整画面が表示されます。
- 3 [▲] または [▼] を押して、調整したいサイズボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。
- 5 手順 3 で選択したサイズの用紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に [中とじ] が選択されます。設定部数は、自動的に 2 部に設定されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 紙束内にズレがないかを確認します。
a：用紙幅の設定値が実際の用紙幅よりも広いと、折りが不揃いになります。
b：用紙幅の設定値が実際の用紙幅よりも狭いと、折りが一方向にズレます。

- 8 [閉じる] を押して、中とじ紙幅調整画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲：(狭く) - 50 ~ 50 (広く) (1 ステップ = 0.1 mm)
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
 設定値が広すぎると紙束内のズレが大きくなることがあります。
- 10 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順 4 ~ 手順 10 を繰り返します。
- 12 [前画面] を押して、平とじ機 (折り) 調整メニュー画面にもどります。

5.3.11 [02 平とじ機 (折り) 調整] - [03 中とじステープル位置調整]

フィニッシャー FS-532 に装着されている中とじ機 SD-510 で、中とじステープルしたときの中折りの位置と、ステープル位置のズレを調整します。

調整対象：全体、SRA3 □、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □、B5 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8 × 13 □、8K □、16K □、A3W □、B4W □、A4W □、B5W □、12 × 18W □、11 × 17W □、8.5 × 11W □、不定形 (中)、不定形 (大)

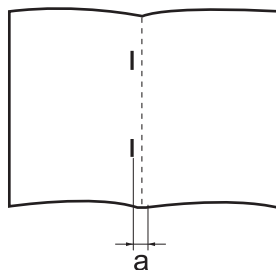
重要

[全体] で数値を入力すると、すべての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全体] の入力値が設定量になります。

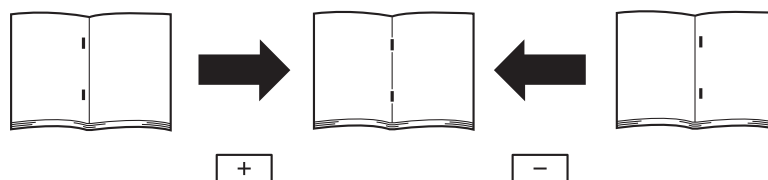


- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[02 平とじ機 (折り) 調整]、[03 中とじステープル位置調整] を順に押します。
中とじステープル位置調整画面が表示されます。
- 3 [▲] または [▼] を押して、調整したいサイズボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。
- 5 手順 3 で選択したサイズの用紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に [中とじ] が選択されます。設定部数は、自動的に 2 部に設定されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。中とじステープルされたテストパターンが出力されます。
- 7 中折りの位置と、中とじステープルの位置のズレ a を確認します。

規格値： $a = \pm 1 \text{ mm}$



- 8 [閉じる] を押して、中とじステーブル位置調整画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲：(短く) $-50 \sim 50$ (長く) (1 ステップ = 0.1 mm)
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。



- 10 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順 4 ～手順 10 を繰り返します。
- 12 [前画面] を押して、平とじ機 (折り) 調整メニュー画面にもどります。

5.3.12 [02 平とじ機 (折り) 調整] - [04 中とじ折り位置調整]

フィニッシャー FS-532 に装着されている中とじ機 SD-510 で、中とじしたときの中折りの位置を調整します。

中折り位置が規格値から外れているとき、調整します。

調整対象：全体、SRA3 □、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □、B5 □、 12×18 □、 11×17 □、 8.5×14 □、 8.5×11 □、 8.125×13.25 □、 8.5×13 □、 8.25×13 □、 8×13 □、8K □、16K □、A3W □、B4W □、A4W □、B5W □、 $12 \times 18W$ □、 $11 \times 17W$ □、 $8.5 \times 11W$ □、不定形 (中)、不定形 (大)

重要

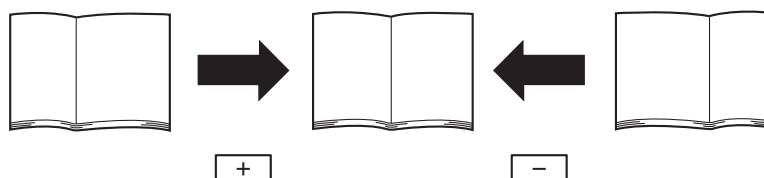
[全体] で数値を入力すると、すべての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全体] の入力値が設定量になります。



- 1 機械状態画面の[調整]を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[02 平とじ機（折り）調整]、[04 中とじ折り位置調整]を順に押します。
中とじ折り位置調整画面が表示されます。
- 3 [▲] または [▼] を押して、調整したいサイズボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。
- 5 手順 3 で選択したサイズ用の紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に[中とじ]が選択されます。設定部数は、自動的に 2 部に設定されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
重要
スタートする前に、折りトレイ先端ストッパーを開きます。
- 7 出力された用紙の端のズレ a を確認します。
規格値： $a = 1.5 \text{ mm}$ 以下



- 8 [閉じる] を押して、中とじ折り位置調整画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
→ 調整範囲：（短く） $-50 \sim 50$ （長く）（1 ステップ = 0.1 mm ）
→ [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
手順 7 の a 寸法は、調整値をプラス側にするると大きくなり、マイナス側にするると小さくなります。



- 10 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順 4 ～手順 10 を繰り返します。
- 12 [前画面] を押して、平とじ機（折り）調整メニュー画面にもどります。

5.3.13 [02 平とじ機（折り）調整] - [05 中折り折り位置調整]

フィニッシャー FS-532 に装着されている中とじ機 SD-510 で、重ね中折りしたときの中折りの位置を調整します。重ね中折りの中折り位置が規格値から外れているとき、調整します。

調整対象：全体、SRA3 □、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □、B5 □、 12×18 □、 11×17 □、 8.5×14 □、 8.5×11 □、 8.125×13.25 □、 8.5×13 □、 8.25×13 □、 8×13 □、8K □、16K □、A3W □、B4W □、A4W □、B5W □、 $12 \times 18W$ □、 $11 \times 17W$ □、 $8.5 \times 11W$ □、不定形（中）、不定形（大）

重要

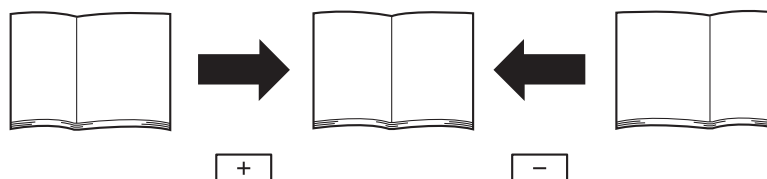
[全体] で数値を入力すると、すべての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全体] の入力値が設定量になります。



- 1 機械状態画面の[調整]を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[02 平とじ機(折り)調整]、[05 中折り折り位置調整]を順に押します。
中折り折り位置調整画面が表示されます。
- 3 [▲] または [▼] を押して、調整したいサイズボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。
- 5 手順3で選択したサイズの下紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に[重ね中折り]が選択されます。設定部数は、自動的に2部に設定されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
重要
スタートする前に、折りトレイ先端ストッパーを開きます。
- 7 出力された用紙の端のズレ a を確認します。
規格値： $a = 1.5 \text{ mm}$ 以下



- 8 [閉じる] を押して、中折り折り位置調整画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
→ 調整範囲：(短く) $-50 \sim 50$ (長く) (1ステップ = 0.1 mm)
→ [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。



- 10 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順4～手順10を繰り返します。

12 [前画面] を押して、平とじ機（折り）調整メニュー画面にもどります。

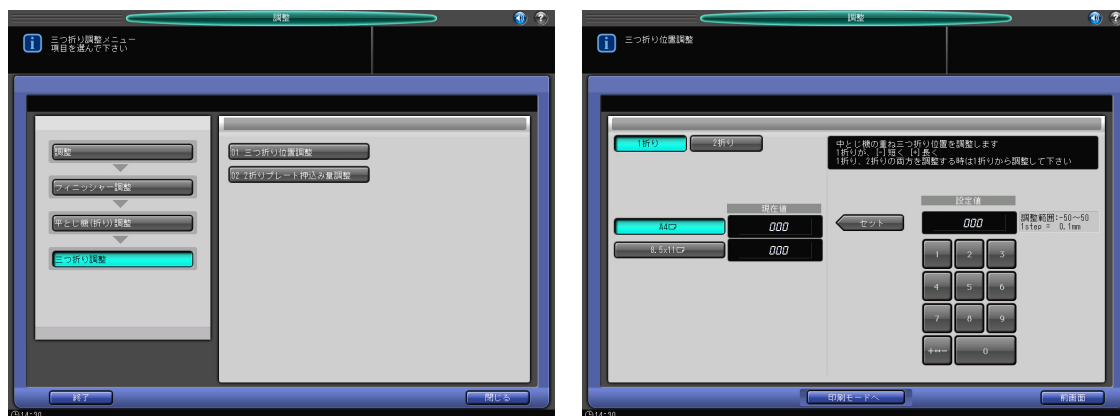
5.3.14 [02 平とじ機（折り）調整] – [06 三つ折り調整] – [01 三つ折り位置調整]

フィニッシャー FS-532 に装着されている中とじ機 SD-510 で、三つ折りしたときの 1 折りと 2 折りの位置を調整します。重ね中折りの中折り位置が規格値から外れているとき、調整します。

調整対象：A4 □、8.5 × 11 □

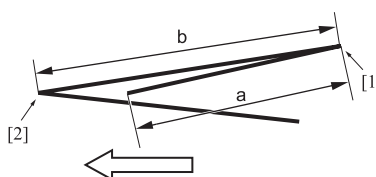
重要

1 折り、2 折りの両方を調整するときは、1 折りから調整します。1 折りの位置は用紙先端を、2 折りの位置は 1 折りの位置をそれぞれ基準とします。手順 7 の b 寸法は、1 折り、2 折りのどちらの位置を変えても変化します。



- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[02 平とじ機（折り）調整]、[06 三つ折り調整]、[01 三つ折り位置調整] を順に押します。
三つ折り位置調整画面が表示されます。
- 3 調整したいサイズボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。
- 5 手順 3 で選択したサイズの用紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に [重ね三つ折り] が選択されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 出力された用紙の a と b を確認します。

用紙サイズ	規格値	
	a	b
A4 □	95.0 ± 2.0 mm	101.0 ± 2.0 mm
8.5 × 11 □	89.4 ± 2.0 mm	95.0 ± 2.0 mm



- 8 [閉じる] を押して、三つ折り位置調整画面にもどります。

- 9 [1 折り] を選択します。
- 10 画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲 1 折り : (短く) - 50 ~ 50 (長く) (1 ステップ = 0.1 mm)、2 折り : (短く) - 50 ~ 50 (長く) (1 ステップ = 0.1 mm)
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
 - 手順 7 の a 寸法は、設定値をプラス側にすると大きくなり、マイナス側にすると小さくなります。
- 11 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 12 [2 折り] を選択します。
- 13 手順 10 を繰り返します。
 - 手順 7 の b 寸法は、設定値をプラス側にすると大きくなり、マイナス側にすると小さくなります。
- 14 希望する結果が得られるまで、手順 4 ~ 手順 13 を繰り返します。
- 15 [前画面] を押して、三つ折り調整メニュー画面にもどります。
- 16 [閉じる] を押して、平とじ機 (折り) 調整メニュー画面にもどります。

5.3.15 [02 平とじ機 (折り) 調整] - [06 三つ折り調整] - [02 2 折りプレート押込み量調整]

フィニッシャー FS-532 に装着されている中とじ機 SD-510 で、三つ折りしたときの 2 折りプレートの押込み量を調整します。2 折りの束ずれが大きい時に押込み量を深くします。

調整対象 : A4 □、8.5 × 11 □

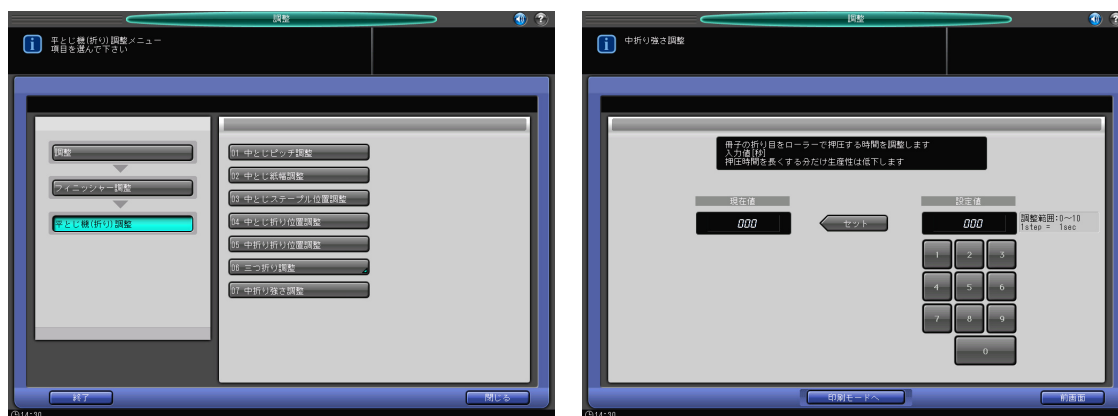


- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[02 平とじ機 (折り) 調整]、[06 三つ折り調整]、[02 2 折りプレート押込み量調整] を順に押します。
2 折りプレート押し込み量調整画面が表示されます。
- 3 調整したいサイズボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。
- 5 手順 3 で選択したサイズの用紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に [重ね三つ折り] が選択されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 出力された用紙の第 2 折りの束ズレを確認します。
- 8 [閉じる] を押して、2 折りプレート押し込み量調整画面にもどります。

- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
 - 調整範囲：(浅く) - 50 ~ 50 (深く) (1 ステップ = 0.1 mm)
 - 束ズレが大きいときは、押込み量を深くします。
 - ペタ画像の重ね折りで、表紙と 2 枚目以降の 2 折り位置がずれるときは、押込み量を深くします。
 - 薄紙で箱折りが発生するときは、押込み量を深くします。
- 10 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順 4 ~ 手順 10 を繰り返します。
- 12 [前画面] を押して、三つ折り調整メニュー画面にもどります。
- 13 [閉じる] を押して、平とじ機 (折り) 調整メニュー画面にもどります。

5.3.16 [02 平とじ機 (折り) 調整] - [07 中折り強さ調整]

フィニッシャー FS-532 に装着されている中とじ機 SD-510 で、中とじ、重ね中折り、または重ね三つ折りしたときの冊子の折り目をローラーで押圧する時間を調整します。入力値は秒数を示します。押圧時間を長くすると、冊子の折りは強くなりますが生産性は低下します。



- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[02 平とじ機 (折り) 調整]、[07 中折り強さ調整] を順に押します。中折り強さ調整画面が表示されます。
- 3 [印刷モードへ] を押します。
- 4 任意のトレイに A3 □ をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に [中とじ] が選択されます。設定部数は、自動的に 2 部に設定されます。
- 5 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 6 出力紙の折りが弱くないか確認します。
- 7 [閉じる] を押して、中折り強さ調整画面にもどります。
- 8 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲：0 ~ 10 (1 ステップ = 1 秒)
- 9 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 10 希望する結果が得られるまで、手順 4 ~ 手順 9 を繰り返します。
- 11 [前画面] を押して、平とじ機 (折り) 調整メニュー画面にもどります。

5.3.17 [03 平とじ機 (パンチ) 調整] – [01 タテ位置調整 (通紙交差方向)]

フィニッシャー FS-532 に装着されているパンチキット PK-522 でパンチ出力したとき、出力された用紙のセンターとパンチ穴中央のズレを調整します。

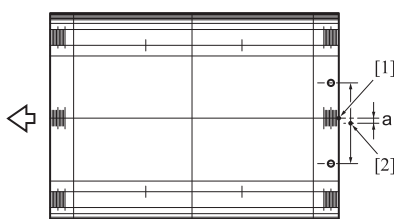
調整対象：全体、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □、A4 ▢、B5 ▢、A5 ▢、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、8.5 × 11 ▢、8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8 × 13 □、8K □、16K ▢、5.5 × 8.5 ▢、16K □、9 × 11 ▢

重要

[全体] で数値を入力すると、すべての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全体] の入力値が設定量になります。



- 1 機械状態画面の[調整]を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[03 平とじ機 (パンチ) 調整]、[01 タテ位置調整 (通紙交差方向)] を順に押します。
パンチのタテ位置調整 (通紙交差方向) 画面が表示されます。
- 3 [▲] または [▼] を押して、調整したいサイズボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。
- 5 手順3で選択したサイズ of 用紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に[パンチ]が選択されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 出力された用紙のセンターとパンチ穴中央のズレ a を確認します。
規格値： $a = 0 \pm 1 \text{ mm}$



[1] 用紙の中心 [2] パンチ穴の中心

- 8 [閉じる] を押して、パンチのタテ位置調整 (通紙交差方向) 画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
→ 調整範囲：(手前方向へ) - 50 ~ 50 (奥方向へ) (1 ステップ = 0.1 mm)
→ [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。

- 10 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順 4 ～手順 10 を繰り返します。
- 12 [前画面] を押して、平とじ機 (パンチ) 調整メニュー画面にもどります。

5.3.18 [03 平とじ機 (パンチ) 調整] – [02 ヨコ位置調整 (通紙方向)]

フィニッシャー FS-532 に装着されているパンチキット PK-522 でパンチ出力したとき、出力された用紙の端とパンチ穴中央までの距離を調整します。

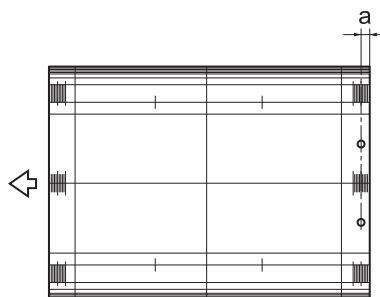
調整対象：全体、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □、A4 □、B5 □、A5 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、8.5 × 11 □、8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8 × 13 □、8K □、16K □、5.5 × 8.5 □、16K □、9 × 11 □

重要

[全体] で数値を入力すると、すべての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全体] の入力値が設定量になります。



- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[03 平とじ機 (パンチ) 調整]、[02 ヨコ位置調整 (通紙方向)] を順に押します。
パンチのヨコ位置調整 (通紙方向) 画面が表示されます。
- 3 [▲] または [▼] を押して、調整したいサイズボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。
- 5 手順 3 で選択したサイズの用紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に [パンチ] が選択されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 出力された用紙の端とパンチ穴中央までの距離 a を確認します。
2 穴の規格値： $a = 10.5 \pm 5 \text{ mm}$
3 穴の規格値： $a = 9.5 \pm 5 \text{ mm}$
4 穴の規格値： $a = 9.5 \pm 5 \text{ mm}$



- 8 [閉じる] を押して、パンチのヨコ位置調整（通紙方向）画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲：穴位置が用紙端部に（近づく方向へ）－50～50（離れる方向へ）（1ステップ＝0.1mm）
 - [+ <-> -] で数値のプラス／マイナスを選択します。
- 10 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順4～手順10を繰り返します。
- 12 [前画面] を押して、平とじ機（パンチ）調整メニュー画面にもどります。

5.3.19 [03 平とじ機（パンチ）調整] – [03 レジスト調整]

フィニッシャー FS-532 に装着されているパンチキット PK-522 でパンチ出力して、パンチ位置が傾いているとき、レジスト量を調整します。

調整対象：反転排紙、ADU 給紙



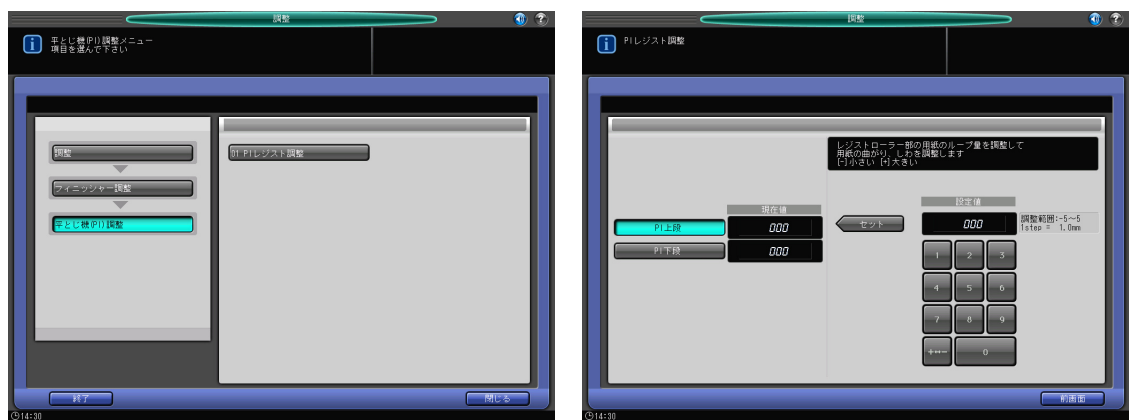
- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[03 平とじ機（パンチ）調整]、[03 レジスト調整] を順に押します。パンチレジスト調整画面が表示されます。
- 3 [反転排紙]、[ADU 給紙] のいずれかのボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。
- 5 任意のトレイに A3 □ をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に [パンチ] が選択されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 パンチ位置が傾いているかどうかを確認します。

- 8 [閉じる] を押して、パンチレジスト調整画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲：(小さい) - 50 ~ 50 (大きい) (1 ステップ = 0.1 mm)
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 10 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順 4 ~ 手順 10 を繰り返します。
- 12 [前画面] を押して、平とじ機 (パンチ) 調整メニュー画面にもどります。

5.3.20 [04 平とじ機 (PI) 調整] - [01 PI レジスト調整]

フィニッシャー FS-532 に装着されているポストインサーター PI-502 の上段トレイまたは下段トレイからの給紙で、用紙曲り、しわ、紙づまりなどがあつたときに調整します。

調整対象：PI 上段、PI 下段








- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[04 平とじ機 (PI) 調整]、[01 PI レジスト調整] を順に押します。
PI レジスト調整画面が表示されます。
- 3 [PI 上段] または [PI 下段] を選択します。
- 4 手順 3 で選択したトレイに用紙をセットします。
- 5 任意のモードを選択し、ポストインサーター操作パネルのスタート/ストップボタンを押します。メイントレイに出力されます。
- 6 用紙曲り、しわがないか、また、紙づまりが起らないか確認します。
- 7 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲：(小さい) - 5 ~ 5 (大きい) (1 ステップ = 1.0 mm)
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 8 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 9 希望する結果が得られるまで、手順 3 ~ 手順 8 を繰り返します。
- 10 [前画面] を押して、平とじ機 (PI) 調整メニュー画面にもどります。

5.4 [02 フィニッシャー調整] (Z 折りユニット ZU-608)

5.4.1 [05 Z 折りユニット調整] – [01 Z 折り位置調整]

フィニッシャー FS-532 に装着されている Z 折りユニット ZU-608 で出力した Z 折り時の折り位置を調整します。

調整対象：全体、A3 、B4 、11 × 17 、8.5 × 14 、8K 

重要

1 折り、2 折りの両方を調整するときは、1 折りから調整します。

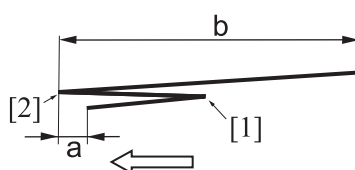
1 折りの位置は用紙先端が基準になり、2 折りの位置は 1 折り位置が基準になりますので、手順 8 の b 寸法は 1 折り、2 折りのどちらの位置を変えても変化します。

重要

[全体] で数値を入力すると、すべての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全体] の入力値が設定量になります。



- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[05 Z 折りユニット調整]、[01 Z 折り位置調整] を順に押します。
Z 折り位置調整画面が表示されます。
- 3 Z 折り位置を変更する用紙のサイズのボタンを選択します。
- 4 [1 折り]、または [2 折り] を選択します。1 折り、2 折りの両方を調整するときは、[1 折り] を選択します。
- 5 [印刷モードへ] を押します。
- 6 手順 3 で選択したトレイに用紙をセットし、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に [Z 折り] が選択されます。
- 7 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 8 出力された用紙の a と b を確認します。



[1] 1 折り [2] 2 折り

用紙サイズ	規格値	
	a	b
A3 □	4 ± 2 mm	209 mm 以下
B4 □	4 ± 2 mm	181 mm 以下
11 × 17 □	4 ± 2 mm	215 mm 以下
8.5 × 14 □	— (2 つ折りだけ)	241.7 mm 以下
8K □	4 ± 2 mm	194 mm 以下

- 9 [閉じる] を押して、Z 折り位置調整画面にもどります。
- 10 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲：(短く) - 128 ~ 127 (長く) (1 ステップ = 0.1 mm)
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 11 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 12 希望する結果が得られるまで、手順 4 ~ 手順 11 を繰り返します。
- 13 [前画面] を押して、Z 折りユニットメニュー画面にもどります。

5.4.2 [05 Z 折りユニット調整] - [02パンチ調整] - [01 タテ位置調整 (通紙交差方向)]

フィニッシャー FS-532 に装着されている Z 折りユニット ZU-608 でパンチ出力したパンチ穴のタテ位置 (通紙交差方向) を調整します。

調整対象：全体、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □、A4 □、B5 □、B5 □、A5 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、8.5 × 11 □、5.5 × 8.5 □、5.5 × 8.5 □、8.125 × 13.25 □、8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8 × 13 □、8K □、16K □、16K □、9 × 11 □

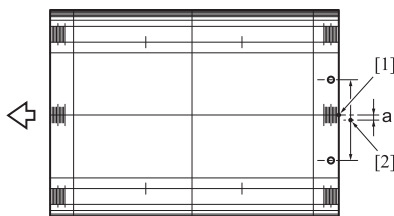
重要

[全体] で数値を入力すると、すべての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全体] の入力値が設定量になります。



- 1 機械状態画面の [調整] を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[05 Z 折りユニット調整]、[02 パンチ調整]、[01 タテ位置調整 (通紙交差方向)] を順に押します。
パンチのタテ位置調整 (通紙交差方向) 画面が表示されます。
- 3 [▲] または [▼] を押して、調整したいサイズボタンを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。

- 5 手順 3 で選択したサイズ of 用紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に「Z 折り」と「パンチ」が選択されます。
- 6 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 7 出力された用紙のセンターとパンチ穴中央のズレ a を確認します。
規格値： $a = 0 \pm 2 \text{ mm}$

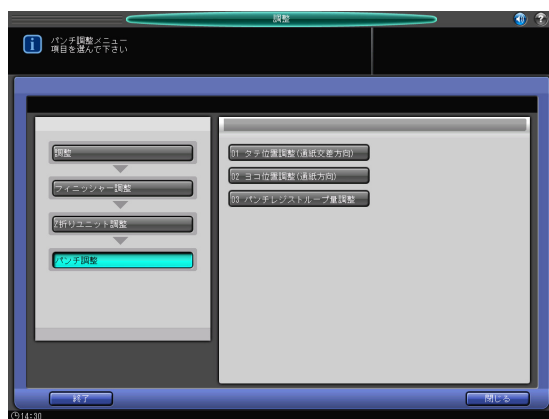


[1] 用紙の中心 [2] パンチ穴の中心

- 8 「閉じる」を押して、パンチのタテ位置調整（通紙交差方向）画面にもどります。
- 9 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
→ 調整範囲：（手前方向へ） $-50 \sim 50$ （奥方向へ）（1 ステップ = 0.1 mm ）
→ 「+ <-> -」で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 10 「セット」を押して、現在値を設定値に変更します。
- 11 希望する結果が得られるまで、手順 4 ～手順 10 を繰り返します。
- 12 「前画面」を押して、パンチ調整メニュー画面にもどります。

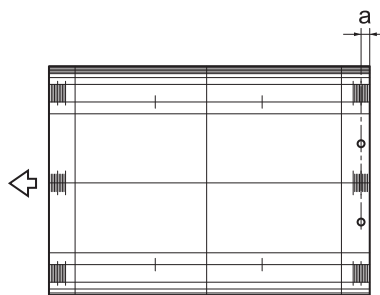
5.4.3 [05 Z 折りユニット調整] - [02 パンチ調整] - [02 ヨコ位置調整（通紙方向）]

フィニッシャー FS-532 に装着されている Z 折りユニット ZU-608 でパンチ出力したパンチ穴のヨコ位置（通紙方向）を調整します。



- 1 機械状態画面の「調整」を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[05 Z 折りユニット調整]、[02 パンチ調整]、[02 ヨコ位置調整（通紙方向）] を順に押します。
パンチのヨコ位置調整（通紙方向）画面が表示されます。
- 3 「印刷モードへ」を押します。

- 4 任意のトレイに A3 用紙をセットして、そのトレイボタンを選択します。出力設定は、自動的に「Z 折り」と「パンチ」が選択されます。
- 5 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。
- 6 出力された用紙の端とパンチ穴中央までの距離 a を確認します。
 2 穴 / 4 穴の規格値 : $a = 10.5 \pm 5 \text{ mm}$
 3 穴の規格値 : $a = 9.5 \pm 5 \text{ mm}$

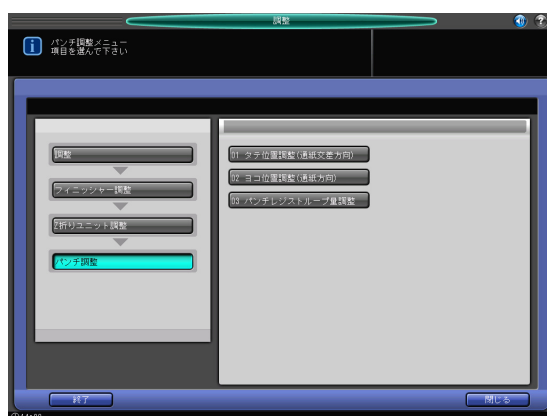


- 7 「閉じる」を押して、パンチのヨコ位置調整（通紙方向）画面にもどります。
- 8 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 → 調整範囲：穴位置が用紙端部に（近づく方向へ）- 50 ~ 50（離れる方向へ）（1 ステップ = 0.1 mm）
 → 「+ <-> -」で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 9 「セット」を押して、現在値を設定値に変更します。
- 10 希望する結果が得られるまで、手順 4 ~ 手順 9 を繰り返します。
- 11 「前画面」を押して、パンチ調整メニュー画面にもどります。


5.4.4 [05 Z 折りユニット調整] - [02 パンチ調整] - [03 パンチレジストループ量調整]

フィニッシャー FS-532 に装着されている Z 折りユニット ZU-608 でパンチ出力して、パンチ位置が傾いているとき、レジストループ量を調整して、用紙の曲り、しわを調整します。

調整対象：反転排紙、ADU 給紙

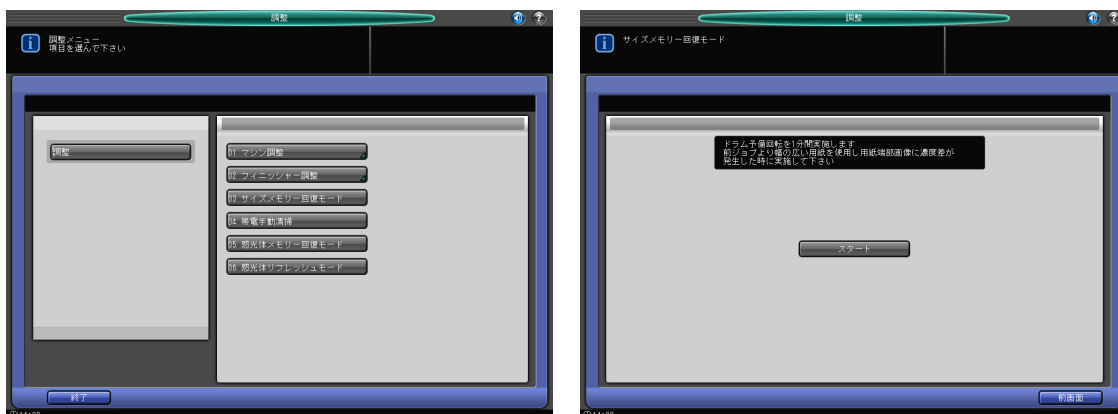


- 1 機械状態画面の「調整」を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [02 フィニッシャー調整]、[05 Z 折りユニット調整]、[02 パンチ調整]、[03 パンチレジストループ量調整] を順に押します。
 パンチレジストループ量調整画面が表示されます。

- 3 [印刷モードへ] を押します。
- 4 任意のトレイに A3  をセットして、そのトレイボタンを選択します。
- 5 操作パネルのスタートを押します。テストパターンが出力されます。出力設定は、自動的に [Z 折り] と [パンチ] が選択されます。
- 6 パンチ位置が傾いているかどうかを確認します。
- 7 [閉じる] を押して、パンチレジストループ量調整画面にもどります。
- 8 調整が必要な場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで設定値を入力します。
 - 調整範囲：(小さい) - 20 ~ 20 (大きい) (1 ステップ = 0.8 mm)
 - [+ <-> -] で数値のプラス/マイナスを選択します。
- 9 [セット] を押して、現在値を設定値に変更します。
- 10 希望する結果が得られるまで、手順 4 ~ 手順 9 を繰り返します。
- 11 [前画面] を押して、パンチ調整メニュー画面にもどります。

5.5 [03 サイズメモリー回復モード]

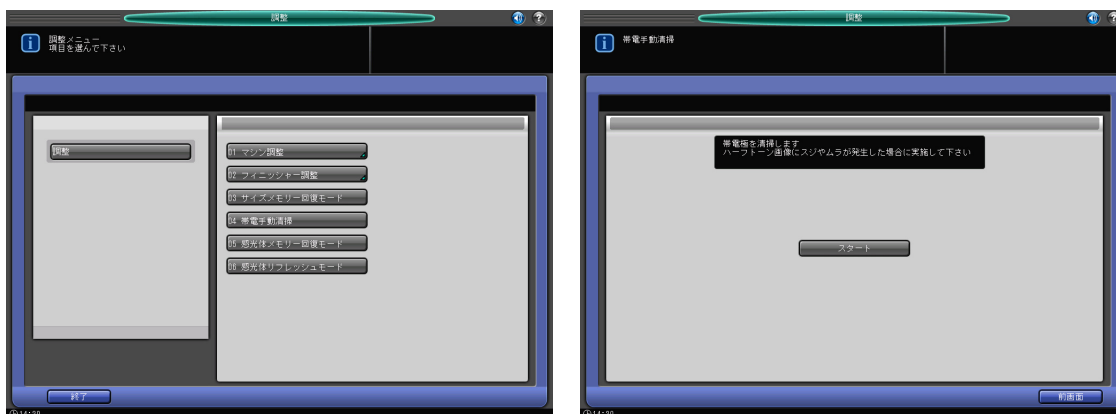
ドラム予備回転を 1 分間実施します。前ジョブより幅の広い用紙を使用し、用紙端部画像に濃度差が発生したときに実施します。



- 1 機械状態画面の「調整」を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [03 サイズメモリー回復モード] を押します。
サイズメモリー回復モード画面が表示されます。
- 3 [スタート] を押します。
- 4 [前画面] を押して、調整メニュー画面にもどります。

5.6 [04 帯電手動清掃]

帯電極を清掃します。ハーフトーン画像にスジやムラが発生したときに実施します。



- 1 機械状態画面の「調整」を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 「04 帯電手動清掃」を押します。
帯電手動清掃画面が表示されます。
- 3 「スタート」を押します。
- 4 「前画面」を押して、調整メニュー画面にもどります。

5.7 [05 感光体メモリー回復モード]

ドラム予備回転を 3 分間実施します。画像パターンに起因した濃度ムラが発生した時に実施します。



- 1 機械状態画面の「調整」を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [05 感光体メモリー回復モード] を押します。
感光体メモリー回復モード画面が表示されます。
- 3 [スタート] を押します。
- 4 [前画面] を押して、調整メニュー画面にもどります。

5.8 [06 感光体リフレッシュモード]

感光体を回転して、表面をリフレッシュします。3 分間行います。高湿度下で画像ボケが発生した時などに実施します。



- 1 機械状態画面の「調整」を押して、調整メニュー画面を表示します。
- 2 [06 感光体リフレッシュモード] を押します。
感光体リフレッシュモード画面が表示されます。
- 3 [スタート] を押します。
- 4 [前画面] を押して、調整メニュー画面にもどります。



コントローラー設定

6 コントローラー設定

6.1 コントローラー設定の概要

機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押すと、コントローラー設定画面が表示されます。



各種設定やジョブの確認ができます。

- 1 画面の〔機械状態〕タブを押して、機械状態画面を表示します。
- 2 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。
コントローラー設定画面が表示されます。
- 3 必要に応じて、各種設定や確認を行います。
 - [OK] を押すと、設定した内容を確定します。[キャンセル] を押すと、もとの設定にもどります。
 - [前画面] を押すと、1 つ前の画面にもどります。
- 4 すべての設定が終わったら、[閉じる] を押して、機械状態画面にもどります。

6.1.1 コントローラー設定一覧

設定項目	説明
レポートタイプ	[設定情報リスト]、[PS デモページ]、[PCL フォントリスト]、[PS フォントリスト] を出力します。詳しくは [ユーザーズガイド プリンター編] をごらんください。
ダイレクトプリント設定	ダイレクトプリントの [基本設定] など、さまざまな出力設定ができます。詳しくは [ユーザーズガイド プリンター編] をごらんください。
ポート別出力設定	デフォルトポートのデフォルト出力設定やポートごとのデフォルト出力設定番号を割り当てます。詳しくは [ユーザーズガイド プリンター編] をごらんください。
スプール設定	ジョブスプールの設定として、[自動]、[許可]、[禁止] から指定します。詳しくは [ユーザーズガイド プリンター編] をごらんください。
I/F タイムアウト	送信タイムアウトまでの時間を設定できます。詳しくは [ユーザーズガイド プリンター編] をごらんください。
Plug-in Form Password	PS Plug-in ドライバーのフォーム機能用パスワードを入力します。詳しくは [ユーザーズガイド プリンター編] をごらんください。

設定項目	説明
スキャン設定	ネットワークスキャンに関する設定をします。詳しくは〔ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編〕をごらんください。
管理者設定	管理者設定として、メモリースイッチ、デフォルト設定を設定します。詳しくは 6-4 ページをごらんください。

6.2 [08 管理者設定]

機械の管理に関する設定をします。

6.2.1 管理者設定画面の概要

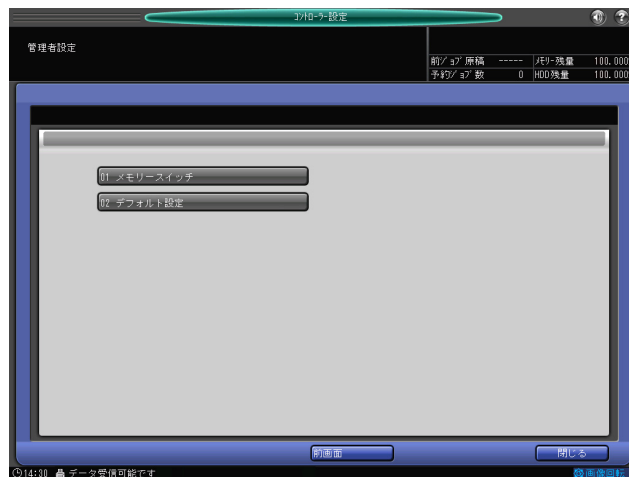
- 1 [08 管理者設定] を押します。



管理者パスワードの入力画面が表示されます。

- 2 管理者パスワードを入力して、[OK] を押します。
管理者設定画面が表示されます。

- 3 項目を選択して、任意に設定します。



- 4 設定が終わったら、[閉じる] を押して機械状態画面にもどります。

6.2.2 [08 管理者設定] – [01 メモリスイッチ]

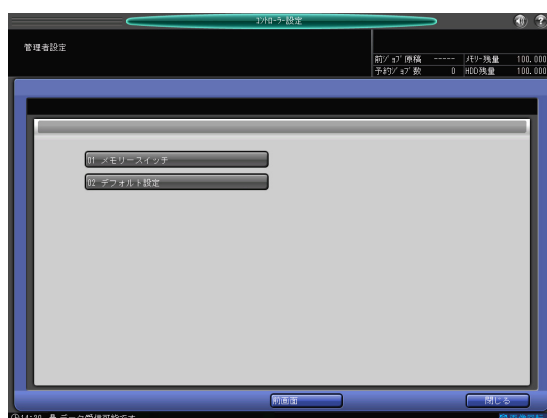
スイッチ番号の ON/OFF で、設定内容を選択します。次の表で設定内容を確認して、任意のスイッチ番号を ON/OFF してください。

スイッチ 番号	説明	選択内容
1	PDF ファイルの MediaBox と CropBox の値が異なるデータを PDF ダイレクトプリントするとき、どちらの値を基準に用紙サイズを判別するかを選択します。	0 : MediaBox の値を使って用紙サイズを判別する 1 : CropBox の値を使って用紙サイズを判別する
2	複数の印刷ジョブを 1 つのファイルにまとめて LPR コマンドで印刷したとき、LPR 送信エラーが発生しないで、印刷を続けるようにするか、しないかを選択します。	0 : 印刷を中断する 1 : 印刷を継続する 重要 1 (ON) を選択すると、エラーが発生しないで印刷できますが、プリント速度が低下することがあります。 重要 メモリースイッチを変更したときは、設定を確定するため、副電源スイッチを OFF/ON します。
3	サポートしていないファイルを出力したとき、エラーページを印刷するか、しないかを選択します。	0 : エラーページを印刷しない 1 : エラーページを印刷する 重要 1 (ON) を選択しても、PostScript エラーのときは、エラーページを印刷しません。
4	複数の PostScript データを 1 ファイルにまとめてネットワーク経由で出力するとき、ジョブを区切って出力するか、しないかを選択します。	0 : ジョブを区切らないで出力する 1 : Ctrl+D をジョブ区切りと判断し、複数のジョブとして出力する 重要 フォントデータや EPS データを含むジョブを出力すると、エラーページが出力されることがあります。
5	EPS データを含む PostScript データのジョブを USB 経由で出力するか、しないかを選択します。	0 : 出力しない 1 : 出力する 重要 0 (OFF) を選択したとき、エラーメッセージが出力されることがあります。 1 (ON) を選択しても、USB 送信がタイムアウトするまで、ジョブは終了しません。
6	カラー画像を PostScript ドライバーで出力したとき、ハーフトーン部分が一部黒く塗りつぶれないよう再現を改善するか、しないかを選択します。	0 : ハーフトーンの再現を改善しない 1 : ハーフトーンの再現を改善する 重要 1 (ON) を選択すると、エラーが発生しないで印刷できますが、プリント速度が低下することがあります。カラー/モノクロにかかわらず、プリント速度が低下することがあります。 重要 メモリースイッチを変更したときは、設定を確定するため、副電源スイッチを OFF/ON します。
7	複数のジョブを 1 ファイルにまとめて出力するとき、PJL JOBNAME と PJL EOJ NAME コマンドでのくくりをジョブ区切りと判断し、複数のジョブとして出力するか、しないかを選択します。	0 : ジョブを区切らないで出力する 1 : PJL JOBNAME と PJL EOJ NAME コマンドをジョブ区切りと判断し、複数のジョブとして出力する

スイッチ 番号	説明	選択内容
8/9	TIFF ファイルをダイレクトプリントするとき、定形サイズとして自動検知する用紙サイズのしきい値を変更します。	スイッチ番号 8 と 9 の OFF (0) / ON (1) を下記のように組合わせて、しきい値を変更します。 ① 8/9 = 0/0 : + 0.9 mm ~ - 10.0 mm ② 8/9 = 1/0 : + 0.9 mm ~ - 4.0 mm ③ 8/9 = 0/1 : + 0.9 mm ~ - 0.9 mm 重要 ① > ② > ③ の順で閾値の範囲が狭くなり、定形サイズと不定形サイズの区別がしやすくなります。
11	プリンタードライバーからの給紙トレイ設定を使用するか、本機の給紙トレイ設定の [自動] を常に設定するかを選択します。	0 : プリンタードライバーからの給紙トレイ設定を使用する 1 : 本機の給紙トレイ設定の [自動] を常に設定する
12	本機のジョブリスト画面に、本機またはプリンタードライバーで設定したジョブ名を表示するか、LPR コマンドで指定したファイル名を表示するかを選択します。	0 : 本機またはプリンタードライバーで設定したジョブ名を表示する 1 : LPR コマンドで指定したファイル名を表示する
13	Font Management Utility のフォントリストを表示したとき、RAM フォントのフォント種別を [HDD] と表示するか、[RAM] と表示するかを選択します。	0 : [HDD] と表示する 1 : [RAM] と表示する 重要 1 (ON) を選択すると、PostScript フォントのインストールに時間がかかることがあります。
14	PDF ダイレクトプリントで 8.5 × 11T □ サイズの用紙に出力する指示を出したとき、本機側からは、9 × 11 □ サイズの用紙に出力するように指示が出ます。9 × 11 □ サイズで出力するか、8.5 × 11T □ サイズで出力するかを選択します。	0 : 9 × 11 □ サイズで出力する 1 : 8.5 × 11T □ サイズで出力する
15	Mac OS X 10.5 以降で、表紙挿入を設定して、複数部数を指定して出力しても、1 部だけ出力します。指定通りの部数で出力するか、しないかを選択します。	0 : 1 部だけ出力する 1 : 指定どおりの部数で出力する 重要 1 (ON) を選択すると、フォントデータや EPS データを含むジョブを出力すると、エラーページが出力されることがあります。
16	LPR コマンドで -J を指定したとき、バナーページを印字するか、しないかを選択します。	0 : 印字しない 1 : 印字する 重要 1 (ON) を選択すると、通常のバナーなし印刷でも、バナーページが印字されることがあります。
17	PPML データで、レイアウトした画像データが実際のサイズと異なる場合があります。画像サイズを PPML ファイルに記述されたソース要素の Dimensions 属性で決定するか、実際の画像サイズや解像度の情報で決定するかを選択します。	0 : PPML ファイルに記述されたソース要素の Dimensions 属性で画像サイズを決定する 1 : 実際の画像サイズや解像度の情報で画像サイズを決定する

スイッチ番号	説明	選択内容
18/19/20/21	PPML データで、UTF-8 以外の文字コードで記述されているとき、ジョブのフォルダー名やファイル名の文字化けを解消します。	スイッチ番号 18/19/20/21 の OFF (0) / ON (1) を下記のように組合わせて、文字コードを変更します。 18/19/20/21 = 0/0/0/0 : Shift JIS (J Windows 向け) 18/19/20/21 = 1/0/0/0 : windows-1252 (FIGS WindowsOS 向け) 18/19/20/21 = 0/1/0/0 : x-mswin-936 (中国語 WindowsOS 向け) 18/19/20/21 = 0/0/1/0 : x-MS950-HKSCS (台湾語 WindowsOS 向け) 18/19/20/21 = 1/1/0/0 : x-windows-949 (韓国語 WindowsOS 向け)
22	PCL5e で両面印刷するとき、トレイ設定によってウラ面の白紙ページを削除するか、しないかを選択します。	0 : 白紙ページを挿入しない 1 : 白紙ページを挿入する
23	サイズが微妙に違うページが複数混在するファイルを、PageScope Direct Print を使って印刷するとき、出力サイズを定形またはカスタムに切替えます。	0 : 定形サイズとして出力 1 : カスタムサイズとして出力
24	プリンタードライバーを使用しないで、特定のアプリケーションから印刷するとき、デフォルトで保留ジョブとして出力するか、しないかを選択します。	0 : 保留ジョブとして出力しない 1 : 保留ジョブとして出力する
25	混載原稿 (A4 □/□) を PCL ドライバーで出力したとき、PS ドライバーでの出力と同様に横置き原稿のと同じ位置が替わらないようにするか、しないかを選択します。	0 : PS ドライバーでの出力と違うと同じ位置で出力 1 : PS ドライバーでの出力と同じ同じ位置で出力
26	不定形の混載原稿を PS Plug-in ドライバーから印刷する際に、原稿サイズに合わせて本体の給紙トレイを切替えるか、切替えないかを選択します。	0 : 切替えない 1 : 切替える
27	PDF を PostScript に変換するとき、複雑な透過オブジェクトなどを正常に変換するために変換方式を切替えます。その切替えのタイミングを選択します。	0 : オブジェクトごとに変換する 1 : ページ全体で変換
28	PS ドライバーを使って印刷するとき、白紙ページの出力を抑制するか、しないかを選択します。	0 : 抑制しない (白紙ページを出力する) 1 : 抑制する (白紙ページを出力しない)
29	印刷データが最大印字領域を超える TIFF ダイレクト印刷をするとき、縮小して印刷するか、等倍かつセンタリングして印刷するか選択します。	0 : 縮小して印刷する 1 : 等倍かつセンタリングして印刷する
30	PS フォントを大量にダウンロードしているとき、PS フォントリストの印刷時間が長くなる場合があります。そのままフォントリストにダウンロードフォントのサンプル文字を出力するか、PS フォントリストの印刷速度を改善するため、フォント名だけ表示して PS フォントリストの印刷速度を改善するかを選択します。	0 : そのままフォントリストにダウンロードフォントのサンプル文字を出力する 1 : フォント名だけ表示して PS フォントリストの印刷速度を改善する
31	PDF ダイレクト印刷を使うとき、デバイスカラーを使用するか、使用しないかを選択します。	0 : 使用する 1 : 使用しない
32	Pagescope Direct Print を使って PDF/TIFF データを印刷するとき、原稿サイズで出力するか、指定した用紙サイズで出力するかを選択します。	0 : 原稿サイズで出力する 1 : 指定した用紙サイズで出力する

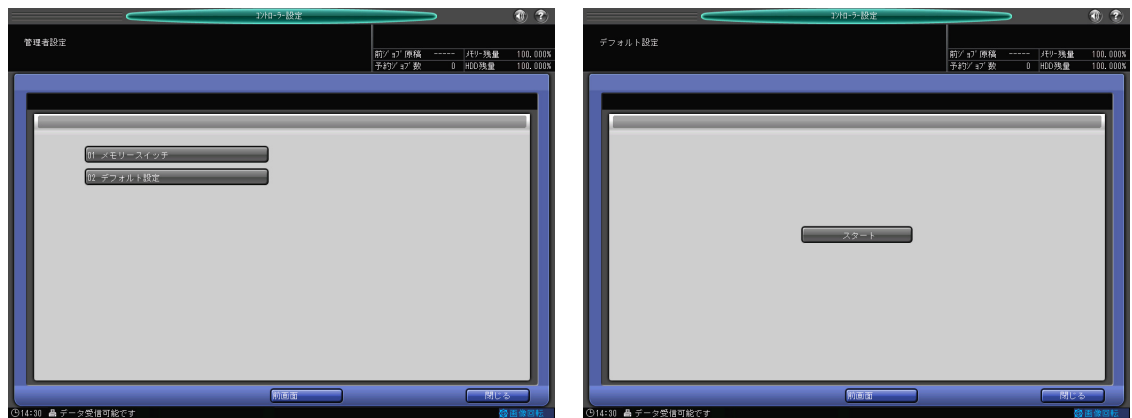
スイッチ番号	説明	選択内容
61	同一サブネット内で IPv6 + IPSec 通信を行うとき、ICMPv6 を IPSec から除外するか、ICMPv6 を除外しないで運用するかを選択します。	0 : ICMPv6 を除外する 1 : ICMPv6 を除外しない 重要 メモリースイッチを変更したときは、設定を確定するため、 副電源スイッチ を OFF/ON します。
62/63	PS Plug-in ドライバーを使用しないで、プリントジョブ完了後のステータス通知メールを送信する方法を選択します。	62/63 = 0/0 : 通知メールを送信しない 62/63 = 0/1 : 常に管理者アドレスへ通知メールを送信する 62/63 = 1/0 : エラー時のみ、管理者アドレスへ通知メールを送信する
64	PC 上の共有フォルダーを SMB ブラウジングするとき、サブフォルダーをチェックするかどうかを選択します。	0 : サブフォルダーをチェックしない 1 : サブフォルダーをチェックする
66	ActiveDirectory 認証使用時にはサーバーとの時刻同期が必要になるため、NTP 機能を有効にして自動時刻補正を行うことがあります。この自動時刻補正機能を有効にするか、無効にするかを選択します。	0 : 有効 1 : 無効 重要 メモリースイッチを変更したときは、設定を確定するため、 副電源スイッチ を OFF/ON します。
81	スキャン実行時に自動付与するファイル名の末尾を、連番（3 桁）にするか、秒（2 桁）にするかを選択します。	0 : 連番（3 桁） 1 : 秒（2 桁）



- 1 6-4 ページの操作をして、管理者設定画面を表示します。
- 2 [01 メモリースイッチ] を押します。
メモリースイッチ画面が表示されます。
- 3 [スイッチ番号 (1-100)] を押して、画面のテンキーでスイッチ番号を入力します。
→ 間違って入力したときは、続けて正しい番号を入力します。
- 4 [Off (0) / On (1)] を押して、画面のテンキーで [0] または [1] を入力して、手順 3 で選択したスイッチ番号の ON/OFF を選択します。
- 5 [設定] を押します。設定が確定します。
→ もとの設定にもどすときは、[リセット] を押します。
→ メモリースイッチの設定を続ける場合は、手順 3 ～手順 5 を繰り返します。
- 6 設定が終わったら、[前画面] を押します。
管理者設定画面にもどります。

6.2.3 [08 管理者設定] – [02 デフォルト設定]

コントローラー設定をデフォルトの設定にもどします。



- 1 6-4 ページの操作をして、管理者設定画面を表示します。
- 2 [02 デフォルト設定] を押します。
デフォルト設定画面が表示されます。
- 3 画面の [スタート] を押します。
- 4 [前画面] を押します。
管理者設定画面にもどります。



設定メニュー画面

7 設定メニュー画面

7.1 設定メニュー画面での設定の概要

操作パネルの設定メニュー／カウンターを押すと、設定メニュー画面が表示されます。

設定メニュー画面のうち、[01 環境設定] から [05 タッチパネル調整] は任意に設定できますが、[06 管理者設定] は、管理者パスワードを入力しなければ設定できないようにすることができます。

[06 管理者設定] の設定項目は、機械のパフォーマンスのほか、認証やセキュリティなどの機械の管理に関わる内容が含まれています。選任した管理者だけがこの設定を行うようにすることをおすすめします。

重要

管理者パスワードの設定は、サービス実施店にお問い合わせください。

7.1.1 設定メニュー画面を表示する

- 1 設定メニュー／カウンターを押します。

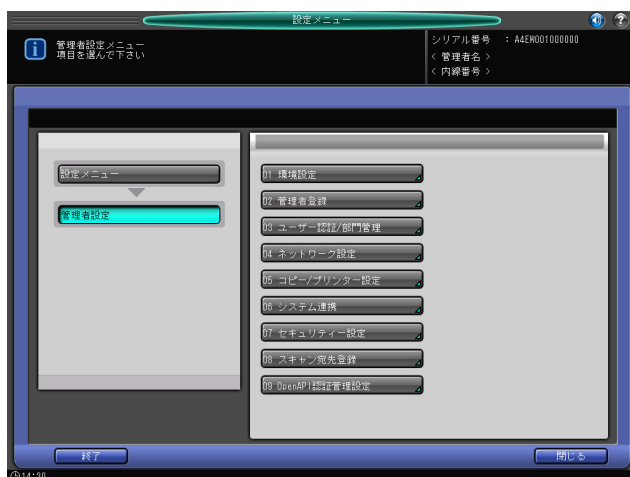


設定メニュー画面が表示されます。



[01 環境設定] から [05 タッチパネル調整] について、任意の項目を選んで設定します。
[06 管理者設定] を行う場合は手順 2 に進みます。

2 「06 管理者設定」を押します。



管理者設定メニュー画面が表示されます。

3 パスワード入力画面が表示されたときは、8桁の管理者パスワードを入力してから、「OK」を押します。

→ 管理者パスワードは、8文字の英数字を使用します。



管理者設定メニュー画面が表示されます。

4 各種の管理者設定をします。

5 「終了」を押します。

操作パネルの設定メニュー/カウンターを押す前の画面にもどります。

7.1.2 設定メニュー画面設定一覧

ユーザー設定

設定項目と説明	設定値（太字は初期値）	
01 環境設定		
01 言語設定 画面表示の言語および音声通知の言語を選択します。	画面内の表示言語： 日本語 、英語、簡体字中国語 音声通知時の言語： 日本語 、英語、 OFF	
02 単位系設定 画面に表示される数値単位を選択します。	用紙サイズ（長さ）単位： mm 、インチ（小数点）、インチ（分数） 坪量単位： g/m2 、kg（A 本判）、kg（B 本判）、kg（四六判）、kg（菊判）、lb（Bond）、lb（Book）、lb（Bristol）、lb（Cover）、lb（Index）、lb（Tag）	
03 操作／報知音設定		
01 音量設定 キー操作音および報知音／音声の ON/OFF の選択と、ON 選択時の音量を設定します。	キー操作音（ブザー）： ON 、OFF、1（小さい）～8（大きい） 報知音／音声（スピーカー）： ON 、OFF、1（小さい）～10（大きい）	
02 報知音項目別設定 報知音および音声の各設定をします。	リピート回数設定 報知音リピート回数： 1 回 、2 回、3 回 音声リピート回数： 1 回 、2 回、3 回 機械停止時の通知設定 紙づまり： 音声 、報知音、OFF 用紙切れ： 音声 、報知音、OFF 用紙不一致： 音声 、報知音、OFF トナー補給： 音声 、報知音、OFF サービスコール： 報知音 、OFF 排紙満タン： 報知音 、OFF その他の通知設定 ジョブ出力完了予告： 音声 、OFF ジョブの大きさ：3 分以上、 5 分以上 、10 分以上 ストップボタン受付： 音声 、OFF サンプル出力完了： 音声 、OFF フィニッシャー前扉警告： 音声 、OFF その他の報知音設定 システム起動時： 報知音 、OFF プリントジョブ受信時： 報知音 、OFF	
04 1SHOT メッセージ表示時間 タッチパネルに表示されるメッセージの表示時間を設定します。	3 秒 、5 秒	
05 デフォルト画面設定 副電源スイッチを ON にしたときや、オートリセット機能が働いたときに表示される画面を選択します。	機械状態 、ジョブリスト（予約／保留リスト）、ジョブリスト（ジョブスケジュール）、コピー	
06 オートリセット設定 本機を操作しなくなってから一定時間が経過すると、デフォルト画面として選択した画面にもどります。このときの時間を選択します。	OFF 、1 分、2 分、3 分、4 分、5 分、6 分、7 分、8 分、9 分	
07 キー応答時間 画面に表示されているボタンを押したときに反応する時間を選択します。	通常 、0.5 秒、1 秒、2 秒、3 秒	
08 ユーザーパスワード変更 あらかじめ設定された自分のユーザーパスワードを変更します。	パスワード変更の入力	

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）	
09 ショートカットキー登録			
01 コピー応用設定登録 コピー画面の「応用設定」下に表示するショートカットキーを選択します。4 つまで設定できます。	ページ編集：インターシート、章分け、集約、小冊子、差込みページ、ブック連写、プログラムジョブ 画像応用：原稿外消去、ネガポジ反転、リピート、枠／折り目消し、センタリング、全面画像、とじしろ、スタンプ／オーバーレイ		
02 コピー出力設定登録 コピー画面の「出力設定」下に表示するショートカットキーを選択します。4 つまで設定できます。	Z 折り、重ね中折り、重ね三つ折り、中とじ、ステープル、パンチ、仕分けソート、ソート、仕分けグループ、グループ		
03 ファンクションキー登録 コピー画面下部に表示するファンクションキーを設定します。5 つまで設定できます。	5 つ		
04 スキャン応用設定登録 スキャン画面の「応用設定」下に表示するショートカットキーを選択します。4 つまで設定できます。	ブック連写、原稿外消去、ネガポジ反転、枠／折り目消し、全面画像、スタンプ／オーバーレイ		
02 機能設定			
01 給紙トレイ設定			
01 給紙トレイ自動選択 使用していたトレイの用紙がなくなったとき、続けて給紙するトレイを選択します。オートトレイスイッチ（ATS）といいます。複数のトレイを選択した場合、優先順位を設定します。	自動選択の有無：トレイ 1 ～ 5 トレイ優先順位：選択したトレイから優先順位を設定		
02 ATS 許可 給紙トレイ自動選択機能の ON/OFF を設定します。	ON、OFF		
03 ATS 設定 ATS が ON のときに、他のトレイから用紙を給紙している状態でもとのトレイに用紙を補給したとき、現在のまま給紙を維持するか、もとのトレイからの給紙に再び切替えるかを設定します。	維持する、維持しない		
04 自動用紙の種類選択 自動用紙で選択が可能になる用紙条件を設定します。 ここで設定する用紙条件は、用紙種類、坪量、色紙、およびパンチです。	用紙種類：上質紙、普通紙、書籍用紙、ラフ紙、未印字挿入紙 坪量：40-49 g/m ² 、50-61 g/m ² 、62-74 g/m ² 、75-91 g/m ² 、92-135 g/m ² 、136-162 g/m ² 、163-216 g/m ² 、217-244 g/m ² 、245-300 g/m ² 、301-350 g/m ² 色紙：白色、透明、黄色、桃色、青色、緑色 パンチ：パンチ穴あり、パンチ穴なし		
02 個別機能切替え設定			
とじしろ小数点入力 とじしろ設定で、小数点以下を入力可能にするかどうかを設定します。	小数点入力可、 小数点入力不可		
とじしろ入力値保持 前回設定した値を保持するかどうかを設定します。	保持する 、保持しない		
プリンター受付禁止タイマー コピー設定後、プリントジョブを受付けるまでの時間を設定します。	OFF、15 秒、30 秒、1 分、1 分 30 秒		
不要インデックス紙排紙 セットで給紙トレイに収納したインデックス紙のうち、半端になったインデックス紙を自動的に排紙するかどうかを設定します。	あり 、なし		

設定項目と説明	設定値（太字は初期値）	
インデックス紙プリント自動シフト 定形原稿の右側（インデックス部分）に印字された文字をスキャンするため、スキャンエリアを自動的に右側に 12.5 mm シフトして、インデックス部分にコピーするかどうかを設定します。	あり、なし	
ダージ長（ページスタンプ） 定形スタンプのページ設定で使われるダージの長さを選択します。	長い、短い	
高力バレッジ制御 高力バレッジ制御を機能するかどうかを選択します。	なし、 画質優先 、速度優先	
高力バレッジ制御時アイコン表示 高力バレッジ制御が機能しているときに、アイコンを表示するかどうかを選択します。	あり、なし	
HDD 結合ジョブ個別設定出力 ファイル結合にて、ステープル、Z 折り設定を保持したまま出力します。	あり、なし	
スキャンアップロード完了後モード保持 スキャンしたデータをアップロードしたあと、スキャン条件を保持するかどうかを選択します。	保持する、保持しない	
コピー連続予約 コピー予約を連続して行えるようにするかどうかを設定します。	あり、なし	
スキャン連続予約 スキャン予約を連続して行えるようにするかどうかを設定します。	あり、なし	
ボックス連続保存 ボックス保存を連続して行えるようにするかどうかを設定します。	あり、なし	
03 プリンター先端画像消去量設定 プリント時の先端白抜け量（原稿消去量）を選択します。	定形サイズ用紙：消去しない、先端 3 mm を消去する ワイド紙／不定形サイズ用紙：消去しない、先端 3 mm を消去する	
04 濃度設定		
01 原稿画質の濃度シフト 各原稿画質モードに対する濃度のデフォルトを設定します。	0（うすく）～6（こく） （文字／写真：3、薄文字：3、写真：3、文字：3）	
02 登録濃度設定 頻繁に使用する濃度値をあらかじめ登録します。	登録濃度選択： 登録濃度 1 、登録濃度 2 原稿画質： 文字／写真 、薄文字、写真、文字 濃度設定／下地調整： ・ 濃度設定：-4（うすく）～0（ふつう）～+4（こく） ・ 下地調整：-4（うすく）～0（ふつう）～+4（こく）	
03 写真モード濃度選択 写真モードを選択したとき、自動濃度で選択される濃度レベルを設定します。	淡い、ふつう、濃い	
04 画像濃度選択 画質を落とさないで、濃度を薄くコピーしたいときに設定します。最大濃度を濃くしたいときや、本の印刷や郵政はがきを使った喪中はがきを印刷するときに設定します。	標準：+1（こく）～-5（うすく）	

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）	
05 登録倍率設定 あらかじめ設定されている固定倍率の倍率を変更できます。また、頻繁に使用する倍率をあらかじめ登録します。		固定倍率：8つ（A5>A3：2.000、A4>A3/B5.B4：1.414、A4>B4：1.224、B4>A3/B5>A4：1.154、A4>B5/A3>B4：0.866、B4>A4：0.816、A3>A4/B4>B5：0.707、A3>A5：0.500） 登録倍率：3つ（登録倍率1：4.000、登録倍率2：2.000、登録倍率3：0.500）	
06 タンデム設定			
01 相手機常時一括読み 相手機がデータを受信したとき、自機から転送されるデータをすべて受信してから出力するかどうかを設定します。		あり、なし	
02 相手機 Wait/Proof 自機で確認コピーの読み込みを開始したとき、相手機へデータ転送を行うかどうかを設定します。		許可、禁止	
03 相手機シフト値設定 自機で設定しているシフト値を相手機でも使用するかどうかを設定します。		マスター機シフト値設定、 相手機シフト値設定	
04 割振りリカバリー 1 台の機械に割振られた部数の出力を終えたとき、もう 1 台の機械の部数を再び割振り出力するかどうかを選択します。		あり、なし	
05 ジョブ終了後のタンデム設定 タンデム出力の終了後、ひき続きタンデム出力の設定を継続するか解除するかを設定します。		あり、なし	
03 コピー設定			
01 リセット設定			
01 初期設定 [リセット]を押したときに設定される初期値を設定します。		原稿設定、画質設定、倍率設定、片面／両面、出力設定、トレイの選択、 自動用紙 、自動画像回転禁止、ADF	
02 リセット機能任意設定			
リセットボタン機能 リセットを押したときに表示される画面表示を設定します。[フルオート]は工場出荷時の設定条件、[イニシャル]は上記[01 初期設定]で設定された設定条件です。		フルオート、 イニシャル	
各種リセット設定 上記設定が「イニシャル」のとき有効です。初期設定を設定メモリー（30）に登録したコピー条件にするか、コピー初期設定の設定にするかを選択します。		初期化設定 、設定メモリー（30）読出	
フルオート時のフィニッシャーモード リセットを押したときに設定されるフルオート時のフィニッシャーモードを設定します。		仕分けソート、仕分けグループ、ソート、グループ、ステーブル、中とじ、フェイスアップ、フェイスダウン	
03 キーカウンター／コピーカード挿入時イニシャル キーカウンターやコピーカードを挿入したとき、コピー条件を初期状態にするかどうかを設定します。		ON、OFF	

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）	
02 個別機能切替え設定			
	中とじ／重ね中折り時小冊子 中とじ／重ね中折りを選択したとき、自動的に小冊子機能を選択するかどうかを設定します。	自動選択する、自動選択しない	
	原稿ガラス自動倍率 原稿ガラスに原稿をセットしたとき、自動倍率を動かせるかどうかを設定します。	ON、OFF	
	ADF 自動倍率 ADF に原稿をセットしたとき、自動倍率を動かせるかどうかを設定します。	ON、OFF	
	原稿ガラス自動サイズ選択 原稿ガラスに原稿をセットしたとき、自動用紙を動かせるかどうかを設定します。	ON、OFF	
	ADF 自動サイズ選択 ADF に原稿をセットしたとき、自動用紙を動かせるかどうかを設定します。	ON、OFF	
	APS 解除時のトレイ指定 APS（自動用紙）が解除されたときに選択するトレイを指定します。	自動選択優先トレイ、トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5	
	原稿／出力とじ方向合わせ 原稿設定のとじ方向で設定したとじ方向と、出力設定のとじ方向とを同じにするかどうかを設定します。	ON、OFF	
	ステープルオートリセット リセットを押したときにステープルの ON/OFF を設定します。	ON、OFF	
	原稿セット／とじ方向 原稿設定画面で設定した原稿セット方向と、出力設定で設定した両面とじ方向の設定を、ジョブごとに解除するかどうかを設定します。	ジョブ毎解除せず、ジョブ毎解除	
	リセット時の原稿ガラス／ADF 状態保持 リセットを押したとき、片面／両面設定を解除しないようにするかどうかを設定します。	保持する、保持しない	
04 スキャン設定			
	01 デフォルト宛先設定 スキャン画面で表示されるデフォルトのタブを設定します。	E-mail、HDD、FTP、SMB	
	02 初期設定（読み込み設定） スキャン読み込み時の初期設定を設定します。	原稿設定、画質設定、倍率設定、応用設定、読み込みサイズ、解像度（dpi）、片面／両面、ADF	
03 個別機能切替え設定			
	ファイル形式デフォルト E-mail Scan to E-mail のファイル形式のデフォルトを設定します。	一括 PDF、分割 PDF、一括 TIFF、分割 TIFF、一括 XPS、分割 XPS	
	ファイル形式デフォルト HDD Scan to HDD のファイル形式のデフォルトを設定します。	一括 PDF、分割 PDF、一括 TIFF、分割 TIFF、一括 XPS、分割 XPS	
	ファイル形式デフォルト FTP Scan to FTP のファイル形式のデフォルトを設定します。	一括 PDF、分割 PDF、一括 TIFF、分割 TIFF、一括 XPS、分割 XPS	
	ファイル形式デフォルト SMB Scan to SMB のファイル形式のデフォルトを設定します。	一括 PDF、分割 PDF、一括 TIFF、分割 TIFF、一括 XPS、分割 XPS	
05 タッチパネル調整 タッチパネルのボタンを押して正常に反応しないとき、タッチセンサーと画面にズレが生じていないかを調整します。			

管理者設定

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）	
06 管理者設定			
01 環境設定			
01 パワーセーブ設定			
01 パワーセーブ設定 オートローパワーおよびオートシャットオフが機能する時間を選択します。 また、 操作パネルのパワーセーブ を押したときに、オートローパワーを機能するか、オートシャットオフを機能するかを選択します。		オートローパワー設定：1 分、3 分、5 分、10 分、15 分、30 分、60 分、90 分、120 分、240 分 オートシャットオフ設定：--- 分、1 分、3 分、5 分、10 分、 15 分 、30 分、60 分、90 分、120 分、240 分	
02 ErP 設定 ErP モードへの移行時間を設定します。		移行しない、12 時間、24 時間、36 時間、 48 時間 、60 時間、72 時間	
02 日時設定 現在の日時、サマータイム、時差を設定します。		設定時刻、サマータイム、タイムゾーン	
03 ウィークリータイマー設定			
01 ウィークリータイマー使用設定 ウィークリータイマーを使用するかどうかを選択します。		使用する、使用しない	
02 タイマー予約時刻設定 機械の電源 ON/OFF のタイマーを設定します。		—	
03 動作日設定 機械の電源を ON/OFF する動作日を設定します。		—	
04 昼休み OFF 機能設定 昼休みの間だけ、機械の電源を OFF にするように設定します。		昼休み OFF する、 連続運転	
05 時間外パスワード設定 ウィークリータイマー機能によって機械の電源が OFF のとき、一時的に電源を ON にして機械を使用するパスワードを設定します。		0000（4 桁）	
04 リスト／カウンター 設定メモリーなどのリストや監査ログレポートを出力します。		設定メモリーリスト、ユーザー管理リスト、使用管理リスト、フォントパターンリスト、監査ログレポート	
05 ユーザー操作禁止設定			
コピープログラムロック／削除 プログラム機能を使用して登録したコピープログラムやスキャンプログラムを消去できないようにロックしたり、削除したりします。		—	
宛先登録変更 スキャン画面で送信先手動入力を許可するかどうかを設定します。		許可、禁止	
倍率登録変更 倍率を変更するかどうかを設定します。		許可、禁止	
登録オーバーレイ変更 登録オーバーレイ機能で、画像の画像名を削除したり、上書きしたりすることを許可するかどうかを設定します。		許可、禁止	
スキャン機能選択（E-mail） スキャン機能で E-mail の選択を許可するかどうかを設定します。		許可、禁止	

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）	
	スキャン機能選択（HDD） スキャン機能で HDD の選択を許可するか どうかを設定します。	許可、禁止	
	スキャン機能選択（FTP） スキャン機能で FTP の選択を許可するか どうかを設定します。	許可、禁止	
	スキャン機能選択（SMB） スキャン機能で SMB の選択を許可するか どうかを設定します。	許可、禁止	
06 エキスパート調整			
	01 プリンター画質調整 プリンター画質を、階調を優先するか、解 像度を優先するかを選択します。	階調優先、解像度優先	
	02 コーナーステーブル（奥側）角度設定 1 箇所にステーブルする場合のステーブル の角度を設定します。奥側のときは斜めま たは平行に、手前側のときは平行だけにス テーブルできます。	斜め、平行	
	03 片寄り検知 JAM 設定 片寄り検知時の動作を設定します。[検知 する] に設定すると、5 mm 以上の片寄り を検知したときに、JAM として機械を停 止します。[検知しない] に設定すると、5 mm 以上の片寄りを検知しても機械を停止 しないで用紙を排紙します。	検知する、検知しない	
	04 主電源自動 OFF 設定 [ON] に設定すると、副電源が OFF に なった後、本体の冷却が完了したら主電源 を自動的に OFF するかどうかを設定しま す。	ON、OFF	
	05 原稿読取り領域設定 原稿外消去の設定をします。	原稿外消去する、自動サイズ／自動倍率 時のみ、 原稿ガラス等倍を除き消去	
	06 ADF 枠消し ADF でコピーするときの枠消し量を設定 します。	なし、1 mm、2 mm、 3 mm 、4 mm、5 mm	
	07 原稿外消去設定 応用機能の原稿外消去の詳細を設定しま す。	消去方法&原稿濃度： 自動 消去方法：斜角消去、矩形消去 原稿濃度：濃い、やや濃い、ふつう、や や薄い、薄い	
	08 スキャン画質調整 スキャン画質を設定します。	テクスチャー除去：する、しない ED 階調選択：高い、低い 1200dpi 写真読込みスクリーン指定： 階 調優先、解像度優先 自動濃度選択ガンマ調整：－ 5 ～＋ 5 (0)	
07 サイズ設定 原稿 ガラス にセットする原稿の用紙サイズを設定します。			
	原稿サイズ検知 原稿 ガラス で検知する原稿サイズを設定し ます。	A 系・B 系、インチ系、A 系列のみ、 フ ルサイズ	
	原稿ガラス最小サイズ設定 原稿 ガラス を使ってコピーするときの、最 小サイズを設定します。	はがき、 A5 □、5.5 × 8.5 □、B5 □、A4 □、8.5 × 11 □	
	08 任意スタンプ設定 任意スタンプ設定の新規登録、編集、および 削除を行います。		
	09 キーボード種類設定 キーボードの種類を選択します。	EN65 、EN104、JP101、JP106、 JP109	

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）	
10 操作画面カスタマイズ設定			
	01 表示文字太さ設定 画面の文字の太さを選択します。	標準、太文字	
	02 コピー画面カスタマイズ設定 コピー画面の上半分に表示される設定項目の並べ順を任意に変更します。		
	03 スキャン画面カスタマイズ設定 スキャン画面に表示される設定項目の並べ順を任意に変更します。		
	04 保存画面カスタマイズ設定 保存画面に表示される設定項目の並べ順を任意に変更します。		
02 管理者登録			
	01 管理者登録 機械管理者の名前、内線番号、E-mail アドレスを登録します。管理者名と内線番号は、設定メニュー画面の右上部に常時表示されます。	管理者名設定（20 文字以内）、内線番号設定（8 桁以内）、E-mail アドレス設定	
03 ユーザー認証／部門管理 ユーザー認証や部門管理の機能を使用するかどうかを選択します。また、認証時の条件を任意に設定したり、変更したりします。			
	01 認証方式 認証方法や部門管理数を設定します。また、各モードに対して、部門管理するかどうか、リミット到達時の動作を設定します。	ユーザー認証：外部サーバー認証、本体装置認証、 認証しない パブリックユーザー：許可する、許可しない 部門管理：管理する、 管理しない 部門管理認証方式： 部門名＋パスワード 、パスワードのみ ユーザー／部門認証連動： 連動する 、連動しない ユーザーカウンター割当て数 上限到達時の動作： 即時停止 、プリント後停止、警告のみ チケット保持時間設定：1 ～ 60 分	
02 ユーザー認証設定			
	01 管理設定 ユーザー名一覧を表示するかどうかを設定します。また、外部サーバー認証時のユーザーに対する初期機能制限を設定します。	ユーザー名一覧表示：表示する、 表示しない 初期機能制限設定 コピー操作： 許可する 、許可しない スキャン操作： 許可する 、許可しない プリンター印字： 許可する 、許可しない 読出し操作： 許可する 、許可しない	
	02 ユーザー登録 ユーザー認証の対象になるユーザーの追加、変更、および削除を行います。	ユーザー No.、ユーザー名、パスワード、E-mail アドレス、所属部門、上限設定、使用可能な機能（コピー操作、スキャン操作、プリンター印字、読出し操作）、IC カード登録	
	03 ユーザーカウンター ユーザー認証の対象になっているユーザーの、プリントのカウンタ確認やカウントリセットを行います。	—	
03 部門管理			
	01 部門登録 部門管理の対象になる部門の変更、追加、および削除を行います。	部門 No.、部門名、パスワード、上限設定、使用可能な機能（コピー操作、スキャン操作、プリンター印字、読出し操作）	
	02 部門カウンター 部門認証の対象になっている部門の、プリントのカウンタ確認やカウントリセットを行います。	—	

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）	
04 認証指定なし印刷 認証なしで利用できる機能の使用を許可するか禁止するかを選択します。		許可、禁止	
05 認証装置設定			
01 認証方式 認証情報の入力に使用する IC カードのタイプを設定します。また、認証の方法も設定します。		IC カードタイプ：FeliCa、TypeA、SSFC、FCF、FCF（キャンパス） 動作設定： IC カード認証 、IC カード認証＋パスワード認証	
06 外部サーバー設定 認証方式に外部サーバー認証を選択した場合、外部サーバーを新規に登録したり、登録済みのサーバーを編集または削除したりします。		—	
07 ユーザー／部門共通設定			
ログアウト確認画面表示設定 ログアウトを確認する画面を表示するかどうかを設定します。		表示する、表示しない	
04 ネットワーク設定			
01 本体 NIC 設定			
01 TCP/IP 設定 本体の TCP/IP の各種設定をします。 タンデム設定をしている機械は、[IP アドレス（相手機）] が表示され、相手機の IP アドレスを設定します。		IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、IP アドレス（DNS サーバー 1）、IP アドレス（DNS サーバー 2）、IP アドレス（相手機） 回線速度設定： 自動 、10M 半二重、100M 半二重、10M 全二重、100M 全二重	
02 http 通信設定 http 通信の各種設定をします。		プロキシサーバーの使用：する、 しない プロキシサーバーアドレス、プロキシサーバーポート SSL の使用：する、 しない 認証の使用：する、 しない 認証ユーザー名、認証パスワード	
03 メール初期設定 メールの初期設定や送受信テストをします。		メールシステムの利用：する、 しない タイムゾーン、送信（SMTP）メールサーバー、SMTP ポート番号、送信メールサーバータイムアウト、新着メール確認間隔、受信メールサーバー 受信メールサーバー種類：POP3、IMAP POP3/IMAP ポート番号、受信メールアカウント、受信メールパスワード、本体 E-mail アドレス POP（IMAP）before SMTP 認証：する、 しない SMTP の SSL 暗号化：する、 しない POP（IMAP）の SSL 暗号化：する、 しない SMTP 認証：する、 しない SMTP 認証ユーザー ID、SMTP 認証パスワード	
02 コントローラー NIC 設定 コントローラー NIC 設定の設定値については、7-97 ページ「コントローラー NIC 設定一覧」を ごらんください。			
01 TCP/IP 設定 コントローラーの TCP/IP の各種設定をします。			
02 NetWare 設定 Net Ware の各種設定をします。			
03 HTTP サーバー設定 HTTP の各種設定をします。			
04 FTP 設定 FTP の各種設定をします。			

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）	
	05 SNMP 設定 SNMP の各種設定をします。		
	06 SMB 設定 SMB の各種設定をします。		
	07 AppleTalk 設定 Apple Talk の各種設定をします		
	08 Bonjour 設定 Bonjour の各種設定をします。		
	09 E-mail 設定 E-mail の各種設定をします。		
	10 TCP Socket 設定 TCP Socket の各種設定をします。		
	11 CSRC 設定 CSRC の各種設定をします。		
	12 Open API 設定 Open API の各種設定をします。		
	13 Web サービス設定 Web サービスの各種設定をします。		
	14 JSP 設定 JSP の各種設定をします。		
	15 LDAP 設定 LDAP の各種設定をします。		
	16 IEEE802.1X 設定 IEEE802.1X の各種設定をします。		
	17 詳細設定 そのほかの詳細設定をします。		
05 コピー／プリンター設定			
01 仕分け設定			
	01 ジョブオフセット動作 指定部数ごとや指定ジョブごとにオフセットするかどうかを設定します。指定ジョブごとにオフセットを選択したときは、何ジョブ目にオフセットするかを指定します。	指定部数オフセット：ON、OFF 指定ジョブ単位オフセット：ON、OFF オフセットジョブ数：0 ～ 9,999	
	02 オフセット排紙方法 オフセット排紙方法を選択します。	オフセット排紙方法：排紙位置切替、仕切り紙挿入、排紙位置切替＋仕切り紙挿入、プリント停止 仕切り紙挿入トレイ：トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5、PI1、PI2	
	02 連続プリント（プリンター） 連続した複数の予約プリントを、ジョブの切れ目で機械を停止することなく出力するかどうかを設定します。	ON、OFF	
	03 小冊子時のページ印字位置 応用機能の小冊子選択時、ページ印字位置を設定します。	ON（外側印刷）、OFF	
	04 プリント前定着予備回転設定 紙種や坪量の変更により定着温度の切替えが必要になることがあります。このとき、出力前に定着ローラーを回転して、その紙種や坪量に適した温度でプリントします。	回転する、回転しない	

設定項目と説明	設定値（太字は初期値）	
05 サンプル排紙設定 サンプル出力の出力モード、および給紙トレイを選択して、サンプル出力するタイミングを設定します。また、サンプル出力を部門カウンタに含めるかどうかの選択をします。	出力モード：固定チャート出力、ジョブ画像出力 給紙トレイ選択：トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5 周期出力：する、しない（する場合は、周期設定を行う） 部門カウンタ設定：する、しない	
06 確認プリント（先頭 1 枚）設定 確認プリントを 1 部ではなくて、先頭 1 枚だけ出力するように設定するかどうかを選択します。	確認プリント（先頭 1 枚）：ON、OFF [確認コピー]（ハードキー）押下時の 1 部／先頭 1 枚選択：ON、OFF	
07 JAM 識別表示設定 [管理者設定]－[環境設定]－[エキスパート調整]－[片寄り検知 JAM 設定]で[検知する]を設定している場合、片寄り JAM が発生したことを知らせるメッセージを表示するかどうかを設定します。	表示する、表示しない	
08 自動画像回転 トレイに、原稿と異なるセット方向やサイズの内紙しかないとき、原稿の画像を回転してコピー用紙に収まるようにできます。	常にする、自動サイズ／自動倍率時、自動サイズ／自動倍率／縮小時	
09 割込み停止方法 コピー中に割込みボタンを押したとき、現コピーに対する割込みのタイミングを設定します。	部数区切、部数途中	
10 コピー予約の操作性 機械状態画面が表示されているときのコピー予約で、コピー予約確認画面で設定するか、または原稿をセットすることでコピー予約のためのコピー画面へ移るかを設定します。	ボタン押下によるコピー予約、原稿セットによるコピー予約	
11 トレイ引抜きによる読み込み停止 トレイを引出しているとき、読み込み動作を停止するかどうかを設定します。	ON、OFF	
12 連続プリント（コピー） 連続した複数の予約コピーを、ジョブの切れ目で機械を停止することなく出力するかどうかを設定します。	ON、OFF	
13 原稿ガラス 1 枚排紙方法 原稿ガラスから 1 枚コピーするときの排紙方法を設定します。	フェイスアップ、フェイスダウン	
14 1 枚送り自動設定 ADF に原稿を 1 枚セットしたとき、自動的にコピーをスタートするかどうかを設定します。	ON、OFF	
06 システム連携		
01 管理者発信 CS リモートケアのサービスを使ってサービスエンジニアを呼出すときに[スタート]を押します。	スタート	
07 セキュリティー設定		
01 管理者パスワード サービスモードで設定されている管理者パスワードを変更できます。		
02 HDD 管理設定		
01 フォルダー／ボックス一覧削除 本体の HDD に保存されているフォルダーおよびボックスを詳細表示したり、削除したりします。	一覧の参照と削除	
02 HDD 保存データ自動削除期間設定 HDD に保存されたデータを自動で削除する時間や日数を設定します。	削除しない、12 時間、1 日間、2 日間、3 日間、7 日間、30 日間	

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）	
	03 HDD ロックパスワード HDD ロックパスワードを変更します。		
	04 一時データ上書き削除設定 保存データの上書きをできるようにするかどうかを設定します。また、消去モードを設定します。	設定の有無：する、しない 消去モード： モード 1 、モード 2	
	05 全データ上書き削除設定 消去モードを選択します。	消去モード 1 ～ 8 (モード 4)	
	06 HDD 暗号化設定 HDD のデータを暗号化するかどうかを設定します。	する、しない	
	03 セキュリティー強化設定 セキュリティー強化モードを使用するかどうかを設定します。	ON、OFF	
08 スキャン宛先登録			
	01 宛先編集 登録済みのスキャン宛先を編集または削除します。		
09 OpenAPI 認証管理設定			
	01 禁止コード設定 インデックス、開発元コード、およびアプリケーションの禁止コードを登録したり、登録した禁止コードを確認したりします。	—	

7.2 [01 環境設定]

7.2.1 [01 言語設定]

画面に表示する言語、および音声通知の有無、音声通知する場合はその言語を選択します。

最初は、表示言語は日本語、音声通知は OFF に設定されています。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [01 環境設定]、[01 言語設定] を順に押します。
- 3 「画面内の表示言語」下のボタンで、任意の言語を選択します。
- 4 音声通知をする場合は、「音声通知時の言語」下のボタンで任意の言語を選択します。音声通知をしない場合は [OFF] を選択します。
- 5 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

7.2.2 [02 単位系設定]

入力したり、画面に表示したりする数値の単位を選択します。

最初は、用紙サイズ（長さ）の単位は [mm]、坪量の単位は [g/m2] に設定されています。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [01 環境設定]、[02 単位系設定] を順に押します。
- 3 希望する数値の単位を選択します。

- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 → 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

7.2.3 [03 操作／報知音設定] — [01 音量設定]

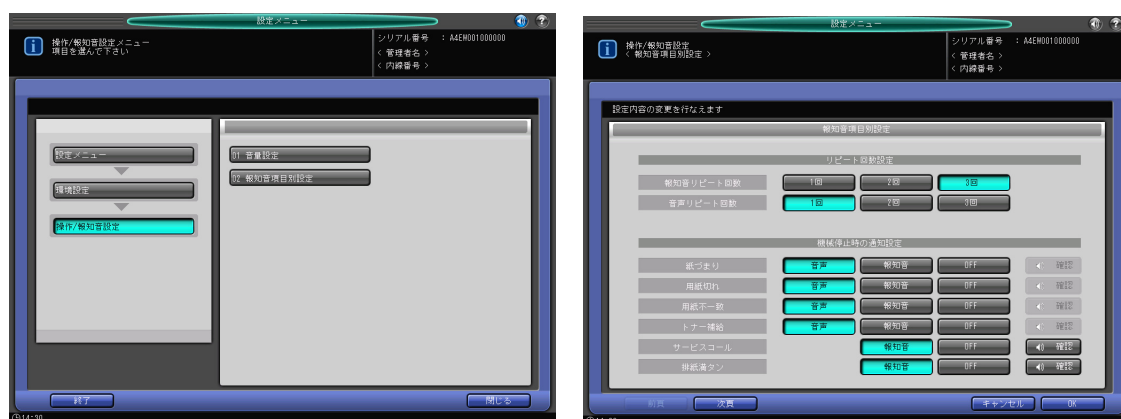
タッチパネルを押すときに鳴るキー操作音（ブザー）、およびスピーカーからの報知音／音声（スピーカー）の有無と音量とを設定します。



- 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 設定メニュー画面の [01 環境設定]、[03 操作／報知音設定]、[01 音量設定] を順に押します。
- 「キー操作音（ブザー）」下のボタンで、ブザーを設定します。
 → キー操作音（ブザー）を鳴らす場合は [ON] を押して、希望する音量を選択します。
 → キー操作音（ブザー）を鳴らさない場合は、[OFF] を押します。
- 「報知音／音声（スピーカー）」下のボタンで、スピーカーを設定します。
 → 報知音／音声（スピーカー）を使用する場合は [ON] を押して、希望する音量を選択します。
 → 報知音／音声（スピーカー）を使用しない場合は、[OFF] を押します。
- 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 → 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、操作／報知音設定メニュー画面にもどります。

7.2.4 [03 操作／報知音設定] — [02 報知音項目別設定]

紙づまりや用紙切れなどが原因でジョブが停止したときに鳴る報知音や音声の繰返し回数、および音の種類や有無を項目別に設定します。

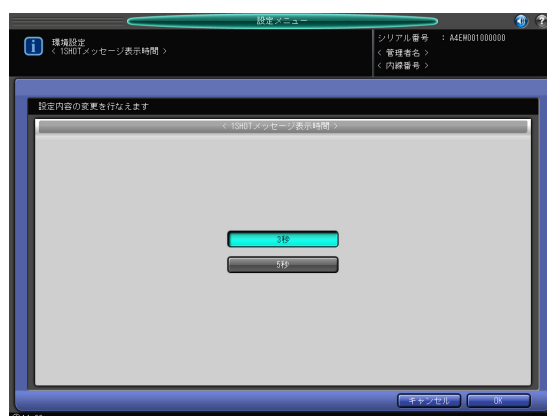
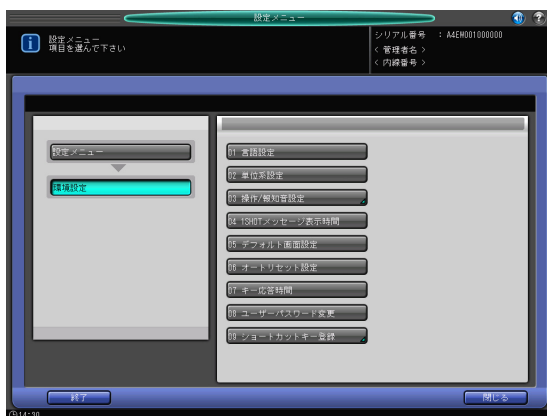




- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [01 環境設定]、[03 操作／報知音設定]、[02 報知音項目別設定] を順に押します。
- 3 「リピート回数設定」下のボタンで、報知音および音声が繰返し鳴る回数を、それぞれ選択します。
- 4 「機械停止時の通知設定」下のボタンで、機械が停止したときの報知音について、項目別に指定します。
 - 報知音を鳴らす場合は、希望する音の種類を選択します。[確認] を押すと、選択した報知音を確認できます。
 - 報知音を鳴らさない場合は、[OFF] を押します。
- 5 画面左下の [次頁] を押して、同様に設定します。
 - 「その他の通知設定」下の「ジョブ出力完了予告」では、出力が完了するまでにかかる時間で、通知するかどうかを指定できます。[詳細設定] を押して、希望する時間を選択します。[OK] を押すと、設定を確定して前画面にもどります。
- 6 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、操作／報知音設定メニュー画面にもどります。

7.2.5 [04 1SHOT メッセージ表示時間]

タッチパネルのメッセージ表示部に瞬間的に表示される「原稿サイズは A4 です」のようなメッセージの表示時間を設定します。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [01 環境設定]、[04 1SHOT メッセージ表示時間] を順に押します。

- 3 [3 秒] または [5 秒] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、操作／報知音設定メニュー画面にもどります。

7.2.6 [05 デフォルト画面設定]

副電源スイッチを ON にしたとき、最初に表示される（デフォルト）画面を設定します。

設定	デフォルト画面
[機械状態]	機械状態画面が表示されます。
[ジョブリスト（予約／保留リスト）]	ジョブリスト（予約／保留リスト）画面が表示されます。
[ジョブリスト（ジョブスケジュール）]	ジョブリスト（ジョブスケジュール）画面が表示されます。
[コピー]	コピー画面が表示されます。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [01 環境設定]、[05 デフォルト画面設定] を順に押します。
- 3 デフォルトで使用したい画面を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

7.2.7 [06 オートリセット設定]

オートリセットは、タッチパネルや操作パネルのボタンを押さずに一定時間経過すると、デフォルト画面として選択した画面にもどる機能です。

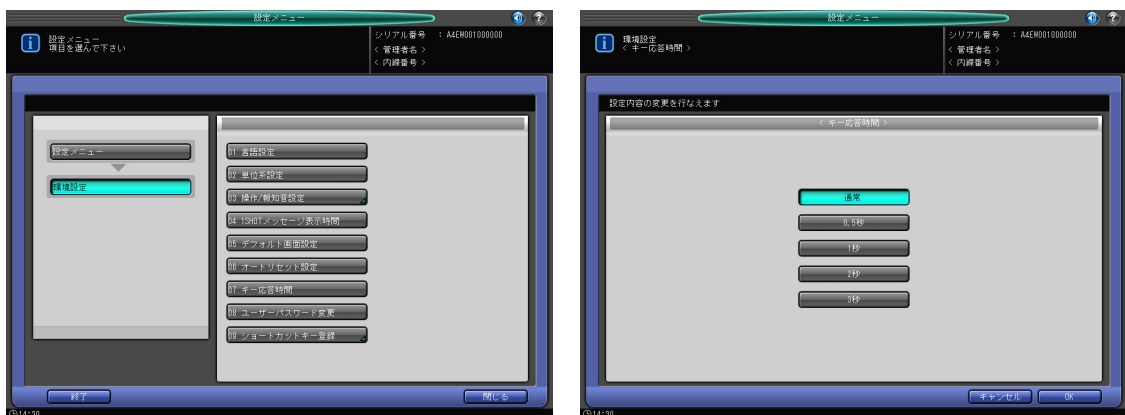
ここでは、オートリセットが機能するまでの時間を設定します。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [01 環境設定]、[06 オートリセット設定] を順に押します。
- 3 希望する時間のボタンを選択します。
→ [OFF] を選択すると、オートリセットは機能しなくなります。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

7.2.8 [07 キー応答時間]

画面に表示されているボタンを押してから、機械が反応するまでの時間を設定します。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [01 環境設定]、[07 キー応答時間] を順に押します。
- 3 希望する時間を 1 つ選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

7.2.9 [08 ユーザーパスワード変更]

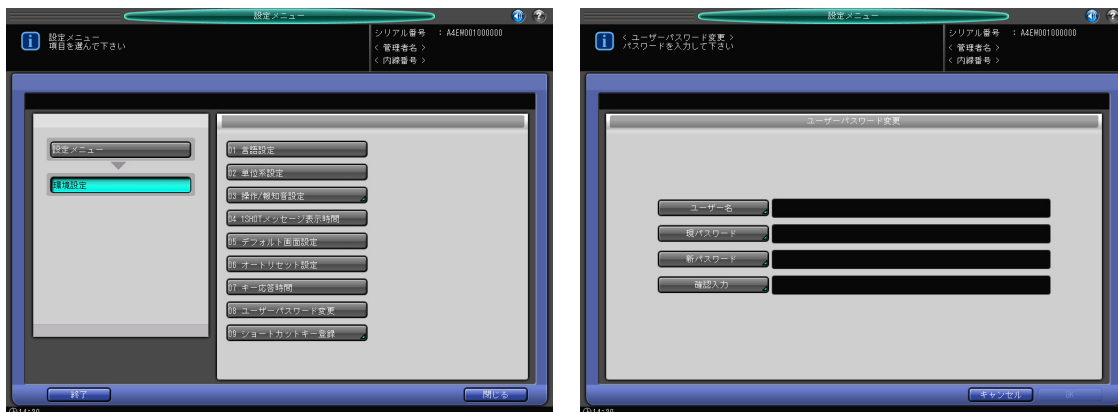
管理者が設定したユーザー名に対するパスワード（ユーザーパスワード）を、ユーザーは変更できます。ここで変更したパスワードは、ユーザー認証のときに使用するパスワードになります。

重要

機械がユーザー認証の設定をしていなければ、パスワードの変更はできません。

重要

ユーザー名とパスワードを入力しなければ、パスワードを変更できません。パスワードは変更できますが、ユーザー名は変更できません。部門名に与えられたパスワード（部門名パスワード）は変更できません。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [01 環境設定]、[08 ユーザーパスワード変更] を順に押します。
- 3 [ユーザー名] を押して、登録されているユーザー名を入力します。[OK] を押します。
- 4 [現パスワード] を押して、既存のパスワードを入力します。[OK] を押します。
→ ユーザーパスワードは、半角の英数字で 64 文字まで入力できます。
- 5 [新パスワード] を押して、新しいパスワードを入力します。[OK] を押します。
- 6 確認のため、[確認入力] を押して、再度新しいパスワードを入力します。[OK] を押します。
- 7 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

7.2.10 [09 ショートカットキー登録] - [01 コピー応用設定登録]

コピー画面の [応用設定] 表示下に应用設定のショートカットキーを表示して、ワンタッチで設定画面を表示できます。4 つまで設定できます。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [01 環境設定]、[09 ショートカットキー登録]、[01 コピー応用設定登録] を順に押します。
- 3 表示したいキーを選択します。4 つまで設定できます。

4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ショートカットキー登録メニュー画面にもどります。

7.2.11 [09 ショートカットキー登録] – [02 コピー出力設定登録]

コピー画面の[出力設定]表示下に出力設定のショートカットキーを表示して、ワンタッチで設定画面を表示できます。4 つまで設定できます。



1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。

2 設定メニュー画面の [01 環境設定]、[09 ショートカットキー登録]、[02 コピー出力設定登録] を順に押します。

3 表示したいキーを選択します。4 つまで設定できます。

4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ショートカットキー登録メニュー画面にもどります。

7.2.12 [09 ショートカットキー登録] – [03 ファンクションキー登録]

あらかじめ設定メモリーに登録したコピー条件を5件までファンクションキーに登録します。ファンクションキーに登録された設定メモリーは、コピー画面からワンタッチで呼出すことができます。

重要

ファンクションキーに登録するコピー条件は、あらかじめプログラムに登録する必要があります。プログラムの登録方法について詳しくは、コピー編の 10 章をごらんください。



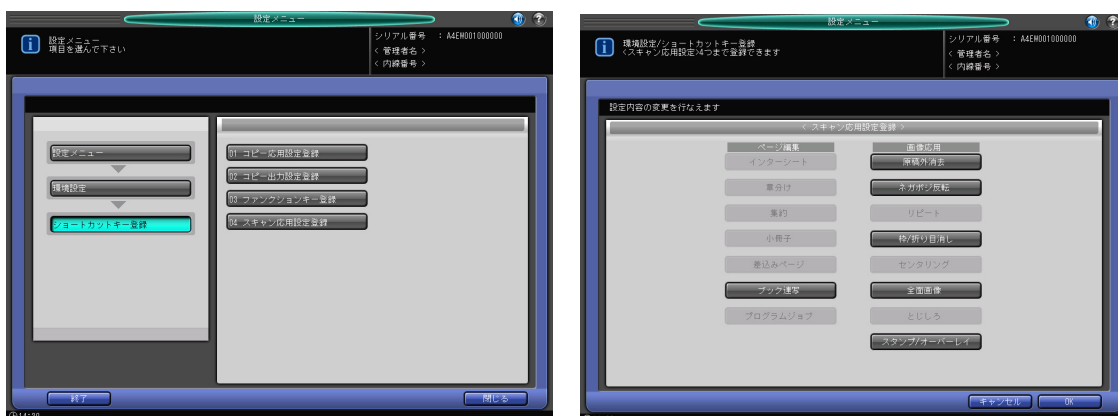


- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [01 環境設定]、[09 ショートカットキー登録]、[03 ファンクションキー登録] を順に押します。
- 3 ファンクションキー設定画面の左側に表示される登録または削除したいファンクションキー (F1 ~ F5) を選択します。
- 4 ファンクションキーに設定メモリーを登録します。
 - [▼] [▲] を押して、任意の設定メモリー項目ボタンを表示します。
 - ファンクションキーに登録したい設定メモリー項目ボタンを選択します。
 - [<< 登録] を押します。
 - 手順 3 で選択したファンクションキーにすでに設定メモリーが登録されている場合は、上書き確認のポップアップ画面が表示されます。上書きして問題ないときは、[はい] を押します。
- 5 ファンクションキーの設定メモリーを削除します。
 - [削除] を押します。削除確認のポップアップ画面が表示されます。
 - [はい] を押すと、設定メモリーの登録が選択されたファンクションキーから削除されます。
 - [いいえ] を押すと、削除されません。

重要
このとき、ファンクションキーの設定メモリーを削除しても、設定メモリー自体は削除されることはありません。
- 6 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ショートカットキー登録メニュー画面にもどります。

7.2.13 [09 ショートカットキー登録] – [04 スキャン応用設定登録]

スキャン画面の[応用設定]表示下に应用設定のショートカットキーを表示して、ワンタッチで設定画面を表示できます。4つまで設定できます。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [01 環境設定]、[09 ショートカットキー登録]、[04 スキャン応用設定登録] を順に押します。
- 3 表示したいキーを選択します。4つまで設定できます。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 → 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ショートカットキー登録メニュー画面にもどります。

7.3 [02 機能設定]

7.3.1 [01 給紙トレイ設定] — [01 給紙トレイ自動選択]

プリント中に、使用している給紙トレイの用紙がなくなったときは、別の給紙トレイから同じサイズ of 用紙を自動的に給紙して、出力を継続します（オートトレイスイッチ：ATS）。

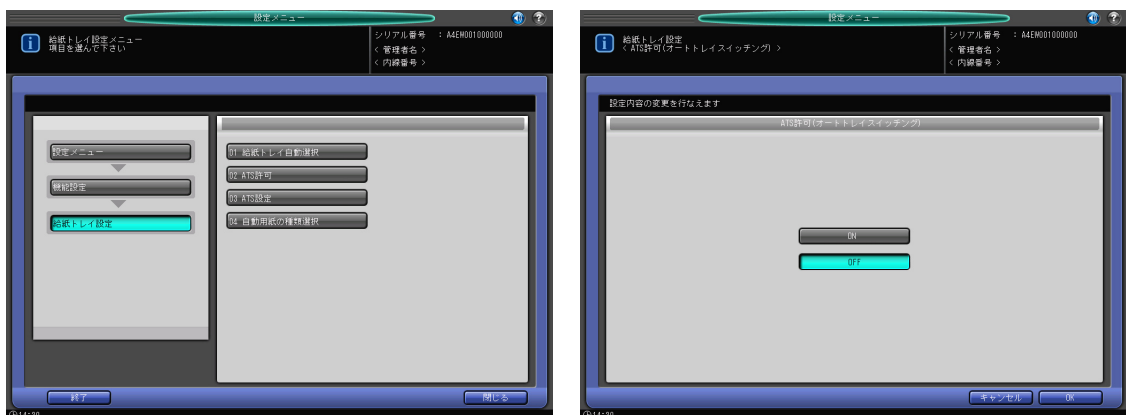
ここでは、オートトレイスイッチが機能するときに切替えの対象となるトレイの選択と、選択したトレイの優先順位を設定します。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[01 給紙トレイ設定]、[01 給紙トレイ自動選択] を順に押します。
- 3 画面左側「自動選択の有無」下のボタンで、オートトレイスイッチが機能するときに切替えの対象となるトレイを選択します。
→ オートトレイスイッチが機能すると、ここで選択したトレイが自動的に検知されます。
- 4 画面右側「トレイ優先順位」下のボタンで、選択したトレイの優先順位を設定します。
→ 順位を変更するトレイを選択してから、「上げる [▲]」または「下げる [▼]」で変更します。
- 5 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、給紙トレイ設定メニュー画面にもどります。

7.3.2 [01 給紙トレイ設定] — [02 ATS 許可]

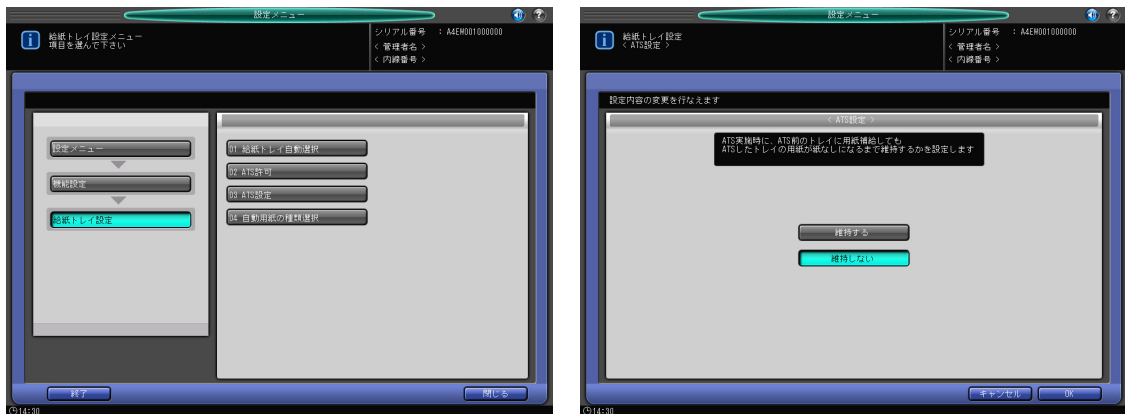
オートトレイスイッチ機能の ON/OFF を設定します。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[01 給紙トレイ設定]、[02 ATS 許可] を順に押します。
- 3 オートトレイスイッチ機能を使用する場合は [ON]、しない場合は [OFF] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、給紙トレイ設定メニュー画面にもどります。

7.3.3 [01 給紙トレイ設定] — [03 ATS 設定]

ATS が機能して他のトレイから用紙が給紙されている状態で、もとのトレイに用紙を補給したとき、現在のまま給紙を維持するか、もとのトレイからの給紙に再び切替えるかの設定をします。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[01 給紙トレイ設定]、[03 ATS 設定] を順に押します。
- 3 [維持する] または [維持しない] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、給紙トレイ設定メニュー画面にもどります。

7.3.4 [01 給紙トレイ設定] — [04 自動用紙の種類選択]

自動用紙が機能したときに選択対象となるトレイの用紙条件を指定します。

ここで指定した用紙条件が、自動的に選択されたトレイに設定されていないとき、機械は不一致と表示します。

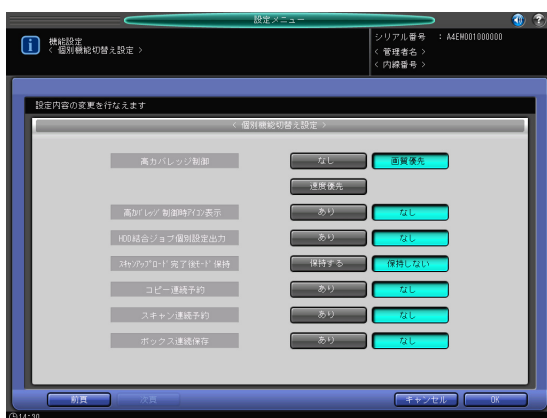
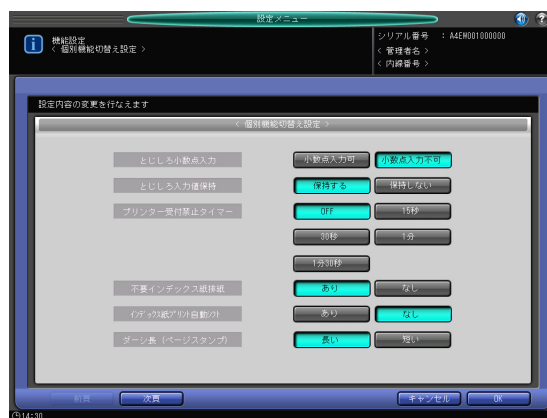


- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[01 給紙トレイ設定]、[04 自動用紙の種類選択] を順に押します。
- 3 自動用紙で選択対象となるトレイの用紙条件を指定します。
→ それぞれの項目で、希望する条件を選択します。「用紙種類」および「坪量」については、複数の条件を選択できます。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、給紙トレイ設定メニュー画面にもどります。

7.3.5 [02 個別機能切替え設定]

下記項目の設定をします。

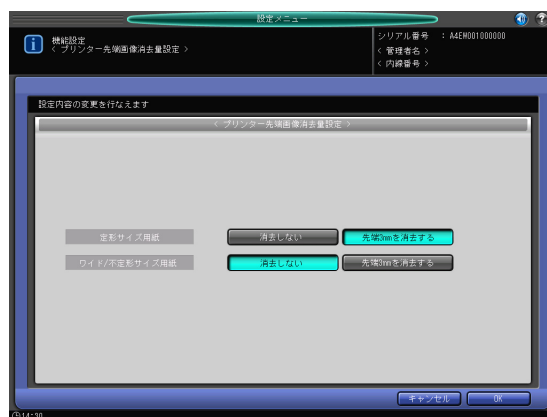
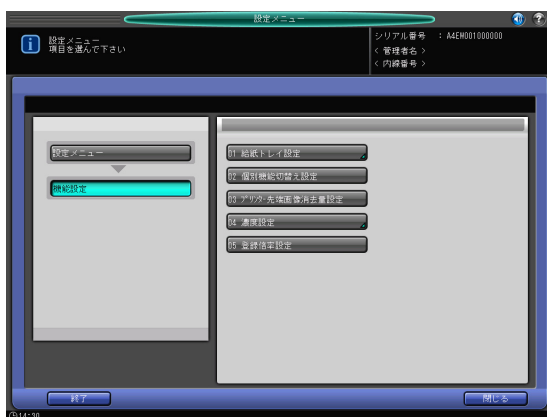
設定項目	説明	設定値（太字は初期値）
[とじしろ小数点入力]	とじしろ量を設定するときに、小数点以下を入力できるようにするかどうかを設定します。	小数点入力可、 小数点入力不可
[とじしろ入力値保持]	前回にとじしろ設定したシフト値を保持するかどうかを設定します。	保持する 、保持しない
[プリンター受付禁止タイマー]	コピージョブ設定（最後のボタン入力）後にプリンタージョブを受付ける時間を設定します。	OFF 、15 秒、30 秒、1 分、1 分 30 秒
[不要インデックス紙排紙]	セットで給紙トレイに収納したインデックス紙のうち、半端になったインデックス紙を自動的に排紙するかどうかを設定します。	あり 、なし
[インデックス紙プリント自動シフト]	定形原稿の右側に印字されたインデックス用の文字を自動的に右側に 12.5 mm シフトしてインデックス部分にコピーするかどうかを設定します。	あり 、なし
[ダッシュ長（ページスタンプ）]	定形スタンプのページ設定で使用するダッシュの長さを設定します。	長い 、短い
[高力バレッジ制御]	濃度が高い（濃い）原稿を連続でプリントすると、プリント画像が不安定になることがあります。プリント画像を安定化するために、自動的に複写速度を下げるか（画質優先）、複写速度を優先するか、または制御しないかを設定します。	なし 、画質優先、速度優先
[高力バレッジ制御時アイコン表示]	高力バレッジ制御が機能しているときに、アイコンを表示するかどうかを選択します。[高力バレッジ制御] で [画質優先] または [速度優先] を選択したとき、設定できます。	あり 、なし
[HDD 結合ジョブ個別設定出力]	ファイルを結合するときに、ステーブルまたは Z 折りの設定を保持したまま出力するかどうかを設定します。	あり 、なし
[スキャンアップロード完了後モード保持]	スキャンしたデータをアップロードした後、そのときのモードを保持するかどうかを設定します。	保持する 、保持しない
[コピー連続予約]	コピー予約を連続して行えるようにするかどうかを設定します。	あり 、なし
[スキャン連続予約]	スキャン予約を連続して行えるようにするかどうかを設定します。	あり 、なし
[ボックス連続保存]	ボックス保存を連続して行えるようにするかどうかを設定します。	あり 、なし



- 1 7.2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[02 個別機能切替え設定] を順に押します。
- 3 各設定項目右のボタンのいずれかを選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、機能設定メニュー画面にもどります。

7.3.6 [03 プリンター先端画像消去量設定]

プリント時の先端白抜け量（原稿消去量）を選択します。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[03 プリンター先端画像消去量設定] を順に押します。
- 3 任意のボタンを選択して、定形サイズ、またはワイド／不定形サイズの各用紙の消去量を設定します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、機能設定メニュー画面にもどります。

7.3.7 [04 濃度設定] － [01 原稿画質の濃度シフト]

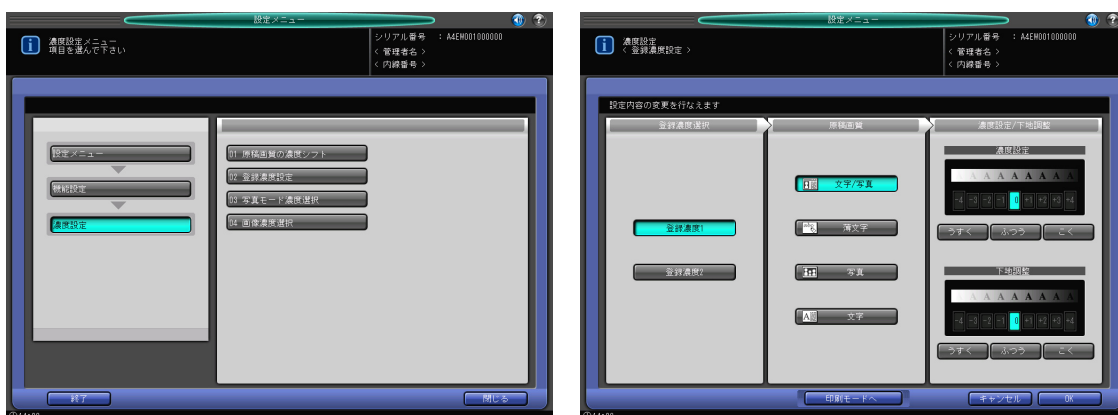
コピー画面のマニュアル濃度設定では、9つの濃度レベルを薄い方向に3段階、濃い方向に3段階シフトして、濃度レベルを設定できます。この濃度シフトは、通常の画質設定（文字／写真）のほかに、3つの画質設定（薄文字、写真、文字）に対してそれぞれシフトするように設定できます。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[04 濃度設定]、[01 原稿画質の濃度シフト] を順に押します。
- 3 4つの画質設定に対してそれぞれ0（うすく）～6（こく）の数字ボタンを押して、任意の濃度シフトを設定します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、濃度設定メニュー画面にもどります。

7.3.8 [04 濃度設定] － [02 登録濃度設定]

登録濃度は、原稿画質の各設定（文字／写真、薄文字、写真、文字）に対して濃度設定および下地調整を登録します。登録された濃度設定は、コピー画面の画質設定画面から呼出します。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[04 濃度設定]、[02 登録濃度設定] を順に押します。
- 3 [登録濃度 1] または [登録濃度 2] を押します。
- 4 原稿画質のボタンを選択して、それぞれに濃度設定と下地調整を設定します。
- 5 設定した濃度サンプルを見たいときは [印刷モードへ] を押して、原稿をセットしてから、操作パネルのスタートを押します。[閉じる] を押します。
- 6 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、濃度設定メニュー画面にもどります。

7.3.9 [04 濃度設定] － [03 写真モード濃度選択]

写真モード選択時の自動濃度選択で選択される濃度レベルを設定します。

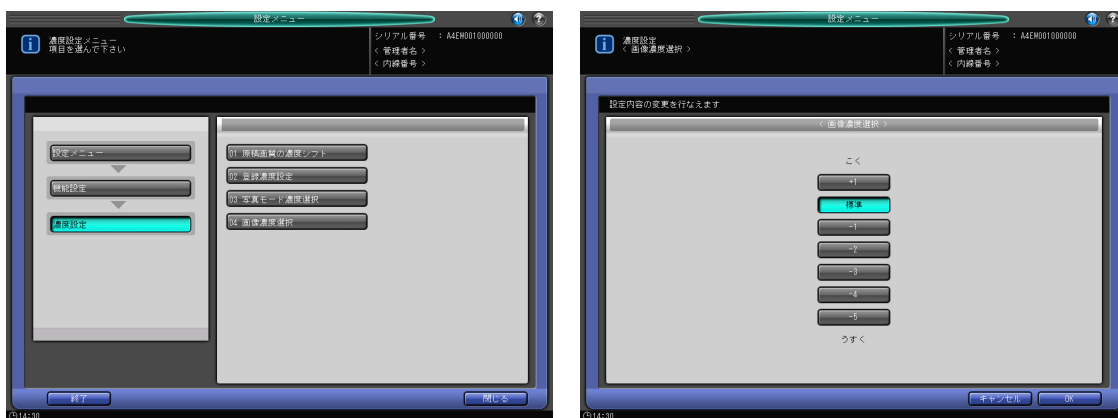


- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[04 濃度設定]、[03 写真モード濃度選択] を順に押します。
- 3 [薄い]、[ふつう]、または [濃い] の中から希望する濃度のボタンを選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、濃度設定メニュー画面にもどります。

7.3.10 [04 濃度設定] － [04 画像濃度選択]

コピー画面で設定できる濃度の設定幅を変更できます。

オフセット印刷のように、シャドウ部（最高濃度）の画像濃度を濃くしたり、薄くしたりするときに設定します。本など印刷物のように文字のぎらつきを抑えて、読者の目の疲労を和らげるため、薄めの文字を使用するときなどに便利です。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[04 濃度設定]、[04 画像濃度選択] を順に押します。
- 3 希望する濃度のボタンを選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、濃度設定メニュー画面にもどります。

7.3.11 [05 登録倍率設定]

倍率画面で選択できる 8 種類の拡大・縮小倍率と 3 種類の登録倍率の値を設定します。

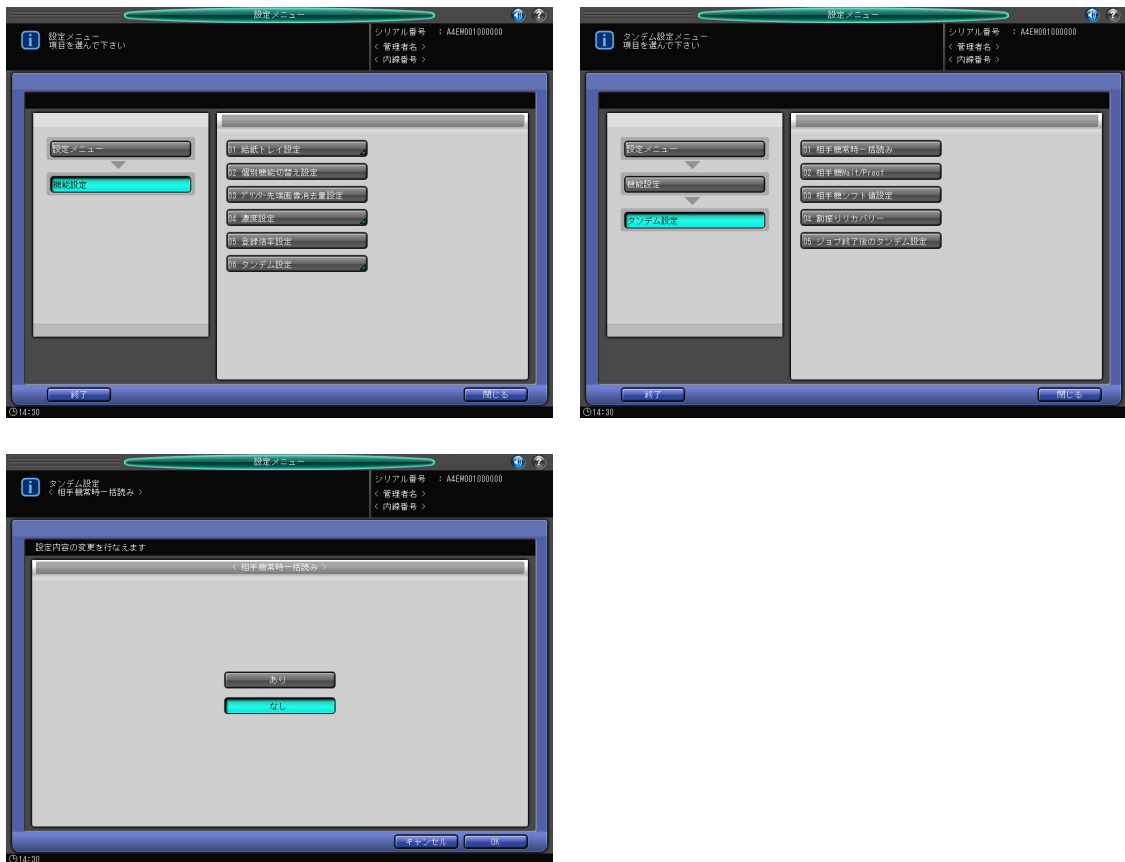


- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[05 登録倍率設定] を順に押します。
- 3 変更したい倍率のボタンを選択します。
→ タッチパネルのテンキーを押して、ボタン右側に希望する倍率を表示します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、機能設定メニュー画面にもどります。

7.3.12 [06 タンデム設定] – [01 相手機常時一括読み]

自機で読込んだ画像を、自機と相手機で同時に出力するか、または相手機では画像を受信後に出力するかを設定します。

この設定をするには、サービスエンジニアによる設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

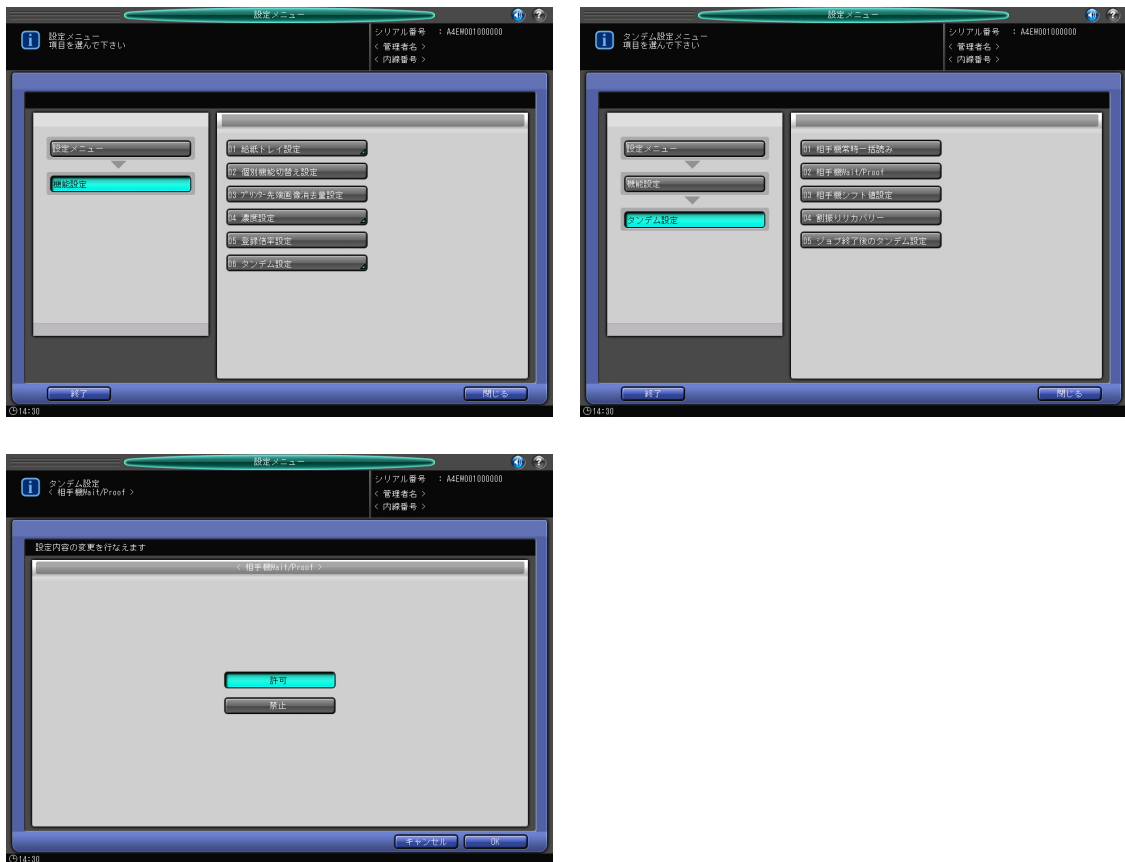


- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[06 タンデム設定]、[01 相手機常時一括読み] を順に押します。
- 3 [あり] または [なし] を選択します。
 - [あり] を選択すると、自機で読み込みながら出力する一方、相手機ではジョブすべての画像データを受信してから出力を開始します。
 - [なし] を選択すると、自機で画像を読み込みながら、自機と相手機の両方から出力を開始します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、タンデム設定メニュー画面にもどります。

7.3.13 [06 タンデム設定] – [02 相手機 Wait/Proof]

確認コピーと画像データを自機と相手機とでどのように振分けて出力するかを設定します。

この設定をするには、サービスエンジニアによる設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

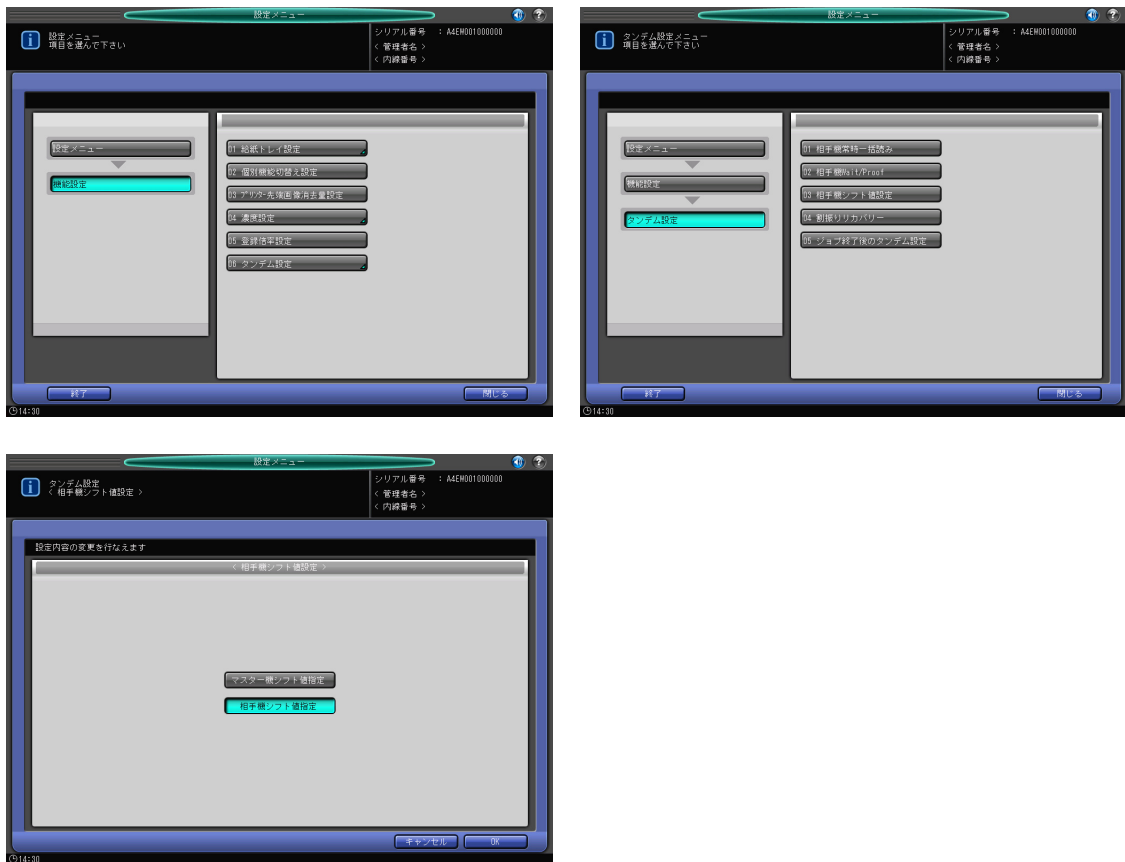


- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[06 タンデム設定]、[02 相手機 Wait/Proof] を順に押します。
- 3 [許可] または [禁止] を選択します。
 - [許可] を選択すると、確認コピーの画像データが自機と相手機に同時に転送されます。確認コピーは、両方の機械で開始されます。
 - [禁止] を選択すると、確認コピーは自機だけから出力されます。自機で通常の出力が開始されると、相手機では画像データを受信して出力を開始します。
 - [06 タンデム設定] – [04 割振りリカバリー] で [あり] を選択しているときに、[許可] を押すと、[割振りリカバリー設定を [なし] にして下さい] というメッセージが表示され、[許可] を選択できません。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、タンデム設定メニュー画面にもどります。

7.3.14 [06 タンデム設定] – [03 相手機シフト値設定]

自機で設定しているシフト値を相手機でも使用するかどうかを設定します。

この設定をするには、サービスエンジニアによる設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

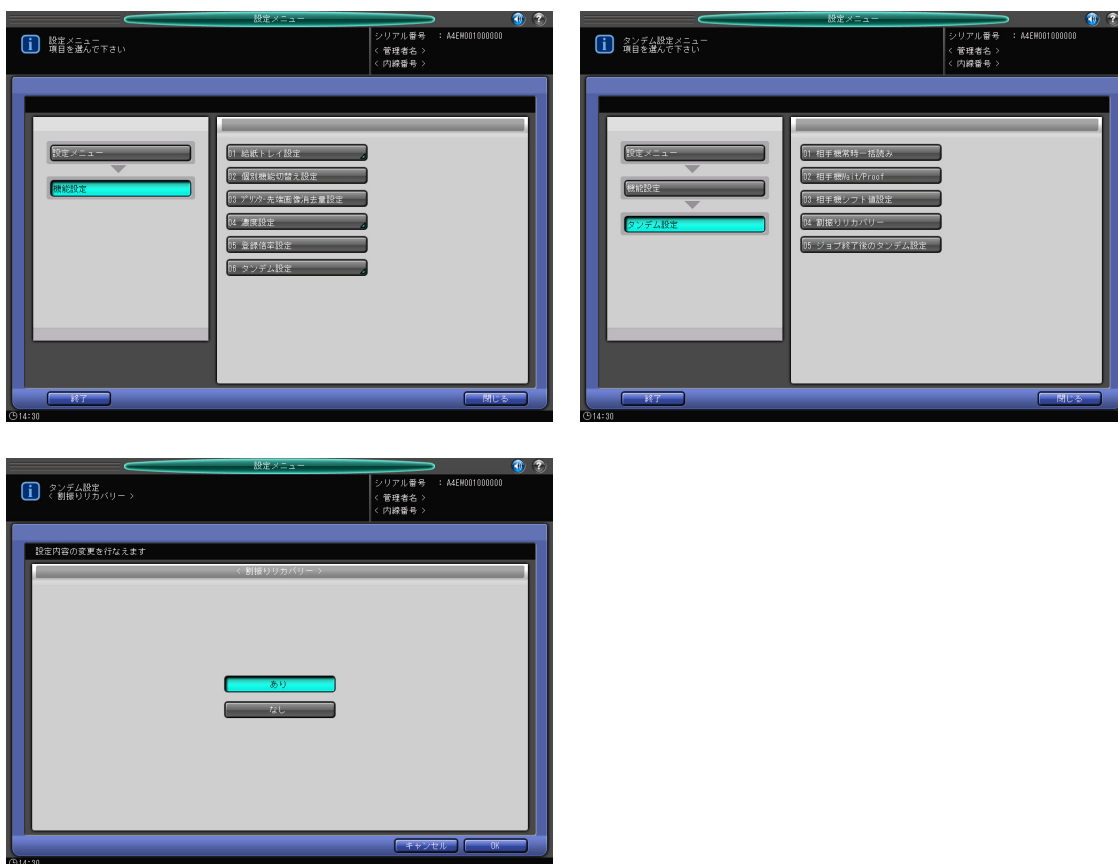


- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[06 タンデム設定]、[03 相手機シフト値設定] を順に押します。
- 3 [マスター機シフト値指定] または [相手機シフト値指定] を選択します。
 - [マスター機シフト値指定] を選択すると、自機で設定しているシフト値を相手機でも使用できるようになります。
 - [相手機シフト値指定] を選択すると、自機のシフト値と関連しないで、相手機側で設定されているシフト値を使用して出力します。[相手機 Wait/Proof] で [禁止] を設定していると、自機のシフト値が反映された画像データが相手機に転送されるため、相手機のシフト値は使用されません。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、タンデム設定メニュー画面にもどります。

7.3.15 [06 タンデム設定] – [04 割振りリカバリ]

自機と相手機のどちらかが先に出力を完了したり、トラブルが発生したりしたときに再割振りをするか、または最初の設定で出力を続行するかを設定します。

この設定をするには、サービスエンジニアによる設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

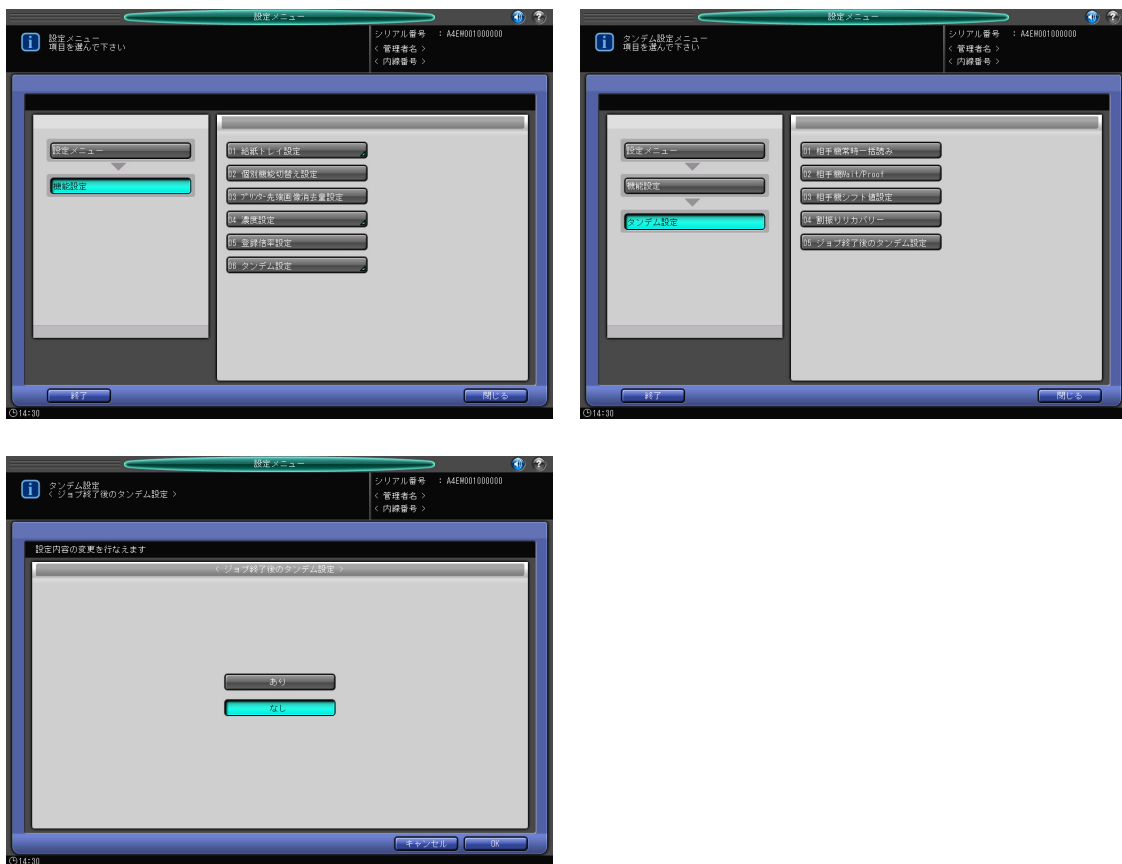


- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[06 タンデム設定]、[04 割振りリカバリ] を順に押します。
- 3 [あり] または [なし] を選択します。
 - [あり] を選択すると、一方の出力が早く完了したときに出力の再割振りをして出力したり、一方の機械にトラブルが発生したときにトラブルのない機械が残りの出力を全部行ったりするかを設定します。
 - [なし] を選択すると、出力が完了するまで、最初の割振りを変更しないで出力します。
 - [06 タンデム設定] – [02 相手機 Wait/Proof] で [許可] を選択しているときに、[あり] を押すと、[相手機 Wait/Proof 設定を [禁止] にして下さい] というメッセージが表示され、[あり] を選択できません。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、タンデム設定メニュー画面にもどります。

7.3.16 [06 タンデム設定] – [05 ジョブ終了後のタンデム設定]

タンデム出力が終了した後、タンデム出力を継続するか、解除するかを設定します。

この設定をするには、サービスエンジニアによる設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [02 機能設定]、[06 タンデム設定]、[05 ジョブ終了後のタンデム設定] を順に押します。
- 3 [あり] または [なし] を選択します。
 - [あり] を選択すると、タンデム出力を終了したら、引き続きタンデム出力の設定を継続します。
 - [なし] を選択すると、タンデム出力を終了したら、設定を解除します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、タンデム設定メニュー画面にもどります。

7.4 [03 コピー設定]

7.4.1 [01 リセット設定] — [01 初期設定]

機械をリセットしたときのコピー条件を任意に変更できます。

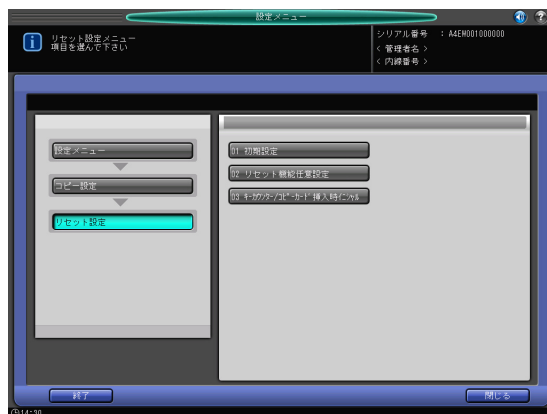
機械のリセット

- 電源を ON にしたとき
- オートリセット機能が機能したとき
- パワーセーブ機能が機能したとき
- ユーザー認証／部門管理が設定されているときに、パスワード入力などでコピーできるようになったとき
- キーカウンター／コピーカードを挿入したとき
- 操作パネルのリセットを押したとき

機械出荷時に設定されている初期設定（フルオート）とは別に、任意のコピー条件を初期設定として設定できます。

フルオートのコピー条件

- 原稿設定：標準
- 画質設定：標準
- 自動濃度：ON
- 倍率設定：1.000
- 出力設定：[02 リセット機能任意設定] で設定
- 片面／両面設定：片面→片面
- 自動用紙：ON
- 自動画像回転：ON
- ADF：ON



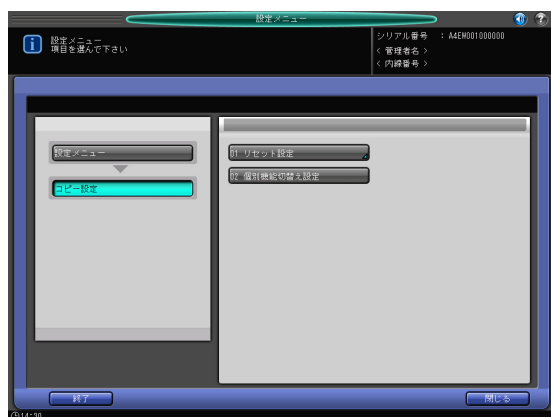
- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [03 コピー設定]、[01 リセット設定]、[01 初期設定] を順に押します。
- 3 初期状態のときの原稿設定、画質調整、倍率設定、片面／両面、出力設定、トレイの選択、自動用紙、および自動画像回転 ON/OFF を設定します。設定方法は、コピー画面で行う設定と同じです。
 - [ADF] を押すと、初期設定として ADF モードが選択されます。
 - 応用設定、用紙設定はできません。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、リセット設定メニュー画面にもどります。

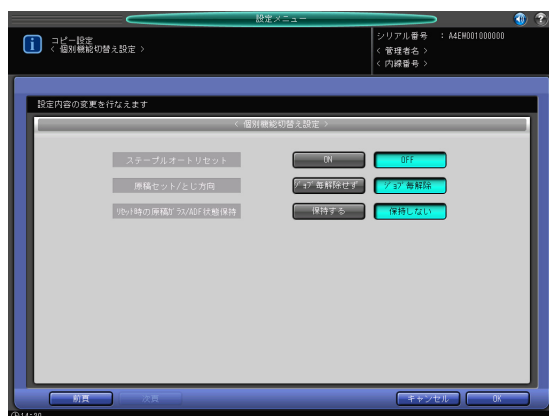
- 2 設定メニュー画面の [03 コピー設定]、[01 リセット設定]、[03 キーカウンター／コピーカード挿入時イニシャル] を順に押します。
- 3 キーカウンターやコピーカードを挿入したとき、機械をリセットするときは [ON]、リセットしないときは [OFF] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、リセット設定メニュー画面にもどります。

7.4.4 [02 個別機能切替え設定]

下記機能を切替えて設定します。

設定項目	説明	設定値（太字は初期値）
[中とじ／重ね中折り時小冊子]	中とじ／重ね中折りを選択したとき、応用設定の小冊子機能を自動選択するかどうかを設定します。	自動選択する 、自動選択しない
[原稿ガラス自動倍率]	原稿ガラスに原稿をセットしたとき、自動倍率を機能させるかどうかを設定します。	ON、OFF
[ADF 自動倍率]	ADF に原稿をセットしたとき、自動倍率を機能させるかどうかを設定します。	ON、OFF
[原稿ガラス自動サイズ選択]	原稿ガラスに原稿をセットしたとき、自動用紙を機能させるかどうかを設定します。	ON、OFF
[ADF 自動サイズ選択]	ADF に原稿をセットしたとき、自動用紙を機能させるかどうかを設定します。	ON、OFF
[APS 解除時のトレイ指定]	自動用紙（APS）が解除されたときに選択するトレイを指定します。	自動選択優先トレイ 、トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5
[原稿／出力とじ方向合わせ]	原稿設定のとじ方向と出力設定のとじ方向を同じにするかどうかを設定します。	ON、OFF
[ステープルオートリセット]	ステープルソートでコピーした後、自動的にステープルモードを解除して、ソートモードにするかどうかを選択します。	ON、OFF
[原稿セット／とじ方向]	原稿設定画面で設定した原稿セット方向、出力設定画面で設定した両面とじ方向の設定をジョブごとに解除するかどうかを選択します。	ジョブ毎解除せず 、 ジョブ毎解除
[リセット時の原稿ガラス／ADF 状態保持]	機械をリセットしたとき、原稿ガラス／ADF モードを初期状態にもどすか、リセット前の状態を保持するかを選択します。	保持する、保持しない





- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [03 コピー設定]、[02 個別機能切替え設定] を順に押します。
- 3 画面左側に表示される機能名称に対して、それぞれ [ON]、[OFF]、または希望する設定のボタンを選択します。
設定画面は2つあります。[次頁] または [前頁] を押して表示します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、コピー設定メニュー画面にもどります。

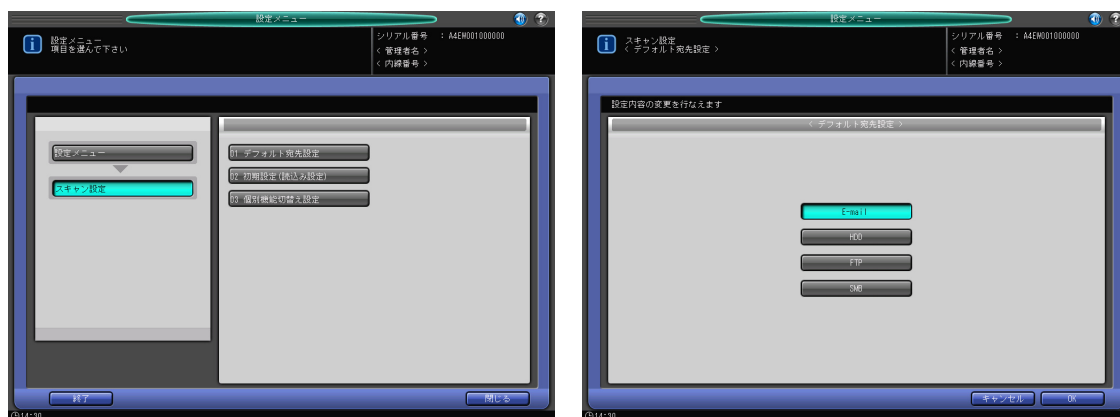
7.5 [04 スキャン設定]

7.5.1 [01 デフォルト宛先設定]

スキャン画面を表示したときに、デフォルトで選択される宛先を設定します。

宛先として、下記の4種類の中から1つを選択します。

- E-mail (メールアドレス)
- HDD (ボックス NO.)
- FTP (FTP サーバーアドレス)
- SMB



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [04 スキャン設定]、[01 デフォルト宛先設定] を順に押します。
- 3 希望する送信先のボタンを選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、スキャン設定メニュー画面にもどります。

7.5.2 [02 初期設定 (読み込み設定)]

スキャン読み込み時の初期設定を設定します。



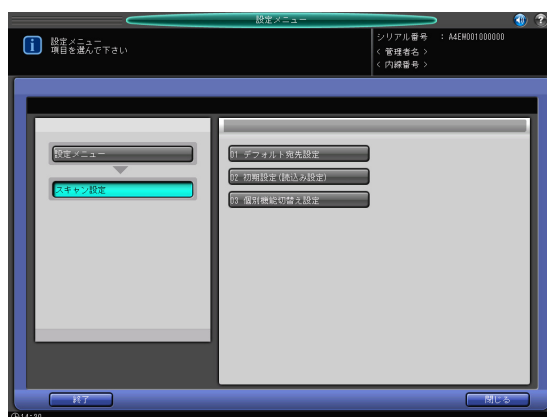
- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [04 スキャン設定]、[02 初期設定 (読み込み設定)] を順に押します。

- 3 初期設定のときの原稿設定、画質設定、倍率設定、応用設定、読み込みサイズ、解像度（dpi）、片面／両面を設定します。
設定方法は、スキャン画面で行う設定と同じです。
[ADF] を押すと、初期設定として ADF モードが設定されます。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、スキャン設定メニュー画面にもどります。

7.5.3 [03 個別機能切替え設定]

スキャンした時の、デフォルトで選択されるファイル形式を設定します。

ファイル形式デフォルト E-mail	スキャンデータを E-mail に添付して送信するときのデータ形式を一括 PDF、分割 PDF、一括 TIFF、分割 TIFF、一括 XPS、分割 XPS から選択します。
ファイル形式デフォルト HDD	スキャンデータを HDD に保存するときのデータ形式を一括 PDF、分割 PDF、一括 TIFF、分割 TIFF、一括 XPS、分割 XPS から選択します。
ファイル形式デフォルト FTP	スキャンデータを FTP サーバーに送信するときのデータ形式を一括 PDF、分割 PDF、一括 TIFF、分割 TIFF、一括 XPS、分割 XPS から選択します。
ファイル形式デフォルト SMB	スキャンデータを共有フォルダーに送信するときのデータ形式を一括 PDF、分割 PDF、一括 TIFF、分割 TIFF、一括 XPS、分割 XPS から選択します。



- 1 7-2 ページの操作をして、設定メニュー画面を表示します。
- 2 設定メニュー画面の [04 スキャン設定]、[03 個別機能切替え設定] を順に押します。
- 3 画面左側に表示される機能に対して、それぞれ希望する設定のボタンを選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、スキャン設定メニュー画面にもどります。

重要

複数の宛先に対して同時送信する場合、個別にファイル形式を設定できません。

同時送信する場合のファイル形式設定は、以下の優先順位となります。

1. E-mail
2. HDD
3. FTP
4. SMB

- 4 座標値を確認します。
 - 「タッチパネル調整」表示下の 1 行目に表示される X 座標、および Y 座標の値が、2 行目に表示される規格値の範囲内にあることを確認します。
 - 規格値が表示の範囲外の場合は、調整をやりなおすか、サービス実施店にご連絡ください。
- 5 左上、右下のチェックボタンを押して、2 つともブザーが鳴ることを確認します。
 - ブザーが鳴らないときは、調整をやりなおすか、サービス実施店にご連絡ください。
- 6 設定内容を確認するため、**操作パネルのテンキー [0]** を押します。
 - 確定しないときは、**操作パネルのテンキー [1]** を押して、設定メニュー画面にもどります。

7.7 [06 管理者設定] – [01 環境設定]

7.7.1 [01 パワーセーブ設定] – [01 パワーセーブ設定]

操作パネルのパワーセーブを押したときに機能するパワーセーブを、オートローパワー、オートシャットオフから選択します。また、オートローパワー、オートシャットオフが機能するまでの時間を選択します。

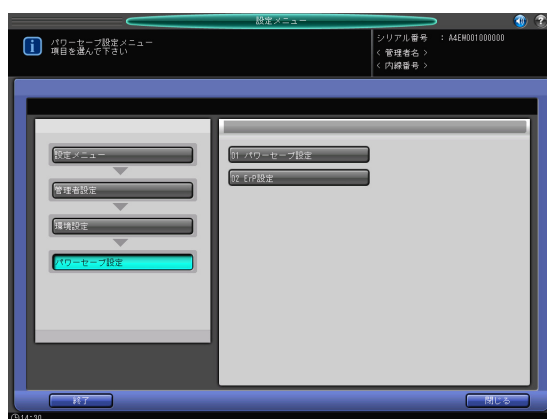
オートローパワー：[1分]、[3分]、[5分]、[10分]、[15分]、[30分]、[60分]、[90分]、[120分]、[240分]

オートシャットオフ：[---分]、[1分]、[3分]、[5分]、[10分]、[15分]、[30分]、[60分]、[90分]、[120分]、[240分]

重要

オートシャットオフを機能しないときは、[---分]に設定します。オートローパワーを機能しないように設定できません。

オートシャットオフを[---分]に設定すると、オートローパワーは[1分]に切替わり、そのあと設定可能なすべての時間に設定できます。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[01 パワーセーブ設定]、[01 パワーセーブ設定] を順に押します。
- 3 「パワーセーブ機能選択」下の「オートローパワー」または「オートシャットオフ」を押して、操作パネルのパワーセーブを押したときに機能するパワーセーブモードを選択します。
- 4 オートローパワーが機能するまでの時間を指定します。
 - 画面右側の「オートローパワー設定」タイトル下の [▼] または [▲] を押して、任意の時間を選択します。最初は [1 分] に設定されています。

重要

オートローパワーの時間は、オートシャットオフの時間を超えて設定できません。

オートシャットオフと同じ時間を選択すると、オートローパワーの時間の反転表示が消えます。

この場合は、オートローパワーのかわりにオートシャットオフが機能します。

- 5 オートシャットオフが機能するまでの時間を指定します。
 - 画面右側の「オートシャットオフ設定」タイトル下の [▼] または [▲] を押して、任意の時間を選択します。最初は [15 分] に設定されています。
 - オートシャットオフを使用しないときは、[---分] を選択します。

重要

オートローパワーと同じ時間を選択すると、オートローパワーの時間の反転表示が消えます。

この場合は、オートローパワーのかわりにオートシャットオフが機能します。

- 6 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、パワーセーブ設定メニュー画面にもどります。

7.7.2 [01 パワーセーブ設定] – [02 ErP 設定]

ErP 機能は、主電源スイッチが ON の状態で、下記の状態が一定時間を経過したとき、主電源スイッチを自動的に OFF にします。

- 副電源スイッチが OFF の状態
- オートシャットオフが機能した状態
- オートローパワーが機能した状態

ErP が機能する時間を選択します。ErP 機能を使用しないときは、[移行しない] を選択します。

選択項目：[移行しない]、[12 時間]、[24 時間]、[36 時間]、[48 時間]、[60 時間]、[72 時間]

重要

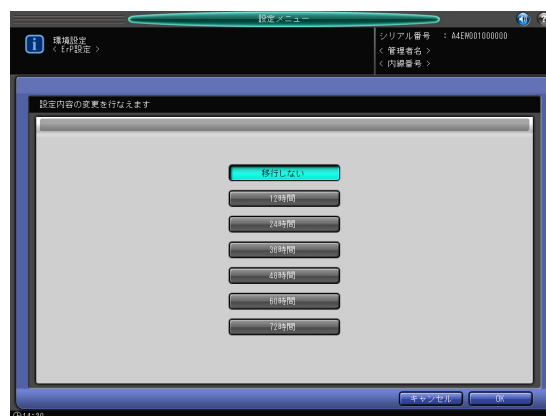
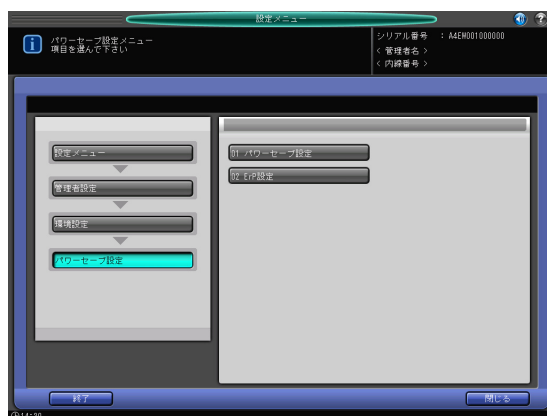
ウィークリータイマー使用設定を [使用する] にしている機械や CSRC 接続の設定をしている機械は、[02 ErP 設定] ボタンがグレイアウトして設定できません。

**参照**

CSRC 接続については、サービス実施店にお問い合わせください。

**参照**

[06 エキスパート調整] – [04 主電源自動 OFF 設定] で [ON] を選択すると、副電源スイッチを OFF にして、本体の冷却が完了すると、本設定に関係なく主電源スイッチは自動的に OFF になります。詳しくは、7-55 ページをごらんください。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[01 パワーセーブ設定]、[02 ErP 設定] を順に押します。
- 3 画面に表示している任意の時間ボタンを選択します。
→ 本機能を使用しないときは、[移行しない] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、パワーセーブ設定メニュー画面にもどります。

7.7.3 [02 日時設定]

本機に設定されている時計の時刻合わせ、およびサマータイムの ON/OFF を選択します。

サマータイムを ON にしたときの時間のズレを設定します。また、タイムゾーンで標準時間との時差を設定します。

最初は、サマータイムは設定されていません。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[02 日時設定] を順に押します。
- 3 本機に設定されている時計の時刻合わせを行います。
画面には、現在設定されている時刻が、年（西暦）、月、日、時刻（24 時間表示）の順に表示されています。
→ 画面のテンキーを押して、「年」の下 2 桁を入力します。
→ テンキー右下の [設定] を押して、入力した数値を確定します。反転表示が右方向へ移動します。同様に、「月」、「日」、「時刻」を設定します。
- 4 サマータイムを設定します。
→ サマータイムを設定するときは、[サマータイム] を押します。[サマータイム] が反転します。
→ 画面のテンキーを押して、早める時間を入力します。
→ テンキー右下の [設定] を押して、入力した数値を確定します。
- 5 世界標準時との時差を設定します。
メール通知時の時差情報を設定します。時差は国や地域によって決まっています（日本の場合は 9 時間早い）。
→ [タイムゾーン] を押してから、画面のテンキーで時差を入力します。たとえば、9 時間早いときは「+ 0900」と入力します。
→ [+ <-> -] を押して、世界標準時より早い場合は「+」、遅い場合は「-」に切替えます。
→ テンキー右下の [設定] を押して、入力した数値を確定します。
- 6 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、管理者設定メニュー画面にもどります。

7.7.4 [03 ウィークリータイマー設定] – [01 ウィークリータイマー使用設定]

ウィークリータイマーは、管理者設定によって機械の使用時間を管理する機能です。

ここでは、ウィークリータイマー機能を使用するかどうかを選択します。ウィークリータイマーは、工場出荷時には設定されていません。

ウィークリータイマーの基本条件

- 本体のプラグがコンセントに接続されていること。電源プラグが抜かれているとウィークリータイマーは機能しませんが、オン時刻／オフ時刻設定などのデータは保存されます。
- 副電源スイッチが ON 状態であること。
- 現在の正確な日付と時刻を設定すること。

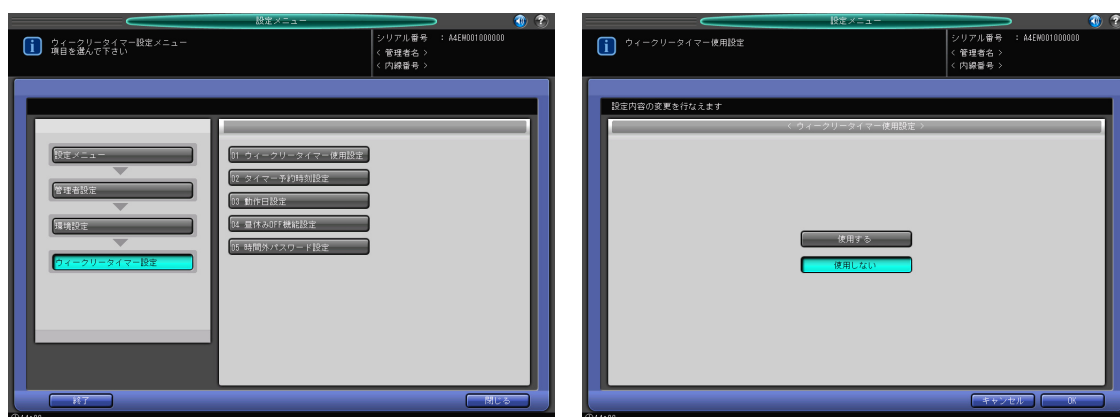
重要

ウィークリータイマー使用設定を [使用する] にすると、[01 パワーセーブ設定] – [02 ErP 設定] の設定ができなくなります。



参照

ErP 設定については、7-46 ページをごらんください。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[03 ウィークリータイマー設定]、[01 ウィークリータイマー使用設定] を順に押します。
- 3 [使用する] または [使用しない] を選択します。

重要

最初は、[使用しない] が選択されています。[使用する] を選択すると、ウィークリータイマーが機能します。このように設定した機械は、**副電源スイッチ**を ON にしたままにします。[使用しない] を選択すると、ウィークリータイマーは機能しません。電源の ON/OFF は、**副電源スイッチ**で行います。

- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

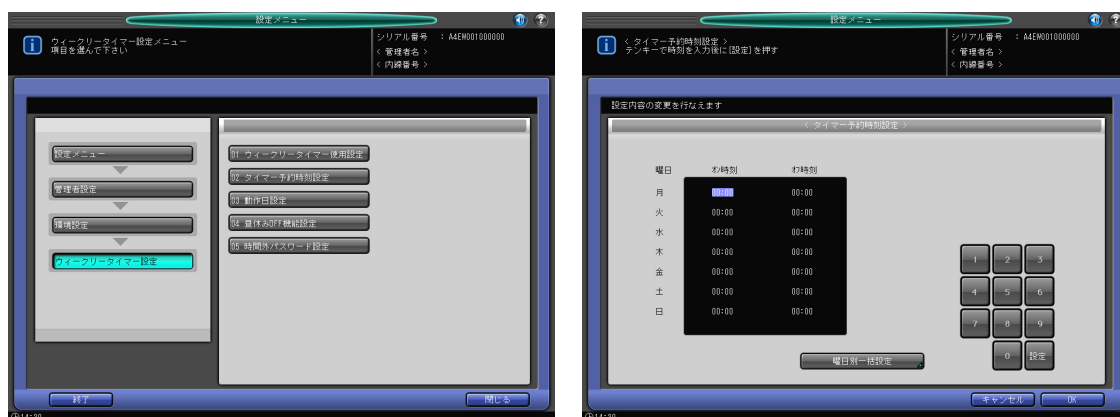
7.7.5 [03 ウィークリータイマー設定] – [02 タイマー予約時刻設定]

機械のオン時刻／オフ時刻を、曜日ごとに個別に、または一括で設定します。

重要

ここで時刻を設定しても、タイマーを動作させるかどうかは、[動作日設定] (7-49 ページ参照) で設定します。ここで休日の時刻を設定しても、休日に機械の電源は ON しません。

オン時刻とオフ時刻を同じに設定すると、動作日であっても電源は ON しません。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[03 ウィークリータイマー設定]、[02 タイマー予約時刻設定] を順に押します。

- 3 オン時刻／オフ時刻を、曜日別に一括で設定します。
 - [曜日別一括設定] を押して、曜日別一括設定画面を表示します。
 - 月曜日から日曜日の中で、オン時刻とオフ時刻を同じにしたい曜日を選択します。
 - 画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーを使って、オン時刻とオフ時刻を入力します。[設定] を押すと、時刻の反転表示が移動します。
 - [OK] を押して、タイマー予約時刻設定画面にもどります。
- 4 オン時刻／オフ時刻を個別に入力します。
 - [設定] を押して、設定したい曜日のオン／オフ時刻を選択します。
 - 画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーを使って、時刻を入力します。[設定] を押すと、次の時刻が反転します。
 - 上記の操作を繰返して、希望するオン時刻とオフ時刻をすべて入力します。
- 5 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

7.7.6 [03 ウィークリータイマー設定] – [03 動作日設定]

タイマー予約時刻設定のオン時刻／オフ時刻どおりに、タイマーが作動する動作日を設定します。個別に設定するときはカレンダーをみながら、一括の場合は曜日単位で設定します。

重要

工場出荷時には、どの月も月曜日から土曜日までは ON、日曜日は OFF に設定されています。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[03 ウィークリータイマー設定]、[03 動作日設定] を順に押します。
- 3 画面下部の曜日別一括設定で、曜日別にタイマーを動作するかどうかを選択します。
 - [ON] または [OFF] を押すと、動作日変更確認のダイアログが表示されます。[はい] を押すと、曜日別一括設定での変更が有効となります。変更しないときは、[いいえ] を押します。
 - 曜日別一括設定での設定は、カレンダーによる個別設定より優先されます。
- 4 画面中央に表示されるカレンダーで、動作日を個別に設定します。
 - カレンダーの日付ボタンを押して、設定を変更します。
 - [▼] または [▲] を押して、カレンダーの月を変更できます。
- 5 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

7.7.7 [03 ウィークリータイマー設定] – [04 昼休み OFF 機能設定]

ウィークリータイマーが作動すると、機械は 1 日に 1 回、設定された時刻どおりに ON/OFF します。

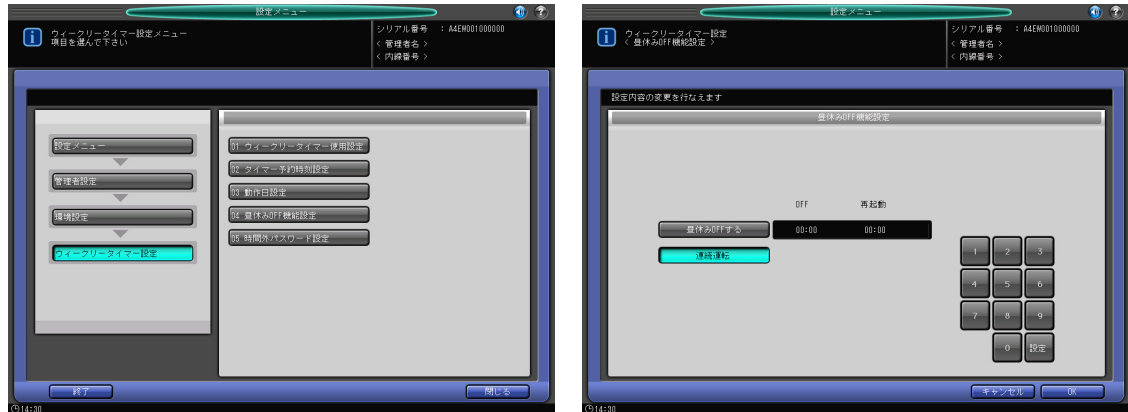
昼休み OFF 機能は、ウィークリータイマーによって ON 状態の間、機械を使用しない時間を設定することで、機械をもう一度 OFF/ON する機能です。

機械を OFF する時刻は、曜日に共通して 1 種類だけ設定できます。

重要

機械が ON 状態でない時間に昼休み OFF 時刻が設定されていると、この機能は無効になります。

工場出荷時には、昼休み OFF 機能は働かないように設定されています。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[03 ウィークリータイマー設定]、[04 昼休み OFF 機能設定] を順に押します。
- 3 [昼休み OFF する] を選択してから、OFF 時刻、再起動時刻を設定します。
 - 画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーを押して、OFF 時刻を入力します（24 時間表示）。[設定] を押して、同様に再起動時刻を入力します。
 - [連続運転] を選択すると、昼休み OFF 機能は働きません。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

7.7.8 [03 ウィークリータイマー設定] – [05 時間外パスワード設定]

本機は、ウィークリータイマーが働いて電源が OFF になっていても、操作パネルのパワーセーブを押して時間外パスワードを入力して、電源 ON にすることができます。

ここでは、時間外に使用するときに必要な 4 桁の時間外パスワードの設定のしかたを説明します。ここでパスワードを設定すると、操作パネルのパワーセーブを押した後にこの時間外パスワードを入力すると、使用する時間を任意に設定して使用できます。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[03 ウィークリータイマー設定]、[05 時間外パスワード設定] を順に押します。
- 3 画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで、4桁の時間外パスワードを入力します。
重要
パスワードを「0000」に設定すると、操作パネルのパワーセーブを押すだけで、時間外に機械を使用できるようになります。ただし、使用時間（電源が再び OFF になるまでの時間）の入力が必要です。工場出荷時は「0000」に設定されています。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

7.7.9 [04 リスト／カウンター]

下記の中から、任意のリストを選択してプリントできます。

リスト	説明
設定メモリーリスト	設定メモリーの登録内容をプリントアウトします。
ユーザー管理リスト	ユーザーが設定した内容をプリントアウトします。
使用管理リスト	ユーザー認証／部門管理によって管理される情報をプリントアウトします。
フォントパターンリスト	機械で使用するフォントのパターンをプリントアウトします。
監査ログレポート	監査ログをプリントアウトします。

上記リストやレポートを USB 接続ポートに接続した USB メモリーに一括保存します。

- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[04 リスト／カウンター] を順に押します。
- 3 プリントアウトしたいリスト／監査ログレポートを選択します。
- 4 [印刷モードへ] を押します。
印刷モード画面が表示されます。
- 5 操作パネルのスタートを押して、プリントを開始します。
→ プリントを中断するときは、操作パネルのストップを押します。
→ プリントが終わったら、[閉じる] を押して、リスト／カウンター画面にもどります。
- 6 [前画面] を押します。
環境設定メニュー画面にもどります。

7.7.10 [05 ユーザー操作禁止設定]

一般ユーザーが使用できる操作の中で、下記操作を制限します。

設定項目	設定内容	選択項目（太字は初期値）
コピープログラムロック／削除	プログラム機能を使用して登録したコピー条件を、ほかの登録操作中にあやまって上書きしないようにロックします。 ロックしたプログラムを解除します。 登録したプログラムを削除します。	—
宛先登録変更	スキャン画面で、送信先の手動入力を許可するか、禁止するかを選択します。	許可、 禁止
倍率登録変更	固定倍率の変更を許可するか、禁止するかを選択します。	許可、 禁止
登録オーバーレイ変更	登録オーバーレイの画像名を上書き変更したり、削除したりすることを許可するか、禁止するかを選択します。	許可、 禁止
スキャン機能選択 (E-mail)	スキャンデータをメール先に送信するのを許可するか、禁止するかを選択します。	許可、 禁止
スキャン機能選択 (HDD)	スキャンデータを HDD に保存するのを許可するか、禁止するかを選択します。	許可、 禁止
スキャン機能選択 (FTP)	スキャンデータを FTP サーバーに送信するのを許可するか、禁止するかを選択します。	許可、 禁止
スキャン機能選択 (SMB)	スキャンデータを共有フォルダーに保存するのを許可するか、禁止するかを選択します。	許可、 禁止



上記リストやレポートを USB 接続ポートに接続した USB メモリーに一括保存します。

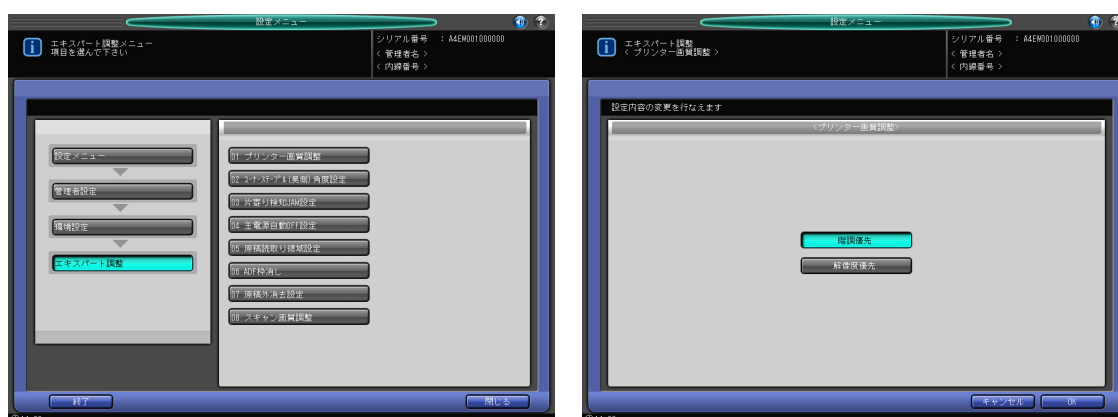
- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[05 ユーザー操作禁止設定] を順に押します。
- 3 [コピープログラムロック／削除] を押します。
ユーザー操作禁止設定画面が表示されます。
→ コピープログラムロック／削除以外の設定をする場合は、手順 7 に進みます。
- 4 プログラムをロックしたり、ロックを解除したりします。
プログラムは 30 まで設定できます。[次頁] [前頁] を押して、希望するプログラムを表示します。
→ 書き込みがしてある設定には、プログラム No. の右横に登録した名前が表示されています。
→ ロックしたいプログラム No. の左横にあるボタンを押すと、ロックマークが表示され、ロックされます。
→ ロックマークが表示しているボタンを押すと、ロックマークが消えて、ロックが解除されます。
→ 名前が入力されていないキーを押しても、ロックマークは表示されず、ロックされません。
- 5 プログラムを削除します。
→ 削除したいプログラム No. を選択します。ロックされたプログラムも選択して削除できます。
→ 画面下の [削除] を押すと、削除確認のダイアログが表示されます。ダイアログの [はい] を押します。
→ プログラムは消去され、名前もなくなります。反転表示は元にもどります。
重要
手順 5 で削除したプログラムは、手順 6 で [キャンセル] を押しても復帰できません。また、一度削除すると復帰できませんので、ご注意ください。
- 6 コピープログラムロック／削除の設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ユーザー操作禁止設定画面にもどります。
- 7 ユーザー操作禁止設定画面に表示されている項目の [許可] または [禁止] を選択します。
- 8 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

7.7.11 [06 エキスパート調整] – [01 プリンター画質調整]

出力する画質を階調優先にするか、解像度優先にするかを選択します。

階調優先にすると、写真のように階調性の高いデータの再現が良くなります。

解像度優先にすると、文字のようにコントラストの高いデータの再現が良くなります。

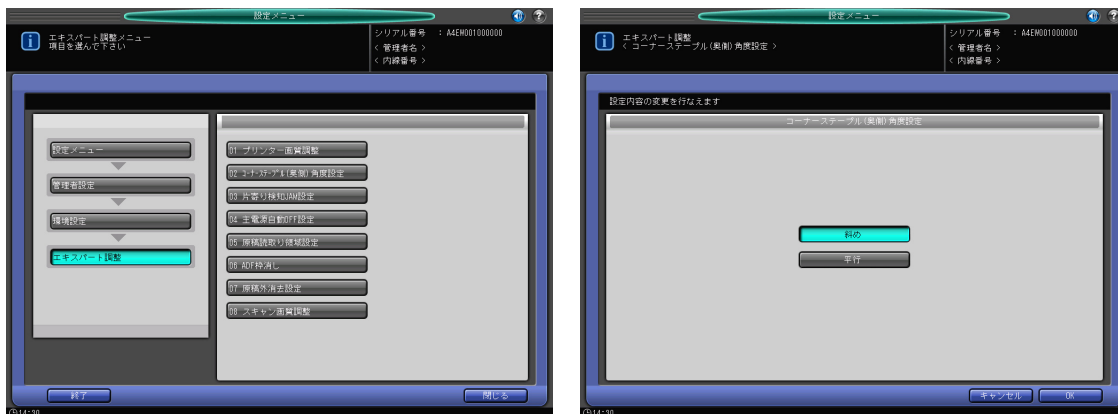


- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[06 エキスパート調整]、[01 プリンター画質調整] を順に押します。

- 3 [階調優先] または [解像度優先] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

7.7.12 [06 エキスパート調整] – [02 コーナーステープル（奥側）角度設定]

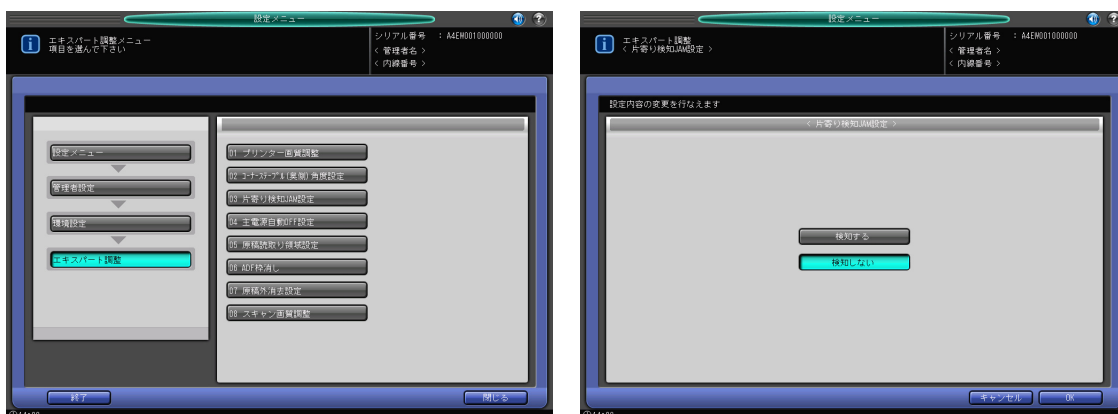
平とじステープルのコーナーステープルする場合、左コーナーと右コーナーのどちらかを選択します。左右コーナーのステープルのしかたを斜めにするか、平行にするかを選択します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[06 エキスパート調整]、[02 コーナーステープル（奥側）角度調整] を順に押します。
- 3 [斜め] または [平行] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

7.7.13 [06 エキスパート調整] – [03 片寄り検知 JAM 設定]

5 mm 以上の片寄りを機械が検出したとき、JAM として機械を停止するか、停止しないかを選択します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[06 エキスパート調整]、[03 片寄り検知 JAM 設定] を順に押します。

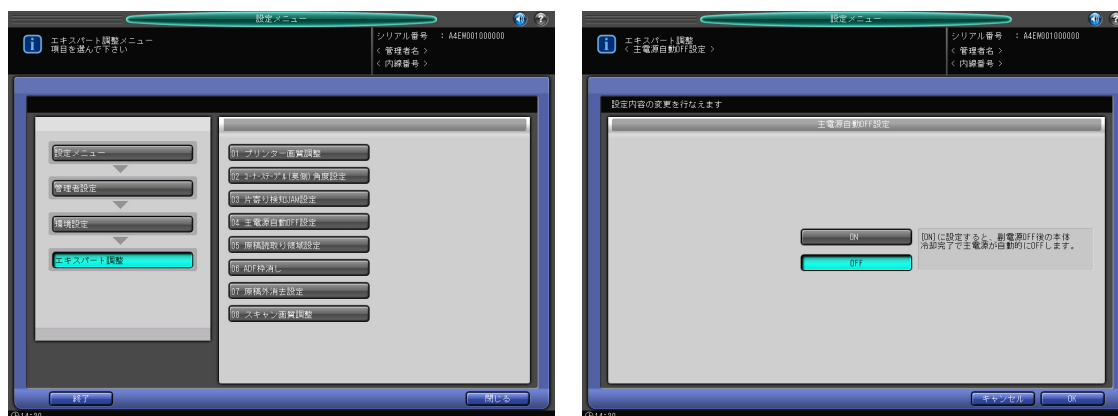
- 3 [検知する] または [検知しない] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

7.7.14 [06 エキスパート調整] – [04 主電源自動 OFF 設定]

副電源スイッチを OFF にして、本体の冷却が完了すると、主電源スイッチを自動的に OFF にするか、OFF にしないかの選択をします。

重要

ウィークリータイマー使用設定を [使用する] にしたり、CSRC 接続の設定をしたり、ErP 設定をしたりしていても、本設定が優先されます。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[06 エキスパート調整]、[04 主電源自動 OFF 設定] を順に押します。
- 3 [ON] または [OFF] を選択します。
→ [ON] を選択すると、本設定が機能します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

7.7.15 [06 エキスパート調整] – [05 原稿読取り領域設定]

原稿を読取るとき、原稿の外側の余白部分を無条件で消去するか、条件付きで消去するか選択します。下記の 3 つの中から選択します。

選択項目	説明
[原稿外消去する]	無条件で原稿外消去します。
[自動サイズ／自動倍率時のみ]	自動用紙または自動倍率が機能しているときだけ、原稿外消去します。
[原稿ガラス等倍を除き消去]	原稿ガラス等で等倍コピーするときを除いて、原稿外消去します。

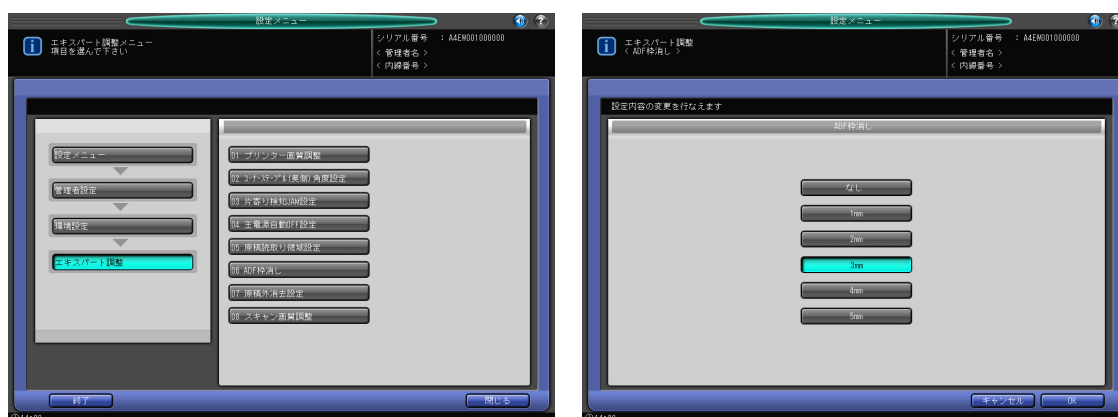


- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[06 エキスパート調整]、[05 原稿読み取り領域設定] を順に押します。
- 3 希望する設定のボタンを選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 → 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

7.7.16 [06 エキスパート調整] – [06 ADF 枠消し]

ADF を使用してコピーするとき、枠消しコピーを機能させないか、機能させる場合の枠消し量を選択します。

選択項目：[なし]、[1 mm]、[2 mm]、[3 mm]、[4 mm]、[5 mm]



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[06 エキスパート調整]、[06 ADF 枠消し] を順に押します。
- 3 希望する設定のボタンを選択します。
 → ADF 枠消しを機能させないときは、[なし] を選択します。ADF 枠消しを機能させるときは、[1 mm] ～ [5 mm] から枠消し量を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 → 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

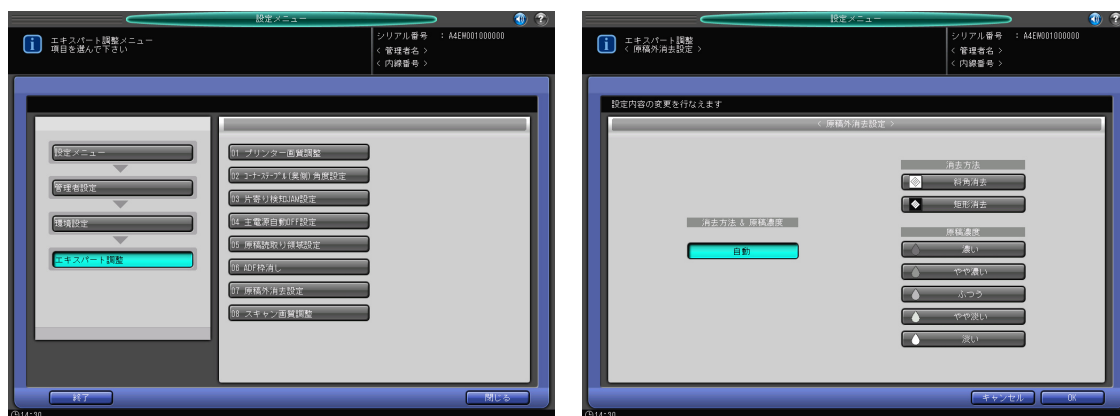
7.7.17 [06 エキスパート調整] – [07 原稿外消去設定]

応用設定の原稿外消去を選択したときに機能する消去方法と原稿濃度を個別に設定します。消去方法と原稿濃度の両方を自動に設定できます。

最初は、自動が設定されています。

重要

自動では、原稿によってうまく消去できないことがあります。そのときは、消去方法と原稿濃度を手動で選択します。

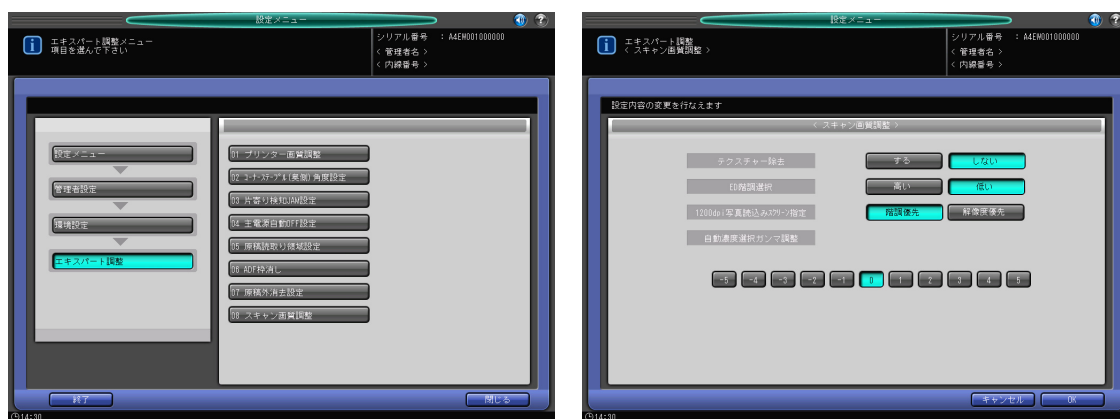


- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[06 エキスパート調整]、[07 原稿外消去設定] を順に押します。
- 3 手動で設定するときは、[斜角消去] または [矩形消去] を選択し、任意の原稿濃度ボタンを選択します。
自動に設定するときは、[自動] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

7.7.18 [06 エキスパート調整] – [08 スキャン画質調整]

原稿スキャンするときの画質についての下記項目を調整します。

調整項目	説明	選択項目 (太字は初期値)
テクスチャー除去	ハーフトーンの画像に斜めのスジが出る場合、[する] を選択します。	する 、しない
ED 階調選択	ED 階調を選択します。	高い 、低い
1200dpi 写真読み込みスクリーン指定	1200dpi の写真読み込みスクリーンを指定します。	階調優先 、解像度優先
自動濃度選択ガンマ調整	11 段階の自動濃度選択ガンマ値を選択します。	－ 5 ～ 5 (0)



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[06 エキスパート調整]、[08 スキャン画質調整] を順に押します。
- 3 各項目の任意のボタンを選択します。自動濃度選択ガンマ調整は、[- 5] ～ [5] のうち 1 つを選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

7.7.19 [07 サイズ設定]

原稿サイズ検知：

ADF や原稿ガラスで検知する原稿サイズの系統（A 系、B 系、インチ系）を選択します。

サイズの系統	説明
A 系・B 系	A 系および B 系を検知します。
A 系列のみ	A 系だけ検知します
インチ系	インチ系だけ検知します。
フルサイズ	A 系、B 系、インチ系をすべて検知します。個別の系列を検知するモードより、検知できるサイズは少なくなります。

原稿ガラス最小サイズ設定：

原稿ガラスを使ってコピーをとるとき、最小サイズを設定します。最小サイズは、下記のサイズから選択します。

[はがき]、[A5 ㍿]、[5.5 × 8.5 ㍿]、[B5 ㍿]、[A4 ㍿]、[8.5 × 11 ㍿]



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[07 サイズ設定] を順に押します。
- 3 [原稿サイズ検知] および [原稿ガラス最小サイズ設定] 右の任意のボタンをそれぞれ 1 つずつ選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

7.7.20 [08 任意スタンプ設定]

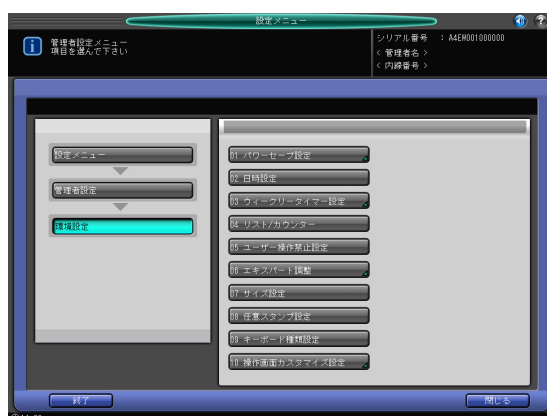
応用設定—スタンプ／オーバーレイ機能の任意スタンプを使用するため、事前に必要な設定を行い、登録します。40 個まで任意スタンプ設定を登録できます。また、登録した内容を編集したり、削除したりします。

任意スタンプを使用するために、下記項目を設定登録します。

設定項目		説明
[タイトル]		任意スタンプ設定のタイトルを入力します。 全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英数字で 6 文字、半角の英数字、記号、カタカナで 12 文字までのタイトルを入力します。
[第 1 項目]、 [第 2 項目]、 [第 3 項目]	[概要]	[第 1 項目]、[第 2 項目]、[第 3 項目] それぞれに任意スタンプとして印字する種類を [タイプイン]、[日付／時刻]、[任意スタンプ番号] から 1 つ選択して、印字内容を設定します。1 つの項目に複数の印字内容を設定できません。 印字しないときは、[印刷なし] を選択します。 [文字設定] で印字の大きさと書体を選択します。
	[タイプイン]	任意スタンプとして文字列を印字するとき、その文字列を入力します。 半角の英数字、記号で 40 文字まで入力できます。
	[日付／時刻]	任意スタンプとして日付／時刻を印字するとき、その印字形式を選択します。 日付：5 種類の印字形式から 1 つ選択します。([' 11/11/23]、[11/23/ ' 11]、[23/11/ ' 11]、[Nov 23, 2011]、[23 Nov, 2011]) ([印字なし]、[1:23PM]、[13:23])
	[任意スタンプ番号]	任意スタンプとして任意スタンプ番号を印字するとき、[タイプイン] と [任意スタンプ番号] をそれぞれ印字するか、しないかを選択します。2 つとも印字するように設定できます。 [タイプイン] は、半角の英数字、記号で 20 文字まで入力できます。 [任意スタンプ番号] は、半角の英数字、記号で 9 文字まで入力できます。印字形式は、[全桁数を印刷] または [有効桁数を印刷] を選択します。
	[印刷なし]	選択した項目の任意スタンプを印字しないときに選択します。

設定項目		説明
	[文字設定]	選択した項目に任意スタンプとして選択した〔タイプライン〕、〔日付／時刻〕、または〔任意スタンプ番号〕の文字の大きさと書体を選択します。
[項目の組み合わせ方法]	概要	任意スタンプを複数項目設定したとき、その印字をヨコ一列に並べて一行に印字するか、三行分のスペースを確保して、改行して印字するかを選択します。
	三行	三行分のスペースを確保して、改行して印字します。
	一行	複数項目設定した印字をヨコ一列に並べて一行に印字します。

- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[08 任意スタンプ設定] を順に押します。
任意スタンプ新規登録／編集／削除画面が表示されます。



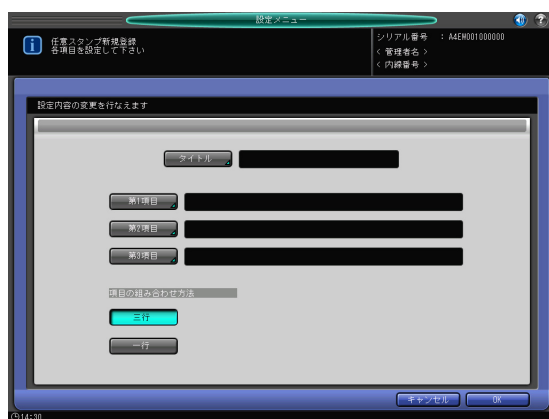
- 3 任意スタンプ設定の新規登録をするため、任意スタンプ設定画面の空白ボタンを選択して、[新規登録] を押します。



任意スタンプ設定画面が表示されます。

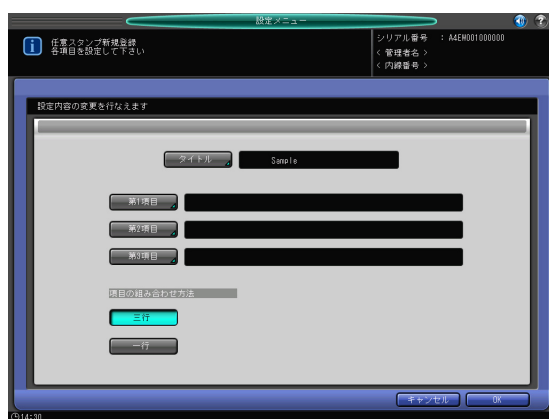
- 任意スタンプ設定を編集するときは、手順 10 に進みます。
- 任意スタンプ設定を削除するときは、手順 13 に進みます。

- 4 [タイトル] を押して、タイトル入力画面を表示し、タイトル入力を入力します。



- タイトルを入力しないと、登録を完了できません。必ずタイトルを入力してください。入力の方法は、付録の「文字入力のしかた」をごらんください。
- 入力が完了したら、[OK] を押します。

5 [第1項目] を押します。



第1項目内容設定画面が表示されます。

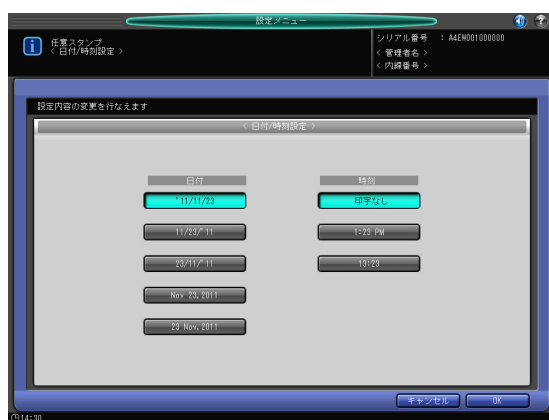
6 [タイプイン]、[日付/時刻]、[任意スタンプ番号] から1つを選択し、内容を設定します。



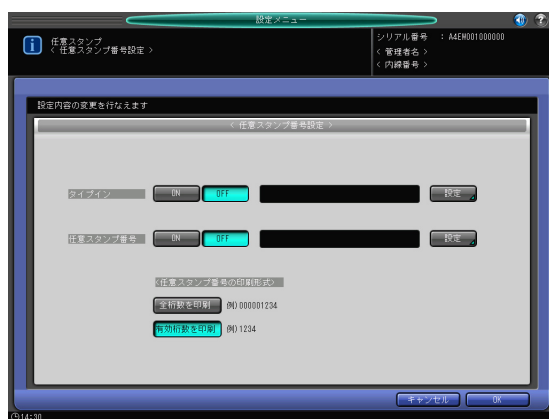
- [タイプイン] を選択すると、入力画面が表示されます。任意スタンプとして印字する文字列を入力して、[OK] を押します。入力の方法は、付録の「文字入力のしかた」をごらんください。



- [日付／時刻] を選択すると、日付／時刻設定画面が表示されます。[日付] 下のボタン、および [時刻] 下のボタンを 1 つずつ選択して、[OK] を押します。



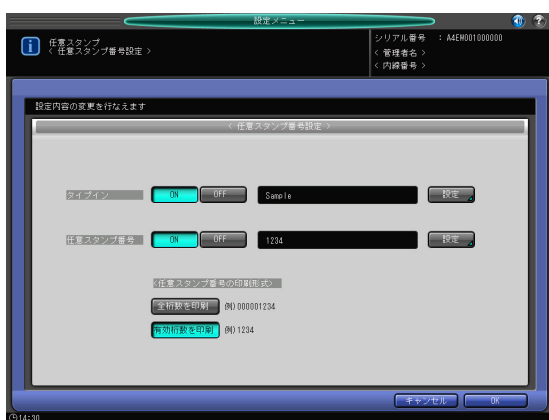
- [任意スタンプ番号] を選択すると、任意スタンプ番号設定画面が表示されます。
 → 任意スタンプ番号に任意の文字や番号を付けるときは、[タイプイン] 右の [ON] を選択して、右の [設定] を押します。入力画面で文字列を入力して [OK] を押します。



- 任意スタンプ番号を印字するときは、[任意スタンプ番号] 右の [ON] を選択して、右の [設定] を押します。入力画面で [0] ～ [9] の数字を入力して [OK] を押します。



- 「任意スタンプ番号の印刷形式」下の「全桁数を印刷」または「有効桁数を印刷」を押して、入力可能な 9 桁の任意スタンプ番号をすべて印字するか、有効桁数だけ印字するかを選択します。



- 第 1 項目を印字しないときは、「印刷なし」を選択します。「タイプイン」、「日付／時刻」、または「任意スタンプ番号」の設定をした後に「印刷なし」を押すと、設定した内容は削除されます。
- 「文字設定」を押すと、印刷文字設定画面が表示されます。「文字サイズ」下のボタン、および「文字種類」下のボタンを 1 つずつ選択して、「OK」を押します。



- 7 設定内容を確定するため、「OK」を押します。
- 確定しない場合は、「キャンセル」を押します。いずれも、任意スタンプ設定画面にもどります。
- 8 必要に応じて、「第 2 項目」および「第 3 項目」を選択し、内容を設定します。
- 手順 5 ～手順 7 に従って内容を設定します。

- 9 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 → 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、任意スタンプ設定画面にもどります。
- 10 登録されている任意スタンプ設定を編集するため、登録済みボタンを選択して、[編集] を押します。



任意スタンプ設定画面が表示されます。

- 11 手順 5 ～手順 8 に従って、既存の設定内容を編集します。
- 12 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 → 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、任意スタンプ設定画面にもどります。
- 13 登録されている任意スタンプ設定を削除するため、登録済みボタンを選択して、[削除] を押します。
 削除確認のダイアログが表示されます。
- 14 [はい] を押します。
 → 削除しないときは、[いいえ] を押します。



任意スタンプ設定画面にもどります。

- 15 [前画面] を押します。
 環境設定メニュー画面にもどります。

7.7.21 [09 キーボード種類設定]

サービスポートに接続するキーボードの種類を選択します。

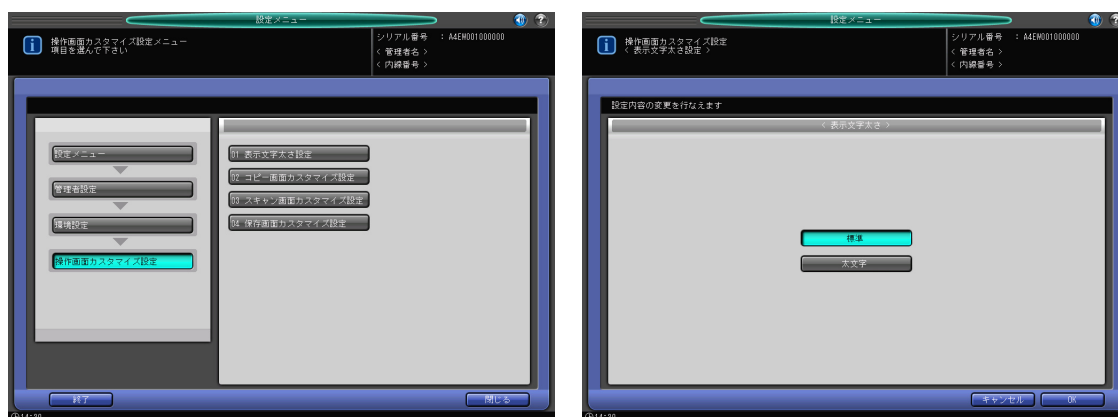
選択項目：[EN65]、[EN104]、[JP101]、[JP106]、[JP109]



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[09 キーボード種類設定] を順に押します。
- 3 任意のボタンを 1 つ選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

7.7.22 [10 操作画面カスタマイズ設定] – [01 表示文字太さ設定]

操作画面に表示される文字の太さを設定します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[10 操作画面カスタマイズ設定]、[01 表示文字太さ設定] を順に押します。
- 3 [標準] または [太文字] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、操作画面カスタマイズ設定メニュー画面にもどります。

7.7.23 [10 操作画面カスタマイズ設定] – [02 コピー画面カスタマイズ設定]

コピー画面の上半分に表示される設定項目の並べ順を任意に変更します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[10 操作画面カスタマイズ設定]、[02 コピー画面カスタマイズ設定] を順に押します。
- 3 動かしたい設定項目を選択して、[◀] または [▶] を押して希望する位置に移動します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、操作画面カスタマイズ設定メニュー画面にもどります。

7.7.24 [10 操作画面カスタマイズ設定] – [03 スキャン画面カスタマイズ設定]

スキャン画面に表示される設定項目の並べ順を任意に変更します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[10 操作画面カスタマイズ設定]、[03 スキャン画面カスタマイズ設定] を順に押します。
- 3 動かしたい設定項目を選択して、[◀] または [▶] を押して希望する位置に移動します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、操作画面カスタマイズ設定メニュー画面にもどります。

7.7.25 [10 操作画面カスタマイズ設定] – [04 保存画面カスタマイズ設定]

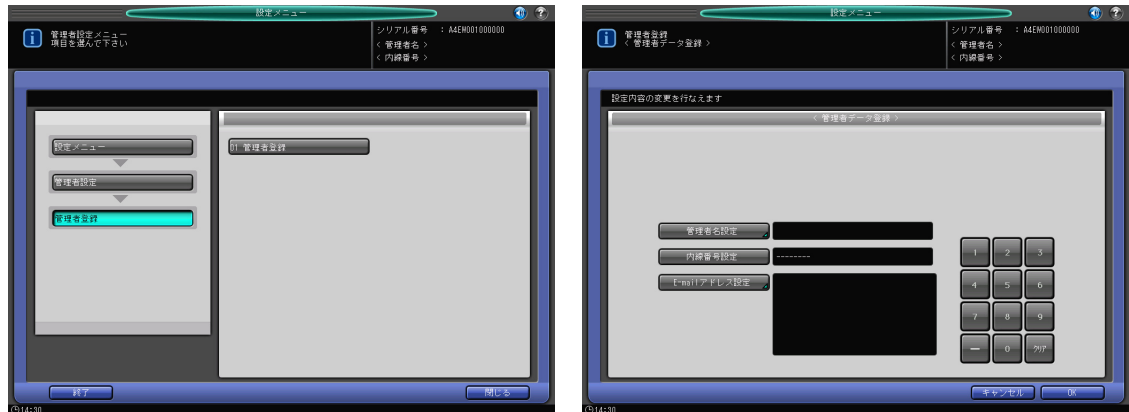
保存画面に表示される設定項目の並べ順を任意に変更します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [01 環境設定]、[10 操作画面カスタマイズ設定]、[04 保存画面カスタマイズ設定] を順に押します。
- 3 動かしたい設定項目を選択して、[◀] または [▶] を押して希望する位置に移動します。
- 4 設定内容を確認するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、操作画面カスタマイズ設定メニュー画面にもどります。

7.8 [06 管理者設定] – [02 管理者登録]

設定メニュー画面の右上部に常時表示される、管理者名と内線番号を登録します。また、管理者の E-mail アドレスを登録します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [02 管理者登録]、[01 管理者登録] を順に押します。
管理者登録画面が表示されます。
- 3 [管理者名設定] を押して、管理者名を入力します。
→ ハイフン (-) も含めて半角の英数字や記号を 20 文字まで入力できます。
→ [OK] を押して入力を確定し、管理者登録画面にもどります。
- 4 [内線番号設定] を押して、画面のテンキーで管理者の内線番号を入力します。
→ ハイフン (-) も含めて半角の英数字や記号を 8 文字まで入力できます。
- 5 [E-mail アドレス設定] を押して、管理者の E-mail アドレスを入力します。
→ 半角英数字や記号を 250 文字まで入力できます。
→ [OK] を押して、管理者登録画面にもどります。
- 6 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、管理者設定メニュー画面にもどります。

7.9 [06 管理者設定] – [03 ユーザー認証／部門管理]

本機の使用を制限するユーザー認証や部門管理の設定ができます。

ユーザー認証は個人を管理する、部門管理はグループや複数のユーザーを管理するのに適しています。

ユーザー認証と部門管理を組合わせて使用すると、ユーザー別に各部門のカウントを管理できます。

認証方式には、外部サーバー認証と本体装置認証があります。認証方式が設定されていると、認証が必要な画面を表示するとき、認証画面が表示されます。認証画面で認証を得るには、ユーザー名、部門名、パスワード、サーバー名称などを入力したり、IC パスワードを使用したりします。

認証機能を使用する場合は、[外部サーバー認証] または [本体装置認証] を選択します。認証機能を使用しない場合は、[認証しない] を選択します。

重要

認証機能を使用する設定から使用しない設定に変更するとき、またその逆のとき、セキュリティのため、認証に関するすべての管理データは削除されます。変更するときは、ご注意ください。

ユーザー認証と部門管理について

ユーザー認証と部門管理は、それぞれ以下の機能があります。

ユーザー認証

- 操作可能な機能を制限します（コピー操作、スキャン操作、プリンター印字、読出し操作）。
- ユーザーごとに、出力／読込みのカウントを行います。

部門管理

- 部門ごとに、出力／読込みのカウントを行います。

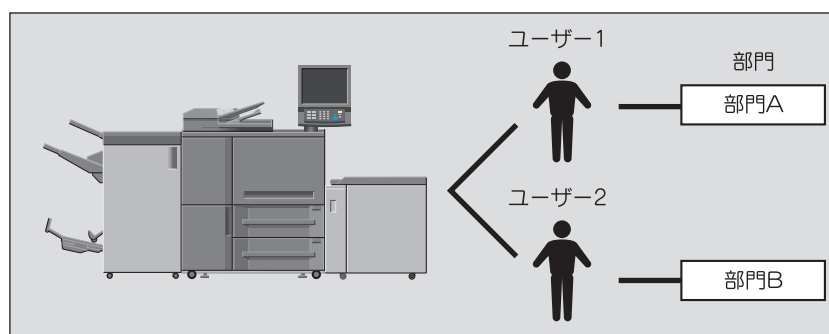
重要

本機では、ユーザー認証と部門管理は合計 1,000 件まで登録できます。デフォルトでは、登録件数は、ユーザー認証、部門管理それぞれに 500 ずつ割当てられています。

重要

ユーザー認証と部門管理は、連動しないで設定できます。

ユーザー認証と部門管理を連動する場合

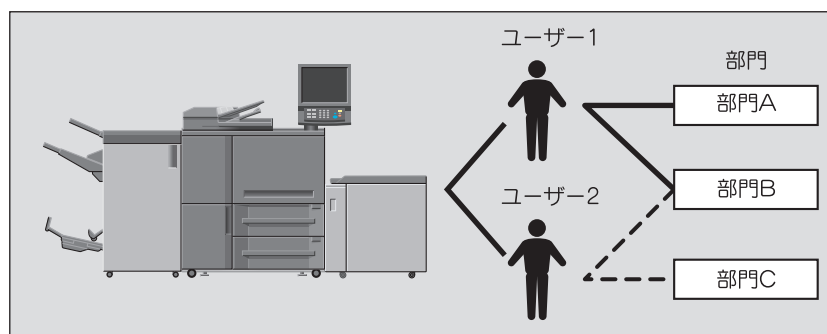


本機を複数の部署で使用する場合に、各社員を部署ごとに管理して利用するときに適しています。この設定をすると、社員別（ユーザー別）に集計したり、部署別（部門別）に集計したりできます。

このように管理する場合、認証方式は、以下のように設定します。

認証方式の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証	[本体装置認証] を選択します。
部門管理	[管理する] を選択して、部門名とパスワードを設定します。
ユーザー／部門認証連動	[連動する] を選択します。
ユーザー登録／所属部門	ユーザー登録画面で、ユーザーが所属する部門を設定します。

ユーザー認証と部門管理でそれぞれ認証する場合



本機を複数の社員で使用する場合に、それぞれの社員が複数の業務を行い、業務単位で集計するときに適しています。この設定をすると、業務別（部門別）に集計できます。また、社員 1、社員 2 で同じ業務をする場合も、業務別（部門別）に集計できます。

このように管理する場合、認証方式は以下のように設定します。

認証方式の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証	[本体装置認証] を選択します。
部門管理	[管理する] を選択して、部門名とパスワードを設定します。
ユーザー／部門認証の連動	[連動しない] を選択します。

7.9.1 [01 認証方式]

ユーザー認証と部門認証について次の要素を組合わせて、認証時の条件を設定します。

重要

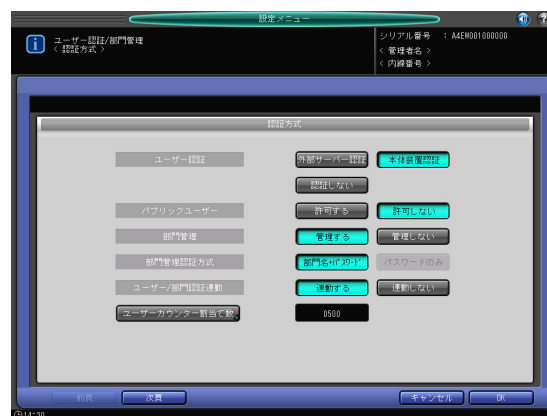
認証機能を使用する場合は、[ユーザー認証] の [外部サーバー認証] または [本体装置認証] を選択します。認証機能を使用しない場合は、[認証しない] を選択します。

認証機能を使用する設定から使用しない設定に変更するとき、またその逆のとき、セキュリティのため、認証に関するすべての管理データは削除されます。変更するときは、ご注意ください。[外部サーバー認証] から [本体装置認証] に変更したとき、またはその逆のときは、削除されません。

設定項目		説明
ユーザー認証	[外部サーバー認証]	外部サーバーからユーザー認証を得るときに選択します。
	[本体装置認証]	ユーザーとして本体から直接認証を得るときに選択します。
	[認証しない]	ユーザーとして本体から認証を得なくても本体を使用できるようにする場合、選択します。
パブリックユーザー	[許可する]	ユーザーパスワード、部門名、部門パスワードなどの入力や IC カードによる認証の必要なく機械を使用できるようにするときを選択します。
	[許可しない]	パブリックユーザーの使用を認めないときに選択します。
部門管理	[管理する]	部門認証の設定をするときに選択します。 ユーザー認証の [本体装置認証] または [外部サーバー認証] を選択すると、ユーザー／部門認証連動の [連動する] [連動しない] の選択ができます。このとき、[連動しない] を選択すると、部門管理認証方式の [部門名+パスワード] [パスワードのみ] の選択ができます。 ユーザー認証の [本体装置認証] を選択し、IC カードの [使用する] を選択すると、ユーザー／部門認証連動の [連動する] が自動的に選択されます。
	[管理しない]	部門認証の設定をしないときに選択します。

設定項目	説明	
部門管理認証方式	[部門名+パスワード]	ユーザー認証の「認証しない」を選択し、部門管理の「管理する」を選択したとき、選択できます。部門認証のとき、部門名と部門パスワードを入力します。
	[パスワードのみ]	ユーザー認証の「認証しない」を選択し、部門管理の「管理する」を選択したとき、選択できます。部門認証のとき、部門パスワードだけ入力します。
ユーザー/部門認証連動	[連動する]	ユーザー認証の「本体装置認証」または「外部サーバー認証」を選択し、部門管理の「管理する」を選択したとき、選択できます。 認証が必要とき、所属部門を登録したユーザーは、ユーザー名とユーザーパスワードだけ入力すると、認証されます。
	[連動しない]	ユーザー認証の「本体装置認証」または「外部サーバー認証」を選択し、部門管理の「管理する」を選択したとき、選択できます。このとき、部門管理認証方式は、[部門名+パスワード] [パスワードのみ] の選択ができます。部門管理認証方式の選択によって、認証が必要とき、ユーザー名、ユーザーパスワードと部門パスワード、さらに部門名を入力することが必要になります。
[ユーザーカウンター割当て数]	1,000 ある認証数のうち、ユーザー認証の数を入力して振分けます。ここで設定したユーザー認証の数の残りが、部門認証の数になります。1 ~ 999 の範囲で設定します。	
上限値到達時の動作	[即時停止]	上限値 * に達すると、ただちにジョブを停止します。このとき、停止するまでに蓄積された出力データやスキャンデータは削除されます。
	[プリント後停止]	上限値 * に達しても、ジョブ処理中は出力を停止しません。ジョブ完了後、使用できなくなります。
	[警告のみ]	上限値 * に達したというメッセージを表示しますが、引続き次のジョブも使用できます。
[チケット保持時間設定]	認証サーバータイプが Active Directory を選択したときに適用されます。1 ~ 60 分の範囲で設定します。	

* 上限値は、ユーザー登録や部門登録で個々に設定します。このとき、上限値を全ユーザーに対して一括に設定できます。詳しくは、7-73 ページおよび 7-82 ページをごらんください。





- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [03 ユーザー認証／部門管理]、[01 認証方式] を順に押します。
認証方式画面が表示されます。
- 3 [ユーザー認証]、[パブリックユーザー]、[部門管理]、[部門管理認証方式]、[ユーザー／部門認証連動] 表示右側で、それぞれ任意のボタンを選択します。
- 4 [ユーザーカウンター割当て数] を押して、割当て数を入力します。
→ 画面のテンキー、[▼] または [▲] で数値を入力してから、[OK] を押します。
- 5 [次頁] を押して、「上限値到達時の動作」も同様に設定します。
- 6 [チケット保持時間設定] を押して、時間を入力します。
→ 画面のテンキー、[▼] または [▲] で数値を入力してから、[OK] を押します。
- 7 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

重要

手順 3 で [ユーザー認証] の [外部サーバー認証] または [本体装置認証] から [認証しない] を選択したとき、またはその逆を選択したとき、すべての使用管理データのクリア確認のダイアログが表示されます。[はい] を押さなければ、[ユーザー認証] の設定を変更できませんが、[はい] を押すと、セキュリティのため、それまでに設定した認証に関する管理データはすべて削除されますので、ご注意ください。

→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ユーザー認証／部門管理メニュー画面にもどります。

7.9.2 [02 ユーザー認証設定] – [01 管理設定]

ユーザー名一覧表示：

[ユーザー名一覧表示] で [表示する] を選択すると、[01 認証方式] の [ユーザー認証] で [本体装置認証] を選択したとき、認証画面に [ユーザー一覧] ボタンが表示されます。

[ユーザー一覧] ボタンは、登録されているユーザー名一覧を表示し、ユーザー認証のためのユーザー名をワンタッチで入力できます。

[ユーザー名一覧表示] で [表示する] を選択し、[01 認証方式] の [ユーザー認証] で [認証しない]、[部門管理] で [管理する]、[部門管理認証方式] で [部門名+パスワード] を選択すると、認証画面には [ユーザー一覧] ボタンのかわりに [部門一覧] ボタンを表示します。

[部門一覧] ボタンは、登録されている部門一覧を表示し、部門認証のための部門名をワンタッチで入力できます。

初期機能制限設定：

[01 認証方式] の [ユーザー認証] で [外部サーバー認証] を選択している場合に、ユーザーの機能制限の初期設定を行います。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [03 ユーザー認証／部門管理]、[02 ユーザー認証設定]、[01 管理設定] を順に押します。
管理設定画面が表示されます。
- 3 「ユーザー名一覧表示」右側の [表示する] または [表示しない] を選択します。
- 4 [初期機能制限設定] を押します。
初期機能制限設定画面が表示されます。
→ 外部サーバー認証時のユーザーに対する機能制限の初期設定を行います。
→ [OK] を押して、管理設定画面にもどります。
- 5 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ユーザー認証設定メニュー画面にもどります。

7.9.3 [02 ユーザー認証設定] - [02 ユーザー登録]

各ユーザーに任意の No. を割当て、No. ごとにユーザー名、パスワード、E-mail アドレス、所属部門、上限設定、使用可能な機能、IC カード登録を設定します。

登録されたユーザーは、画面でリスト表示されます。リストからユーザーを選択して、データの内容を変更したり、登録を削除したりできます。

登録したユーザーの設定のうち、使用可能な機能の出力許可と上限設定は、一括して設定を変更できます

重要

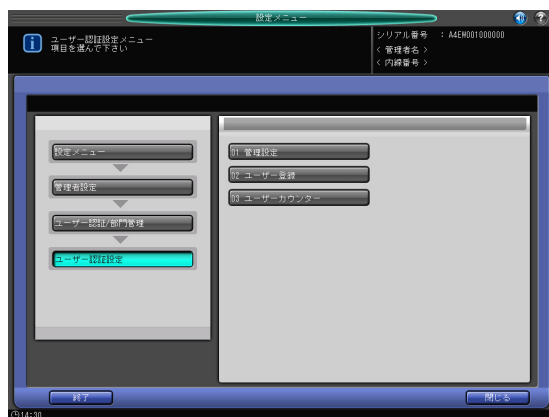
認証方式の項目の設定によって、ユーザー登録ができなかったり、設定できないユーザー登録項目があります。次の表をごらんください。

ユーザー認証	部門管理	ユーザー登録の追加	ユーザー登録の変更／削除	ユーザー登録項目			
				所属部門 *1	上限設定	使用可能な機能	ICカード登録 *2
本体装置認証	管理しない	✓	✓		✓	✓	✓
	管理する	✓	✓	✓	✓	✓	✓
外部サーバー認証	管理しない		✓		✓	✓	
	管理する		✓	✓	✓	✓	
認証しない	管理しない						
	管理する						

*1：[01 認証方式] で [ユーザー／部門認証連動] を [連動する] にしないと、[所属部門] を設定できません。また、[03 部門管理] – [01 部門登録] で部門登録していないと、所属部門を選択できません。

*2：ICカードを使用するには、**認証装置（ICカード認証タイプ）AU-201** を本体のUSB接続ポートに接続して、サービスエンジニアによる設定が必要です。サービス実施店にお問い合わせください。また、ICカード登録をしてから、使用するICカードの [ICカードタイプ] と [動作設定] を設定します。詳しくは、7-89 ページをごらんください。

- 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 管理者設定メニュー画面の [03 ユーザー認証／部門管理]、[02 ユーザー認証設定]、[02 ユーザー登録] を順に押します。
ユーザー登録画面が表示されます。
→ ユーザー登録の追加、変更、削除については、それぞれ以下の手順に従ってください。



- [追加] を押して、ユーザー登録追加／変更画面を表示します。
→ ユーザー登録を編集するときは、手順 10 に進みます。
→ ユーザー登録を削除するときは、手順 11 に進みます。
→ ユーザー登録を一括変更するときは、手順 12 に進みます。



- 4 [ユーザー No.] を押して、ユーザー No. を入力します。
- 画面のテンキーで任意のユーザー No. を入力します。ユーザー No. は、ユーザーカウンター割当て数に入力した数を上限値として 1～上限値の範囲（半角数字）で設定できます。



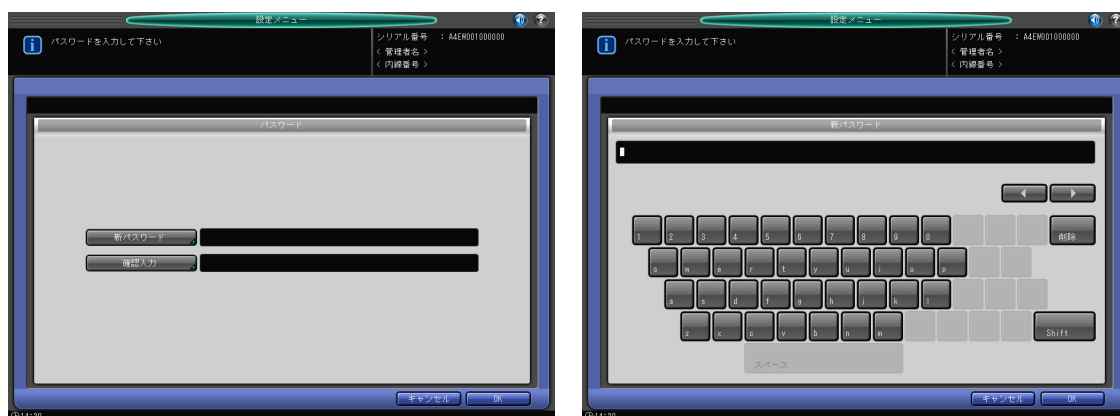
- 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

- 5 [ユーザー名]、[パスワード]、[E-mail アドレス] を押して、ユーザー名、パスワード、E-mail アドレスを入力します。
- [ユーザー名] を押すと、ユーザー名設定画面が表示されます。任意のユーザー名を入力します。ユーザー名は全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字で 32 文字、半角の英数字、記号、カタカナで 64 文字まで入力できます。入力の方法は、付録の「文字入力のしかた」をごらんください。



- [パスワード] を押すと、パスワード設定画面が表示されます。
- [新パスワード] を押して、新パスワード入力画面を表示します。任意のパスワードを入力して、[OK] を押します。

[確認入力] を押して、確認入力画面を表示します。同じパスワードを入力して、[OK] を押します。ユーザーパスワードは半角の英数字で 64 文字まで入力できます。入力の方法は、付録の「文字入力のしかた」をごらんください。



→ [E-mail アドレス] を押すと、E-mail アドレス入力画面が表示されます。任意の E-mail アドレスを入力します。E-mail アドレスは半角の英数字で 220 文字まで入力できます。入力の方法は、付録の「文字入力のしかた」をごらんください。



→ 設定内容を確定するため、それぞれの [OK] を押します。

6 [所属部門] を押して、所属部門を選択します。

[所属部門] を押すと、所属部門選択画面が表示されます。任意の所属部門ボタンを選択します。



→ 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

7 [上限設定] を押して、上限設定を設定します。

→ [上限設定] を押すと、上限設定画面が表示されます。[有効] を選択してから [上限値] を押して、任意の上限値を入力します。



→ 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

8 [使用可能な機能] を選択します。

→ [使用可能な機能] 右の [コピー操作]、[スキャン操作]、[プリンター印字]、[読出し操作] を押して、ユーザーに使用を認める機能を選択します。

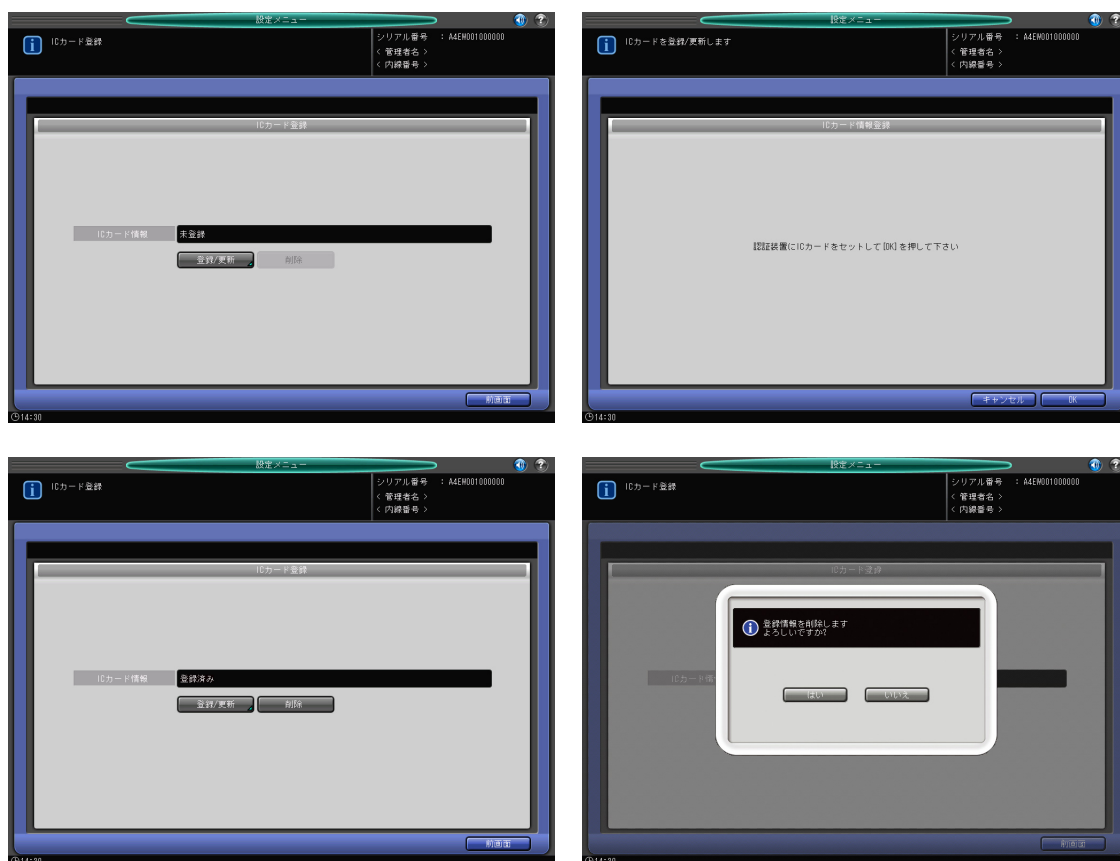


9 [IC カード登録] を押して、IC カードを登録します。

→ [IC カード登録] を押すと、IC 登録画面が表示されます。[登録／更新] を押して、IC カード情報登録画面を表示します。本体に接続された認証装置 (IC カード認証タイプ) AU-201 に IC カードをかざします。ユーザー登録画面にもどり、[IC カード情報] 右の表示が [未登録] から [登録済み] にかわります。

→ 新たな IC カードを登録するときも、[登録／更新] を押して IC カードをかざします。

→ IC カードの登録を削除するときは、[削除] を押します。削除確認のダイアログが表示されます。[OK] を押すと、削除され、[IC カード情報] 右が [未登録] と表示されます。



→ [前画面] を押します。

10 ユーザー登録を変更します。

[前頁] [次頁] を押して、変更したいユーザー No. とユーザー名が表示されているボタンを選択します。[変更] を押して、ユーザー登録追加／変更画面を表示します。



→ 画面に表示される設定内容、および設定方法は、手順 3 のユーザー登録の追加と同じです。

→ 任意の変更が終わったら、[OK] を押します。

11 ユーザー登録を削除します。

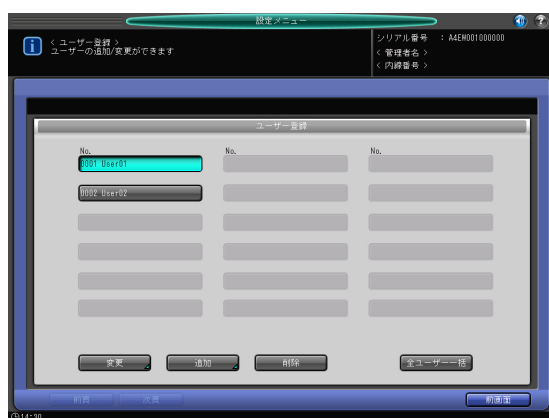
[前頁] [次頁] を押して、削除したいユーザー No. とユーザー名が表示されているボタンを選択します。[削除] を押します。



→ 削除確認のダイアログで、[はい] を押して確定します。削除しない場合は [いいえ] を押します。



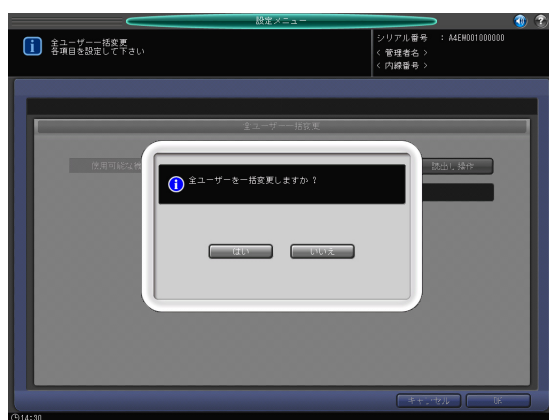
- 12 全ユーザーの使用可能な機能、上限設定を一括変更します。
[全ユーザー一括] を押して、全ユーザー一括変更画面を表示します。



→ 一括で変更できるのは、「使用可能な機能」の選択、[上限設定] の上限値の設定です。「使用可能な機能」の選択は手順 8、[上限設定] の上限値の設定は手順 7 をご覧ください。
→ [OK] を押します。一括変更確認のダイアログが表示されます。



→ [はい] を押して変更を確定し、ユーザー登録画面にもどります。[いいえ] を押すと、全ユーザー一括変更画面にもどります。ユーザー登録画面にもどるには、[キャンセル] を押します。

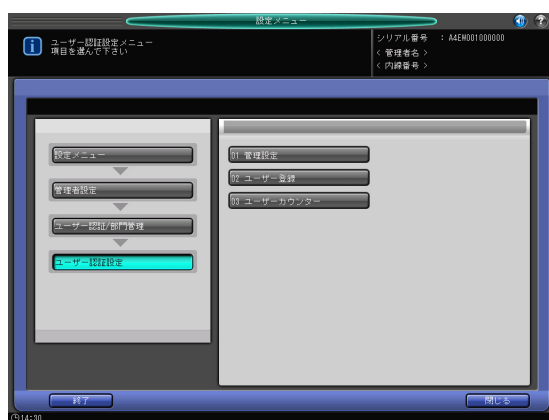


13 [前画面] を押します。

ユーザー認証設定メニュー画面にもどります。

7.9.4 [02 ユーザー認証設定] – [03 ユーザーカウンター]

認証対象のユーザーやパブリックユーザーのプリントのカウンターの個別に、または一括でリセットします。





- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [03 ユーザー認証／部門管理]、[02 ユーザー認証設定]、[03 ユーザーカウンター] を順に押します。
ユーザーカウンター画面が表示されます。
- 3 ユーザー／パブリックユーザーのカウンターを個別にリセットします。
 - [前頁] [次頁] を押して、カウンターをリセットしたいユーザー No. とユーザー名が表示されているボタンを選択します。パブリックユーザーのカウンターをリセットするときは、[Public] ボタンを押します。それぞれのカウンター表示画面が表示されます。
 - それぞれのカウンターをクリアするときは、[コピーカウンター]、[プリンターカウンター]、[スキャンカウンター] 右の [クリア] を押します。
 - 全カウンターをクリアするときは、画面下の [全カウンタークリア] を押します。
 - 確認のダイアログで、[はい]、または [いいえ] を押します。



- [前画面] を押して、ユーザーカウンター画面にもどります。
- 4 ユーザーのカウンターを一括でリセットします。
 - [一括カウンタークリア] を押します。
 - 確認のダイアログで、[はい]、または [いいえ] を押します。



- 5 [前画面] を押して、ユーザーカウンター画面にもどります。

7.9.5 [03 部門管理] — [01 部門登録]

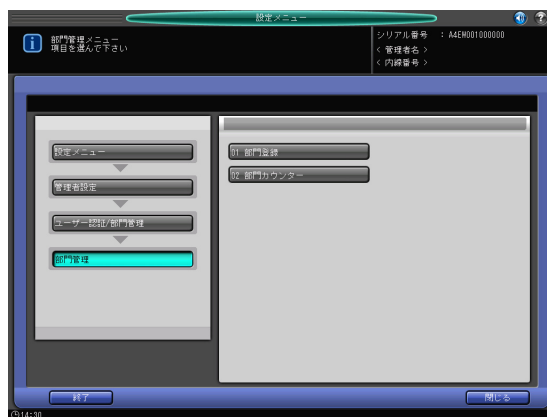
部門ごとに任意の No. を割当てて、No. ごとに任意の部門名、パスワード、上限設定、使用可能な機能の選択などを設定します。

登録された部門は、画面でリスト表示されます。リストから部門を選択して、データの内容を変更したり、登録を削除したりできます。

- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [03 ユーザー認証／部門管理]、[03 部門管理]、[01 部門登録] を順に押します。

部門登録画面が表示されます。

→ 部門登録の追加、変更、削除については、それぞれ以下の手順に従ってください。



- 3 [追加] を押して、部門登録追加／変更画面を表示します。

- 部門登録を編集するときは、手順 8 に進みます。
- 部門登録を削除するときは、手順 9 に進みます。
- 部門登録を一括変更するときは、手順 10 に進みます。



4 [部門 No.] を押して、部門 No. を入力します。

→ 画面のテンキーで任意の部門 No. を入力します。部門 No. は、ユーザーカウンター割当て数に入力した数を 1000 から引いた数までを上限值として設定できます。



→ 設定内容を確認するため、[OK] を押します。

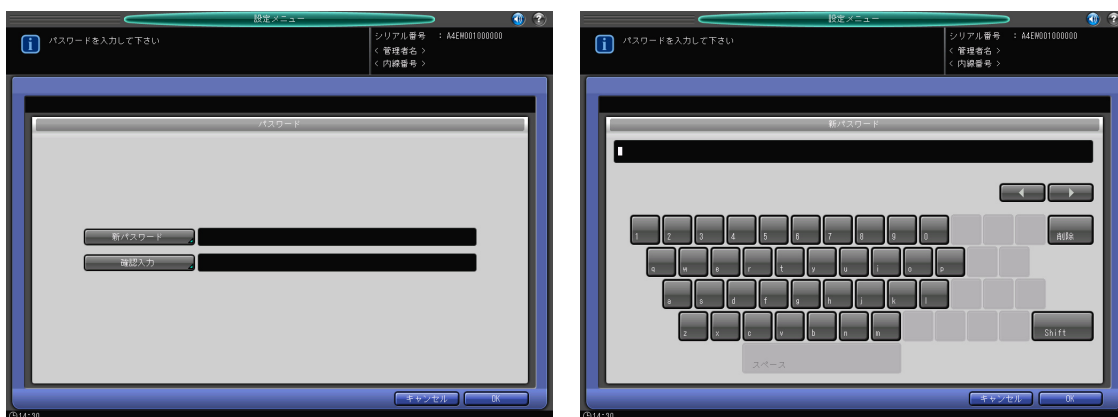
5 [部門名]、[パスワード] を押して、部門名、パスワードを入力します。

→ [部門名] を押すと、部門名設定画面が表示されます。任意の部門名を入力します。部門名は半角の英数字で 8 文字まで入力できます。入力の方法は、付録の「文字入力のしかた」をごらんください。



→ [パスワード] を押すと、パスワード設定画面が表示されます。
[新パスワード] を押して、新パスワード入力画面を表示します。任意のパスワードを入力して、[OK] を押します。
[確認入力] を押して、確認入力画面を表示します。同じパスワードを入力して、[OK] を押します。

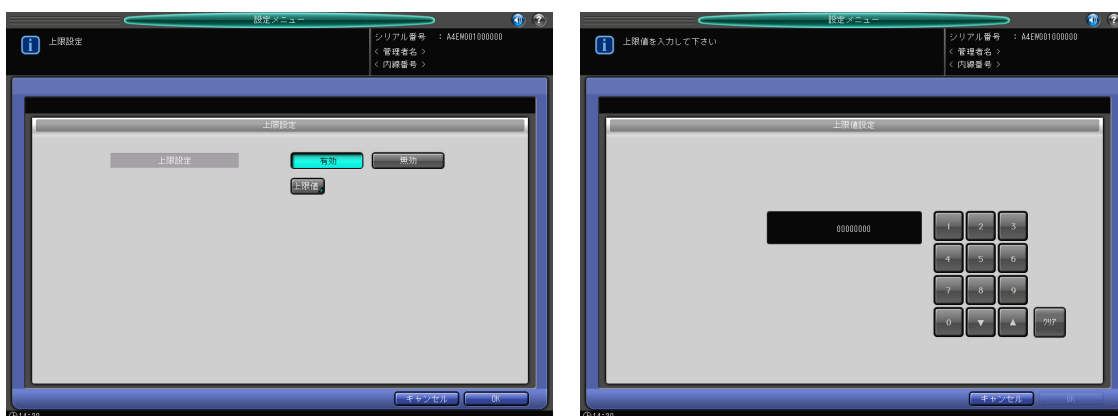
パスワードは半角の英数字で 8 文字まで入力できます。入力の方法は、付録の「文字入力のしかた」をごらんください。



→ 設定内容を確定するため、それぞれの [OK] を押します。

6 [上限設定] を押して、上限設定を設定します。

→ [上限設定] を押すと、上限設定画面が表示されます。[有効] を選択してから [上限値] を押して、任意の上限値を入力します。



→ 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

7 [使用可能な機能] を選択します。

→ [使用可能な機能] 右の [コピー操作]、[スキャン操作]、[プリンター印字]、[読出し操作] を押して、ユーザーに使用を認める機能を選択します。



8 部門登録を変更します。

[前頁] [次頁] を押して、変更したい部門 No. と部門名が表示されているボタンを選択します。[変更] を押して、部門登録追加／変更画面を表示します。



- 画面に表示される設定内容、および設定方法は、手順 3 の部門登録の追加と同じです。
- 任意の変更が終わったら、[OK] を押します。

9 部門登録を削除します。

[前頁] [次頁] を押して、削除したい部門 No. と部門名が表示されているボタンを選択します。[削除] を押します。



- 削除確認のダイアログで、[はい] を押して確定します。削除しない場合は [いいえ] を押します。



- 10 全部門の使用可能な機能、上限設定を一括変更します。
 [全部門一括] を押して、全部門一括変更画面を表示します。



- 一括で変更できるのは、「使用可能な機能」の選択、「[上限設定]」の上限値の設定です。「使用可能な機能」の選択は手順 8、「[上限設定]」の上限値の設定は手順 7 をご覧ください。
- [OK] を押します。一括変更確認のダイアログが表示されます。



- [はい] を押して変更を確定し、部門登録画面にもどります。[いいえ] を押すと、全部門一括変更画面にもどります。部門登録画面にもどるには、[キャンセル] を押します。



- 11 [前画面] を押します。
 部門管理メニュー画面にもどります。

7.9.6 [03 部門管理] – [02 部門カウンター]

認証対象の部門のプリントのカウンターを個別に、または一括でリセットします。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [03 ユーザー認証／部門管理]、[03 部門管理]、[02 部門カウンター] を順に押します。
部門カウンター画面が表示されます。
- 3 部門カウンターを個別にリセットします。
 - [前頁] [次頁] を押して、カウンターをリセットしたい部門 No. と部門名が表示されているボタンを選択します。カウンター表示画面が表示されます。
 - それぞれのカウンターをクリアするときは、[コピーカウンター]、[プリンターカウンター]、[スキャンカウンター] 右の [クリア] を押します。
 - 全カウンターをクリアするときは、画面下の [全カウンタークリア] を押します。
 - 確認のダイアログで、[はい]、または [いいえ] を押します。



→ [前画面] を押して、部門カウンター画面にもどります。

4 部門カウンターを一括でリセットします。

→ [一括カウンタークリア] を押します。

→ 確認のダイアログで、[はい]、または [いいえ] を押します。



5 [前画面] を押して、部門管理メニュー画面にもどります。

7.9.7 [04 認証指定なし印刷]

認証指定のないプリントジョブの出力を許可するか、禁止するかの設定をします。



1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。

2 管理者設定メニュー画面の [03 ユーザー認証／部門管理]、[04 認証指定なし印刷] を順に押します。

認証指定なし印刷画面が表示されます。

3 [許可] または [禁止] を選択します。

4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、ユーザー認証／部門管理メニュー画面にもどります。

7.9.8 [05 認証装置設定] – [01 認証方式]

IC カードタイプ	使用する IC カードの種類を指定します。
動作設定	IC カードでユーザー認証を得るとき、ユーザーパスワードの入力が必要にするか、しないかを選択します。

重要

IC カードは、ユーザー認証を得るために使用できますが、部門認証を得るために使用できません。



- 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 管理者設定メニュー画面の [03 ユーザー認証／部門管理]、[05 認証装置設定]、[01 認証方式] を順に押します。
認証方式画面が表示されます。
- [IC カードタイプ] 右の任意のボタンを押して、使用する IC カードの種類を選択します。
- [動作設定] 右の [IC カード認証] または [IC カード認証+パスワード認証] を選択します。
→ [IC カード認証] を選択すると、認証画面で [装置認証] を選択したとき、IC カードだけでユーザー認証が完了します。[IC カード認証+パスワード認証] を選択すると、IC カードによる認証のほかに、ユーザーパスワードの入力が必要になります。
- 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、認証装置設定メニュー画面にもどります。

7.9.9 [06 外部サーバー設定]

外部サーバー認証で使用するサーバーを設定します。外部サーバーを複数登録し、そのうちの 1 つを初期値設定として選択します。

必要に応じて、次の項目を設定します。

項目		設定説明
サーバー名称		半角の英数字、記号で 32 文字までの名称を入力します。
サーバータイプ	Active Directory	デフォルトドメイン名 半角の英数字、記号で 64 文字までの名称を入力します。
	NTLM v1	デフォルトドメイン名 半角の英数字、記号で 64 文字までの名称を入力します。
	NTLM v2	デフォルトドメイン名 半角の英数字、記号で 64 文字までの名称を入力します。

項目	設定説明
NDS over IPX	デフォルト NDS ツリー名 半角の英数字、記号で 64 文字までの名称を入力します。
	デフォルト NDS コンテキスト名 半角の英数字、記号で 192 文字までの名称を入力します。
NDS over TCP/IP	デフォルト NDS ツリー名 半角の英数字、記号で 64 文字までの名称を入力します。
	デフォルト NDS コンテキスト名 半角の英数字、記号で 192 文字までの名称を入力します。
LDAP	サーバーアドレス：ホスト名、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス
	検索ベース 半角の英数字、記号で 256 文字までの名称を入力します。
	SSL 使用設定：使用する、使用しない
	ポート番号：1 - 65535
	タイムアウト時間：5 - 300
	認識形式：[Simple]、[Digest-MD5]
	検索属性

- 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 管理者設定メニュー画面の [03 ユーザー認証/部門管理]、[06 外部サーバー設定] を順に押します。



外部サーバー設定画面が表示されます。

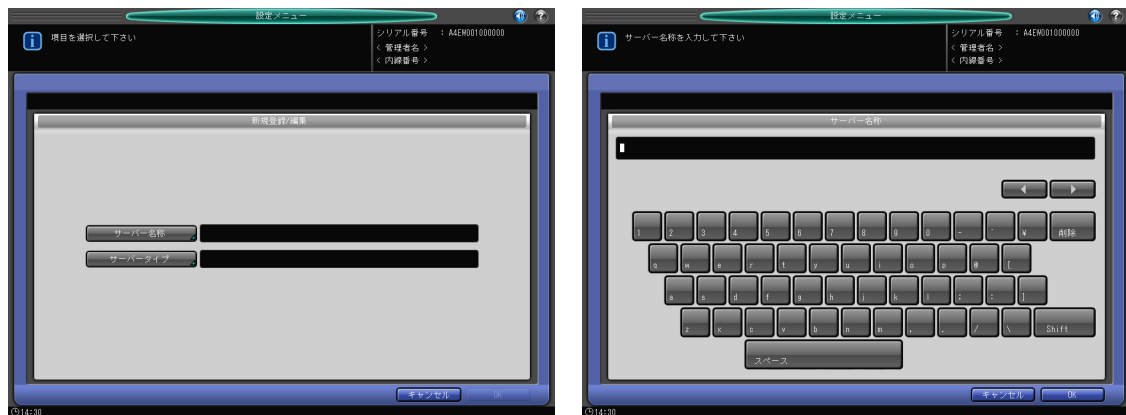
- サーバーの新規登録をするため、外部サーバー設定画面の空白行を選択して、[新規登録] を押します。



新規登録／編集画面が表示されます。

- 登録データを編集するときは、手順 7 に進みます。
- 登録データを削除するときは、手順 9 に進みます。

4 [サーバー名称] を押して、サーバー名称入力画面を表示し、サーバー名称を入力します。



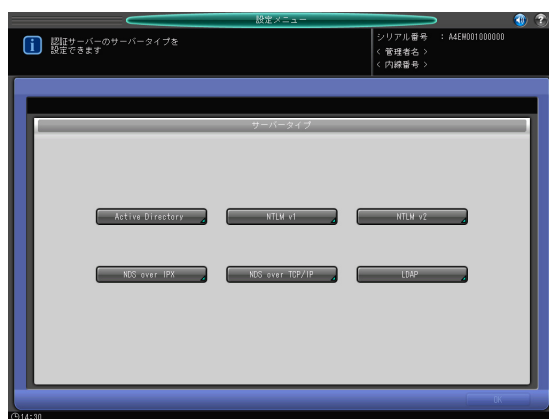
- サーバー名称を入力しないと、登録を完了できません。必ず入力してください。入力の方法は、付録の「文字入力のしかた」をごらんください。
- 入力が完了したら、[OK] を押します。

5 [サーバータイプ] を押します。



サーバータイプ選択画面が表示されます。

6 [Active Directory]、[NTLM v1]、[NTLM v2]、[NDS over IPX]、[NDS over TCP/IP]、[LDAP] から 1 つを選択し、内容を設定します。 設定が完了したら、それぞれの画面の [OK] を押します。



- 7 サーバーの登録済みデータを編集するため、編集する登録行を選択して、[編集] を押します。



新規登録／編集画面が表示されます。

- 8 手順 4～手順 6 に従って、設定内容を編集し、[OK] を押します。
- 9 サーバーの登録済みデータを削除するため、削除する登録行を選択して、[削除] を押します。
削除確認のダイアログが表示されます。



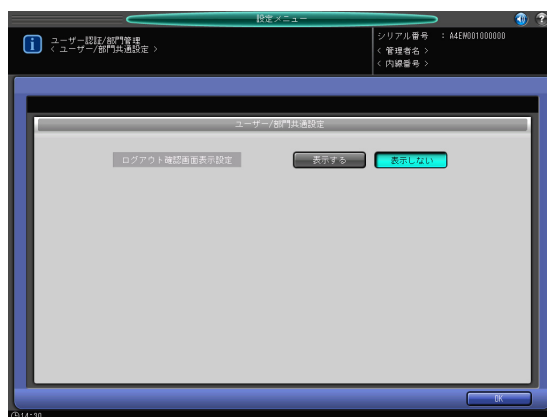
- 10 [はい] を押します。
→ 削除しないときは、[いいえ] を押します。



- 11 [閉じる] を押します。
ユーザー認証／部門管理メニュー画面にもどります。

7.9.10 [07 ユーザー／部門共通設定]

認証をログアウトするとき、確認画面を表示するか、しないかを選択します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [03 ユーザー認証／部門管理]、[07 ユーザー／部門共通設定] を順に押します。
ユーザー／部門共通設定画面が表示されます。
- 3 [表示する] または [表示しない] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
ユーザー認証／部門管理メニュー画面にもどります。

7.10 [06 管理者設定] — [04 ネットワーク設定]

本機およびイメージコントローラーの通信設定を行います。

7.10.1 [01 本体 NIC 設定] — [01 TCP/IP 設定]

本機の IP アドレスや回線速度の設定を行います。



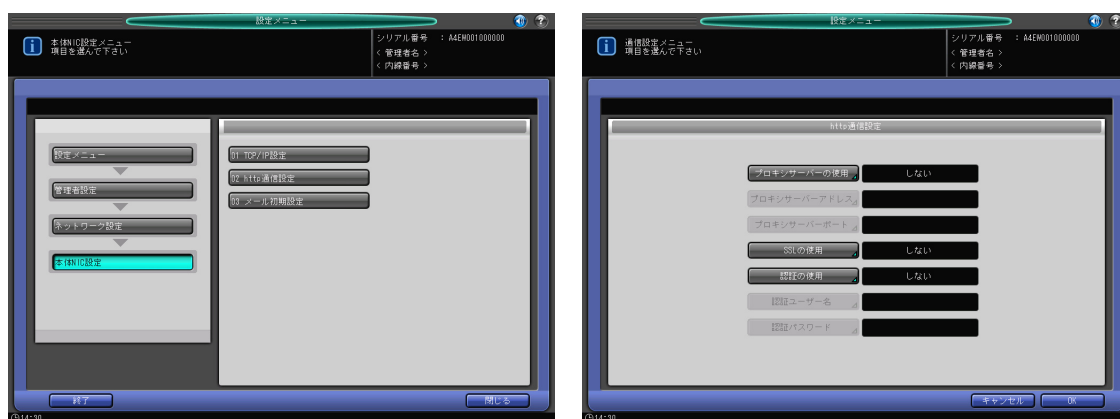
- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [04 ネットワーク設定]、[01 本体 NIC 設定]、[01 TCP/IP 設定] を順に押します。
TCP/IP 設定画面が表示されます。
- 3 各項目を設定します。
 - 数値を入力する場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで入力します。[設定] を押すと、次に入力できる部分が反転して表示されます。
 - メールサーバーをホスト名で設定する場合は、[IP アドレス (DNS サーバー 1)] または [IP アドレス (DNS サーバー 2)] の IP アドレスを入力します。2 つの DNS サーバーを使用している場合は、両方の IP アドレスを入力します。

重要
DNS サーバーの変更を有効にするには、本体を再起動する必要があります。[OK] を押して、副電源スイッチを OFF/ON してください。

 - 回線速度設定でネットワークの回線速度を設定します。任意の回線速度を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、本体 NIC 設定メニュー画面にもどります。

7.10.2 [01 本体 NIC 設定] — [02 http 通信設定]

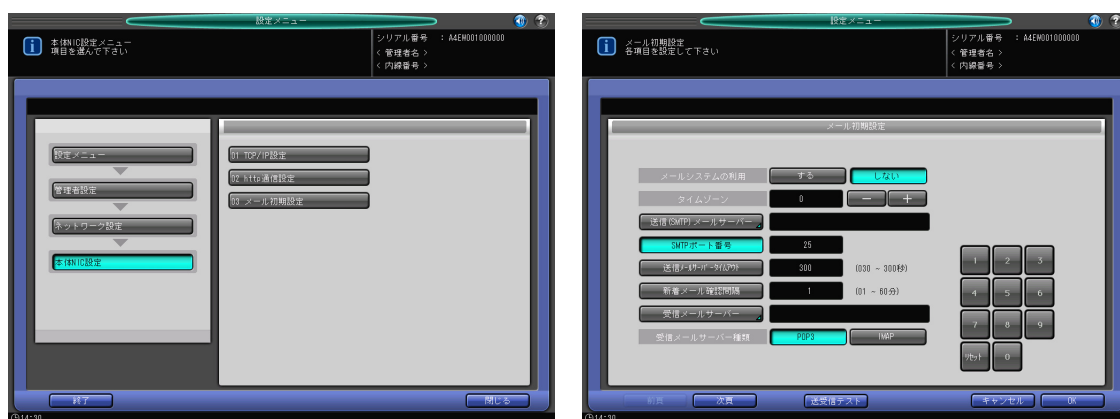
本機の http 通信に関する項目を設定します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [04 ネットワーク設定]、[01 本体 NIC 設定]、[02 http 通信設定] を順に押します。
http 通信設定画面が表示されます。
- 3 各項目を設定します。
→ 項目ボタンを押すと、それぞれの設定画面が表示されます。入力画面やテンキーが表示された場合は、任意に入力してから、[OK] を押して確定します。入力の方法は、付録の「文字入力のしかた」をごらんください。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、本体 NIC 設定メニュー画面にもどります。

7.10.3 [01 本体 NIC 設定] — [03 メール初期設定]

本機の E-mail の初期設定を行います。



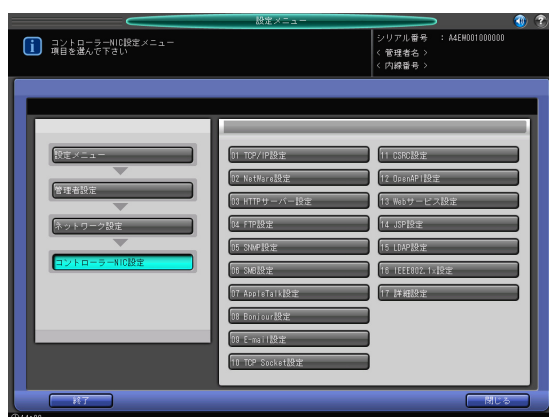


- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [04 ネットワーク設定]、[01 本体 NIC 設定]、[03 メール初期設定] を順に押します。
メール初期設定画面が表示されます。
- 3 各項目を設定します。
 - 数値を入力する場合は、画面のテンキーまたは操作パネルのテンキーで入力します。
 - DNS サーバーを使用している場合は、メールサーバー欄にホスト名を入力できます（フルパス：最大 128 文字）。入力の方法は、付録の「文字入力のしかた」をごらんください。

重要
セキュリティー強化設定を使用する場合は、IP アドレスを入力してください。
- 4 入力が終わったら、送受信テストを行います。
 - [送受信テスト] を押すと、確認のダイアログが表示されます。[はい] を押して、正しく設定されているかどうかを確認します。
- 5 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
 - 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、本体 NIC 設定メニュー画面にもどります。

7.10.4 [02 コントローラー NIC 設定]

イメージコントローラーの通信設定を行います。



- 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 管理者設定メニュー画面の [04 ネットワーク設定]、[02 コントローラー NIC 設定] を順に押します。
コントローラー NIC 設定メニュー画面が表示されます。
- 各項目を設定します。
重要
[02 コントローラー NIC 設定] で設定変更したとき、[主電源の OFF/ON 後 設定が反映されます] と表示された場合は、必ず本体の**主電源スイッチ**を入れなおしてください。主電源スイッチを OFF にしてから、10 ～ 30 秒を目安に ON にしてください。
- 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、本体 NIC 設定メニュー画面にもどります。

7.10.5 コントローラー NIC 設定一覧

コントローラー NIC 設定の項目と設定値について説明します。

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）
01 TCP/IP 設定		
TCP/IP 設定		有効、無効
IP 確定方法		自動設定、 直接設定
自動設定		
	DHCP 設定	有効、無効
	BOOTP 設定	有効、無効
	ARP/PING 設定	有効、無効
	AUTO IP 設定	有効、無効
直接設定		
	IP アドレス	0.0.0.0 (0 ～ 255)
	サブネットマスク	0.0.0.0 (0 ～ 255)
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0 (0 ～ 255)
IPv6 設定		
	IPv6 設定	有効、無効 *2
	IPv6 自動設定	有効、無効 *3

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）
	IPv6 DHCP 設定	有効、無効
	グローバルアドレス	0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000 (1-39 byte) *4
	プレフィックスレンジ	1 ~ 128 (0)
	リンクローカルアドレス	fe80: XXXX*5
	ゲートウェイアドレス	0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000 (1-39 byte) *6
DNS サーバー設定		
	DNS サーバー設定 (IPv4)	
	DNS サーバー自動取得	有効、無効
	優先 DNS サーバー	0.0.0.0 (0 ~ 255)
	代替 DNS サーバー 1	0.0.0.0 (0 ~ 255)
	代替 DNS サーバー 2	0.0.0.0 (0 ~ 255)
	DNS サーバー設定 (IPv6)	
	DNS サーバー自動取得	有効、無効
	優先 DNS サーバー	0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000 (1-39 byte) *
	代替 DNS サーバー 1	0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000 (1-39 byte) *
	代替 DNS サーバー 2	0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000 (1-39 byte) *
Dynamic DNS 設定		有効、無効
ホスト名		KMBT + MAC アドレス下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
LLMNR 設定		有効、無効
DNS ドメイン名設定		
	DNS ドメイン名自動取得	有効、無効
	DNS 検索ドメイン名自動取得	有効、無効
	DNS デフォルトドメイン名	記号および英数字を最大 251 字まで使用可。*7
	DNS 検索ドメイン名 1	記号および英数字を最大 251 字まで使用可。*7
	DNS 検索ドメイン名 2	記号および英数字を最大 251 字まで使用可。*7
	DNS 検索ドメイン名 3	記号および英数字を最大 251 字まで使用可。*7
RAW ポート番号		
	RAW1 ポート番号	1 ~ 65535 (9100) 有効、無効 *8
	RAW2 ポート番号	1 ~ 65535 (9100) 有効、無効 *8
	RAW3 ポート番号	1 ~ 65535 (9100) 有効、無効 *8
	RAW4 ポート番号	1 ~ 65535 (9100) 有効、無効 *8
	RAW5 ポート番号	1 ~ 65535 (9100) 有効、無効 *8
	RAW6 ポート番号	1 ~ 65535 (9100) 有効、無効 *8

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）
IP フィルタリング		
	許可設定	有効、無効 範囲 1：開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ~ 255) *9 範囲 2：開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ~ 255) 範囲 3：開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ~ 255) 範囲 4：開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ~ 255) 範囲 5：開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ~ 255)
	拒否設定	有効、無効 範囲 1：開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ~ 255) *9 範囲 2：開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ~ 255) 範囲 3：開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ~ 255) 範囲 4：開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ~ 255) 範囲 5：開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ~ 255)
IPsec 設定		許可、禁止
IPsec 設定 /IKE 設定		
	グループ 1 ~ グループ 4 暗号化アルゴリズム	DES CBC、3DES CBC、無効
	グループ 1 ~ グループ 4 認証アルゴリズム	MD5、SHA-1、無効
鍵有効時間		80 ~ 604800 (28800) (秒)
Diffie-Hellman Group		グループ 1、グループ 2
IPsec 設定 / IPsec SA 設定		
	セキュリティープロトコル	AH、ESP、ESP AH
	ESP 暗号化アルゴリズム	DES CBC、3DES CBC、AES CBC、NULL
	認証アルゴリズム	MD5、SHA-1
確立後の破棄時間		120 ~ 604800 (3600) (秒)
IPsec 設定 / 通信相手先登録		
	グループ 1 ~ グループ 10 カプセル化モード	トンネルモード、トランスポート、無効 *12
	グループ 1 ~ グループ 10 IP アドレス	IPv4 変更、IPv6 変更 0.0.0.0 (0 ~ 255) 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte)
	グループ 1 ~ グループ 10 Pre-Shared Key 文字列	記号および英数字を最大 64 字まで使用可。
	グループ 1 ~ グループ 10 Perfect Forward Secrecy	有効、無効
02 NetWare 設定		
< NetWare 設定 >		
	IPX 設定	有効、無効
	イーサネットフレームタイプ	自動検出、802.2、802.3、EthernetII、802.3SNAP
	NetWare プリントモード	無効、Pserver、Nprinter/Rprinter

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）
Nprinter/Rprinter 設定		
	プリントサーバー名	KMBT + MAC アドレス下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
	プリンター番号	0 ~ 255 (255)
Pserver 設定		
	プリントサーバー名	KMBT + MAC アドレス下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
	プリントサーバーパスワード	記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
	ポーリング間隔	1 ~ 65535 (1) (秒)
	Bindery/NDS 設定	NDS、Bindery/NDS
	ファイルサーバー名	記号および英数字を最大 47 字まで使用可。
	NDS コンテキスト名	記号および英数字を最大 191 字まで使用可。
	NDS ツリー名	記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
ステータス		
	サーバー名、キュー名	
03 HTTP サーバー設定		
< HTTP サーバー設定 >		
	HTTP サーバー設定	有効、無効
	PSWC 設定	有効、無効
	IPP 設定	
	IPP 設定	有効、無効
	IPP ジョブ受付	有効、無効
< HTTP サーバー設定 /IPP 設定 >		
オペレーションサポート番号		
	印刷ジョブ	有効、無効 *8
	有効ジョブ	有効、無効 *8
	キャンセルジョブ	有効、無効 *8
	ジョブ属性取得	有効、無効 *8
	ジョブ取得	有効、無効 *8
	プリンター属性取得	有効、無効 *8
プリンター関連情報		
	プリンター名	記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
	プリンター設置場所	記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
	プリンター情報	記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
	プリンター URI	変更不可
IPP 認証設定		
	IPP 認証設定	有効、無効
	認証方式	Requesting-user-name、basic、digest
	ユーザー名	user 記号および英数字を最大 20 字まで使用可。
	パスワード	pass 記号および英数字を最大 20 字まで使用可。

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）
	realm	IPP 記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
04 FTP 設定		
< FTP 設定 >		
	FTP サーバー設定	有効 、無効
	FTP 送信設定	
	FTP 送信設定	有効 、無効
	プロキシサーバーアドレス	IPv4 変更、IPv6 変更、ホスト名変更 IPv4 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte)
	プロキシサーバーポート番号	1 ~ 65535 (21)
	PASV モード	有効 、無効
	接続タイムアウト	5 ~ 300 (60) (秒)
	ポート番号	1 ~ 65535 (21)
05 SNMP 設定		
< SNMP 設定 >		
	SNMP 設定	
	SNMP 設定	有効 、無効
	SNMPv1/v2c (IP)	有効 、無効 * ⁸
	SNMPv3 (IP)	有効 、無効 * ⁸
	SNMPv1 (IPX)	有効 、無効 * ⁸
	UDP ポート番号	
	UDP ポート番号	1 ~ 65535 (161)
< SNMP 設定 /SNMPv1/v2c 設定 >		
	Read Community Name 設定	
	Read Community Name	public 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
	Write Community Name 設定	
	Write 許可設定	許可 、禁止 * ⁸
	Write Community Name	private 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
< SNMP 設定 /SNMPv3 設定 >		
	Context Name 設定	
	Context Name	記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
	Discovery User Name 設定	
	Discovery User 許可設定	許可 、禁止 * ⁸
	Discovery User Name	public 記号および英数字を最大 32 字まで使用可。 * ¹¹
	Read User Name 設定	
	Read User Name	記号および英数字を最大 32 字まで使用可。 * ¹¹
	Security Level	認証しない、auth-password、 auth-password/priv-password

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）
< SNMP/SNMPv3/Read user Name 設定 >		
Password 設定		
	Read User auth-Password	記号および英数字を 8 ～ 32 字まで使用可。
	Read User priv-Password	記号および英数字を 8 ～ 32 字まで使用可。
< SNMP/SNMPv3/Write User Name 設定 >		
Write User auth-Password		
	Write User Name	restrict 記号および英数字を最大 32 字まで使用可。
Security Level		認証しない、auth-password、 auth-password/priv-password *11
パスワード設定		
	Write User auth-Password	記号および英数字を 8-32 字まで使用可。 MAC アドレス（：は除く）
	Write User priv-Password	記号および英数字を 8-32 字まで使用可。 MAC アドレス（：は除く）
< SNMP 設定／SNMPv3 設定 >		
暗号化アルゴリズム		DES 、AES-128
認証方式		MD5 、SHA-1
SNMP 設定		
TRAP 許可設定		許可、 禁止
認証失敗時の TRAP 設定		有効、 無効
06 SMB 設定		
< SMB 設定 >		
SMB 送信設定		
	SMB 送信設定	有効 、無効
	NTLM 設定	NTLMv1 、NTLMv2、NTLMv1、NTLMv2
	DFS 設定	有効 、無効
	Publication Services	有効、 無効
プリント設定		
	プリント設定	有効 、無効
	NetBIOS 名	KMBT + MAC アドレス下 6 桁 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
	プリントサービス名	PRO_951 記号および英数字を最大 12 字まで使用可。
	ワークグループ	記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
< SMB 設定／WINS 設定 >		
WINS 設定		
	WINS 設定	許可、 禁止
	WINS 自動取得設定	許可 、禁止
WINS サーバーアドレス		
	WINS サーバーアドレス 1	0.0.0.0 (0 ～ 255)
	WINS サーバーアドレス 2	0.0.0.0 (0 ～ 255)
ノードタイプ設定		B ノード、P ノード、M ノード、 H ノード
Direct Hosting 設定		有効 、無効

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）
07 AppleTalk 設定		
AppleTalk 設定		
	AppleTalk 設定	許可、禁止
	プリンター名	KMBT + MAC アドレス下 6 桁 記号および英数字を最大 31 字まで使用可。
	ゾーン名	* 記号および英数字を最大 31 字まで使用可。
	現在のゾーン	変更不可
08 Bonjour 設定		
Bonjour 設定		
	Bonjour 設定	許可、禁止
	Bonjour 名	記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
09 E-mail 設定		
SMTP 設定		
	SMTP 設定	有効、無効
	SMTP サーバーアドレス	IPv4 変更 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 変更 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名変更 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*
	SSL 設定	SMTP over SSL、START TLS、無効
	ポート番号	1 ~ 65535 (25)
	ポート番号 (SSL)	1 ~ 65535 (465)
	接続タイムアウト	30、60、90、120、150、180、210、240、270、300 (秒)
	バイナリー分割	有効、無効
	分割メールサイズ	100 ~ 15000 (500) (step: 100) (K byte)
	サーバー容量	0 ~ 100 (M byte) (0) 0 を指定すると無制限になります。
認証設定		
	POP Before SMTP	有効、無効
	SMTP 認証	有効、無効
	POP Before SMTP 時間	0 ~ 60 (0)
SMTP 認証設定		
	ユーザー ID	記号および英数字を最大 255 字まで使用可。
	パスワード	記号および英数字を最大 128 字まで使用可。
	realm	記号および英数字を最大 255 字まで使用可。

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）
POP 設定		
POP サーバーアドレス		IPv4 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。 ^{*7}
ログイン名		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
パスワード		記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
APOP 認証		有効、無効
SSL 設定		有効、無効
ポート番号		1 ~ 65535 (110)
ポート番号 (SSL)		1 ~ 65535 (995)
接続タイムアウト		30、 60 、90、120、150、180、210、240、270、300 (秒)
E-mail 表題登録		登録 No.1 ~ No.5 (No.1) 記号および英数字を最大 64 字まで使用可。
E-mail 本文登録		登録 No.1 ~ No.5 (No.1) 記号および英数字を最大 256 字まで使用可。
10 TCP Socket 設定		
< TCP Socket 設定 >		
TCP Socket 設定		
TCP Socket 設定		有効、無効
ポート番号		1 ~ 65535 (59158)
SSL 設定		有効、無効
ポート番号 (SSL)		1 ~ 65535 (59159)
TCP Socket (ASCII Mode)		
TCP Socket (ASCII Mode)		有効、無効
ポート番号 (ASCII Mode)		1024 ~ 65535 (59160)
11 CSRC 設定		
< CSRC 送信設定 >		
CSRC 送信設定		有効、無効
SMTP サーバーアドレス		IPv4 変更 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 変更 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名変更 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。 ^{*7}
ポート番号		1 ~ 65535 (25)
管理者 From アドレス		記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
接続タイムアウト		30、 60 、90、120、150、180、210、240、270、300 (秒)
認証設定		POP Before SMTP
POP Before SMTP		有効、無効
認証設定		有効、無効
POP Before SMTP 時間		0 ~ 60 (0) (秒)
CSRC 送信設定		

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）
SMTP 認証設定		
	ユーザー ID	記号および英数字を最大 255 字まで使用可。
	パスワード	記号および英数字を最大 128 字まで使用可。
	realm	記号および英数字を最大 255 字まで使用可。
< CSRC 受信設定 >		
CSRC 受信設定		
	CSRC 受信設定	有効、無効
	POP サーバーアドレス	IPv4 変更 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 変更 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名変更 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
	ログイン名	記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
	パスワード	記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
	APOP 認証	有効、無効
	ポート番号	1 ~ 65535 (110)
	接続タイムアウト	30、 60 、90、120、150、180、210、240、270、300 (秒)
	自動到着チェック	有効、無効
	ポーリング間隔	1 ~ 60 (15) (分)
	CSRC 通信テスト	CSRC 接続テスト
< HTTP 通信設定 >		
	プロキシサーバー設定	有効、無効
	プロキシサーバーアドレス	IPv4 変更 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 変更 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名変更、記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
	プロキシサーバーポート番号	1 ~ 65535 (8080)
	SSL 設定	有効、無効
	認証の使用	有効、無効
	認証ユーザー名	記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
	認証パスワード	記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
12 OpenAPI 設定		
< OpenAPI 設定 >		
	アクセス設定	有効、無効
	SSL 設定	SSL / 非 SSL 通信可、SSL 通信のみ可、非 SSL 通信のみ可
	ポート設定	
	ポート番号	1 ~ 65535 (50001)
	ポート番号 (SSL)	1 ~ 65535 (50003)

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）
認証		
認証		有効、無効
ログイン名		記号および英数字を最大 8 字まで使用可。
パスワード		記号および英数字を最大 8 字まで使用可。
クライアント証明書		有効、無効
証明書検証強度設定		有効期限：確認する、確認しない 鍵使用法：確認する、確認しない チェーン：確認する、確認しない 失効確認：確認する、確認しない CN：確認する、確認しない
13 Web サービス設定		
Web サービス設定		
Friendly Name		KMBT + MAC 下アドレス 6 桁 記号および英数字を最大 62 字まで使用可。
SSL 設定		有効、無効
プリント設定		
プリント設定		有効、無効
プリンター名		KMBT + MAC アドレス下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
プリンター設置場所		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
プリンター情報		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
スキャン設定		
スキャン設定		有効、無効
スキャナー名		KMBT + MAC 下アドレス 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
スキャナー設置場所		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
スキャナー情報		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
14 JSP 設定		
< JSP 設定 >		
JSP 設定		有効、無効
SSL 設定		有効、無効
認証設定		
認証設定		有効、無効
ログイン名		Unknown 記号および英数字を最大 8 字まで使用可。
パスワード		changeit 記号および英数字を最大 8 字まで使用可。
ポート番号		30081 ~ 30090 (30081)
ポート番号 (SSL)		30081 ~ 30090 (30082)
15 LDAP 設定		
< LDAP 設定 >		
LDAP 設定		
LDAP 設定		有効、無効
検索最大表示件数		5 ~ 100 (100)
タイムアウト時間		5 ~ 300 (60) (秒)

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）
詳細検索初期設定		
	登録名	同じ、 含む 、始まる、終わる
	E-mail	同じ、 含む 、始まる、終わる
	姓	同じ、 含む 、始まる、終わる
	名	同じ、 含む 、始まる、終わる
LDAP サーバー登録		
	サーバーアドレス	IPv4 変更 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 変更 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名変更 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。 ^{*7}
	検索ベース	記号および英数字を最大 255 字まで使用可。
	SSL 設定	有効、 無効
	ポート番号	1 ~ 65536 (389)
	ポート番号 (SSL)	1 ~ 65536 (636)
	認証方式	Anonymous 、Simple、Digest-MD5、GSS-SPNEGO、NTML v1、NTML v2
	サーバー認証方式選択	設定値を使用 、Dynamic 認証
	ログイン名	記号および英数字を最大 255 字まで使用可。
	パスワード	記号および英数字を最大 128 字まで使用可。
	ドメイン名	記号および英数字を最大 64 字まで使用可。
	Referral 設定	使用する、 使用しない
	接続確認	接続確認
16 IEEE802.1X 設定		
	認証状態	
	IEEE802.1X 設定	有効、 無効
	サブリカント設定	
	証明書検証強度設定	
	有効期限	有効 、無効
	CN	有効、 無効
	チェーン	確認する、 確認しない
17 詳細設定		
< 詳細設定 >		
	デバイス設定	
	MAC アドレス	
	ネットワーク速度	自動設定 、10Mbps 半二重、10Mbps 全二重、100Mbps 半二重、100Mbps 全二重

設定項目と説明		設定値（太字は初期値）
< 詳細設定／時刻補正設定 >		
	NTP 設定	有効、無効
	NTP サーバー設定	
	NTP サーバーアドレス自動取得	有効、無効
	NTP サーバーアドレス	IPv4 変更 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 変更 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名変更 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
	ポート番号	1 ~ 65535 (123)
< 詳細設定／状態通知設定／アラート E-mail >		
	アラート E-mail 設定	有効、無効
	通知先 E-mail アドレス	記号および英数字を最大 250 字まで使用可。
	通知項目	サービスコール、JAM 発生、トレイ紙補給、トナー補給、PM コール、ステープル針補給、フィニッシャー積載オーバー、パンチくず除去、ステープル針くず除去
< 詳細設定／状態通知設定／SNMP Trap >		
	通知先設定	1 ~ 5 (1)
	通知先設定	有効、無効
	通知先アドレス	IPv4 変更 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 変更 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 ホスト名変更 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。
	通知先ポート番号	1 ~ 65535 (162)
	通知先コミュニティ名	public 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
	通知項目	サービスコール、JAM 発生、トレイ紙補給、トナー補給、PM コール、ステープル針補給、フィニッシャー積載オーバー、パンチくず除去、ステープル針くず除去
	通知先設定	有効、無効
	通知先 IPX ネットワークアドレス	00: 00: 00: 00
	通知先 IPX ノードアドレス	00: 00: 00: 00: 00: 00
	通知先 IPX コミュニティー名	public 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
	通知項目	サービスコール、JAM 発生、トレイ紙補給、トナー補給、PM コール、ステープル針補給、フィニッシャー積載オーバー、パンチくず除去、ステープル針くず除去
	PING 応答確認	
	PING 送信アドレス	IPv4 変更 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 変更 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名変更 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
	接続確認実行	スタート

設定項目と説明	設定値（太字は初期値）
LPD 設定	有効、無効
SLP 設定	有効、無効
LLTD 設定	有効、無効
SSDP 設定	有効、無効
証明書検証設定	使用する、使用しない
ネットワーク設定クリア	スタート

- *1 : 「自動設定」にすると「DHCP 設定」、「BOOTP 設定」、「ARP/PING 設定」、「AUTO IP 設定」の設定が可能になります。なお、「自動設定」の状態から「直接設定」に変更して確定したとき、「DHCP 設定」、「BOOTP 設定」の設定値は無効になります。また、「直接設定」の状態から「自動設定」に変更して確定したとき、「DHCP 設定」、「BOOTP 設定」、「ARP/PING 設定」、「AUTO IP 設定」の設定値は有効になります。
- *2 : 「IPv6 設定」を「無効」にすると、「IPv6 自動設定」を「有効」にしても機能しません。PSWC では、「IPv6 自動設定」のプルダウンメニューがグレイアウトします。
- *3 : 「IPv6 自動設定」を「無効」にすると、設定した「グローバルアドレス」「プレフィックスレンジス」「ゲートウェイアドレス」が変更可能になります。
- *4 : fe80:: ~ febf:fff:fff:fff:fff:fff:fff:fff および ff00:: ~ ffff:fff:fff:fff:fff:fff:fff:fff の範囲は設定できません。
- *5 : XXXX は、MAC アドレスから算出されます。
- *6 : fe80:0:0:0:: ~ fe80:0:0:0:fff:fff:fff:fff の範囲だけ設定できません。
- *7 : ピリオドを区切った文字数は最大 63 字までです。この文字列をピリオドを使って複数連結して最大 251 字（ホスト名を含めて 253 字）まで入力可能になります。
- *8 : PSWC の場合、0 を入れると有効、外すと無効となります。
- *9 : 1 つの IP アドレスだけ許可／拒否する方法は 3 つあります。
 (例) 192.168.11.22 を 1 つだけ許可／拒否する場合
 192.168.11.22 - 0.0.0.0 と入力します。
 0.0.0.0 - 192.168.11.22 と入力します。
 192.168.11.22 - 192.168.11.22 と入力します。
- *10 : 「セキュリティプロトコル」「ESP 暗号化アルゴリズム」「ESP 認証アルゴリズム」「AH 認証アルゴリズム」の各設定の組み合わせによっては、設定できないことがあります。PSWC で設定している場合、組み合わせ禁止警告のメッセージが表示されます。PSWC でエラーを確認した場合、メッセージが表示されます。
- *11 : 「Discovery User Name」は「Read User Name」または「Write User Name」と同じ文字列では設定できません。
- *12 : ESP AH 設定でのトンネルモードはサポートしていません。

7.11 [06 管理者設定] — [05 コピー／プリンター設定]

コピージョブおよびプリントジョブのカスタマイズ設定について説明します。

設定項目		説明	選択項目（ボールドは初期値）
01 仕分け設定	01 ジョブオフセット動作	指定部数ごとや指定ジョブごとにオフセット排紙して、出力紙を仕分けします。 指定ジョブごとにオフセットを選択したときは、何ジョブごとにオフセット排紙するか指定します。	指定部数オフセット： ON 、OFF 指定ジョブ単位オフセット： ON 、OFF
	02 オフセット排紙方法	オフセット排紙の方法を選択します。 排紙位置切替： ジョブごとにオフセット排紙します。 仕切り紙挿入： ジョブごとに仕切り紙を挿入します。 このとき、仕切り紙の給紙トレイを選択します。 排紙位置切替＋仕切り紙挿入： ジョブごとにオフセット排紙し、仕切り紙を挿入します。このとき、仕切り紙の給紙トレイを選択します。 プリント停止： ジョブごとに出力を一時停止します。	オフセット排紙方法： 排紙位置切替 、仕切り紙挿入、 排紙位置切替＋仕切り紙挿入、 プリント停止 仕切り紙挿入トレイ： トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、 トレイ 4、トレイ 5、PI1、PI2
02 連続プリント（プリンター）		連続した複数の予約プリントを、ジョブごとに停止させるか、連続して出力させるか選択します。	ON 、OFF
03 小冊子時のページ印字位置		小冊子とスタンプのページ、小冊子とスタンプのナンバリングを併用したとき、スタンプの印字位置が左右の出力画像に対して、いつも外側に印字されるようにするか、しないかを選択します。	ON （外側印刷）、OFF
04 プリント前定着予備回転設定		設定した用紙種類と坪量によって、定着温度の切替えが必要なことがあります。このとき、出力前に定着ローラーを回転させて適した温度に調整するか、しないかを選択します。パフォーマンスは低下することがありますが、出力画像は安定します。	回転する 、回転しない
05 サンプル排紙設定		サンプル排紙についての設定をします。 サンプル排紙の画像として機械に登録されている固定チャート出力するか、出力中の画像を出力するか選択します。固定チャートの出力を選択したとき、給紙トレイを選択します。 自動的にサンプル排紙する周期出力の排紙周期を設定します。 サンプル排紙を部門カウンターでカウントするか、しないかを選択します。	出力モード： 固定チャート出力 、ジョブ画像出力 給紙トレイ選択： トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、 トレイ 4、トレイ 5 周期出力：する、 しない 周期設定： 枚数周期で排紙、部数周期で排紙 部門カウンター設定： する、 しない
06 確認プリント（先頭 1 枚）設定		確認プリントを 1 部出力ではなく、先頭 1 枚だけ出力できるようにします。 設定確認画面に表示される [確認プリント] のボタンのほかに、[確認プリント（先頭 1 枚）] のボタンを表示します。 操作パネルの確認コピーを押したとき、先頭 1 枚だけ出力するように設定できます。	確認プリント（先頭 1 枚）： ON 、OFF [確認コピー]（ハードキー） 押下時の 1 部／先頭 1 枚選択： ON 、OFF
07 JAM 識別表示設定		[管理者設定] — [環境設定] — [エキスパート調整] — [片寄り検知 JAM 設定] で [検知する] を設定している場合、片寄り JAM が発生したことを知らせるメッセージを表示するかどうかを設定します。	表示する、 表示しない

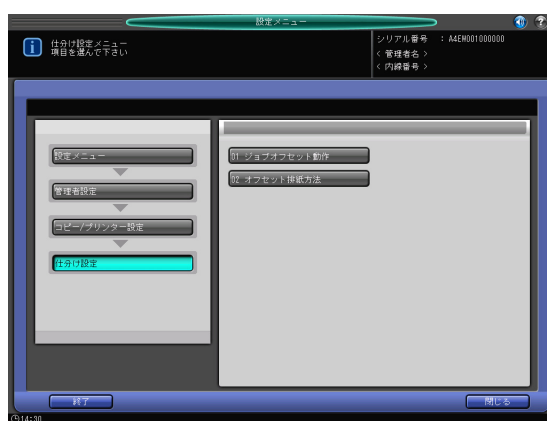
設定項目	説明	選択項目（ボールドは初期値）
08 自動画像回転	自動画像回転機能を ON にするタイミングを選択します。	常にする、自動サイズ／自動倍率時、 自動サイズ／自動倍率／縮小時
09 割込み停止方法	操作パネルの割込み を押したときの出力中ジョブの停止タイミングを選択します。	部数区切、部数途中
10 コピー予約の操作性	機械が機械状態画面を表示して、コピー予約ができる状態のとき、原稿をセットしてコピー画面を表示するようにするか、しないかを選択します。	ボタン押下によるコピー予約 、原稿セットによるコピー予約
11 トレイ引抜きによる読み込み停止	ADF で原稿読み込み中にトレイを引抜いたとき、原稿読み込みを停止するか、しないかを選択します。	ON、OFF
12 連続プリント（コピー）	コピー予約で連続出力するとき、ジョブの切れ目で一時停止するか、しないかを選択します。	ON、OFF
13 原稿ガラス 1 枚排紙方法	原稿ガラス に原稿を 1 枚セットしてコピーしたとき、プリント面を上にして出力するか、下にして出力するか選択します。	フェイスアップ、 フェイスダウン
14 1 枚送り自動設定	1 枚送りを設定したとき、ADF に原稿をセットし、 操作パネルのスタート を押してスキャンするか、連続読み込みを選択して原稿をセットしたと同時にスキャンするかを選択します。	ON、OFF

7.11.1 [01 仕分け設定] — [01 ジョブオフセット動作]

指定部数オフセット：	指定部数ごとにオフセット排紙して、出力紙を仕分けします。
指定ジョブ単位オフセット：	指定ジョブ単位でオフセット排紙して、出力紙を仕分けします。 指定ジョブ単位でオフセットを選択したときは、何ジョブごとにオフセット排紙するか指定します。

重要

指定部数オフセットと指定ジョブ単位オフセットは、両方とも ON を選択できます。



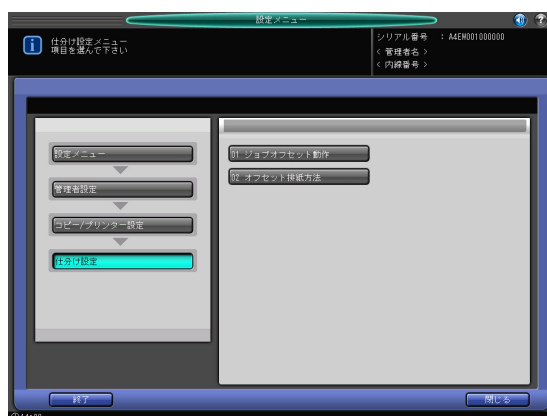
- 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[01 仕分け設定]、[01 ジョブオフセット動作] を順に押します。
ジョブオフセット動作画面が表示されます。
- [指定部数オフセット] 下の [ON] または [OFF] を選択します。

- 4 [指定ジョブ単位オフセット] 下の [ON] または [OFF] を選択します。
[ON] を選択すると、オフセットジョブ数を入力するテンキーが表示されます。
- 5 画面のテンキーまたは**操作パネルのテンキー**で、何ジョブ目にオフセットするか入力します。0 ～ 9,999 の範囲で入力できます。
- 6 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、仕分け設定メニュー画面にもどります。

7.11.2 [01 仕分け設定] — [02 オフセット排紙方法]

3 種類のオフセット排紙とジョブごとに出力を停止する方法があります。1 つ選択します。複数の選択はできません。

排紙位置切替	ジョブごとにオフセット排紙します。
仕切り紙挿入	ジョブごとに仕切り紙を挿入します。このとき、仕切り紙の給紙トレイを選択します。
排紙位置切替＋仕切り紙挿入	ジョブごとにオフセット排紙し、仕切り紙を挿入します。このとき、仕切り紙の給紙トレイを選択します。
プリント停止	ジョブごとに出力を一時停止します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[01 仕分け設定]、[02 オフセット排紙方法] を順に押します。
オフセット排紙方法画面が表示されます。
- 3 [オフセット排紙方法] 下のボタンから 1 つを選択します。
→ [仕切り紙挿入]、または [排紙位置切替＋仕切り紙挿入] を選択したとき、[仕切り紙挿入トレイ] 下のトレイボタンを選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、仕分け設定メニュー画面にもどります。

7.11.3 [02 連続プリント（プリンター）]

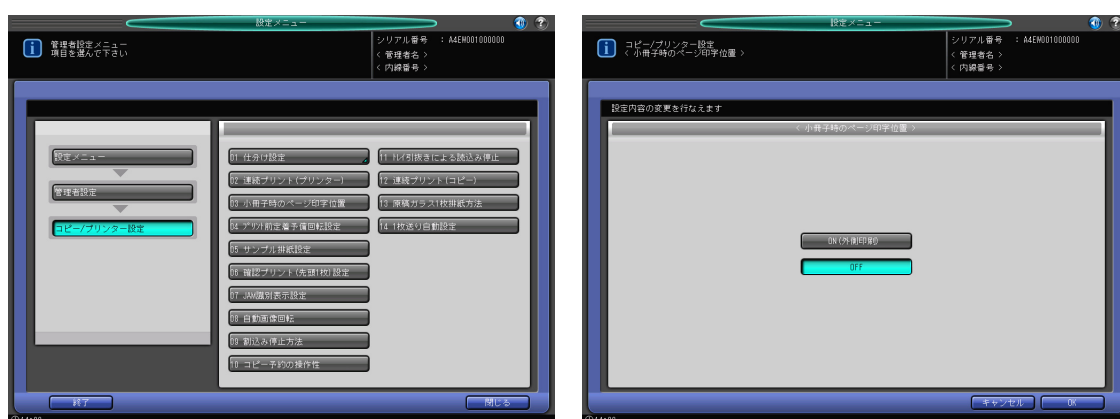
連続した複数の予約プリントを、ジョブごとに停止させるか、連続して出力させるか選択します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[02 連続プリント（プリンター）] を順に押します。
連続プリント（プリンター）画面が表示されます。
- 3 [ON] または [OFF] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

7.11.4 [03 小冊子時のページ印字位置]

小冊子とスタンプのページ、小冊子とスタンプのナンバリングを併用したとき、スタンプの印字位置が左右の出力画像に対して、いつも外側に印字されるようにするか、しないかを選択します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[03 小冊子時のページ印字位置] を順に押します。
小冊子時のページ印字位置画面が表示されます。
- 3 [ON（外側印刷）] または [OFF] を選択します。

4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

7.11.5 [04 プリント前定着予備回転設定]

設定した用紙種類と坪量によって、定着温度の切替えが必要となることがあります。このとき、出力前に定着ローラーを回転させて適した温度に調整するか、しないかを選択します。調整するを選択すると、パフォーマンスは低下することがありますが、出力画像は安定します。



1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。

2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[04 プリント前定着予備回転設定] を順に押します。

プリント前定着予備回転設定画面が表示されます。

3 [回転する] または [回転しない] を選択します。

4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

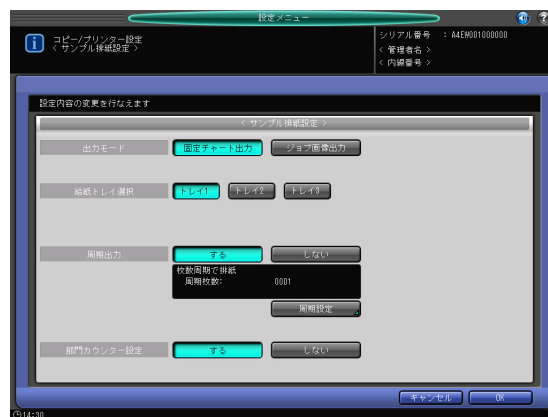
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

7.11.6 [05 サンプル排紙設定]

出力モード	サンプル排紙の画像を選択します。 [固定チャート出力] を選択すると、機械のあらかじめ登録されている画像を出力します。 [ジョブ画像出力] を選択すると、出力中の画像を出力します。
給紙トレイ選択	出力モードで [固定チャート出力] を選択したとき、サンプル画像をプリントする用紙の給紙トレイを選択します。
周期出力	自動でサンプル排紙することを、[周期出力] といいます。[周期出力] の [する]、[しない] を選択します。
周期設定	[周期出力] の [する] を選択した場合、枚数周期でサンプル排紙する [枚数周期で排紙]、または部数周期でサンプル排紙する [部数周期で排紙] を選択します。 [枚数周期で排紙] の [a: 周期枚数] は 1 枚～9,999 枚の範囲で設定できます。副電源スイッチを OFF にしたり、オートリセットが機能したり、リセットしたりしたとき、設定した枚数は解除されます。 [部数周期で排紙] の [b: 部数間隔] は、設定部数の何部目の先頭にサンプル排紙するか設定します。1 部～9,999 部の範囲で設定できます。 [部数周期で排紙] の [c: シート番号] は、設定部数の各何ページ目にサンプル排紙するかを設定します。1 枚～9,999 枚の範囲で設定できます。
部門カウンター設定	サンプル排紙をカウントするか、しないかを選択します。カウントする場合は、部門カウンターでカウントされます。

重要

サンプル排紙先としてフィニッシャー FS-532 のサブトレイが設定されていないと、サンプル排紙できません。サービス実施店にお問い合わせください。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[05 サンプル排紙設定] を順に押します。
サンプル排紙設定画面が表示されます。
- 3 [出力モード] 右の [固定チャート出力] または [ジョブ画像出力] を選択します。
- 4 [固定チャート出力] を選択したときは、[給紙トレイ選択] 右のトレイボタンを選択します。

重要

装着されていないトレイを選択すると、サンプル排紙できません。出力している用紙サイズと選択した給紙トレイにセットされている用紙サイズが違っていても、サンプル排紙は問題なく出力されます。

- 5 [周期出力] 右の [する] または [しない] を選択します。
- 6 [する] を選択したときは、[周期設定] を押します。
排紙周期設定画面が表示されます。
- 7 [枚数周期で排紙] または [部数周期で排紙] を選択します。
 - [毎週周期で排紙] を選択したときは、画面のテンキーで周期枚数を入力します。1 ～ 9,999 の範囲で入力できます。
 - [部数周期で排紙] を選択したときは、[b : 部間隔] または [c : シート番号] を選択します。
[b : 部数間隔] を選択したときは、設定部数の何部目の先頭にサンプル排紙するかを入力します。1 部 ～ 9,999 部の範囲で設定できます。[c : シート番号] を選択したときは、設定部数の各何ページ目にサンプル排紙するかを入力します。1 枚 ～ 9,999 枚の範囲で設定できます。
 - 設定内容を確認するため、[OK] を押します。確定しない場合は、[キャンセル] を押します。サンプル排紙設定画面にもどります。

- 8 [部門カウンター設定] 右の [する] または [しない] を選択します。
- 9 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

7.11.7 [06 確認プリント（先頭 1 枚）設定]

確認プリントを 1 部出力ではなく、先頭 1 枚だけ出力できるようにします。

設定確認画面に表示される [確認プリント] のボタンのほかに、[確認プリント（先頭 1 枚）] のボタンを表示します。また、操作パネルの**確認コピー**を押したとき、先頭 1 枚だけ出力するように設定できます。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[06 確認プリント（先頭 1 枚）設定] を順に押します。
確認プリント（先頭 1 枚）設定画面が表示されます。
- 3 [確認プリント（先頭 1 枚）] 下の [ON] または [OFF] を選択します。
→ [ON] を選択すると、設定確認画面に [確認プリント（先頭 1 枚）] のボタンを表示します。
- 4 [確認コピー]（ハードキー）押下時の 1 部／先頭 1 枚選択 下の [ON] または [OFF] を選択します。
→ [ON] を選択すると、操作パネルの**確認コピー**を押したとき、確認コピーとして先頭 1 枚だけ出力します。
- 5 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

7.11.8 [07 JAM 識別表示設定]

[管理者設定] — [環境設定] — [エキスパート調整] — [片寄り検知 JAM 設定] で [検知する] を設定している場合、片寄り JAM が発生したことを知らせるメッセージを表示するか、しないかを選択します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[07 JAM 識別表示設定] を順に押します。
JAM 識別表示設定画面が表示されます。
- 3 [表示する] または [表示しない] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

7.11.9 [08 自動画像回転]

自動画像回転機能を ON にするタイミングを 1 つ選択します。

[常にする]	無条件で機能します。
[自動サイズ／自動倍率時]	自動用紙、または自動倍率が設定されているとき機能します。
[自動サイズ／自動倍率／縮小時]	自動用紙、自動倍率、または縮小倍率が設定されているときに機能します。



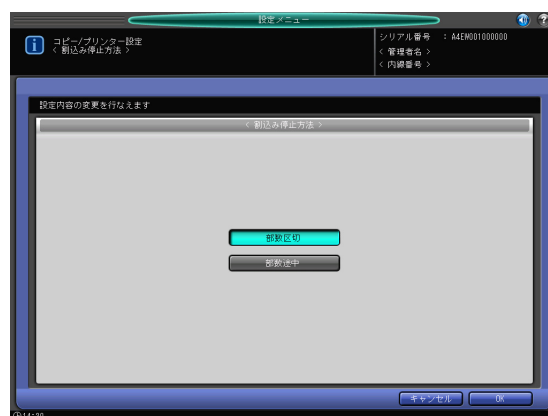
- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。

- 2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[08 自動画像回転] を順に押します。
自動画像回転画面が表示されます。
- 3 [常にする]、[自動サイズ／自動倍率時] または [自動サイズ／自動倍率／縮小時] から 1 つを選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

7.11.10 [09 割込み停止方法]

操作パネルの割込みを押したときの出力中ジョブの停止タイミングを選択します。

[部数区切]	出力中のジョブが設定している設定部数の出力まで待って停止します。
[部数途中]	出力中のジョブが設定している設定部数の出力を待たずに、途中で停止します。

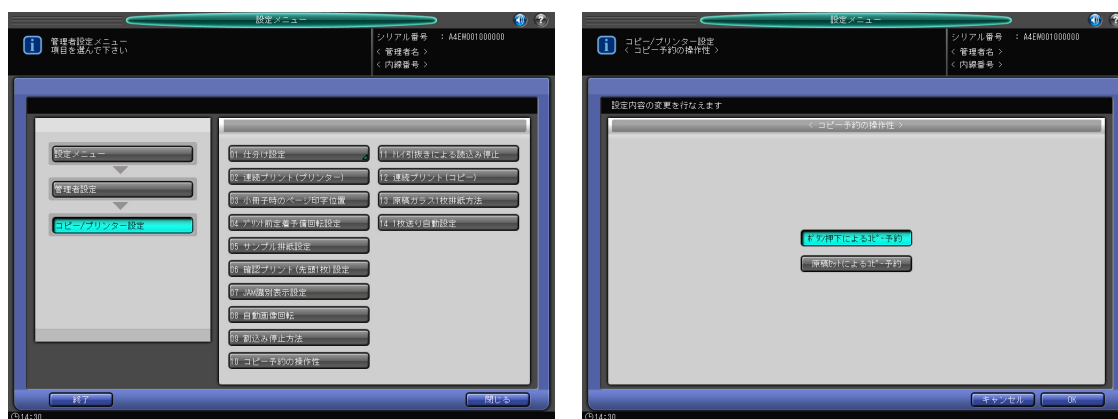


- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[09 割込み停止方法] を順に押します。
割込み停止方法画面が表示されます。
- 3 [部数区切] または [部数途中] から 1 つを選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

7.11.11 [10 コピー予約の操作性]

機械が機械状態画面を表示して、コピー予約ができる状態のとき、原稿をセットしてコピー画面を表示するようにするか、しないかを選択します。

[ボタン押下によるコピー予約]	機械動作中に機械状態画面を表示して、コピー予約ができる状態のとき、機械状態画面の [コピー] タグを押して、コピー画面を表示します。
[原稿セットによるコピー予約]	機械動作中に機械状態画面を表示して、コピー予約ができる状態のとき、原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットしたとき、コピー画面を表示します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[10 コピー予約の操作性] を順に押します。
コピー予約の操作性画面が表示されます。
- 3 [ボタン押下によるコピー予約] または [原稿セットによるコピー予約] から 1 つを選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

7.11.12 [11 トレイ引抜きによる読み込み停止]

ADF で原稿読み込みに選択されていないトレイを引抜いたとき、原稿読み込みを停止するか、しないかを選択します。

[ON] を選択すると、[ADF] で原稿読み込みに選択されていないトレイを引抜いたとき、原稿読み込みを停止します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[11 トレイ引抜きによる読み込み停止] を順に押します。
トレイ引抜きによる読み込み停止画面が表示されます。
- 3 [ON] または [OFF] から 1 つを選択します。

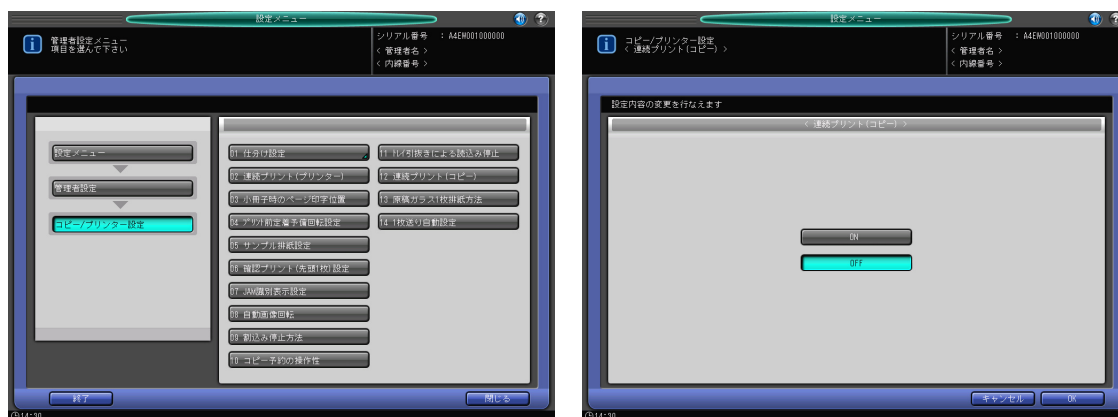
4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

7.11.13 [12 連続プリント（コピー）]

コピー予約で連続出力するとき、ジョブの切れ目で一時停止するか、しないかを選択します。

[ON] を選択すると、コピー予約で連続出力するとき、ジョブの切れ目で一時停止します。



1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。

2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[12 連続プリント（コピー）] を順に押します。

連続プリント（コピー）画面が表示されます。

3 [ON] または [OFF] から 1 つを選択します。

4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

7.11.14 [13 原稿ガラス 1 枚排紙方法]

原稿ガラスに原稿を 1 枚セットしてコピーしたとき、プリント面を上にして出力するか、下にして出力するか選択します。

[フェイスアップ]	プリント面を上にして出力します。
-----------	------------------

[フェイスダウン]	プリント面を下にして出力します。
-----------	------------------

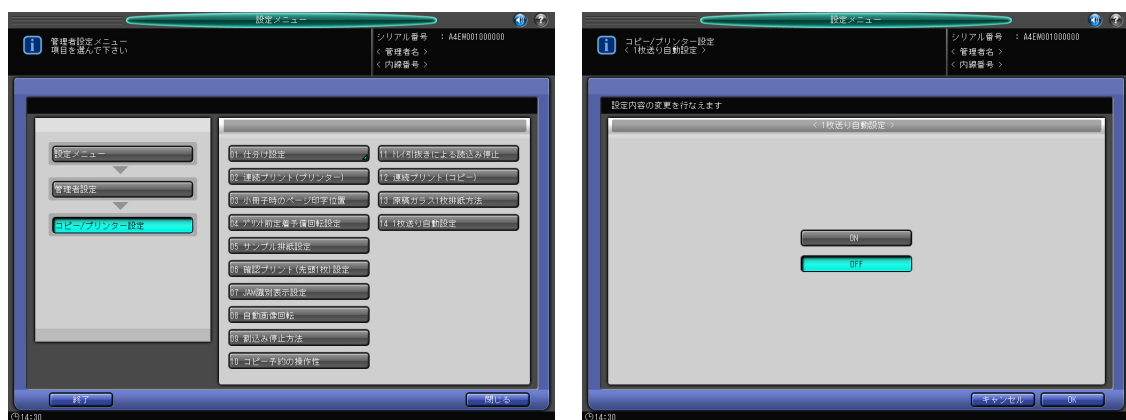


- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[13 原稿ガラス 1 枚排紙方法] を順に押しします。
原稿ガラス 1 枚排紙方法画面が表示されます。
- 3 [フェイスアップ] または [フェイスダウン] から 1 つを選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押しします。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押しします。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

7.11.15 [14 1 枚送り自動設定]

1 枚送りを設定したとき、ADF に原稿をセットし、操作パネルのスタートを押してスキャンするか、連続読み込みを選択して原稿をセットしたと同時にスキャンするかを選択します。

[ON] を選択すると、連続読み込みを選択して原稿をセットしたと同時にスキャンします。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [05 コピー／プリンター設定]、[14 1 枚送り自動設定] を順に押しします。
1 枚送り自動設定画面が表示されます。
- 3 [ON] または [OFF] から 1 つを選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押しします。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押しします。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

7.12 [06 管理者設定] — [06 システム連携]

7.12.1 [01 管理者発信]

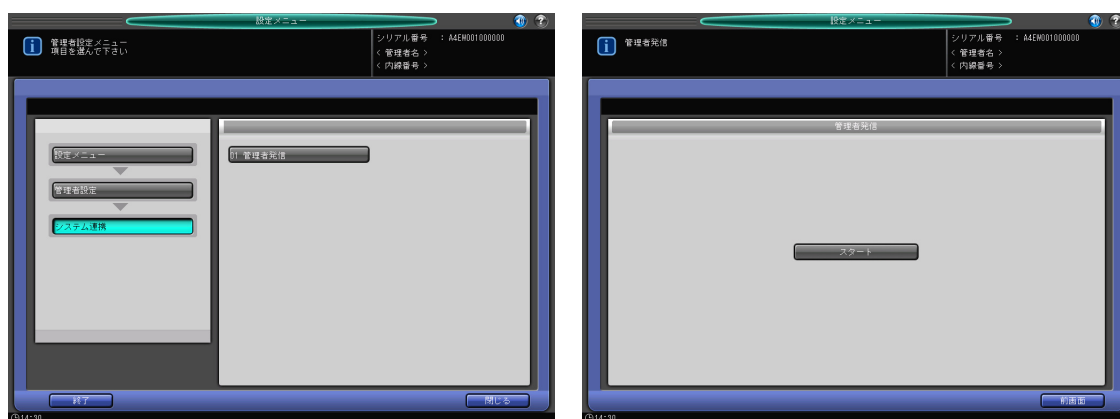
サービス実施店のメンテナンスを受けたいときに使用します。サービス実施店は機械の状態を随時モニターしています。メンテナンスのときに有効な情報になります。

重要

機械の状態をモニターするサービスを CS リモートケアといいます。CS リモートケアは、サービスエンジニアによる設定が必要です。このサービスをご利用になると、管理者発信画面の「スタート」が機能します。詳細は、サービス実施店にお問い合わせください。

重要

CS リモートケアを設定すると、ErP 設定は使用できなくなります。詳しくは、7-46 ページをごらんください。

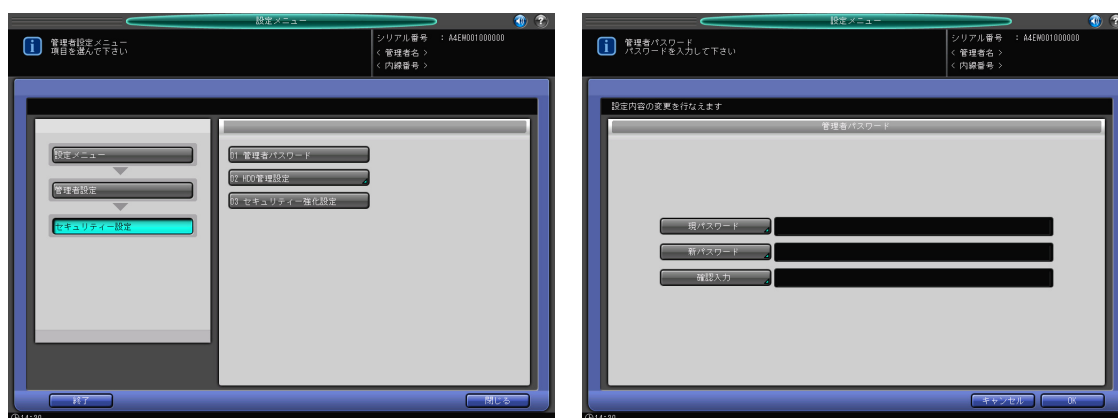


- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [06 システム連携]、[01 管理者発信] を順に押します。
管理者発信画面が表示されます。
- 3 「スタート」を押します。
- 4 「前画面」を押します。
システム連携メニュー画面にもどります。

7.13 [06 管理者設定] — [07 セキュリティ設定]

7.13.1 [01 管理者パスワード]

管理者パスワードを変更します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [07 セキュリティ設定]、[01 管理者パスワード] を順に押します。
管理者パスワード画面が表示されます。
- 3 [現パスワード] を押して、既存のパスワードを入力してから、[OK] を押します。
- 4 [新パスワード] を押して、新しいパスワードを入力してから、[OK] を押します。
→ 管理者パスワードは、8 文字の半角英数字を入力します。
- 5 確認のため、[確認入力] を押して、再度新しいパスワードを入力してから、[OK] を押します。
- 6 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、セキュリティ設定メニュー画面にもどります。

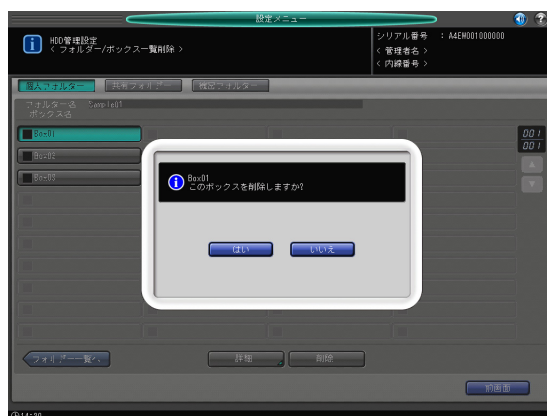
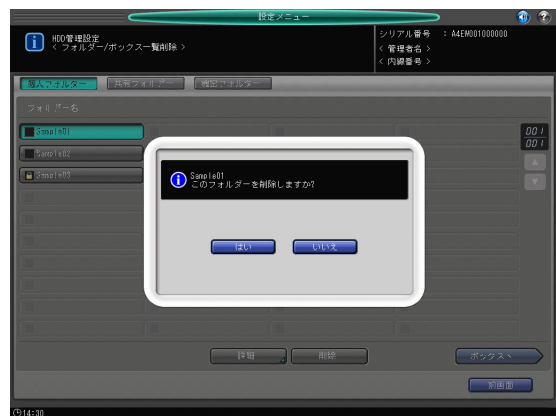
重要

[01 管理者パスワード] ボタンが機能するためには、サービスエンジニアが管理者パスワードを設定する必要があります。

7.13.2 [02 HDD 管理設定] — [01 フォルダー／ボックス一覧削除]

個人、共有、または機密フォルダーに画像を保存するために、ユーザーがつくったフォルダーやボックスの名前、パスワード、No.、作成日時を閲覧します。また、必要に応じてそのフォルダーやボックスを削除します。





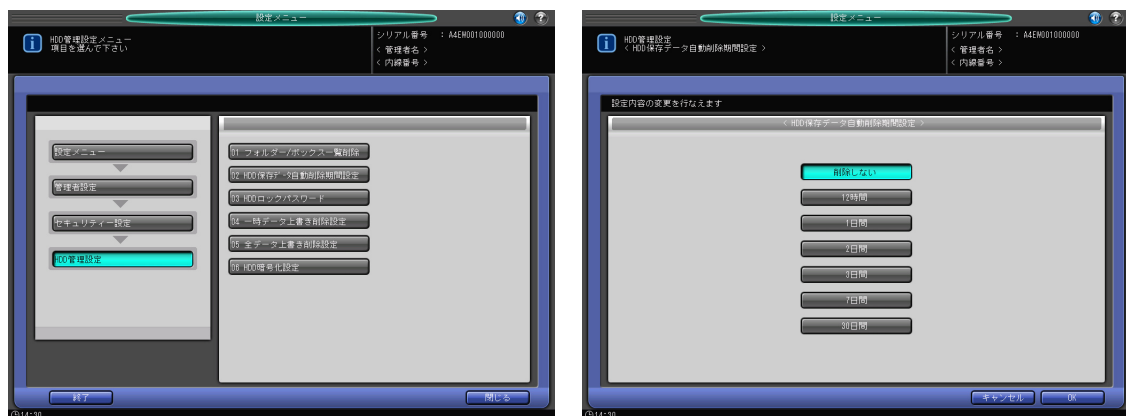
- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [07 セキュリティー設定]、[02 HDD 管理設定]、[01 フォルダ／ボックス一覧削除] を順に押します。
フォルダ／ボックス一覧削除画面が表示されます。
- 3 詳細情報を閲覧したり、削除したりしたいフォルダを選択します。
 - [個人フォルダ]、[共有フォルダ]、または [機密フォルダ] を押して、選択したいフォルダ／ボックスの入っているフォルダの種類を選択します。
 - 任意のフォルダボタンを選択します。
 - ボックスの情報を選択する場合は、選択したいボックスが入っているフォルダボタンを押し、[ボックス] を押します。選択したいボックスボタンを選択します。
 - 選択したいフォルダやボックスボタンが表示されていない場合は、右側の [▼] または [▲] を押して表示させます
 ボックス選択画面でのみフォルダ／ボックス名が表示されます。

- 4 詳細情報を閲覧するため、[詳細] を押します。
詳細情報が表示されます。
- 5 フォルダーやボックスを削除する場合は、[削除] を押します。
削除確認のダイアログが表示されます。
→ [はい] を押します。削除しないときは、[いいえ] を押します。
- 6 [前画面] を押します。
HDD 管理設定メニュー画面にもどります。

7.13.3 [02 HDD 管理設定] — [02 HDD 保存データ自動削除期間設定]

HDD に保存した画像データを一定期間経過すると、自動的に削除するように設定します。初期状態では、削除しない設定になっています。

選択項目：[削除しない]、[12 時間]、[1 日間]、[2 日間]、[3 日間]、[7 日間]、[30 日間]



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [07 セキュリティ設定]、[02 HDD 管理設定]、[02 HDD 保存データ自動削除期間設定] を順に押します。
HDD 保存データ自動削除期間設定画面が表示されます。
- 3 任意のボタンを選択します。
→ [削除しない] を選択すると、HDD のデータは削除されることはありません。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、HDD 管理設定メニュー画面にもどります。

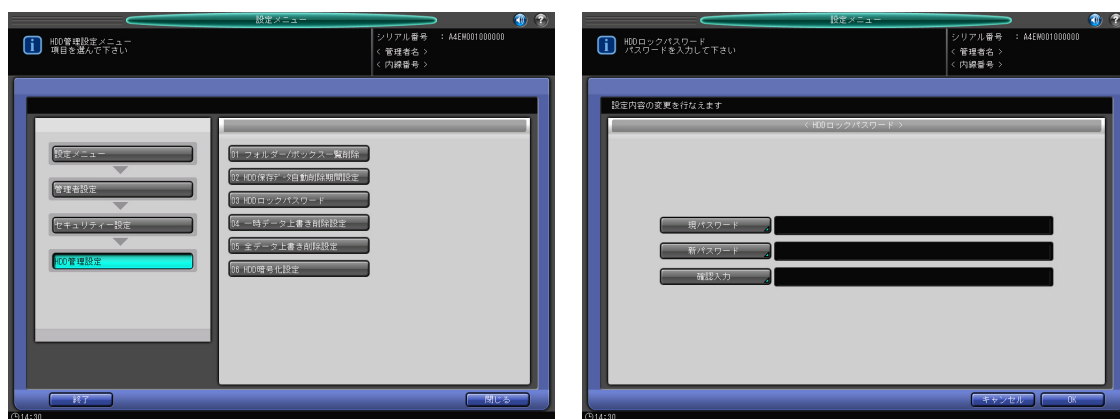
7.13.4 [02 HDD 管理設定] — [03 HDD ロックパスワード]

HDD ロックパスワードを変更します。

重要

セキュリティ強化モードが ON に設定されていないと、HDD ロックパスワードは変更できません。

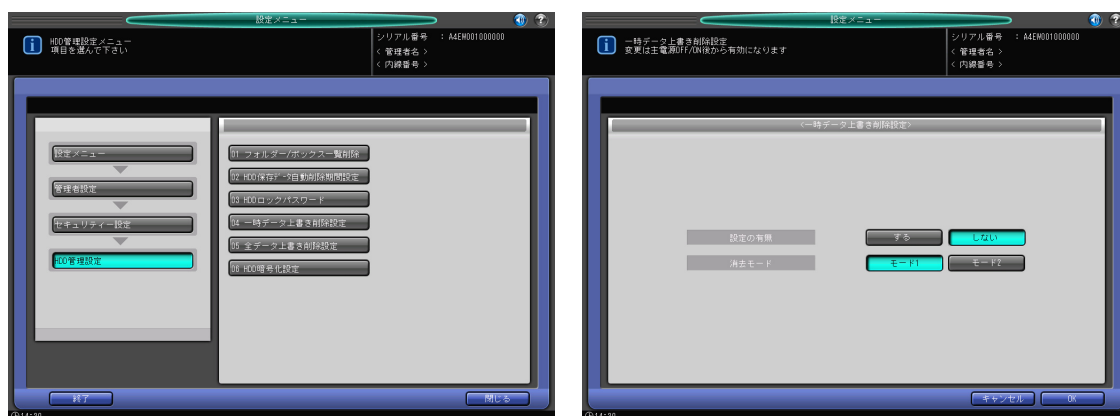
HDD ロックパスワードは、8 文字の半角英数字を入力します。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [07 セキュリティ設定]、[02 HDD 管理設定]、[03 HDD ロックパスワード] を順に押します。
HDD ロックパスワード画面が表示されます。
- 3 [現パスワード] を押して、既存のパスワードを入力してから、[OK] を押します。
- 4 [新パスワード] を押して、新しいパスワードを入力してから、[OK] を押します。
→ HDD ロックパスワードは、8 文字の半角英数字を入力します。
- 5 確認のため、[確認入力] を押して、再度新しいパスワードを入力してから、[OK] を押します。
- 6 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、HDD 管理設定メニュー画面にもどります。

7.13.5 [02 HDD 管理設定] — [04 一時データ上書き削除設定]

画像データを一時的に上書きして削除するかしないか、また一時的に上書き削除するときの消去モードを選択します。



項目	説明
モード 1	0x00 で上書き
モード 2	0x00 で上書き -> 0xff で上書き -> 1 バイトの乱数で上書き -> 検正

- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。

- 2 管理者設定メニュー画面の [07 セキュリティー設定]、[02 HDD 管理設定]、[04 一時データ上書き削除設定] を順に押します。
一時データ上書き削除設定画面が表示されます。
- 3 [設定の有無] 右の [する] または [しない] を選択します。
→ [する] を選択した場合は、[消去モード] 右の [モード1] または [モード2] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、HDD 管理設定メニュー画面にもどります。

7.13.6 [02 HDD 管理設定] — [05 全データ上書き削除設定]

すべての画像データを上書きして削除するときの消去モードを選択します。

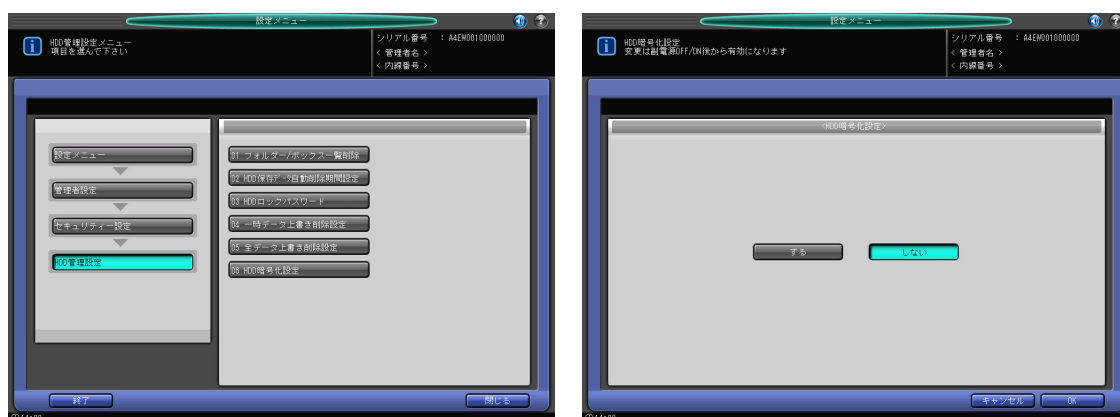


項目	説明
モード 1	0x00 で上書き
モード 2	1 バイトの乱数で上書き -> 1 バイトの乱数で上書き -> 0x00 で上書き
モード 3	0x00 で上書き -> 0xff で上書き -> 1 バイトの乱数で上書き -> 検証
モード 4	1 バイトの乱数で上書き -> 0x00 で上書き -> 0xff で上書き
モード 5	0x00 で上書き -> 0xff で上書き -> 0x00 で上書き -> 0xff で上書き
モード 6	0x00 で上書き -> 0xff で上書き -> 0x00 で上書き -> 0xff で上書き -> 0x00 で上書き -> 0xff で上書き -> 乱数で上書き
モード 7	0x00 で上書き -> 0xff で上書き -> 0x00 で上書き -> 0xff で上書き -> 0x00 で上書き -> 0xff で上書き -> 0xaa で上書き
モード 8	0x00 で上書き -> 0xff で上書き -> 0x00 で上書き -> 0xff で上書き -> 0x00 で上書き -> 0xff で上書き -> 0xaa で上書き -> 検証

- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [07 セキュリティー設定]、[02 HDD 管理設定]、[05 全データ上書き削除設定] を順に押します。
全データ上書き削除設定画面が表示されます。
- 3 [消去モード] の [モード1] ～ [モード8] から任意の消去モードを選択します。
- 4 [削除実行] を押します。
- 5 [前画面] を押します。
HDD 管理設定メニュー画面にもどります。

7.13.7 [02 HDD 管理設定] — [06 HDD 暗号化設定]

HDD のデータを暗号化するか、しないかを選択します。



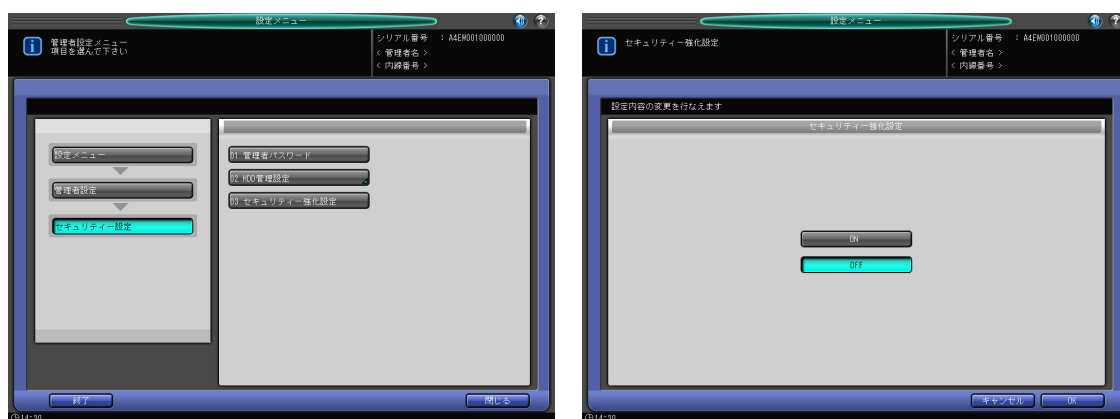
- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [07 セキュリティー設定]、[02 HDD 管理設定]、[06 HDD 暗号化設定] を順に押します。
HDD 暗号化設定画面が表示されます。
- 3 [する] または [しない] を選択します。
- 4 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
→ 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、HDD 管理設定メニュー画面にもどります。

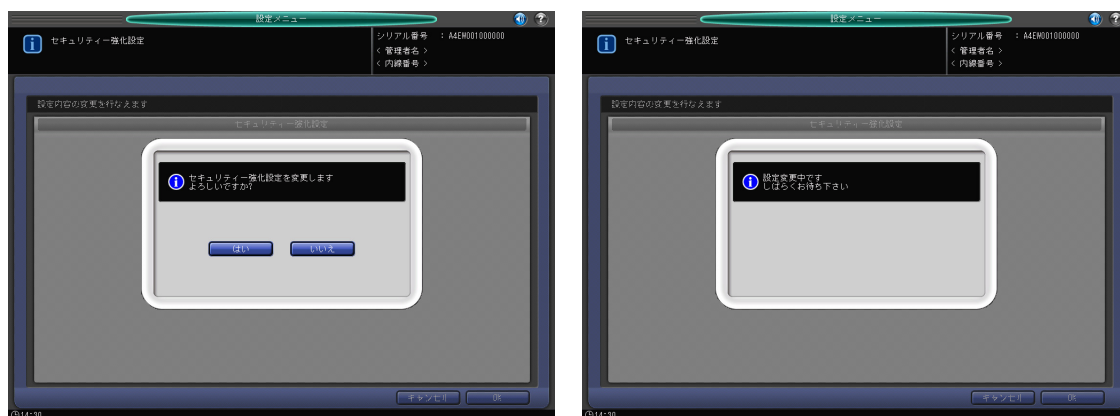
7.13.8 [03 セキュリティー強化設定]

セキュリティー強化モードを使用するかしないかを選択します。

重要

セキュリティー強化モードを ON にするには、サービスエンジニアが、機械に CE 認証パスワードおよび管理者パスワードを設定する必要があります。





- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [07 セキュリティー設定]、[03 セキュリティー強化設定] を順に押します。
セキュリティ強化設定画面が表示されます。
- 3 セキュリティー強化モードにする場合は [ON]、しない場合は [OFF] を選択して、[OK] を押します。
確認のダイアログが表示されます。
- 4 設定内容を確定するため、[はい] を押します。
機械の電源が自動的に OFF になり、再度 ON になります。
→ 確定しない場合は、[いいえ] を押してから、画面右下の [キャンセル] を押して、管理者設定メニュー画面にもどります。

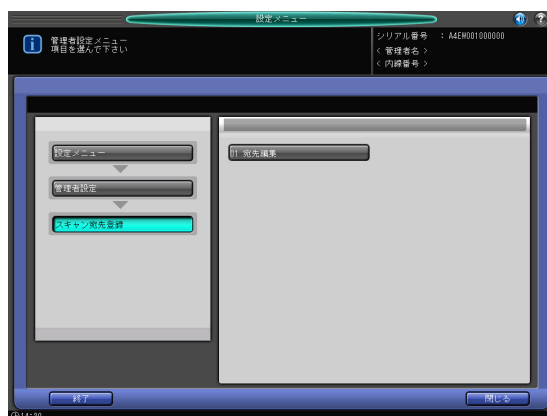
7.14 [06 管理者設定] — [08 スキャン宛先登録]

7.14.1 [01 宛先編集]

登録したスキャン宛先を変更したり、削除したりします。

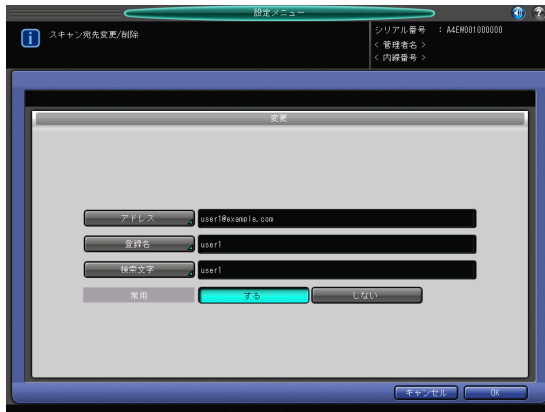
宛先には以下の種類があります。

- E-mail
- HDD
- FTP
- SMB
- グループ



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [08 スキャン宛先登録]、[01 宛先編集] を順に押します。
宛先編集画面が表示されます。

- 3 変更／削除したいアドレスの種類を選択します。
- 4 E-mail 送信先を変更／削除します。
 - [E-mail] を押します。
 - 検索ボタン、[▼]、または [▲] を使って、送信先の登録名ボタンを表示します。
 - 任意の登録名ボタンを選択します。
 - 変更する場合は、[変更] を押して、E-mail 詳細画面を表示します。
 - 変更する項目を [アドレス] [登録名] [検索文字] のボタンから選んで押し、入力画面で変更します。また、常用 [する] / [しない] の設定をします。[OK] を押します。
 - 削除する場合は、[削除] を押します。削除確認のポップアップ画面の [はい] を押します。削除を中止する場合は、[いいえ] を押します。



- 5 HDD 送信先を変更／削除します。
 - [HDD] を押します。
 - 検索ボタン、[▼]、または [▲] を使って、送信先の登録名ボタンを表示します。
 - 任意の登録名ボタンを選択します。
 - 変更する場合は、[変更] を押して、HDD 詳細画面を表示します。
 - 変更する項目を [登録名] [検索文字] [パスワード] のボタンから選んで押し、入力画面で変更します。また、常用 [する] / [しない] の設定をします。[OK] を押します。
 - 削除する場合は、[削除] を押します。削除確認のポップアップ画面の [はい] を押します。削除を中止する場合は、[いいえ] を押します。
 - 未登録ボックスを削除する場合は、[未登録ボックス] を押します。上記 [削除] の手順に従って削除します。



- 6 FTP 送信先を変更／削除します。
 - [FTP] を押します。
 - 検索ボタン、[▼]、または [▲] を使って、送信先の登録名ボタンを表示します。
 - 任意の登録名ボタンを選択します。
 - 変更する場合は、[変更] を押して、FTP 詳細画面を表示します。

- 変更する項目を「プロファイル名」「検索文字」「ホストアドレス」「ファイルパス」「ログイン名」「パスワード」のボタンから選んで押し、入力画面で変更します。また、常用「する」／「しない」の設定をします。「OK」を押します。
- 削除する場合は、「削除」を押します。削除確認のポップアップ画面の「はい」を押します。削除を中止する場合は、「いいえ」を押します。



7 SMB 送信先を変更／削除します。

- 「SMB」を押します。
- 検索ボタン、「▼」、または「▲」を使って、送信先の登録名ボタンを表示します。
- 任意の登録名ボタンを選択します。
- 変更する場合は、「変更」を押して、SMB 詳細画面を表示します。
- 変更する項目を「プロファイル名」「検索文字」「ホストアドレス」「ファイルパス」「ログイン名」「パスワード」のボタンから選んで押し、入力画面で変更します。また、常用「する」／「しない」の設定をします。「OK」を押します。
- 削除する場合は、「削除」を押します。削除確認のポップアップ画面の「はい」を押します。削除を中止する場合は、「いいえ」を押します。



8 グループを削除します。

- 「グループ」を押します。
- 「▼」または「▲」を使って、送信先の登録名ボタンを表示します。
- 任意の登録名ボタンを選択します。
- 「削除」を押します。削除確認のポップアップ画面の「はい」を押します。削除を中止する場合は、「いいえ」を押します。



- 9 「前画面」を押します。スキャン宛先登録画面にもどります。

7.15 [06 管理者設定] — [09 OpenAPI 認証管理設定]

7.15.1 [01 禁止コード設定]

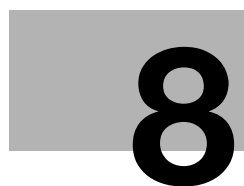
禁止コードを登録したり、確認したりします。

重要

この設定は、サービス実施店から連絡されたときだけ実施してください。



- 1 7-2 ページの操作をして、管理者設定メニュー画面を表示します。
- 2 管理者設定メニュー画面の [09 OpenAPI 認証管理設定]、[01 禁止コード設定] を順に押します。
禁止コード設定画面が表示されます。
- 3 [インデックス]、[開発元コード]、または [アプリケーション] を押します。
それぞれの禁止コード入力画面が表示されます。
- 4 禁止コードを入力します。
→ 半角の英数字、記号で 8 文字まで入力できます。
→ [OK] を押して、禁止コード設定画面にもどります。
- 5 [閉じる] を押します。
OpenAPI 認証管理設定メニュー画面にもどります。



Web Utilities 設定

8 Web Utilities 設定

8.1 Web Utilities について

本機がネットワークで PC とつながっているとき、PC のブラウザを使って下記の項目の操作ができます。

設定	
部門管理データ編集	本機タッチパネルや操作パネルで行う管理者設定の部門管理設定を PC 上で行います。
リモートパネル設定／ジョブ履歴設定	ブラウザを使って本機を操作したり、本機の状態を監視したりします。
ネットワークスキャナー設定	本機タッチパネルや操作パネルで行う管理者設定のスキャン送信先登録を PC 上で行います。
設定データのインポート／エクスポート	ブラウザを使って本機にある設定データを PC に転送（エクスポート）したり、PC にある設定データを本機に転送（インポート）したりします。
ボックスエクスプローラ	ブラウザを使って、本体用 HDD 内のボックスデータ（フォルダー、ボックス、ファイル）のコピー、削除、および名前を変更します。また、USB メモリー／USB-HDD へのボックスデータのバックアップやリストアをします。
ジョブ履歴一覧	ブラウザを使って、本体の出力履歴を表示します。
Billing Counter	本体に課金カウンターの設定をすると機能します。

対応ブラウザについては、下記一覧をごらんください。

OS	Web ブラウザー
Windows XP、Server 2003、Vista、Server 2008、Windows 7	Microsoft Internet Explorer 8 以降（推奨）（JavaScript 有効、Cookie 有効） Mozilla Firefox 3.6 以降（推奨）（JavaScript 有効、Cookie 有効）
Macintosh OS X	Mozilla Firefox 3.6 以降（推奨）（JavaScript 有効、Cookie 有効）
Linux	Mozilla Firefox 3.6 以降（推奨）（JavaScript 有効、Cookie 有効）

下記の手順に従って、ブラウザで本機の Web Utilities のメインページ画面を表示します。

- 1 本機とネットワークでつながっている PC を起動します。
- 2 Web ブラウザーを起動します。
- 3 URL フィールドに、以下のように本体 NIC の IP アドレスを入力して、[Enter] キーを押します。
http://< 本体 NIC の IP アドレス >/
(例) 本体 NIC の IP アドレスが 192.168.0.10 の場合 : http://192.168.0.10/



本機の Web Utilities のメインページ画面が表示されます。

重要

ネットワーク接続に関しては、ネットワーク管理者にお尋ねください。

本機の IP アドレスは、ネットワーク管理者にお尋ねください。

改良のため Web Utilities 画面の構成を予告なく変更することがあります。

8.2 部門管理データの編集

8.2.1 部門管理データをブラウザで新規登録する

ブラウザを使って、下記管理者設定の部門管理設定を PC から行います。

設定	説明
部門管理データ登録	パスワード、名前、リミット値を新規登録します。
登録済み部門管理データの編集	部門管理データ（パスワード、名前、リミット値）を変更または削除したり、枚数カウントをリセットしたりします。

原則

この機能は、本機が以下の設定になっている場合だけ利用できます。

✓ 部門管理を「管理する」、かつユーザー認証を「認証しない」に設定している場合

- 1 PC に Web Utilities のメインページ画面を表示します。
- 2 「管理者設定」をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

- 3 ユーザー名に「admin」、パスワードに 8 桁の管理者パスワードを入力して、[OK] をクリックします。

管理者設定メニュー画面が表示されます。

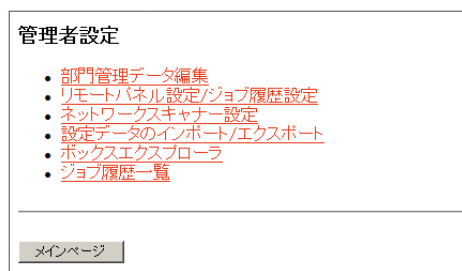
重要

ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更できません。

パスワードは、本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。

ユーザー名とパスワードは、一度入力すると記憶されるので、2 度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

- 4 「部門管理データ編集」をクリックします。



部門管理データ編集画面が表示されます。

5 「部門管理データ追加」をクリックします。

部門管理データ登録画面が表示されます。

6 新規に部門管理データを入力します。

- 部門名：最大 8 文字（半角英数字だけ）
- パスワード：最大 8 文字（半角英数字だけ）
- リミット値：0 ～ 99,999,999（半角数字だけ）、（リミット値を設定する場合は、[無効] チェックボックスをクリアすること）

重要

部門名が重複すると、エラーメッセージが表示されて登録できません。本機の認証方式で部門名の入力が「なし」に設定されている場合、部門名を省略したり、重複したりできます。

名前で使用できない文字を使うと、エラーメッセージが表示されて登録できません。

登録件数が 1,000 件を越えると、エラーメッセージが表示されて登録できません。

本機が動作している間は、エラーメッセージが表示されて登録できません。本機がアイドル状態になってから、[登録] をクリックしてください。

重要

入力を最初からやり直すときは、[リセット] をクリックします。

新規登録を中止するときは、ブラウザの[戻る] をクリックします。

7 「登録」ボタンをクリックします。

登録終了画面が表示されます。新規データは、本機に即時登録されて、有効になります。

8 「戻る」をクリックします。

部門管理データ編集画面にもどります。

8.2.2 登録済み部門管理データをブラウザで編集する

- 1 PC に Web Utilities のメインページ画面を表示します。
重要
Web Utilities 画面の表示方法は、8-2 ページをごらんください。
- 2 「管理者設定」をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

- 3 ユーザー名に [admin]、パスワードに 8 桁の管理者パスワードを入力して、[OK] をクリックします。

管理者設定メニュー画面が表示されます。

重要

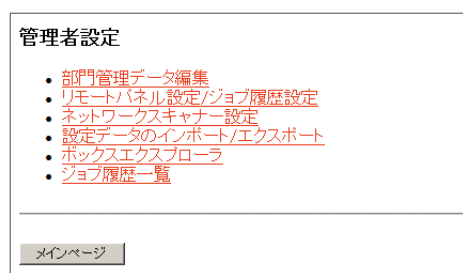
ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更できません。

パスワードは、本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。

管理者パスワードは、8 文字の英数字を使用します。

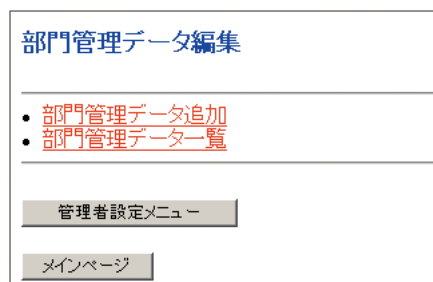
ユーザー名とパスワードは、一度入力すると記憶されるので、2 度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

- 4 「部門管理データ編集」をクリックします。



部門管理データ編集画面が表示されます。

- 5 「部門管理データ一覧」をクリックします。



部門管理データ一覧画面が表示されます。

6 部門名、パスワードおよびリミット値を変更します。

→ 部門管理データ一覧画面の変更したいデータの「Number」をクリックします。

部門管理データ一覧

この表をファイルに保存

選択	Number	部門名	コピー		プリンター		スキャナー		リミット
			大サイズ	トータル	大サイズ	トータル	大サイズ	トータル	
<input type="checkbox"/>	1	account1	0	3	0	0	0	0	500
<input type="checkbox"/>	2	account2	0	4	0	8	0	0	700
<input type="checkbox"/>	3	account3	0	0	0	0	0	0	1000

☒ コピー/プリンターのカウントリセット
☐ スキャナーのカウントリセット
☐ 削除(その他ユーザーアカウントは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

→ 部門管理データ編集画面が表示されます。

→ 部門名、パスワード、リミット値を変更します。変更入力方法は新規登録と同じです。詳しくは、8-6 ページをごらんください。

重要

もとのデータにもどしたいときは、「リセット」をクリックします。変更を中止するときは、ブラウザの「戻る」をクリックします。

→ 「登録」をクリックします。

重要

部門名が重複すると、エラーメッセージが表示されて登録できません。本機の認証方式で部門名の入力が「なし」に設定されている場合、部門名を省略したり、重複したりできます。

名前で使用できない文字を使うと、エラーメッセージが表示されて登録できません。

本機が動作している間は、エラーメッセージが表示されて登録できません。本機がアイドル状態になってから、「登録」をクリックしてください。

部門管理データ登録

Number	3
*部門名	account3 (最大8文字 [ABC_abc_123_]のみ使用可)
*パスワード	12345 (最大8文字 [ABC_abc_123_]のみ使用可)
*リミット値	1000 <input type="checkbox"/> 無効 (最大99999999)

* ではじまる項目は必須入力です

登録 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

→ 変更終了画面が表示されます。変更されたデータは、本機に即時登録されて、有効になります。

→ 「戻る」をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

7 枚数カウントをリセットします。

→ 部門管理データ一覧画面の枚数カウントをリセットしたいデータ項目（複数選択可）のチェックボックスをクリックして、チェックを入れます。カウントリセットしたいモードのラジオボタンをクリックします。

部門管理データ一覧

この表をファイルに保存

選択	Number	部門名	コピー 大サイズ	トータル	プリンター 大サイズ	トータル	スキャナー 大サイズ	トータル	リミット
<input type="checkbox"/>	1	account1	0	3	0	0	0	8	500
<input checked="" type="checkbox"/>	2	account2	0	4	0	8	0	0	700
<input type="checkbox"/>	3	account3	0	0	0	0	0	0	1000

☒ コピー/プリンター のカウントリセット
☐ スキャナー のカウントリセット
☐ 削除(その他ユーザーカウントは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- [決定] をクリックします。
- カウントリセット確認画面が表示されます。

重要

選択したデータのカウントリセットしないときは、[戻る] をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

- [決定] をクリックします。

部門管理データ一覧

これらのデータをカウントリセットします(コピー/プリンター)

Number	部門名
2	account2

決定

戻る

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- カウントリセット終了画面が表示されます。選択したデータのカウン트가即時リセットされます。

重要

本機が動作している間は、エラーメッセージが表示されてリセットできません。本機がアイドルング状態になるのを待ってから、[決定] をクリックしてください。

部門管理データ一覧

設定を更新しました

戻る

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- [戻る] をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

8 部門管理データを削除します。

- 部門管理データ一覧画面の削除したいデータ項目（複数選択可）のチェックボックスをクリックして、チェックを入れます。[削除（その他ユーザーカウントは削除できません）] のラジオボタンをクリックします。

部門管理データ一覧

この表をファイルに保存

選択	Number	部門名	コピー		プリンター		スキャナー		リミット
			大サイズ	トータル	大サイズ	トータル	大サイズ	トータル	
<input type="checkbox"/>	1	account1	0	3	0	0	0	8	500
<input checked="" type="checkbox"/>	2	account2	0	4	0	8	0	0	700
<input type="checkbox"/>	3	account3	0	0	0	0	0	0	1000

☐ コピー/プリンターのカウントリセット
☐ スキャナーのカウントリセット
☒ 削除(その他ユーザーカウントは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- [決定] をクリックします。
- 削除確認画面が表示されます。

重要

選択したデータの削除を中止するときは、[戻る] をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

部門管理データ一覧

これらのデータを削除します

Number	部門名
2	account2

決定

戻る

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- [決定] をクリックします。削除終了画面が表示されます。選択したデータが即時に削除されます。

部門管理データ一覧

データを削除しました

戻る

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- [戻る] をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

- 9 部門管理データ一覧をファイルに保存します。
 → [この表をファイルに保存] をクリックします。

部門管理データ一覧

この表をファイルに保存

選択	Number	部門名	コピー		プリンター		スキャナー		リミット
			大サイズ	トータル	大サイズ	トータル	大サイズ	トータル	
<input type="checkbox"/>	1	account1	0	3	0	0	0	0	500
<input checked="" type="checkbox"/>	2	account2	0	4	0	8	0	0	700
<input type="checkbox"/>	3	account3	0	0	0	0	0	0	1000

☒ コピー/プリンター のカウントリセット
☐ スキャナー のカウントリセット
☐ 削除(その他ユーザーカウントは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- [保存] をクリックします。

部門管理データ一覧

この表をファイルに保存

選択	Number	部門名	コピー		プリンター		スキャナー		リミット
			大サイズ	トータル	大サイズ	トータル	大サイズ	トータル	
<input type="checkbox"/>	1	account1	0	3	0	0	0	0	500
<input checked="" type="checkbox"/>	2	account2	0	4	0	8	0	0	700
<input type="checkbox"/>	3	account3	0	0	0	0	0	0	1000

☒ コピー/プリンター のカウントリセット
☐ スキャナー のカウントリセット
☐ 削除(その他ユーザーカウントは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- 保存先指定ダイアログボックスで設定ファイルの保存先を指定して、[保存] をクリックします。

部門管理データ一覧

この表をファイルに保存

選択	Number	部門名	コピー		プリンター		スキャナー		リミット
			大サイズ	トータル	大サイズ	トータル	大サイズ	トータル	
<input type="checkbox"/>	1	account1	0	3	0	0	0	0	500
<input checked="" type="checkbox"/>	2	account2	0	4	0	8	0	0	700
<input type="checkbox"/>	3	account3	0	0	0	0	0	0	1000

☒ コピー/プリンター のカウントリセット
☐ スキャナー のカウントリセット
☐ 削除(その他ユーザーカウントは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

重要

部門管理データ一覧のファイルは、CSV 形式で保存されます。本機が動作している間は、ファイルの保存はできません。本体がアイドルングの状態になってから、再度行ってください。このとき、ブラウザの [戻る] ボタンをクリックして、部門管理データ一覧画面にもどってください。

例：部門管理データ一覧保存ファイル

NUMBER	PASSWORD	NAME	COPYLARGECOUNT	COPYCOUNT	PRINTLARGECOUNT
1	1	account1	0	3	0
2	2	account2	0	4	0
3	3	account3	0	0	0

PRINTCOUNT	SCANLARGECOUNT	SCANCOUNT	LIMIT
0	0	8	500
8	0	0	00
0	0	0	1000

8.3 リモートパネル、リモートモニター、マルチモニターを設定する

PC のブラウザ画面から本機を操作したり、本体の状態を監視したりできます。

リモートパネルの機能

- 本機タッチパネルに表示されるあらゆる画面を、ブラウザ上に表示します。
- PC のマウスによってタッチパネルや操作パネルの操作を代用します。
- パスワードなどの入力を、PC のキーボードから入力できます。
- リモートパネルによる操作手順を記録して再生します。操作手順のデモをしたり、同じ設定手順を別の機械で行ったりするときに使用します。

リモートモニターの機能

- ブラウザーの自動リロードを使って、本機のタッチパネルの画面、ジョブの状況、本機の状態を監視します。
- リモートパネルを別ウィンドウで表示します。

マルチモニターの機能

- 1 つのブラウザ上に最大 10 台の機械のリモートモニターを並べて表示して、監視できます。
- リモートモニターとリモートパネルを同じブラウザ上に表示します。

原則

- ✓ ブラウザーの設定で JavaScript を有効にします。
- ✓ PC と本体をネットワークで繋いで、TCP/IP で通信できる環境にします。
- ✓ セキュリティ強化モードを OFF にします。

- 1 PC に Web Utilities のメインページ画面を表示します。

重要

Web Utilities 画面の表示方法は、8-2 ページをごらんください。

- 2 [管理者設定] をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

- 3 ユーザー名に「admin」、パスワードに 8 桁の管理者パスワードを入力して [OK] をクリックします。

管理者設定メニュー画面が表示されます。

重要

ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更できません。

パスワードは、本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
管理者パスワードは、8 文字の英数字を使用します。

ユーザー名とパスワードは、一度入力すると記憶されるので、2 度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

4 [リモートパネル設定/ジョブ履歴設定] をクリックします。

管理者設定

- 部門管理データ編集
- リモートパネル設定/ジョブ履歴設定
- ネットワークスキャナー設定
- 設定データのインポート/エクスポート
- ボックスエクスプローラ
- ジョブ履歴一覧

メインページ

リモートパネル設定/ジョブ履歴設定画面が表示されます。

5 リモートパネルの設定をします。

→ リモートパネルを使用する PC の IP アドレスを設定します。

→ 最大 3 つまで設定できます。

重要

これ以外の設定をしないときは、画面下の [登録] をクリックして、[管理者設定メニュー] をクリックします。

リモートパネル設定/ジョブ履歴設定

アクセスを許可するIPアドレス 1	10.11.32.100	e.g. 192.168.0.100
アクセスを許可するIPアドレス 2		e.g. 192.168.0.100
アクセスを許可するIPアドレス 3		e.g. 192.168.0.100

このPCのIPアドレス [10.11.32.100]

リモートモニターのユーザー設定ラベル 1	A0G6001901007
リモートモニターのユーザー設定ラベル 2	10.11.32.70
リモートモニターの更新間隔	5秒

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 1	10.11.32.70	e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 2		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 3		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 4		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 5		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 6		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 7		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 8		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 9		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 10		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターの表示形式	上部に子画面表示	

ジョブ履歴 HDD最大保存件数(要再起動)	0
-----------------------	---

登録 リセット

管理者設定メニュー

メインページ

6 リモートモニターの設定をします。

→ リモートモニターのユーザー設定ラベルを入力して、リモートモニターの更新時間を選択します。

重要

これ以外の設定をしないときは、画面下の「登録」をクリックして、「管理者設定メニュー」をクリックします。

リモートパネル設定/ジョブ履歴設定

アクセスを許可するIPアドレス 1	10.11.32.100	e.g. 192.168.0.100
アクセスを許可するIPアドレス 2		e.g. 192.168.0.100
アクセスを許可するIPアドレス 3		e.g. 192.168.0.100

このPCのIPアドレス [10.11.32.100]

リモートモニターのユーザー設定ラベル 1	A0G6001901007
リモートモニターのユーザー設定ラベル 2	10.11.32.70
リモートモニターの更新間隔	5秒

7 マルチモニターの設定をします。

→ マルチモニターに表示する機械の IP アドレスを入力します。最大 10 台まで登録できます。

重要

これ以外の設定をしないときは、画面下の「登録」をクリックして、「管理者設定メニュー」をクリックします。

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 1	10.11.32.70	e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 2		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 3		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 4		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 5		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 6		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 7		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 8		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 9		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 10		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターの表示形式	上部に予画面表示	

8 「登録」をクリックします。

新規データは本機に即時登録されます。

9 「管理者設定メニュー」をクリックします。

管理者設定メニュー画面にもどります。

8.4 ネットワークスキャナーを設定する

ブラウザを使って、管理者設定の一部であるネットワークスキャナー設定をします。ネットワークスキャナーの詳細は、サービス実施店にお問い合わせください。

原則

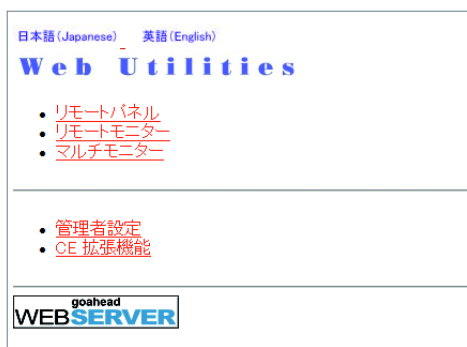
- ✓ 本体でネットワークスキャナー機能を使用していないことを確認してください。

- 1 PC に Web Utilities のメインページ画面を表示します。

重要

Web Utilities 画面の表示方法は、8-2 ページをごらんください。

- 2 [管理者設定] をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

- 3 ユーザー名に「admin」、パスワードに 8 桁の管理者パスワードを入力して、[OK] をクリックします。

重要

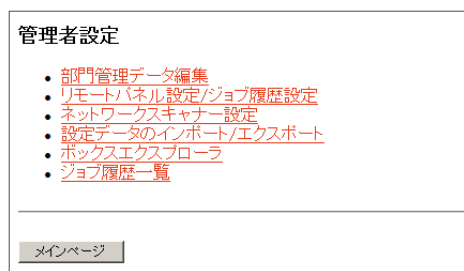
ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更できません。

パスワードは、本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。

管理者パスワードは、8 文字の英数字を使用します。

ユーザー名とパスワードは、一度入力すると記憶されるので、2 度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

- 4 [ネットワークスキャナー設定] をクリックします。



ネットワークスキャナー設定画面が表示されます。

5 E-Mail、HDD、FTP、SMB を任意に入力して登録します。

重要

設定値の詳細については、[ユーザズガイド ネットワークスキャナー編] をごらんください。

入力できる漢字および記号には制限があり、操作部で表示できないものは登録できません。操作部で表示できる漢字は、第 1 水準 JIS コードの J8740 ~ J879F を除いた J8140 ~ J9872 です。

HDD のボックス No. は、9 桁で登録されます。たとえば、[1] と入力すると、「000000001」と登録されます。

「常用登録」のチェックボックスにチェックを入れると、常用に登録されます。

文字制限を違反した場合、必須項目が未入力の場合は、下記のように「～が不正です」と表示されます。「戻る」をクリックして入力し直してください。

ネットワークスキャナー設定

E-Mail登録

登録名	<input type="text"/>	(最大 24文字[日本語 12文字])
検索文字	<input type="text"/>	(最大 24文字[ひらがな 12文字])
アドレス	<input type="text"/>	(最大 250文字)
常用登録	<input type="checkbox"/> (チェックすると常用に登録されます)	

[登録](#) [一覧表示](#)

HDD登録

登録名	<input type="text"/>	(最大 24文字[日本語 12文字])
検索文字	<input type="text"/>	(最大 24文字[ひらがな 12文字])
ボックスNo	<input type="text"/>	(数字9桁[000000001-999999999])
常用登録	<input type="checkbox"/> (チェックすると常用に登録されます)	

[登録](#) [一覧表示](#)

FTP登録

プロフィール名	<input type="text"/>	(最大 24文字[日本語 12文字])
検索文字	<input type="text"/>	(最大 24文字[ひらがな 12文字])
ホストアドレス	<input type="text"/>	(最大 63文字)
ポート番号	<input type="text" value="21"/>	
ファイルパス	<input type="text"/>	(最大 96文字)
ログイン名	<input type="text"/>	(最大 47文字)
<input type="checkbox"/> Anonymous		
パスワード	<input type="text"/>	(最大 24文字)
常用登録	<input type="checkbox"/> (チェックすると常用に登録されます)	

[登録](#) [一覧表示](#)

SMB登録

プロフィール名	<input type="text"/>	(最大 24文字[日本語 12文字])
検索文字	<input type="text"/>	(最大 24文字[ひらがな 12文字])
ホストアドレス	<input type="text"/>	(最大 63文字)
ファイルパス	<input type="text"/>	(最大 95文字[日本語 47文字])
ログイン名	<input type="text"/>	(最大 47文字)
パスワード	<input type="text"/>	(最大 14文字)
常用登録	<input type="checkbox"/> (チェックすると常用に登録されます)	

[登録](#) [一覧表示](#)

[管理者設定メニュー](#)

[メインページ](#)

6 「登録」をクリックします。

以下のように登録しました

登録名	Sample
検索文字	Sample
アドレス	sample@sample.com
常用登録	する

戻る

登録内容が表示されます。

7 「戻る」をクリックします。

ネットワークスキャナー設定画面にもどります。

8 登録内容を一覧表示します。

一覧表示させたい項目の「一覧表示」をクリックして、選択した登録一覧を表示します。

E-Mail登録一覧

全て: 2

削除 全て選択	登録名	検索文字	アドレス	常用登録
<input type="checkbox"/>	Sample	Sample	sample@sample.com	する
<input type="checkbox"/>	Sample2	Sample2	sample2@sample.com	しない

戻る

9 「戻る」をクリックします。

ネットワークスキャナー設定画面にもどります。

10 登録内容を変更します。

→ 手順 8 に従って、変更したい項目の登録一覧を表示します。

E-Mail登録一覧

全て: 2

削除 全て選択	登録名	検索文字	アドレス	常用登録
<input type="checkbox"/>	Sample	Sample	sample@sample.com	する
<input type="checkbox"/>	Sample2	Sample2	sample2@sample.com	しない

戻る

- 登録名 (FTP、SMB はプロファイル名) をクリックします。ネットワークスキャナー設定の編集画面が表示されます。
- 変更を入力して、「登録」をクリックします。

E-Mailデータ編集

登録名	<input type="text" value="Sample Group"/>	(最大 24文字[日本語 12文字])
検索文字	<input type="text" value="Sample"/>	(最大 24文字[ひらがな 12文字])
アドレス	<input type="text" value="sample@sample.com"/>	(最大 250文字)
常用登録	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックすると常用に登録されます)	

登録

リセット

戻る

→ 変更した登録内容が表示されます。

再登録完了しました

登録名	Sample Group
検索文字	Sample
アドレス	sample@sample.com
常用登録	する

[戻る](#)

→ 「戻る」をクリックします。登録一覧画面にもどります。

11 登録内容を削除します。

手順 8 に従って、削除したい項目の登録一覧を表示します。

重要

削除する項目を複数選択できます。また、全項目を削除するときは、「全て選択」をクリックします。

E-Mail登録一覧

実行

実行

実行

実行

実行

実行

実行

実行

英語

その他

常用

全て

全て : 2

削除 全て選択	登録名	検索文字	アドレス	常用登録
<input type="checkbox"/>	Sample	Sample	sample@sample.com	する
<input type="checkbox"/>	Sample2	Sample2	sample2@sample.com	しない

削除

リセット

戻る

- 削除したい登録項目の削除欄のチェックボックスをクリックしてチェックを入れ、[削除] をクリックします。
- 削除画面が表示されます。
- 削除する登録名を確認し、[はい] をクリックします。
- 削除終了画面が表示されます。

E-Mail削除

登録名	検索文字	アドレス	常用登録
Sample	Sample	sample@sample.com	する

これらの登録名を削除します

はい いいえ

- [戻る] をクリックします。登録一覧画面にもどります。
- [戻る] をクリックします。ネットワークスキャナー設定画面にもどります。

8.5 設定データを転送する

ブラウザーを使って設定データを PC に転送（エクスポート）したり、PC にある設定データを本機に転送（インポート）したりします。

設定データは、PC のアプリケーションソフトを使って編集できます。

設定データには下記のものがあります。

- 部門管理データ（最大 1,000 件）
- 4 つのスキャン送信先データ（4 つ合計で 500 件まで登録可能）
 - E-mail データ
 - HDD (box No.) データ
 - FTP (FTP server address) データ
 - SMB データ
- 用紙設定データ



参照

部門管理データについては、8-4 ページをごらんください。

スキャン送信先データについては、[ユーザズガイド ネットワークスキャナー編]をごらんください。

PC に転送される設定データは、上記 4 種類ごとに 1 つの設定データとして転送されます。部門管理データや、4 つのスキャン送信先データを 1 件ごとに編集する場合は、8-6 ページをごらんください。

原則

- ✓ 設定データは、PC に転送して、バックアップとして保存できます。
- ✓ 本機が複数台ある場合は、設定データによって設定を共通にできます。
- ✓ 設定データは一括処理しやすい形式になっているので、設定を効率的に編集して、本機に反映できます。

1

PC に Web Utilities のメインページ画面を表示します。

重要

Web Utilities 画面の表示方法は、8-2 ページをごらんください。

2

[管理者設定] をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

3

ユーザー名に「admin」、パスワードに 8 桁の管理者パスワードを入力して、[OK] をクリックします。

管理者設定メニュー画面が表示されます。

重要

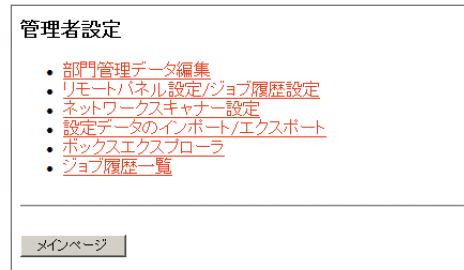
ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。

パスワードは、本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。

管理者パスワードは、8 文字の英数字を使用します。

ユーザー名とパスワードは、一度入力すると記憶されるので、2 度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザーを再起動すると、再び入力する必要があります。

4 「設定データのインポート/エクスポート」をクリックします。



設定データのインポート/エクスポート設定画面が表示されます。

5 設定データをエクスポートします。

エクスポートしたい設定データを、プルダウンメニューから選択します。

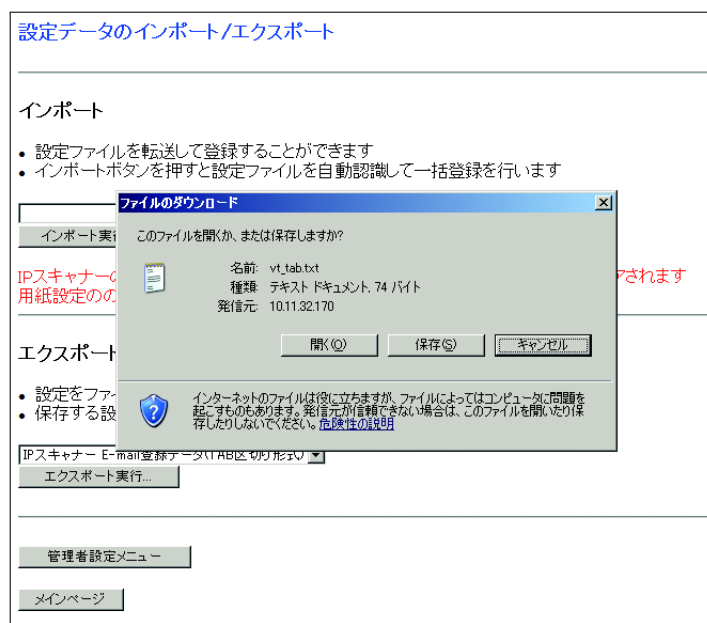
重要

転送する設定データ形式は TAB 区切り形式で、そのほかの設定はできません。

→ 「エクスポート実行」をクリックします。

保存ダイアログボックスが表示されます。

→ 保存ダイアログボックスの「保存」をクリックします。



- 保存先指定ダイアログボックスで設定データの保存先を指定して、[保存] をクリックします。
- 保存完了のダイアログボックスが表示されます。



[開じる] をクリックします。

重要

設定データの名前は下記のように自動発生します。このとき、ファイル名を変更できます。任意のファイルを指定して保存します。

vt_tab.txt：部門管理データ

ip_email.txt：スキャナー転送先データの E-Mail データ

ip_hdd.txt：スキャナー転送先データの HDD データ

ip_ftp.txt：スキャナー転送先データの FTP データ

ip_smb.txt：スキャナー転送先データの SMB データ

paper_setting.txt：用紙設定データ

重要

本機が動作している間は、設定データを PC に転送しようとしても、エラーメッセージが表示されてできません。本機がアイドルングの状態になってから行ってください。

6 設定データを編集します。

→ PC に転送された設定データは、PC のテキスト編集、表計算のアプリケーションソフトで編集できます。また、設定データを書式に沿って新規に作成できます。詳しくは、8-23 ページをごらんください。

7 設定データをインポートします。

→ [参照...] ボタンをクリックして PC にある設定ファイルを選択して、[インポート実行] をクリックします。

重要

常に本機に設定データが転送されないとエラーメッセージが表示されて、本機に転送できません。処置方法は、8-2 ページをごらんください。

設定データのインポート/エクスポート

インポート

- 設定ファイルを転送して登録することができます
- インポートボタンを押すと設定ファイルを自動認識して一括登録を行います

参照...

インポート実行...

IPスキャナーのインポートでは、既に本体に登録済みのデータおよびグループはクリアされます
用紙設定のインポートでは、既に本体に登録済みのデータはクリアされます

エクスポート

- 設定をファイルに保存することができます
- 保存する設定を選択してエクスポートボタンを押してください

IPスキャナー E-mail登録データ(TAB区切り形式) ▼

エクスポート実行...

管理者設定メニュー

メインページ

転送結果が表示されます。

重要

このとき、ブラウザの[更新]をクリックしないでください。[戻る]をクリックします。設定データのインポート/エクスポート設定画面にもどります。

設定データのインポート/エクスポート

1 件、部門管理データを登録しました。

一覧表示

[戻る](#)

[メインページ](#)

インポート時のエラーメッセージとその処置

項目	説明
「本体が動作中のため転送できませんでした」	本機がアイドリングの状態になってから本機に転送してください。
「データを識別できませんでした」	本機に転送しようとしているファイルが設定データか確認してください。
「データサイズが大きすぎます」	本機に転送しようとしているファイルが設定データか確認してください。また、設定データサイズが 100,000 バイトを超えていないか確認してください。超えている場合は転送できません。
「登録できませんでした」	設定データの記述に間違いがないか確認してください。詳しくは 8-4 ページをごらんください。また、登録件数がいっぱいになっていないか確認してください。それぞれの設定データの最大登録件数は、4 つのスキャナー送信先データ合わせて 500 件です。

設定ファイル作成／編集の共通ルール

- 設定データはテキスト形式で保存します。
- 設定データの先頭にタグをつけます（例：#EKC_TAB）。
- 1 行は 300 バイト以下にします。
- 設定データサイズは 100,000 バイト以下にします。
- 「#」で始まる行はコメント行となります。

例：部門管理データの設定データ

```
#IP_EMAIL
#GROUP_NAME
NAME ADDRESS KANA DAILY USE 管理職 一般
田中部長 tanaka@k たなか 1 1
鈴木課長 suzuki@k すずき 1 1
高橋主任 takahashi@k たかはし 1
渡辺係長 watanabe@k わたなべ 1
金子係長 kaneko@k かねこ 1 1
```

設定データ作成／編集の個別ルール

部門管理データの設定データ

- 設定データの先頭に「#EKC_TAB」を記述します。
- 最大 1,000 件です。
- 1 行に「PASSWORD」、「NAME」、「LIMIT」をタブ区切りします。
- 「PASSWORD」は半角英数字で最大 8 文字で記述します。
- 「NAME」は半角英数字で最大 8 文字で記述します。
- 「LIMIT」は 0 ～ 99999999 までの数字で記述します。

E-mail データの設定データ

- 設定データの先頭に「#IP_EMAIL」を記述します。
- 1 行に「NAME」、「ADDRESS」、「REFERENCE」、「DAILY」をタブ区切りします。
- 「NAME」は最大 24 バイトです。
- 「ADDRESS」は最大 250 バイトです。
- 「REFERENCE」は最大 24 バイトです。
- 「DAILY」を常用登録する場合は 1、しない場合は 0 と記述します。

HDD データの設定データ

- 設定データの先頭に「#IP_HDD」を記述します。
- 1 行に「NAME」、「NUMBER」、「REFERENCE」、「DAILY」をタブ区切りします。
- 「NAME」は最大 24 バイトです。
- 「NUMBER」は 1 ～ 999999999 までの 9 桁の数字だけで記述します。
- 「REFERENCE」は最大 24 バイトです。
- 「DAILY」を常用登録する場合は 1、しない場合は 0 と記述します。

FTP データの設定データ

- 設定データの先頭に「#IP_FTP」を記述します。
- 1 行に「NAME」、「ADDRESS」、「FILEPATH」、「LOGINNAME」、「PASSWORD」、「REFERENCE」、「DAILY」をタブ区切りします。
- 「NAME」は最大 24 バイトです。
- 「ADDRESS」は最大 63 バイトです。
- 「PORT」は 1 ～ 65535 までの 5 桁の数字で記述します。
- 「FILEPATH」は最大 96 バイトです。
- 「LOGINNAME」は最大 47 バイトです。
- 「PASSWORD」は最大 24 バイトです。
- 「REFERENCE」は最大 24 バイトです。
- 「DAILY」を常用登録する場合は 1、しない場合は 0 と記述します。

SMB データの設定データ

- 設定データの先頭に「#IP_SMB」を記述します。
- 1 行に「NAME」、「ADDRESS」、「FILEPATH」、「LOGINNAME」、「PASSWORD」、「REFERENCE」、「DAILY」をタブ区切りします。
- 「NAME」は最大 24 バイトです。
- 「ADDRESS」は最大 63 バイトです。
- 「FILEPATH」は最大 96 バイトです。
- 「LOGINNAME」は最大 47 バイトです。
- 「PASSWORD」は最大 14 バイトです。
- 「REFERENCE」は最大 24 バイトです。
- 「DAILY」を常用登録する場合は 1、しない場合は 0 と記述します。

8.6 ボックスエクスプローラを使用する

ボックスエクスプローラは、ブラウザを使って本体の HDD に作成して保存されたボックスデータ（フォルダー、ボックス、ファイル）の操作をします。また、USB メモリー／USB-HDD にバックアップしたり、リストアしたりします。

利用できる機能

- 本体 HDD に対する操作
 - 本体 HDD に作成して保存されたボックスデータの参照、リネーム、削除、複製を行います。
 - 本体 HDD のボックスデータをサムネイル表示します。
- 本体の USB ポートに接続された USB メモリー／USB-HDD に対する操作
 - USB メモリー／USB-HDD 内のボックスデータを参照します。
 - 本体 HDD のボックスデータを USB メモリー／USB-HDD にバックアップします。
 - USB メモリー／USB-HDD 内のボックスデータを本体 HDD にリストアします。
- ボックスエクスプローラのログ表示
 - ボックスエクスプローラのブラウザ画面下部の [log...] をクリックすると、直近のログを 10 件表示します。
 - このログは、本体 HDD、USB メモリー／USB-HDD のどのブラウザ画面にも同じ箇所に表示されます。また、これらの装置を切替えても、同じログが続き、書換えることはありません。ブラウザを再起動してもログは残りますが、本体の電源を OFF/ON するとログは消えます。

機能制限

- ボックスエクスプローラは、同時に複数のブラウザから利用できません。
- パスワードで管理されているボックスデータの参照やリネームはできません。複製および USB メモリー／USB-HDD へのバックアップやリストアはできます。
- ボックスエクスプローラでアクセスしているときは、本体の操作パネルでの操作および外部 PC からのプリントを行うことはできません。
- 本体にジョブが残っている状態のとき、ボックスエクスプローラでアクセスできません。
- 本体の操作パネルによって HDD 保存画面または HDD 読み出し画面でファイルを選択している場合、ボックスエクスプローラは使用できません。
- セキュリティ強化モード、ユーザー認証および部門管理モードを使用しているときは、ボックスエクスプローラは使用できません。

重要

USB メモリー／USB-HDD のボックスデータを参照、バックアップまたはリストアしているときは、USB メモリー／USB-HDD を接続ポートから外さないでください。

8.6.1 ボックスエクスプローラ画面を表示する

- 1 PC に Web Utilities のメインページ画面を表示します。
- 2 [管理者設定] をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

- 3 ユーザー名に「admin」、パスワードに 8 桁の管理者パスワードを入力して、[OK] をクリックします。
管理者設定メニュー画面が表示されます。

重要

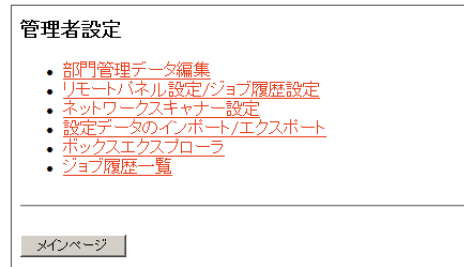
ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。

パスワードは、本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。

管理者パスワードは、8 文字の英数字を使用します。

ユーザー名とパスワードは、一度入力すると記憶されるので、2 度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

- 4 [ボックスエクスプローラ] をクリックします。



ボックスエクスプローラ画面が表示されます。

8.6.2 本体 HDD に対する操作

- 1 ボックスエクスプローラ画面を表示します。



- 2 本体 HDD のボックスデータをサムネイル表示します。
- 本体 HDD 参照画面では、左側の画面がボックスデータのツリー表示領域になっています。
 - ツリー表示領域でサムネイル表示したいファイルをクリックします。



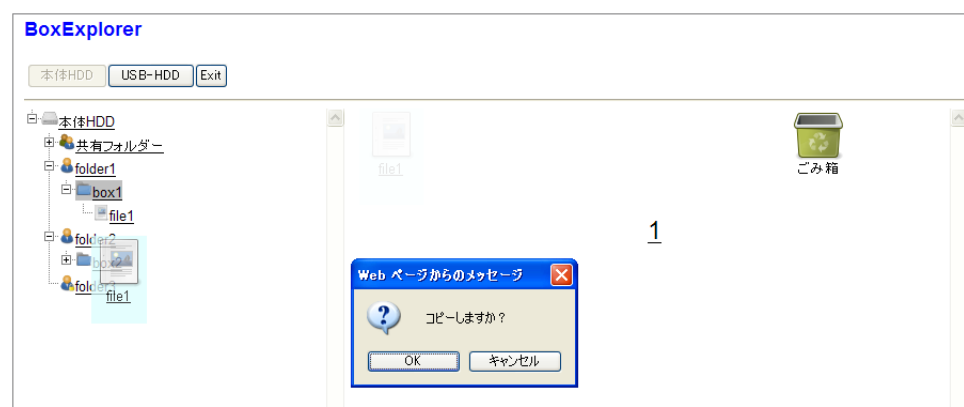
- 3 本体 HDD のボックスデータをリネームします。
- 本体 HDD 参照画面では、右側の画面がボックスデータのアイコン表示領域になっています。
 - リネームするデータのアイコンの名前の部分をクリックして、新しい名前を入力したら、何も表示されていない箇所にカーソルを合わせクリックします。



- 4 本体 HDD のボックスデータを削除します。
- ボックスデータのアイコン表示領域から削除するデータのアイコンを、ごみ箱にドラッグします。削除確認のダイアログボックスが表示されます。
 - [OK] をクリックします。



- 5 本体 HDD のボックスデータを複製します。
- ボックスデータのアイコン表示領域から複製するデータのアイコンを、ツリー領域にあるコピー先にドラッグします。複製確認のダイアログボックスが表示されます。
 - [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると元の領域にもどります。



- 6 [Exit] をクリックします。
管理者設定メニュー画面にもどります。

重要

ブラウザーの「戻る」または「更新」を押すと、「この機能は他の使用者によってロックされています 5 秒後にトップページに移動します」と表示されて、ボックスエクスプローラの画面にもどることができません。機能のタッチパネルで、ボックスエクスプローラのモードを一度解除してください。

8.6.3 本体 USB ポートに接続された USB メモリー／USB-HDD に対する操作

本体 USB ポートに接続された USB メモリー／USB-HDD のボックスデータを参照したり、データをバックアップしたり、本体 HDD ヘリストアしたりします。

重要

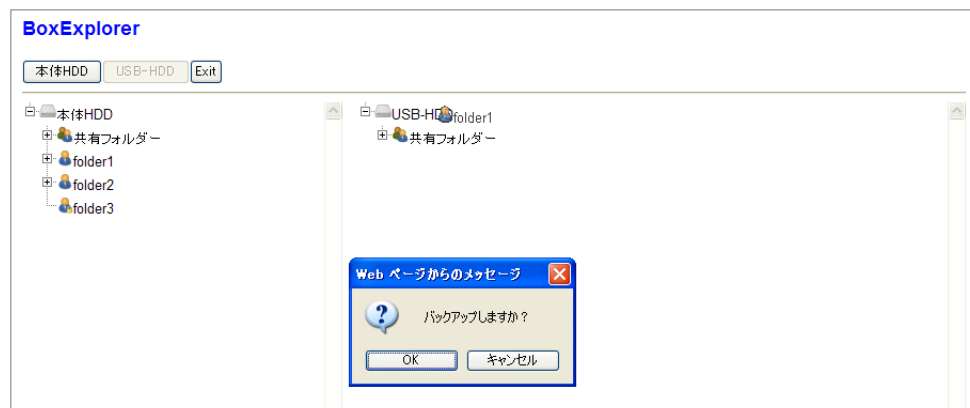
USB メモリー／USB-HDD のボックスデータを参照、バックアップ、またはリストアしているときは、USB メモリー／USB-HDD を接続ポートから外さないでください。

- 1 ボックスエクスプローラ画面を表示します。
- 2 [USB-HDD] をクリックします。



画面の右側に USB-HDD のツリーが表示されます。

- 3 本体 HDD のボックスデータを USB メモリー／USB-HDD にバックアップします。
→ 本体 HDD のツリー表示領域からバックアップするデータを、USB-HDD のツリー表示領域のバックアップ先にドラッグします。



- バックアップ確認のダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると元の画面にもどります。

- 4 USB メモリー／USB-HDD のボックスデータを本体 HDD にリストアします。
→ USB-HDD のツリー表示領域からリストアするデータを、本体 HDD のツリー表示領域のリストア先にドラッグします。



→ リストア確認のダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると元の画面にもどります。

5 [Exit] をクリックします。

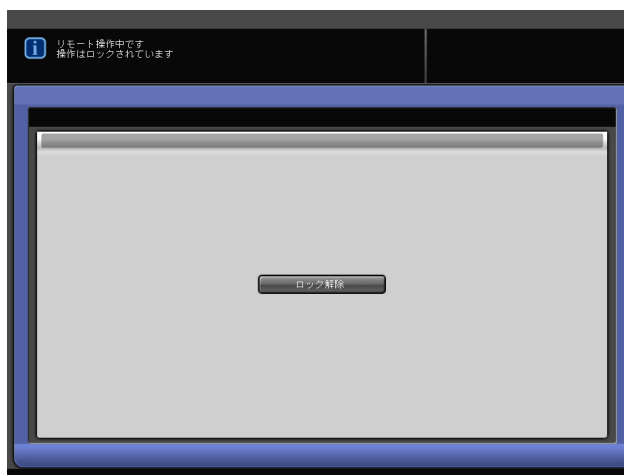
管理者設定メニュー画面にもどります。

重要

ブラウザの「戻る」または「更新」を押すと、「この機能は他の使用者によってロックされています。5 秒後にトップページに移動します」と表示されて、ボックスエクスプローラの画面にもどることができません。機能のタッチパネルで、ボックスエクスプローラのモードを一度解除してください。

8.6.4 本体操作部からボックスエクスプローラを終了する

ボックスエクスプローラを起動していると、本体の操作はロックされて操作できません。本体の操作パネルは、下記の画面が表示されています。



ロックを解除して本体操作部の操作をする場合は、「ロック解除」を押して、解除確認画面の「はい」を押します。



8.7 ジョブ履歴を表示する

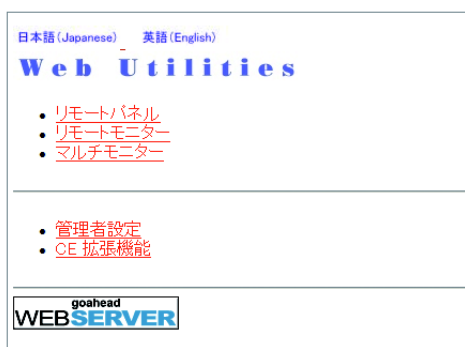
ブラウザを使って、本体の出力履歴を表示します。

ジョブ履歴は本体操作部画面にも表示できますが、本体の電源を OFF にすると消去されます。Web Utilities で表示されるジョブ履歴は HDD に保存されるため、電源を OFF にしても履歴が消去されず、過去の履歴を参照できます。

8.7.1 ジョブ履歴機能を ON/OFF する

ジョブ履歴機能は、初期設定では OFF になっています。下記の手順に従って ON/OFF してください。

- 1 PC に Web Utilities のメインページ画面を表示します。
- 2 [管理者設定] をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

- 3 ユーザー名に「admin」、パスワードに 8 桁の管理者パスワードを入力して、[OK] をクリックします。

管理者設定メニュー画面が表示されます。

重要

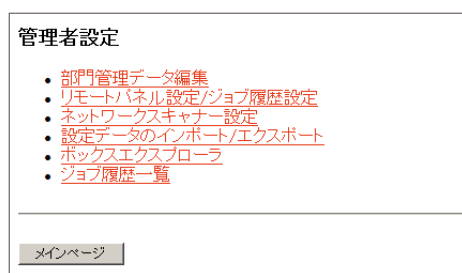
ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。

パスワードは、本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。

管理者パスワードは、8 文字の英数字を使用します。

ユーザー名とパスワードは、一度入力すると記憶されるので、2 度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

- 4 [リモートパネル設定／ジョブ履歴設定] をクリックします。



リモートパネル設定／ジョブ履歴設定画面が表示されます。

5 ジョブ履歴に関する設定をします。

→ ジョブ履歴を ON にするため、100,000、500,000、1,000,000 から任意の最大保存件数を選択します。ジョブ履歴を OFF にするときは、「0」を選択します。

重要

最大保存件数を変更すると、履歴データがリセットされることがあるので注意してください。

リモートパネル設定/ジョブ履歴設定

アクセスを許可するIPアドレス 1	10.11.32.100	e.g. 192.168.0.100
アクセスを許可するIPアドレス 2		e.g. 192.168.0.100
アクセスを許可するIPアドレス 3		e.g. 192.168.0.100

このPCのIPアドレス [10.11.32.100]

リモートモニターのユーザー設定ラベル 1	A0G6001901007
リモートモニターのユーザー設定ラベル 2	10.11.32.70
リモートモニターの更新間隔	5秒

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 1	10.11.32.70	e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 2		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 3		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 4		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 5		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 6		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 7		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 8		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 9		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 10		e.g. 192.168.0.100
マルチモニターの表示形式	上部に子画面表示	

ジョブ履歴 HDD最大保存件数(再起動)	0
----------------------	---

登録 リセット

管理者設定メニュー

メインページ

6 変更した設定を有効にします。

[登録] をクリックして、主電源スイッチを OFF/ON します。

重要

主電源スイッチを OFF/ON する場合は、主電源スイッチを OFF にして、必ず 10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔を空けないと、正常に機能しないことがあります。

重要

副電源スイッチを OFF にする前に、主電源スイッチを OFF にしないでください。副電源スイッチを OFF にした後、下記のメッセージが表示されている間は、主電源スイッチを OFF にしないでください。

[冷却中です 冷却後に自動的に電源が切れます]

[電源 OFF 処理中です 主電源を切らないでください]

これらのメッセージが表示されているときに主電源スイッチを OFF にすると、機械の中でトナー固着などの致命的なトラブルが発生することがあります。

**参照**

電源の切り方については、コピー編の 2 章をごらんください。

8.7.2 ジョブ履歴一覧を表示する

- 1 PC に Web Utilities のメインページ画面を表示します。
- 2 [管理者設定] をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

- 3 ユーザー名に「admin」、パスワードに 8 桁の管理者パスワードを入力して、[OK] をクリックします。

管理者設定メニュー画面が表示されます。

重要

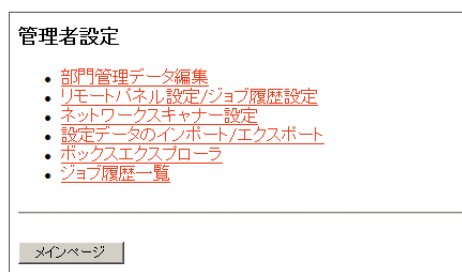
ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。

パスワードは、本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。

管理者パスワードは、8 文字の英数字を使用します。

ユーザー名とパスワードは、一度入力すると記憶されるので、2 度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザーを再起動すると、再び入力する必要があります。

- 4 [ジョブ履歴一覧] をクリックします。



ジョブ履歴一覧画面が表示されます。

- 5 ジョブ履歴一覧でジョブ履歴を確認します。
→ 履歴番号 (No.)、ジョブ番号 (JobId)、モード、ジョブ生成日時 (Date) が表示されます。

重要

ジョブ履歴一覧の表示項目を変更できます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

[Job History List](#)

307 - 406 (Total 406) / [Previous](#)

No.	JobId	Mode	Date
406	31	Print	09/05/12 (12:19:20)
405	32	Print	09/05/12 (12:19:20)
404	33	Print	09/05/12 (12:19:20)
403	38	Print	09/05/12 (12:19:20)
402	39	HDD load	09/05/12 (12:19:20)
401	40	HDD load	09/05/12 (12:19:20)
400	41	HDD load	09/05/12 (12:19:20)
399	43	HDD load	09/05/12 (12:19:20)
398	43	HDD save	00/00/00 (00:00:00)
397	40	HDD save	09/05/12 (09:28:41)
396	38	HDD save	00/00/00 (00:00:00)
395	38	HDD save	00/00/00 (00:00:00)
394	37	HDD load	09/05/12 (09:24:42)
393	36	HDD load	09/05/12 (09:23:30)
392	35	HDD load	09/05/12 (09:22:33)
391	34	HDD load	09/05/12 (09:21:59)
390	31	HDD load	00/00/00 (00:00:00)
389	31	HDD load	00/00/00 (00:00:00)
388	30	Print	09/05/12 (09:16:06)
387	27	Print	09/05/12 (09:11:33)
386	24	Print	09/05/12 (09:09:35)
385	23	HDD save	09/05/12 (09:08:54)
384	22	HDD save	09/05/12 (09:08:38)
383	21	HDD save	09/05/12 (09:08:20)
382	20	HDD save	09/05/12 (09:07:53)
381	19	HDD save	09/05/12 (09:07:34)
380	18	HDD save	09/05/12 (09:07:21)
379	17	HDD save	09/05/12 (09:07:09)
378	16	HDD save	09/05/12 (09:06:55)
377	15	HDD save	00/05/12 (00:06:38)

→ 下記表示をクリックすると、表示が切替わります。

項目	説明
[Job History List]	直近の 100 件のジョブ履歴を表示します。
[Previous]	前の 100 件のジョブ履歴を表示します。
[Next]	次の 100 件のジョブ履歴を表示します。



PageScope Web Connection 設定

9 PageScope Web Connection 設定

9.1 PageScope Web Connection の概要

PageScope Web Connection は、本機に内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用のユーティリティプログラムです。このユーティリティは、Web ブラウザーを通して、機械のメンテナンス、セキュリティ、プリンター、スキャナー、ネットワーク関連の設定ができます。

- セキュリティ強化モードが設定されている場合、この機能は使用できません。
- 本体の PSWC 設定が「有効」になっていないと、この機能は使用できません。詳しくは、06 管理者設定 > 04 ネットワーク設定 > 02 コントローラー NIC 設定 > 03 HTTP サーバー設定をごらんください。

9.1.1 システム環境

PageScope Web Connection の機能を十分に発揮するため、操作するコンピュータは以下の要件を満たす必要があります。

OS	Web ブラウザー
Windows XP、Server 2003、Vista、Server 2008、Windows 7	Microsoft Internet Explorer 8 以降（推奨）（JavaScript 有効、Cookie 有効） Mozilla Firefox 3.6 以降（推奨）（JavaScript 有効、Cookie 有効）
Macintosh OS X	Mozilla Firefox 3.6 以降（推奨）（JavaScript 有効、Cookie 有効）
Linux	Mozilla Firefox 3.6 以降（推奨）（JavaScript 有効、Cookie 有効）
OS	スクリーンリーダー
Windows XP、Server 2003、Vista、Server 2008、Windows 7	JAWS for Windows Version 4.5 以降

PageScope Web Connection の表示方法は、Flash 形式 /HTML 形式から選択できます。Flash 形式でご覧いただくには、Adobe Flash Player Ver. 7.0 以降をインストールする必要があります。

9.1.2 Web ブラウザーの設定

1. JavaScript

JavaScript は有効にしてください。設定は以下の方法で確認できます。

- Internet Explorer：インターネットオプションの「セキュリティ」タブの「レベルのカスタマイズ」で「スクリプト」の「アクティブスクリプト」を有効に設定してください。
- Firefox：ツールメニューから「オプション」－「コンテンツ」で「JavaScript を有効にする」にチェックしてください。

2. Cookie

Cookie は有効にしてください。設定は以下の方法で確認できます。

- Internet Explorer：インターネットオプションの「プライバシー」タブの「設定」で、プライバシー設定を「高」以下にしてください。
- Firefox：ツールメニューから「オプション」－「プライバシー」で、「Firefox に」のプルダウンリストから「記憶させる履歴を詳細設定する」を選択します。次に表示された画面で、「サイトから送られてきた Cookie を保存する」にチェックしてください。

3. キャッシュ

キャッシュについて、ブラウザで以下の設定を確認してください。

- Internet Explorer : ツールメニューから [インターネットオプション] - [全般] タブ - [閲覧の履歴] - [設定] で、[保存しているページの新しいバージョンの確認] を [Web サイトを表示するたびに確認する] に設定してください。(IE 8 の場合)
- Firefox : ツールメニューから [オプション] - [詳細] - [ネットワーク] タブで、[オフラインデータ] の [キャッシュサイズを制限する] を選択して、キャッシュ容量を 0 MB に設定してください。(Firefox 8 の場合)

9.2 アクセスのしかた

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザーで直接アクセスできます。

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 URL フィールドに、以下のようにイメージコントローラーの IP アドレスを入力して、[Enter] キーを押します。
http://< イメージコントローラーの IP アドレス >/
(例) イメージコントローラーの IP アドレスが 192.168.0.10 の場合 :
http://192.168.0.10/
- 3 PageScope Web Connection の画面が表示されます。
- 4 トップページ目のログイン項目の「管理者」を選択して、「ログイン」をクリックします。



- 表示言語を選択できます。言語項目のプルダウンメニューから任意の言語を選択してください。
- 表示方法を Flash 形式／HTML 形式から選択できます。ログインする前に希望する表示形式をクリックして選択してください。
- このマニュアルでは、「日本語 (Japanese)」 「Flash」 を選択した状態を記載しています。

- 5 管理者パスワードを入力します。



- 管理者モードのデータ安全性を確保するため、SSL の設定を行ってください。SSL 設定は管理者モードの「セキュリティ」タブで行います。詳しくは、9-26 ページをごらんください。
- 管理者パスワードは本機で設定済みのパスワードを入力します。

6 6つのタブをクリックして、各設定をします。



7 ログアウトする場合は、[ログアウト] をクリックします。

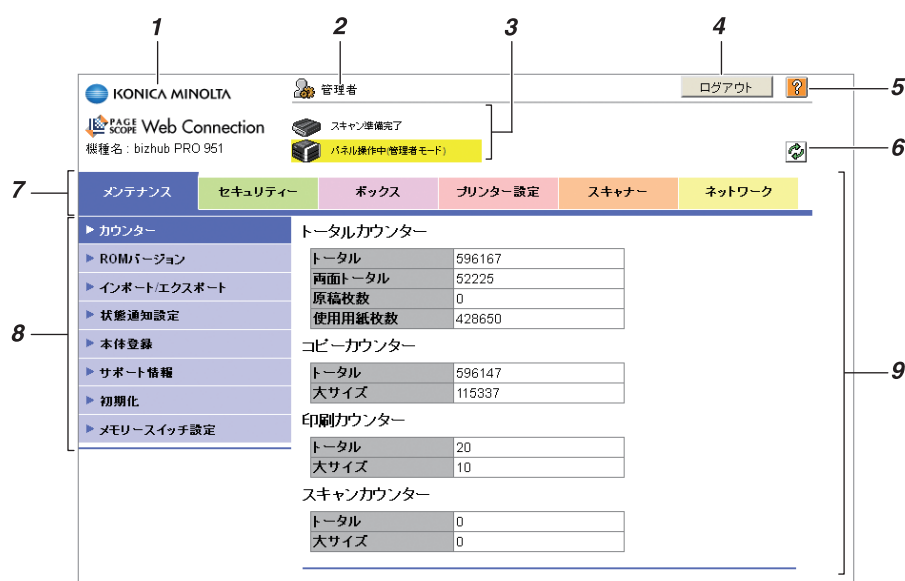
トップ画面にもどります。

- PageScope Web Connection は、インターネットの Web ページと同様に操作できます。
Web ページのリンクをクリックして、リンク先へジャンプできます。

9.3 管理者モード画面の構成

管理者モード画面は、管理者パスワードを入力することでログインできる画面です。

管理者モード画面は以下のように構成されています。



番号	名称	説明
1	KONICA MINOLTA Page Scope Web Connection ロゴマーク	KONICA MINOLTA ロゴマークをクリックすると、弊社のホームページへジャンプします。 http://www.konicaminolta.jp/ PageScope Web Connection ロゴマークをクリックすると、About 画面（バージョン情報と Copyright 表記）へジャンプします。 About 画面の PageScope Web Connection ロゴマークをクリックすると、以下の Web へジャンプします。 http://www.pagescope.com 機種名には、ご使用の機械の機種名が表示されます。
2	管理者モード	表示画面が管理者モード画面であることを表しています。
3	ステータス表示	本体のプリント部分とスキャン部分の状態をアイコンとテキストで表示しています。
4	[ログアウト]	管理者モードからログアウトするときクリックします。
5	ヘルプ	オンラインマニュアルの URL が設定されている場合、URL を表示します。詳しくは、9-11 ページをごらんください。
6	更新	画面表示を更新するときクリックします。
7	タブ	メニュー項目のカテゴリーを選択します。 ・ メンテナンス ・ セキュリティ ・ ボックス ・ プリンター設定 ・ スキャナー ・ ネットワーク 各タブの詳細については、以降のセクションをごらんください。
8	メニュー	表示される情報または設定の項目を選択します。タブの選択により、表示されるメニューは異なります。 各メニューの詳細については、以降のセクションをごらんください。
9	情報および設定の表示	タブ、メニューで選択された項目の内容が表示されます。

9.4 [メンテナンス] タブ

[メンテナンス] タブでは、本体のメンテナンスに関する情報の表示や設定を行います。

9.4.1 カウンター

この画面は [メンテナンス] タブのメニュー [カウンター] をクリックすると表示されます。

項目	説明
トータルカウンター	全カウント、両面全カウント、原稿枚数、使用用紙枚数が表示されます。
コピーカウンター	コピー全カウント、大サイズのコピーカウントが表示されます。
印刷カウンター	プリント全カウント、大サイズのプリントカウントが表示されます。
スキャンカウンター	スキャン読取り全カウント、大サイズのスキャン読取りカウントが表示されます。

項目	説明
トータルカウンター	全カウント、両面全カウント、原稿枚数、使用用紙枚数が表示されます。
コピーカウンター	コピー全カウント、大サイズのコピーカウントが表示されます。
印刷カウンター	プリント全カウント、大サイズのプリントカウントが表示されます。
スキャンカウンター	スキャン読取り全カウント、大サイズのスキャン読取りカウントが表示されます。

9.4.2 ROM バージョン

この画面は [メンテナンス] タブのメニュー [ROM バージョン] をクリックすると表示されます。

項目	説明
トータルカウンター	全カウント、両面全カウント、原稿枚数、使用用紙枚数が表示されます。
コピーカウンター	コピー全カウント、大サイズのコピーカウントが表示されます。
印刷カウンター	プリント全カウント、大サイズのプリントカウントが表示されます。
スキャンカウンター	スキャン読取り全カウント、大サイズのスキャン読取りカウントが表示されます。

本機の ROM バージョンが表示されます。

9.4.3 インポート／エクスポート

この画面は [メンテナンス] タブのメニュー [インポート／エクスポート] をクリックすると表示されます。



ここでは、PC にある設定ファイルを本体に転送（インポート）したり、本体に設定されている設定ファイルを PC に転送（エクスポート）したりします。

重要

【ユーザー登録情報】は、ユーザー／部門登録情報、および認証設定情報をインポートまたはエクスポートできます。

ただし、以下のいずれかの設定となっている場合には表示されません。

- ユーザー認証を [認証しない] に設定し、部門管理を [管理しない] に設定している場合
- ユーザー認証を [中間サーバー認証] に設定している場合

ユーザー認証を [外部サーバー認証] に設定している場合、ユーザー登録情報はインポート／エクスポートを行いません。

個人フォルダーが登録されている場合はインポートできません。

個人フォルダーについては、[ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編] をごらんください。

ユーザー認証および部門管理の選択については、9-14 ページをごらんください。ユーザー認証および部門管理の選択は、設定メニュー画面でもできます。詳しくは、7-69 ページをごらんください。

インポート

- 1 PC から本体に転送するファイルとして、[デバイス設定]、[ユーザー／部門登録情報]、または [禁止コードリスト] を選択してから、[OK] をクリックします。
- 2 それぞれの設定画面で、[インポート] を選択します。
- 3 [参照] をクリックして、PC 内のファイルを選択します。
- 4 [OK] をクリックします。PC から設定ファイルが本体に転送されます。

エクスポート

- 1 本体から PC に転送するファイルとして、[デバイス設定]、[カウンター]、または [ユーザー／部門登録情報] を選択してから、[OK] をクリックします。
- 2 それぞれの設定画面で、[エクスポート] を選択します。
- 3 [OK] をクリックします。ファイルのダウンロード画面が表示されます。
- 4 [ダウンロード] をクリックします。
- 5 [保存] をクリックし、保存場所を指定します。ダウンロード完了の画面が表示されます。
- 6 [閉じる] をクリックします。
- 7 [戻る] を押します。インポート／エクスポート画面にもどります。

9.4.4 状態通知設定

この画面は [メンテナンス] タブのメニュー [状態通知設定] をクリックすると表示されます。

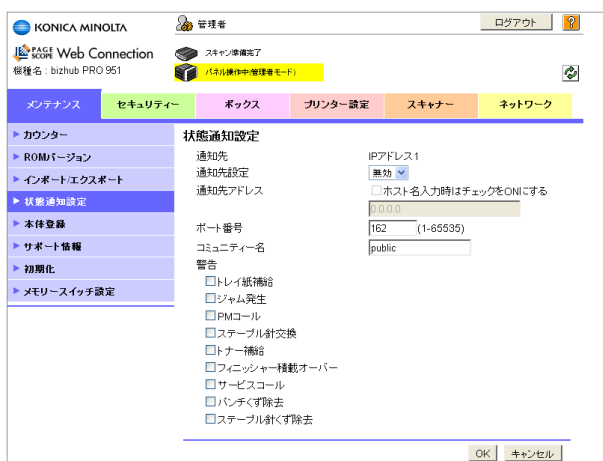


本体およびオプションに警告が発生したときに、指定した通知先に通知するための設定を行います。

編集

通知先を設定して、通知内容を選択します。

- 1 任意の通知先項目の [編集] をクリックします。
- 2 通知先および通知内容を設定します。
チェックボックスにチェックを入れた警告が、設定した通知先に通知されます。



- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。

削除

設定した通知先およびその通知内容を削除します。

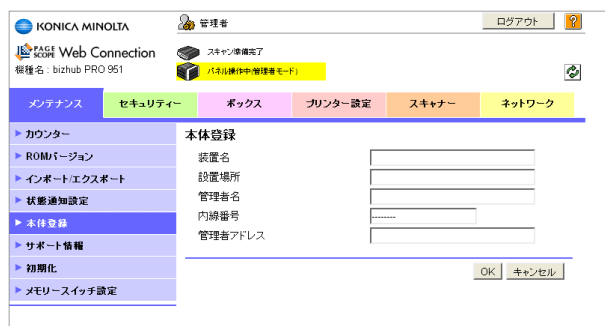
- 1 削除する通知先の「削除」をクリックします。
- 2 削除確認画面の「OK」をクリックします。削除しない場合は「キャンセル」をクリックします。



- 3 設定完了画面の「OK」をクリックします。

9.4.5 本体登録

この画面は「メンテナンス」タブのメニュー「本体登録」をクリックすると表示されます。



本体の装置名、設置場所、管理者の情報を入力します。

この情報は、パブリックユーザーに開示する「情報表示」タブのメニュー「装置情報」>「構成要素」に表示されます。

項目	説明
装置名	本体の名称を入力します。半角英数字記号で 255 字まで入力できます。
設置場所	本体の設置場所を入力します。半角英数字記号で 255 字まで入力できます。
管理者名	本体の管理者名を入力します。半角英数字記号で 20 字まで入力できます。
内線番号	本体管理者の内線番号を入力します。半角数字記号で 8 字まで入力できます。
管理者アドレス	本体管理者のメールアドレスを入力します。半角英数字記号で 250 字まで入力できます。

すべての入力が終わったら、「OK」をクリックします。「キャンセル」をクリックすると、入力前の設定状態にもどります。

設定完了画面の「OK」をクリックして、設定を完了します。

9.4.6 サポート情報

この画面は [メンテナンス] タブのメニュー [サポート情報] をクリックすると表示されます。

本体のサポート情報を入力します。

この情報は、ユーザーモード画面の [情報表示] タブのメニュー [サポート情報] に表示されます。

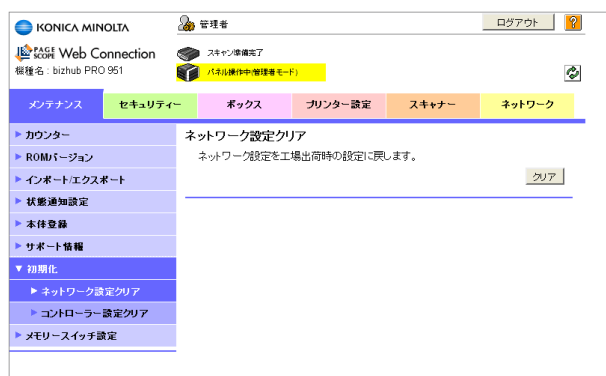
項目	説明
問い合わせ先	本体に関する問い合わせ先を入力します。半角英数字記号で 63 字まで入力できます。
問い合わせ情報	サポート先の URL、電話番号などを入力します。半角英数字記号で 127 字まで入力できます。
製品情報ホームページ	製品情報の Web サイトの URL を入力します。半角英数字記号で 127 字まで入力できます。
製品元ホームページ	製品元（会社）のホームページの URL が表示されます（変更可能）。半角英数字記号で 127 字まで入力できます。
消耗品連絡先	消耗品の発注先を入力します。半角英数字記号で 127 字まで入力できます。
オンラインマニュアル URL	オンラインマニュアルの URL を入力します。半角英数字記号で、最大 127 文字まで入力できます。 以下の 2 つの方法があります。 1. インターネットを使って弊社ホームページのマニュアルを参照する場合 http://www.pagescope.com/download/webconnection/onlinehelp/pro951/help.html を入力して設定してください。 2. LAN を使ってマニュアルを参照する場合 http://(PCのIPアドレス)/wc_help/wc_help.html を入力して設定してください。管理者は、あらかじめ、Web サーバー上で、オンラインマニュアルを公開できるように設定しておく必要があります。 オンラインマニュアルの設定手順 ・ PageScope Utilities CD に収録されているマニュアルを、[wc_help] フォルダーごと Web サーバー上にコピーします。 ・ [wc_help] フォルダーを公開するように、Web サーバーの設定を行います。

すべての入力が終わったら、[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、入力前の設定状態にもどります。

設定完了画面の [OK] をクリックして、設定を完了します。

9.4.7 初期化>ネットワーク設定クリア

この画面は [メンテナンス] タブのメニュー [初期化] > [ネットワーク設定クリア] をクリックすると表示されます。



ネットワーク設定を工場出荷時の初期値にもどします。

[クリア] をクリックして、確認画面の [OK] をクリックします。

主電源スイッチを入れなおしてください。

確認画面の [キャンセル] をクリックすると、初期値にはもどりません。

9.4.8 初期化>コントローラー設定クリア

この画面は [メンテナンス] タブのメニュー [初期化] > [コントローラー設定クリア] をクリックすると表示されます。



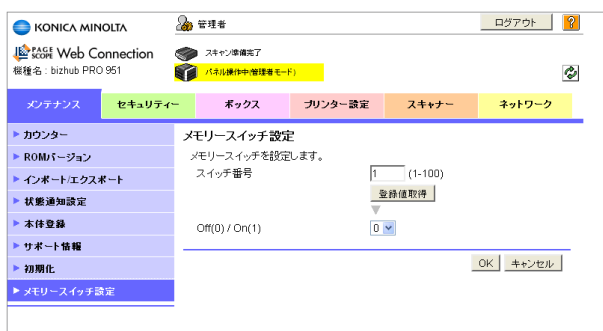
コントローラー設定を工場出荷時の初期値にもどします。

[クリア] をクリックします。

初期化が終わると、結果画面が表示されます。[OK] をクリックします。

9.4.9 メモリースイッチ設定

この画面は [メンテナンス] タブのメニュー [メモリースイッチ] をクリックすると表示されます。



メモリースイッチを設定します。

メモリースイッチの一覧については、6-5 ページをごらんください。

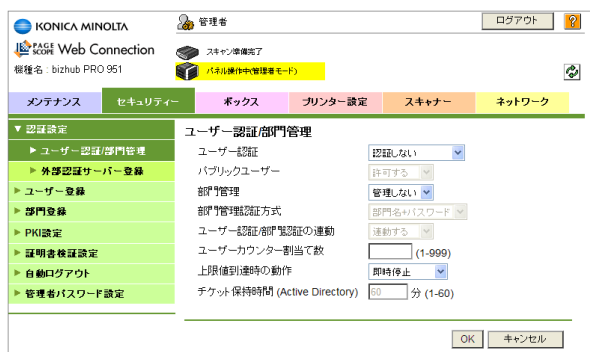
- 1 任意のスイッチ番号を入力して、[登録値取得] をクリックします。
指定したスイッチ番号の現在の登録値が、下に表示されます。
- 2 登録値を確定します。
→ プルダウンリストから 0 または 1 を任意に選択して、[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.5 [セキュリティ] タブ

[セキュリティ] タブでは、本体のセキュリティに関する情報の表示や設定を行います。

9.5.1 認証設定>ユーザー認証／部門管理

この画面は [セキュリティ] タブのメニュー [認証設定] > [ユーザー認証／部門管理] をクリックすると表示されます。



ユーザー認証／部門管理に関する設定を行います。

項目	説明
ユーザー認証	本体にユーザー認証を行うかどうかを選択します。[本体装置認証] を選択すると、ユーザーは、本体を使用するときユーザー認証が必要になります。
パブリックユーザー	ユーザーパスワード、部門名、部門パスワードなどの入力や IC カードによる認証をしなくても、機械を使用できるユーザーを許可するかどうかを選択します。
部門管理	本体に部門認証を行うかどうかを選択します。[管理する] を選択すると、ユーザーは、本体を使用するとき部門認証が必要になります。
部門管理認証方式	部門管理をする場合の認証方式として、[部門名+パスワード] または [パスワードのみ] を選択します。
ユーザー認証／部門認証の連動	ユーザー認証と部門認証とを連動させるかどうかを選択します。
ユーザーカウンター割当て数	ユーザー認証の数を設定します。1000 ある認証の数をユーザー認証と部門認証とで振分けるため、ここで設定した残りの数が部門認証の数になります。
上限値到達時の動作	各ユーザーや部門のジョブが、設定された上限値に到達した場合の動作を選択します。上限値の設定は、ユーザー登録時または部門登録時に行います。
チケット保持時間	チケットを保持する時間を設定します。1 分から 60 分まで設定できます。

すべての入力が終わったら、[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。

設定完了画面の [OK] をクリックして、設定を完了します。

重要

ユーザー認証が [中間サーバー認証] の場合は、[ユーザー認証] 以外の項目は設定できません。[ユーザー認証] に [中間サーバー認証] と表示されます。

9.5.2 認証設定＞外部認証サーバー登録

この画面は「セキュリティ」タブのメニュー「認証設定」＞「外部認証サーバー登録」をクリックすると表示されます。

No.	デフォルト	外部認証サーバー名称	外部認証サーバータイプ	編集	削除
1	<input checked="" type="radio"/>	TestServer1	Active Directory	編集	削除
2	<input type="radio"/>	TestServer2	NTLM v1	編集	削除
3	<input type="radio"/>	TestServer3	NDS over IPX	編集	削除
4	<input type="radio"/>			編集	削除
5	<input type="radio"/>			編集	削除
6	<input type="radio"/>			編集	削除
7	<input type="radio"/>			編集	削除
8	<input type="radio"/>			編集	削除
9	<input type="radio"/>			編集	削除
10	<input type="radio"/>			編集	削除
11	<input type="radio"/>			編集	削除
12	<input type="radio"/>			編集	削除
13	<input type="radio"/>			編集	削除
14	<input type="radio"/>			編集	削除
15	<input type="radio"/>			編集	削除
16	<input type="radio"/>			編集	削除
17	<input type="radio"/>			編集	削除
18	<input type="radio"/>			編集	削除
19	<input type="radio"/>			編集	削除
20	<input type="radio"/>			編集	削除

現在登録されている外部認証サーバーを、リストで確認できます。デフォルトサーバーは、[デフォルト]欄のラジオボタンが選択されています。

編集

外部認証サーバーを登録します。また、登録済みの外部認証サーバーの設定を変更します。

- 1 リストの空欄、または任意の外部認証サーバーの「編集」をクリックします。
- 2 各項目を任意に設定、または変更します。
- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。

削除

設定した通知先およびその通知内容を削除します。

- 1 削除する通知先の「削除」をクリックします。
- 2 削除確認画面の「OK」をクリックします。削除しない場合は「キャンセル」をクリックします。



- 3 設定完了画面の「OK」をクリックします。

デフォルトの設定

- 1 デフォルトで使用する外部認証サーバーを指定するときは、デフォルト欄のラジオボタンで任意のサーバーを選択します。
- 2 「OK」をクリックします。「キャンセル」をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の「OK」をクリックします。

9.5.3 認証設定＞初期機能制限設定

この画面は、「セキュリティ」タブのメニュー「認証設定」＞「初期機能制限設定」をクリックすると表示されます。ユーザー認証が「外部サーバー認証」以外に設定されていると、このメニューは表示されません。



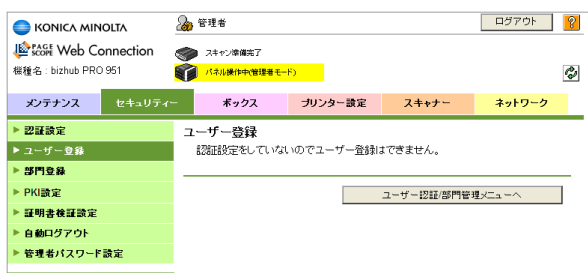
本体に未登録のユーザーが、外部認証サーバーで認証されたときにユーザー登録される際の、機能制限の初期値を設定します。

- 1 各項目を任意に設定します。
- 2 「OK」をクリックします。「キャンセル」をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の「OK」をクリックします。

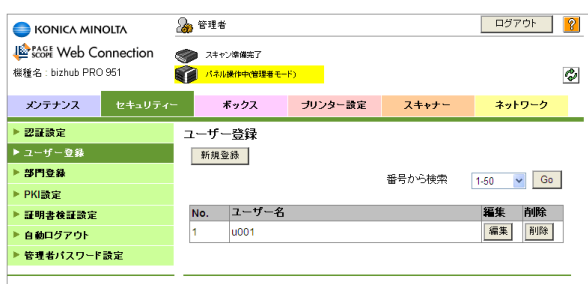
9.5.4 ユーザー登録

この画面は「セキュリティ」タブのメニュー「ユーザー登録」をクリックすると表示されます。ユーザー認証が「中間サーバー認証」の場合、このメニューは表示されません。

ユーザー認証が「認証しない」に設定されていると、以下の画面が表示されます。



「ユーザー認証／部門管理メニューへ」をクリックして、ユーザー認証／部門管理画面を表示します。ユーザー登録を行うには、「ユーザー認証」を「本体装置認証」または「外部サーバー認証」に設定します。



ユーザー認証のためのユーザー登録および削除を行います。

ユーザー登録

- 1 新規登録する場合は「新規登録」、登録済みのデータを編集する場合は、任意のユーザー名の「編集」をクリックします。
 - ユーザー認証が「外部サーバー認証」の場合、「新規登録」は表示されません。
 - 「番号から検索」のプルダウンメニューで範囲を選択して、「Go」をクリックすると、選択範囲の登録リストが表示されます。
- 2 登録 No. を入力します。
 - 1000 まで入力できます。0 を指定すると、空いている番号に自動的に登録します。
 - 編集の場合は、選択したユーザー名の登録番号が表示されます。

- 3 ユーザー名を入力します。
 - 全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 32 文字、半角の英数字、記号で 64 文字まで入力できます。
 - ユーザー認証が「外部サーバー認証」の場合、この項目はグレーアウトして表示されます。また、外部認証サーバーの名称が下に表示されます。
- 4 E-mail 宛先を入力します。
 - 半角の英数字、記号で 320 文字まで入力できます。
 - ユーザー認証が「外部サーバー認証」の場合、この項目はグレーアウトして表示されます。
- 5 ユーザーパスワードを入力します。
 - 半角の英数字で 64 文字まで入力できます。再入力の欄にも、同じパスワードを入力します。
 - 編集の場合は、「ユーザーパスワードを変更する」のチェックボックスをクリックしてから入力します。
 - ユーザー認証が「外部サーバー認証」の場合、ユーザーパスワードに関する項目は表示されません。
- 6 ユーザーに所属部門を設定します。
 - 「部門一覧より選択」をクリックします。任意の部門名のラジオボタンをクリックして、「OK」をクリックします。
 - 「ユーザー認証／部門認証の連動」が「連動しない」に設定されていると、表示されません。

選択	No.	部門名
<input type="radio"/>	1	t001
<input type="radio"/>	2	t002
<input type="radio"/>	3	t003

- 7 登録ユーザーが使用できる機能、およびプリントできる上限値を設定します。
 - 上限値は、「上限設定」のプルダウンメニューで「有効」を選択してから入力します。
- 8 「OK」をクリックします。「キャンセル」をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 9 設定完了画面の「OK」をクリックします。

ユーザー削除

- 1 削除するユーザー名の「削除」をクリックします。
- 2 削除確認画面の「OK」をクリックします。削除しない場合は「キャンセル」をクリックします。

- 3 設定完了画面の「OK」をクリックします。

9.5.5 部門登録

この画面は「セキュリティ」タブのメニュー「部門登録」をクリックすると表示されます。ユーザー認証が「中間サーバー認証」の場合、このメニューは表示されません。

部門管理が「管理しない」に設定されていると、以下の画面が表示されます。

「ユーザー認証／部門管理メニューへ」をクリックして、ユーザー認証／部門管理画面を表示します。部門登録を行うには、「部門管理」を「管理する」に設定します。

部門管理のための部門登録および削除を行います。

部門登録

- 1 新規登録する場合は「新規登録」、登録済みのデータを編集する場合は、任意の部門名の「編集」をクリックします。
 - 「番号から検索」のプルダウンメニューで範囲を選択して、「Go」をクリックすると、選択範囲の登録リストが表示されます。
- 2 登録 No. を入力します。
 - 1000 まで入力できます。0 を指定すると、空いている番号に自動的に登録します。
 - 編集の場合は、選択した部門名の登録番号が表示されます。

- 3 部門名を入力します。
 - 半角の英数字で 8 文字まで入力できます。
 - 部門管理認証方式が「パスワードのみ」の場合、この項目はグレイアウトして表示されます。
- 4 パスワードを入力します。
 - 半角の英数字で 8 文字まで入力できます。再入力の欄にも、同じパスワードを入力します。
 - 編集の場合は、「パスワードを変更する」のチェックボックスをクリックしてから入力します。
- 5 登録部門が使用できる機能、およびプリントできる上限値を設定します。
 - 上限値は、「上限設定」のプルダウンメニューで「有効」を選択してから入力します。
- 6 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 7 設定完了画面の [OK] をクリックします。

部門削除

- 1 削除する部門名の「削除」をクリックします。
- 2 削除確認画面の [OK] をクリックします。削除しない場合は [キャンセル] をクリックします。

- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.5.6 PKI 設定>デバイス証明書設定

この画面は「セキュリティ」タブのメニュー「PKI 設定」>「デバイス証明書設定」をクリックすると表示されます。



登録されているデバイス証明書がリスト表示されています。

「詳細」をクリックすると、その証明書の詳細情報を確認できます。



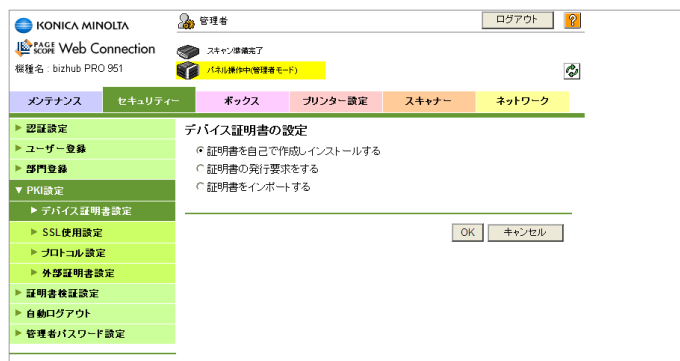
デフォルトの証明書を選択するときは、任意の証明書のデフォルト欄にあるラジオボタンをクリックして、[OK] をクリックします。ただし、発行者が「証明書要求中」の場合は、デフォルトとして選択できません。



新しく証明書を登録するときは、[新規登録] をクリックして、任意の登録方法を選択します。
それぞれの登録方法については、以下をごらんください。

証明書を自己で作成してインストールする

- 1 「証明書を自己で作成しインストールする」のラジオボタンをクリックして、[OK] をクリックします。



- 2 各項目を任意に入力、または選択します。

- 組織名および部門名は半角の英数字、記号で 63 文字まで、市区町村名および都道府県名は 127 文字まで入力できます。国別記号は、ISO3166 で規定されている国コードを、半角の英字 2 文字で設定します。
- [管理者アドレス] には、管理者のメールアドレスを入力します。初期値として、[本体登録] で設定したアドレスが表示されます。
- 有効開始日は入力できません。有効期間は、1 - 3650 の範囲で入力できます。
- 暗号鍵の種類を、プルダウンメニューから選択します。

- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。

証明書の発行を要求する

認証局に対して証明書の発行を要求するデータを作成します。

- 1 「証明書の発行要求をする」のラジオボタンをクリックして、[OK] をクリックします。
- 2 各項目を任意に入力、または選択します。

- 組織名および部門名は半角の英数字、記号で 63 文字まで、市区町村名および都道府県名は 127 文字まで入力できます。国別記号は、ISO3166 で規定されている国コードを、半角の英字 2 文字で設定します。
- [管理者アドレス] には、管理者のメールアドレスを入力します。初期値として、[本体登録] で設定したアドレスが表示されます。
- 暗号鍵の種類を、プルダウンメニューから選択します。

- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。
証明書要求データ画面が表示されます。
- 5 表示されたデータを確認して、[保存] をクリックします。

データを PC に保存します。

- 6 [OK] をクリックして、デバイス証明書一覧画面にもどります。

証明書をインポートする

- 1 「証明書をインポートする」のラジオボタンをクリックして、[OK] をクリックします。
- 2 [参照 ...] をクリックして、デバイスへ転送するファイルを指定します。
→ ファイル参照ダイアログで、証明書のデータファイルを指定します。

- 3 暗号化パスワードを入力します。
→ 半角の英数字、記号で 32 文字まで入力できます。
- 4 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は実行されません。
- 5 設定完了画面の [OK] をクリックします。

証明書を破棄する

インストールされている証明書を破棄します。

- 1 デバイス証明書一覧画面で、破棄する証明書欄の [設定] をクリックします。
- 2 [証明書を破棄する] のラジオボタンをクリックして、[OK] をクリックします。

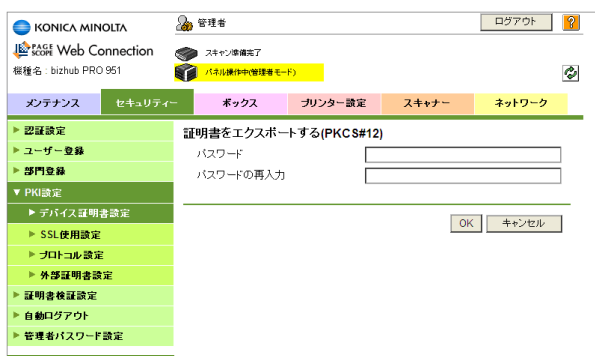
- 3 破棄する証明書の発行者、発行先、有効期限を確認して、[OK] をクリックします。
→ [キャンセル] をクリックすると、選択した証明書は破棄されません。

- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。
→ デフォルトとして登録した証明書を破棄した場合は、デバイス証明書一覧画面が表示されます。他の証明書をデフォルトに設定します。

- 5 本体の主電源を入れなおします。

証明書をエクスポートする

- 1 デバイス証明書一覧画面で、エクスポートする証明書欄の〔設定〕をクリックします。
- 2 〔証明書をエクスポートする〕のラジオボタンをクリックして、〔OK〕をクリックします。
- 3 暗号化パスワードを入力します。
→ 半角の英数字、記号で 32 文字まで入力できます。再入力の欄にも、同じパスワードを入力します。

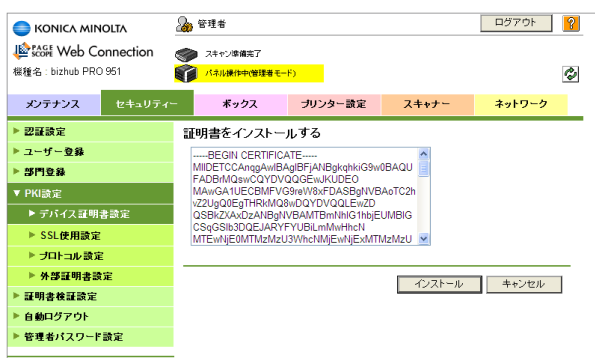


- 4 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、この操作の内容は実行されません。エクスポートの準備が完了すると、準備完了画面が表示されます。
- 5 〔ダウンロード〕をクリックして、保存を開始します。
- 6 保存が終了したら、〔戻る〕をクリックします。

証明書をインストールする

外部の認証局で発行された証明書をインストールします。

- 1 デバイス証明書一覧画面で、インストールする証明書欄の〔設定〕をクリックします。
→ この操作は、発行者が〔証明書要求中〕の証明書に対して行います。そのほかの証明書に対しては、操作できません。
- 2 〔証明書をインストールする〕のラジオボタンをクリックして、〔OK〕をクリックします。
- 3 外部の認証局から送付されてきた PEM テキスト形式の CSR (Certificate Signing Request) を、画面のテキストボックスに貼付けます。



- 4 〔インストール〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、この操作の内容は実行されません。
- 5 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

9.5.7 PKI 設定＞SSL 使用設定

この画面は「セキュリティ」タブのメニュー「PKI 設定」＞「SSL 使用設定」をクリックすると表示されます。



インストール済みの証明書の使用モード、および暗号の強度を設定します。

- 1 「SSL/TLS 使用モード」のプルダウンメニューから、任意の使用モードを選択します。
→ 証明書がひとつもインストールされていない場合（発行要求中のものを除く）、このメニューは表示されません。
- 2 「暗号強度」のプルダウンメニューから、任意の暗号強度を選択します。
- 3 「OK」をクリックします。「キャンセル」をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の「OK」をクリックします。

9.5.8 PKI 設定＞プロトコル設定

この画面は「セキュリティ」タブのメニュー「PKI 設定」＞「プロトコル設定」をクリックすると表示されます。証明書がひとつもインストールされていない場合、この画面は表示されません。



インストール済みの証明書をプロトコルに割当てたり、割当てを変更、解除したりします。割当てを解除した場合は、デフォルトの証明書がそのプロトコルに割当てられます。

証明書の割当てを登録または変更する

- 1 証明書を割当てるプロトコルの「登録」をクリックします。割当てを変更する場合は、「編集」をクリックします。
プロトコル設定画面が表示されます。インストール済みの証明書がリスト表示されています。
→ 発行要求中の証明書は表示されません。

- 2 割当て証明書欄のラジオボタンをクリックします。
 - 証明書の詳細を確認するときは、[詳細] をクリックします。デバイス証明書詳細画面が表示されます。[戻る] をクリックして、プロトコル設定画面にもどります。

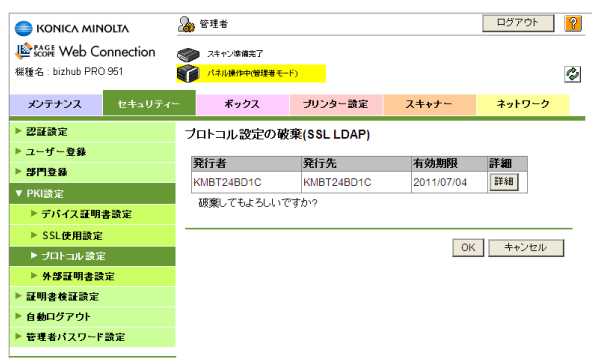


- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。

証明書の割当てを解除する

プロトコルに割当てた証明書を解除します。

- 1 証明書の割当てを解除するプロトコルの [削除] をクリックします。
- 2 確認画面に表示されている証明書を確認します。
 - 証明書の詳細を確認するときは、[詳細] をクリックします。



- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.5.9 PKI 設定＞外部証明書設定

この画面は「セキュリティ」タブのメニュー「PKI 設定」＞「外部証明書設定」をクリックすると表示されます。



インストール済みの外部証明書がリスト表示されています。「詳細」をクリックすると、その外部証明書の詳細を確認できます。

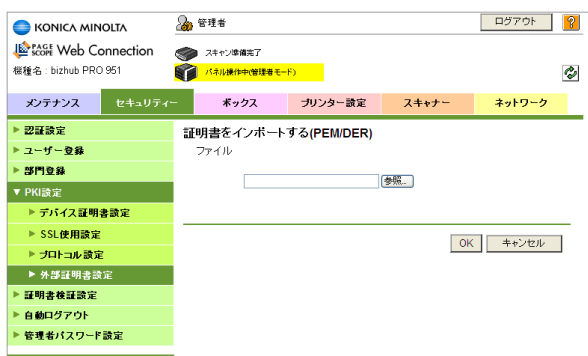


また、プルダウンメニューから任意の外部証明書のタイプを選択して、「表示切替」をクリックすると、選択したタイプの外部証明書だけがリスト表示されます。

ここでは、新しい外部証明書をインポートしたり、インストール済みの外部証明書を破棄したりします。

外部証明書をインポートする

- 1 「新規登録」をクリックします。
- 2 「参照 ...」をクリックして、デバイスへ転送するファイルを指定します。
→ ファイル参照ダイアログで、外部証明書のデータファイルを指定します。

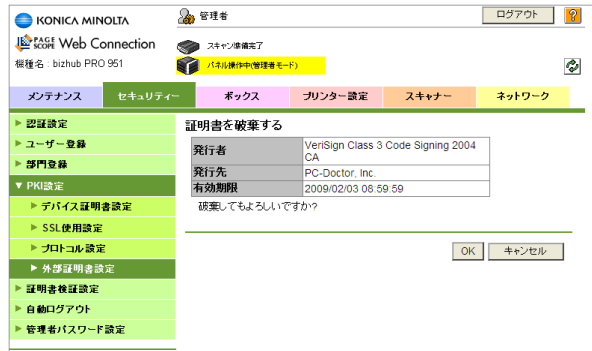


- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は実行されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。

証明書を破棄する

インストールされている外部証明書を破棄します。

- 1 破棄する外部証明書欄の [削除] をクリックします。
- 2 破棄する外部証明書の発行者、発行先、有効期限を確認して、[OK] をクリックします。
→ [キャンセル] をクリックすると、選択した証明書は破棄されません。



- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.5.10 証明書検証設定

この画面は「セキュリティ」タブのメニュー「証明書検証設定」をクリックすると表示されます。

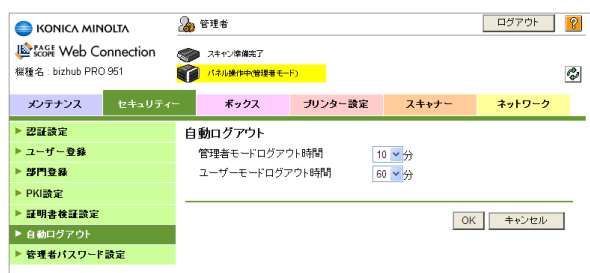


証明書の検証設定を行います。

- 1 [証明書検証設定] のプルダウンメニューから、[使用する] または [使用しない] を選択します。
→ 証明書の検証を行う場合は、[使用する] を選択します。
- 2 各項目を任意に設定します。
- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.5.11 自動ログアウト

この画面は「セキュリティ」タブのメニュー「自動ログアウト」をクリックすると表示されます。

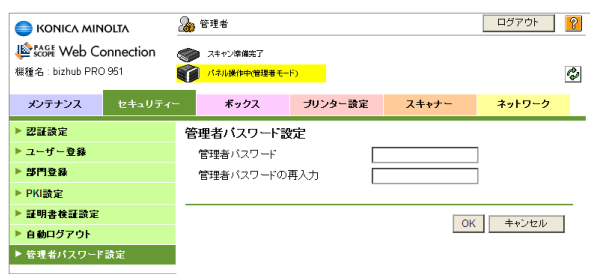


管理者モード、ユーザー（パブリック）モード、それぞれのログアウト時間を設定します。

- 1 それぞれのモードのプルダウンメニューから、任意のログアウト時間を選択します。（1 分／ 2 分／ 3 分／ 4 分／ 5 分／ 6 分／ 7 分／ 8 分／ 9 分／ 10 分／ 20 分／ 30 分／ 40 分／ 50 分／ 60 分）
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.5.12 管理者パスワード設定

この画面は「セキュリティ」タブのメニュー「管理者パスワード設定」をクリックすると表示されます。



管理者パスワードを設定します。

- 1 「管理者パスワード」に新しいパスワードを入力します。
→ 半角の英数字、記号で 8 文字のパスワードを入力します。再入力の欄にも、同じパスワードを入力します。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.6 [ボックス] タブ

[ボックス] タブでは、HDD のボックス保存に関する設定を行います。管理者モード画面の [ボックス] タブの設定内容は、パブリックユーザーモード画面の [ボックス] タブをクリックして行う設定と同じです。

ユーザズガイド ネットワークスキャナー編をごらんください。

パブリックユーザーモード画面

Public User Mode Interface - [Box] Tab

Folder Login

Folder Name:

Folder Password:

OK

Folder List

Folder Name	Folder Type
Public	共有
box01	個人
box02	個人
box03	個人

管理者モード画面

Administrator Mode Interface - [Box] Tab

Folder Login

Folder Name:

OK

Folder List

Folder Name	Folder Type
Public	共有
box01	個人
box02	個人
box03	個人

9.7 「プリンター設定」タブ

「プリンター設定」タブでは、本機イメージコントローラーのプリンターに関する設定を行います。ここでの設定は、機械状態画面の「コントローラー設定」からも設定できます。設定内容の詳細については、ユーザーズガイド プリンター編をごらんください。

9.7.1 デフォルト設定

この画面は「プリンター設定」タブのメニュー「デフォルト設定」をクリックすると表示されます。



下記の設定をセットにして、6 セットまで設定できます。[ポート別出力設定] で、各 RAW ポートに対して、6 セットの中から 1 つを選択します。なお、プリント時にドライバーからの指示もなく、[ポート別出力設定] で設定したポート以外のポートを使用する場合、[デフォルト設定] ラジオボタンで選択した設定内容がプリントに反映されます。

項目	説明
基本設定	プリント出力の基本的な設定を行います。
PCL 設定	PCL プリントに関する設定を行います。
PS 設定	PostScript プリントに関する設定を行います。
TIFF 設定	TIFF プリントに関する設定を行います。

基本設定

- 1 基本設定の「編集」をクリックします。
- 2 それぞれの項目に対して、プルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力が必要な欄は、カーソルをおいて入力します。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト

Web Connection
機種名: bizhub PRO 951

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

デフォルト設定 ジョブスプール設定 インターフェース設定 ポート割出力設定

基本設定

設定番号 1

PDL設定 自動

経紙レイ 自動

排紙レイ 自動

両面印刷 する

とじ方向 左開き

ステープル しない

パンチ しない

紙折り断裁 しない

仕掛け しない

出力設定 フェイスダウン

排紙順 正順

印刷部数 1 (1-9999)

ソート する

用紙サイズ 8 1/2x11

画像の向き ポートレート

解像度 1200x1200dpi

パナーオプション しない

パナーページレイ 自動

用紙サイズ変換 しない

集約/ビート しない

小冊子 しない

黒線とじ しない

印字位置 先幅合わせ

ふちなし印刷 OFF

リングバインド モード オフ

OK キャンセル

- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。

PCL 設定

- 1 PCL 設定の「編集」をクリックします。
- 2 「シンボルセット」のプルダウンメニューから、フォントシンボルセットを設定します。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト

Web Connection
機種名: bizhub PRO 951

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

デフォルト設定 ジョブスプール設定 インターフェース設定 ポート割出力設定

PCL設定

設定番号 1

シンボルセット Roman-9

タイプフェイス Counter

レジデントフォント 100 (90-999)

ダウンロードフォント

フォントサイズ 12.00 ポイント (4.00-999.75)

プロポーショナルフォント 10.00 ピッチ (0.44-99.99)

固定幅フォント 60 (5-128)

ラインページ しない

CRLFマッピング しない

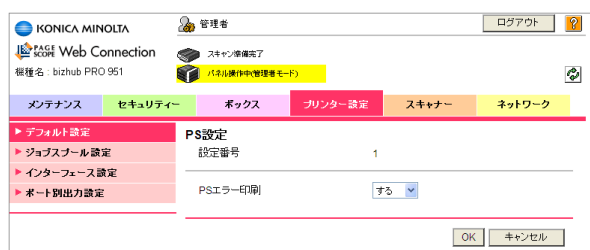
OK キャンセル

- 3 [タイプフェイス] で、内蔵されているフォント（レジデントフォント）か、ダウンロードされたフォント（ダウンロードフォント）かを選択します。[レジデントフォント] を選択した場合は、プルダウンメニューからフォントを選択します。[ダウンロードフォント] を選択した場合は、ダウンロードフォントの番号を指定します。

- 4 【プロポーショナルフォント】で、プロポーショナルフォントのサイズ（4.00 ～ 999.75 ポイント）を設定します。
- 5 【固定幅フォント】で、固定幅フォントのサイズ（0.44 ～ 99.99 ピッチ）を設定します。
- 6 【ライン／ページ】で、1 ページあたりの行数（5 ～ 128）を設定します。
- 7 【CR/LF マッピング】で、テキストデータの CR（Carriage Return：行頭復帰）、LF（Line Feed：改行）の置換えをどのようにするかを設定します。
- 8 【OK】をクリックします。【キャンセル】をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 9 設定完了画面の【OK】をクリックします。

PS 設定

- 1 PS 設定の【編集】をクリックします。
- 2 【PS エラー印刷】のプルダウンメニューから【する】、【しない】を選択します。



- 3 【OK】をクリックします。【キャンセル】をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の【OK】をクリックします。

TIFF 設定

- 1 TIFF 設定の【編集】をクリックします。
- 2 【自動用紙選択】のプルダウンメニューから【する】、【しない】を、【画像位置】プルダウンメニューから【左】、【中央】をそれぞれ選択します。



- 3 【OK】をクリックします。【キャンセル】をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の【OK】をクリックします。

9.7.2 ジョブスプール設定

この画面は【プリンター設定】タブのメニュー【ジョブスプール設定】をクリックすると表示されます。

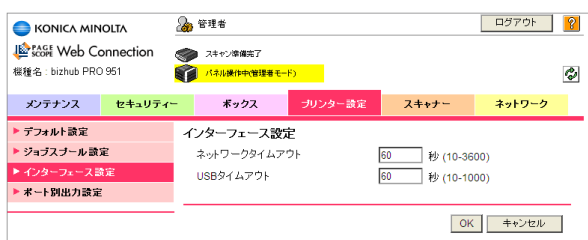


プリントジョブのスプール機能を設定します。

- 1 【ジョブスプール設定】のプルダウンメニューから【自動】、【する】、【しない】のいずれか1つを選択します。
- 2 【OK】をクリックします。【キャンセル】をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の【OK】をクリックします。

9.7.3 インターフェース設定

この画面は【プリンター設定】タブのメニュー【インターフェース設定】をクリックすると表示されます。



ネットワークタイムアウト、およびUSB タイムアウトの時間を設定します。

- 1 【ネットワークタイムアウト】の入力欄にタイムアウト時間を入力します。設定範囲は10 - 3600（秒）です。
- 2 【USB タイムアウト】の入力欄にタイムアウト時間を入力します。設定範囲は10 - 1000（秒）です。
- 3 【OK】をクリックします。【キャンセル】をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の【OK】をクリックします。

9.7.4 ポート別出力設定

この画面は「プリンター設定」タブのメニュー「ポート別出力設定」をクリックすると表示されます。



6つのRAWポート番号に、「デフォルト設定」で設定したプリンター設定を割当てます。

- 1 「設定番号」のプルダウンメニューから、任意のデフォルト設定番号を選択します。
- 2 「OK」をクリックします。「キャンセル」をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の「OK」をクリックします。

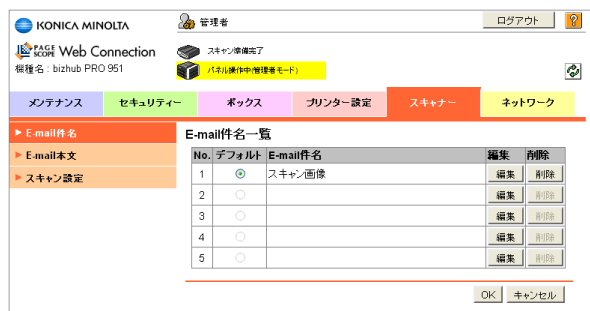
9.8 [スキャナー] タブ

[スキャナー] タブでは、本機のスキャンに関する設定を行います。

9.8.1 E-mail 件名

この画面は [スキャナー] タブのメニュー [E-mail 件名] をクリックすると表示されます。

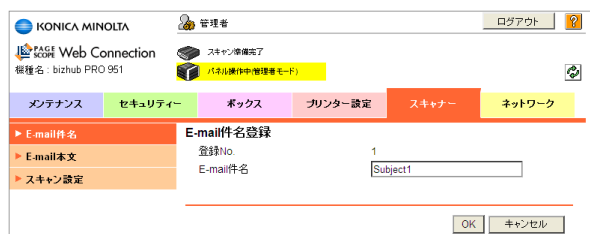
設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [09 E-mail 設定] の E-mail 件名登録と同じです。



E-mail の件名を編集または削除します。また、設定メニューの [04 スキャン設定] - [01 デフォルト宛先設定] で、[E-mail] が選択されている場合は、デフォルトの件名を指定します。

編集

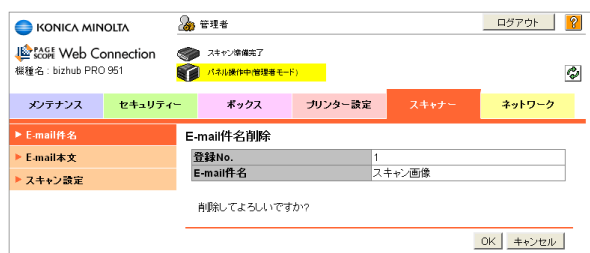
- 1 編集する E-mail 件名欄の [編集] をクリックします。
- 2 [E-mail 件名] の入力欄に新しい件名を入力します。全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 32 文字、半角の英数字、記号で 64 文字まで入力できます。



- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- 5 デフォルトの E-mail 件名を指定する場合は、デフォルト欄のラジオボタンで任意の件名を選択します。
- 6 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。

削除

- 1 削除する E-mail 件名欄の「削除」をクリックします。
- 2 「OK」をクリックします。「キャンセル」をクリックすると、この操作の内容は設定されません。



- 3 設定完了画面の「OK」をクリックします。

9.8.2 E-mail 本文

この画面は「スキャナー」タブのメニュー「E-mail 本文」をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の「04 ネットワーク設定」－「02 コントローラー NIC 設定」－「09 E-mail 設定」の E-mail 本文登録と同じです。



E-mail の件名を編集または削除します。また、設定メニューの「04 スキャン設定」－「01 デフォルト宛先設定」で、「E-mail」が選択されている場合は、デフォルトの本文を指定します。

編集

- 1 編集する E-mail 本文欄の「編集」をクリックします。
- 2 「E-mail 本文」の入力欄に新しい本文を入力します。全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 128 文字、半角の英数字、記号で 256 文字まで入力できます。

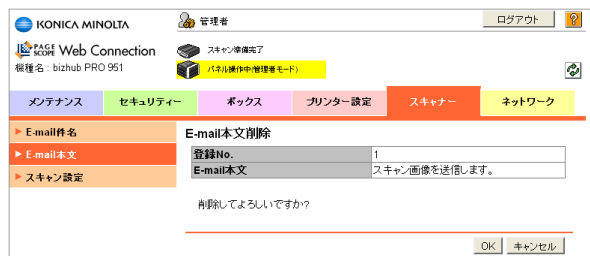


- 3 「OK」をクリックします。「キャンセル」をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の「OK」をクリックします。
- 5 デフォルトの E-mail 本文を指定する場合は、デフォルト欄のラジオボタンで任意の本文を選択します。

- 6 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。

削除

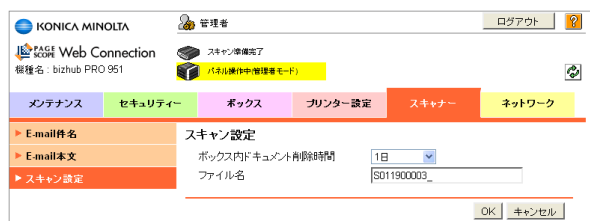
- 1 削除する E-mail 本文欄の [削除] をクリックします。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。



- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.8.3 スキャン設定

この画面は [スキャナー] タブのメニュー [スキャン設定] をクリックすると表示されます。
設定内容は、機械状態画面の [コントローラー設定] - [07 スキャン設定] と同じです。



スキャンデータが自動的に削除されるまでの時間、およびファイル名を設定します。

- 1 [ボックス内ドキュメント削除時間] のプルダウンメニューから、ボックスに保存されたデータが自動的に削除されるまでの時間を選択します。
- 2 [ファイル名] の入力欄に、ファイル名に自動的に付加する文字列を入力します。半角英数字記号で 11 字まで入力できます。(["] [¥] [/] [*] ["] [:] [<] [>] [?] [.] [,] は入力不可)
実際のファイル名は、ここで設定した文字列に日付、時刻、拡張子、分割番号を組合わせて生成されます。
- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9 [ネットワーク] タブ

[ネットワーク] タブでは、本機イメージコントローラー NIC の設定を行います。

9.9.1 TCP/IP 設定 > TCP/IP 設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [TCP/IP 設定] > [TCP/IP 設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [01 TCP/IP 設定] と同じです。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト

Web Connection
機種名: bizhub PRO 951

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

▼ TCP/IP 設定

▶ TCP/IP 設定

▶ IPフィルタリング

▶ IPsec 設定

▶ 時刻補正設定

▶ E-mail 設定

▶ LDAP 設定

▶ IPP 設定

▶ FTP 設定

▶ SNMP 設定

▶ SMB 設定

▶ Webサービス設定

▶ Bonjour 設定

▶ NetWare 設定

▶ AppleTalk 設定

▶ OpenAPI 設定

▶ TCP Socket 設定

▶ IEEE802.1X 認証設定

▶ JSP 設定

TCP/IP 設定
*設定変更時は本体の主電源を入れなおしてください。

TCP/IP 設定* 有効

ネットワーク速度 自動設定

IP 設定方法* 直接設定

☒ DHCP*

☒ BogIP*

☒ ARP/PING*

☒ AutoIP*

IP アドレス 192.168.1.100

サブネットマスク 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ 192.168.1.1

IPv6 設定 有効

IPv6 自動設定* 有効

DHCPv6 設定* 有効

IPv6 リンクローカルアドレス fe80:0000:0000:0000:0250:aaff:fe24:b092

IPv6 グローバルアドレス 0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000

IPv6 グローバルアドレスプレフィックスレンジ (1-128)

IPv6 ゲートウェイアドレス 0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000

RAW ポート番号

ポート 1 ☒ 9100 (1-65535)

ポート 2 ☒ 9112 (1-65535)

ポート 3 ☒ 9113 (1-65535)

ポート 4 ☒ 9114 (1-65535)

ポート 5 ☒ 9115 (1-65535)

ポート 6 ☒ 9116 (1-65535)

DNS ホスト

ホスト名 kMBT24B092

Dynamic DNS 設定 無効

TCP/IP の設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルを置いて入力します。
各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- 4 * 印がついた項目の設定を変更したときは、本体の電源を入れなおします。
- 5 IP アドレス、IP 確定方法を変更した場合は、下記の画面が表示されます。

IP アドレスが変更されました。
新しい IP アドレスにアクセスしなおしてください。

- 6 新しく設定した IP アドレスにアクセスします。

9.9.2 TCP/IP 設定 > IP フィルタリング

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [TCP/IP 設定] > [IP フィルタリング] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [01 TCP/IP 設定] と同じです。

IP アドレスフィルタリング機能の設定を行います。

- 1 アクセスを許可する場合は、[許可設定] のプルダウンメニューから [有効] を選択します。
- 2 [範囲] の入力欄に、許可するアドレスの範囲を入力します。範囲を 5 つまで設定できます。
1 つの IP アドレスだけを許可する方法は 3 つあります。
(例) 192.168.11.22 を 1 つだけ許可する場合、
192.168.11.22 - 0.0.0.0
0.0.0.0 - 192.168.11.22
192.168.11.22 - 192.168.11.22
- 3 アクセスを拒否する場合は、[拒否設定] のプルダウンメニューから [有効] を選択します。
- 4 [範囲] の入力欄に、拒否するアドレスの範囲を入力します。範囲を 5 つまで設定できます。
1 つの IP アドレスだけを拒否する方法は、許可する方法と同じです。
- 5 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 6 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.3 TCP/IP 設定 > IPsec 設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [TCP/IP 設定] > [IPsec 設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [01 TCP/IP 設定] と同じです。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト

Web Connection

機種名: bizhub PRO 951

メンテナンス セキュリティー ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

▼ TCP/IP 設定

- ▼ TCP/IP 設定
- ▼ IPフィルタリング
- ▼ IPsec 設定
- ▼ 時刻補正設定
- ▼ E-mail 設定
- ▼ LDAP 設定
- ▼ IPP 設定
- ▼ FTP 設定
- ▼ SNMP 設定
- ▼ SMB 設定
- ▼ Webサービス設定
- ▼ Bonjour 設定
- ▼ NetWare 設定
- ▼ AppleTalk 設定
- ▼ OpenAPI 設定
- ▼ TCP Socket 設定
- ▼ IEEE802.1X 認証設定
- ▼ JSP 設定

IPsec 設定

IPsec 設定 禁止

IKE 設定

鍵有効時間 28800 秒 (80-604800)

Diffie-Hellman グループ グループ2

No.	設定済み	編集	削除
1		編集	削除
2		編集	削除
3		編集	削除
4		編集	削除

IPsec SA 設定

確立後の破棄時間 3600 秒 (120-604800)

セキュリティプロトコル ESP

ESP暗号化アルゴリズム

DES_CBC 無効

3DES_CBC 無効

AES_CBC 無効

NULL 無効

認証アルゴリズム

MD5 無効

SHA-1 無効

No.	設定済み	編集	削除
1		編集	削除
2		編集	削除
3		編集	削除
4		編集	削除
5		編集	削除
6		編集	削除
7		編集	削除
8		編集	削除
9		編集	削除
10		編集	削除

通信相手先登録

OK キャンセル

TCP/IP の IPsec 機能関連の設定を行います。

IPsec 設定

プルダウンメニューから [禁止] または [許可] を選択します。

IKE 設定

- 1 [鍵有効時間] の入力欄に時間を入力します。80 - 604800 (秒) の範囲で入力します。
- 2 [Diffie-Hellman グループ] のプルダウンメニューから [グループ 1] または [グループ 2] を選択します。
- 3 暗号化アルゴリズムと認証アルゴリズムの設定を編集する場合は、任意の欄の [編集] をクリックします。設定されている場合は、[設定済み] 欄に「*」(アスタリスク) が表示されています。
- 4 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。各項目については、7-97 ページをご覧ください。

IKE 設定

No. 1

暗号化アルゴリズム DES_CBC

認証アルゴリズム MD5

OK キャンセル

- 5 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。

- 6 削除する場合は、任意の欄の「削除」をクリックします。
- 7 削除確認画面の「OK」をクリックします。削除しない場合は「キャンセル」をクリックします。

IKE削除	
No.	1
暗号化アルゴリズム	DES_CBC
認証アルゴリズム	MD5
削除してよろしいですか?	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

IPsec SA 設定

- 1 「確立後の破棄時間」の入力欄に時間を入力します。120 - 604800（秒）の範囲で入力します。
- 2 セキュリティープロトコル、ESP 暗号化アルゴリズム、認証アルゴリズムについて、プルダウンメニューから選択します。各項目については、7-97 ページをごらんください。

通信相手先登録

- 1 Perfect Forward Secrecy、IP アドレス、Pre-Shared Key 文字列、カプセル化モードを編集する場合は、任意の欄の「編集」をクリックします。
設定されている場合は、「設定済み」欄に「*」（アスタリスク）が表示されています。
- 2 各項目を設定します。
各項目については、7-97 ページをごらんください。

通信相手先登録	
No.	1
Perfect Forward Secrecy	無効
IPアドレス	
Pre-Shared Key文字列	
カプセル化モード	無効
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

- 3 「OK」をクリックします。「キャンセル」をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 削除する場合は、任意の欄の「削除」をクリックします。
- 5 削除確認画面の「OK」をクリックします。削除しない場合は「キャンセル」をクリックします。

通信相手先削除	
No.	1
Perfect Forward Secrecy	有効
IPアドレス	192.168.10.82
Pre-Shared Key文字列	aaaaabbbccccdddeeee
カプセル化モード	トンネルモード
削除してよろしいですか?	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

すべての設定が終わったら、IPsec 設定画面の「OK」をクリックします。「キャンセル」をクリックすると、この操作の内容は設定されません。

設定完了画面の「OK」をクリックして、設定を完了します。

9.9.4 時刻補正設定

この画面は「ネットワーク」タブのメニュー「時刻補正設定」をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の「04 ネットワーク設定」 - 「02 コントローラー NIC 設定」 - 「17 詳細設定」と同じです。



NTP サーバーの設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.5 E-mail 設定 > E-mail 受信 (POP)

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [E-mail 設定] > [E-mail 受信 (POP)] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [09 E-mail 設定] と同じです。



POP によるメール受信に関する設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.6 E-mail 設定 > E-mail 送信 (SMTP)

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [E-mail 設定] > [E-mail 送信 (SMTP)] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [09 E-mail 設定] と同じです。

SMTP によるメール送信に関する設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.7 LDAP 設定 > LDAP 設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [LDAP 設定] > [LDAP 設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [15 LDAP 設定] と同じです。

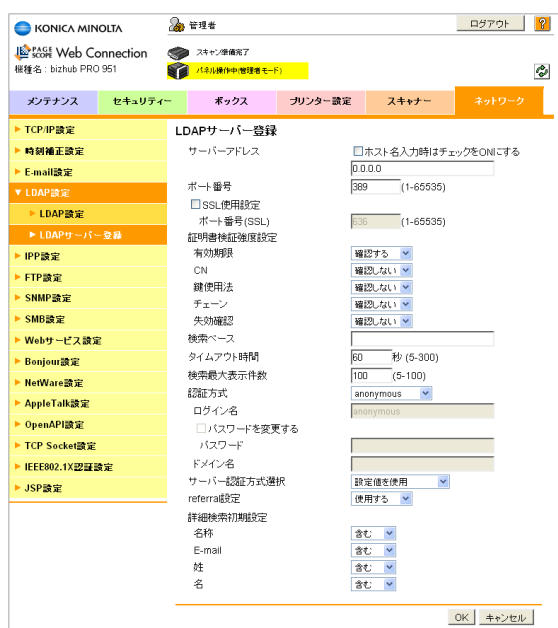
LDAP 検索機能を使用するかどうかを選択します。

- 1 [LDAP 使用設定] のプルダウンメニューから、[使用する] または [使用しない] を選択します。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.8 LDAP 設定 > LDAP サーバー登録

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [LDAP 設定] > [LDAP サーバー登録] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [15 LDAP 設定] と同じです。



LDAP サーバーの情報を設定します。

- 1 [編集] をクリックします。
- 2 LDAP サーバーに関する各項目を設定します。各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- 5 [接続確認] をクリックして、登録した LDAP サーバーに接続できるかどうかを確認します。

9.9.9 IPP 設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [IPP 設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [03 HTTP サーバー設定] と同じです。

IPP に関する設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.10 FTP 設定 > FTP 送信設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [FTP 設定] > [FTP 送信設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [04 FTP 設定] と同じです。

FTP 送信に関する設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.11 FTP 設定 > FTP サーバー設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [FTP 設定] > [FTP サーバー設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [04 FTP 設定] と同じです。



FTP サーバーの設定を有効にするかどうかを選択します。

- 1 [FTP サーバー設定] のプルダウンメニューから、[有効] または [無効] を選択します。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.12 SNMP 設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [SNMP 設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [05 SNMP 設定] と同じです。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト

Web Connection

機種名: bizhub PRO 951

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

SNMP設定

SNMP設定 有効

SNMP v1/v2c(IP) ☒

SNMP v3(IP) ☒

SNMP v1(IPX) ☒

UDPポート番号 161 (1-65535)

SNMP v1/v2c設定

Read Community Name public

☒ Write Community Name private

SNMP v3設定

Context Name

☒ Discovery User Name public

Read User Name initial

Security Level auth-password/priv-password

☐ パスワードを変更する

auth-password

☐ パスワードを変更する

priv-password

Write User Name restrict

Security Level auth-password/priv-password

☐ パスワードを変更する

auth-password

☐ パスワードを変更する

priv-password

暗号化アルゴリズム DES

認証方式 MD5

TRAP許可設定

TRAP許可設定 禁止

認証失敗時のTRAP設定 無効

OK キャンセル

SNMP に関する設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.13 SMB 設定 > WINS 設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [SMB 設定] > [WINS 設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [06 SMB 設定] と同じです。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト

Web Connection

機種名: bizhub PRO 951

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

WINS設定

WINS設定 許可

WINS自動取得設定 許可

WINSサーバアドレス1 192.168.1.30

WINSサーバアドレス2 0.0.0.0

ノードタイプ設定 Hノード

OK キャンセル

WINS に関する設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.14 SMB 設定>クライアント設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [SMB 設定] > [クライアント設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [06 SMB 設定] と同じです。



SMB クライアント機能に関する設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.15 SMB 設定>プリント設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [SMB 設定] > [プリント設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [06 SMB 設定] と同じです。



SMB プリント機能に関する設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.16 SMB 設定 > Direct Hosting 設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [SMB 設定] > [Direct Hosting 設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [06 SMB 設定] と同じです。



ダイレクトホスティングサービスを使用するかどうかを選択します。

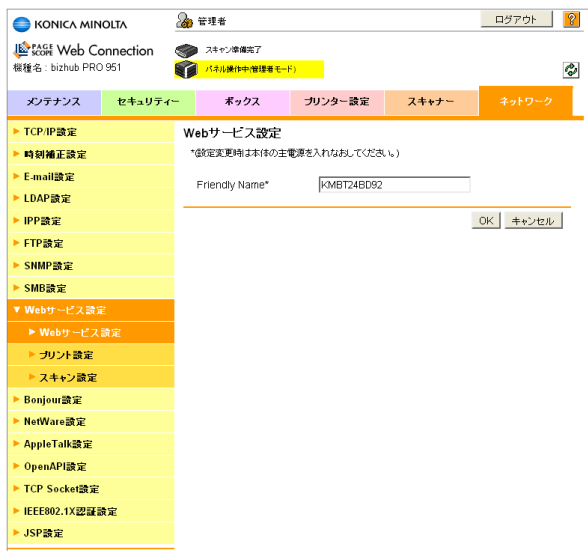
- 1 [Direct Hosting 設定] のプルダウンメニューから、[使用する] または [使用しない] を選択します。

- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.17 Web サービス設定 > Web サービス設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [Web サービス設定] > [Web サービス設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [13 Web サービス設定] と同じです。



Web サービスの共通設定に関する設定を行います。

- 1 [Friendly Name*] の入力欄に、任意の名前を入力します。半角英数字記号を 62 字まで入力できます。
- 2 [SSL 設定] のプルダウンメニューから、[有効] または [無効] を選択します。
→ SSL 証明書がインストールされていない場合は、この項目は表示されません。
- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- 5 設定を変更した場合は、本体の電源を入れなおします。

9.9.18 Web サービス設定 > プリント設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [Web サービス設定] > [プリント設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [13 Web サービス設定] と同じです。

Web サービスのプリント機能に関する設定を行います。

- 1 [プリント機能] のプルダウンメニューから、[有効] または [無効] を選択します。
- 2 入力欄は、カーソルをおいて入力します。
- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- 5 * 印がついた項目の設定を変更した場合は、本体の電源を入れなおします。

9.9.19 Web サービス設定>スキャン設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [Web サービス設定] > [プリント設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [13 Web サービス設定] と同じです。

Web サービスのスキャン機能に関する設定を行います。

- 1 [スキャン機能] のプルダウンメニューから、[有効] または [無効] を選択します。

- 2 入力欄は、カーソルをおいて入力します。
- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- 5 * 印がついた項目の設定を変更した場合は、本体の電源を入れなおします。

9.9.20 Bonjour 設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [Bonjour 設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [08 Bonjour 設定] と同じです。



Bonjour の設定を行います。

- 1 [Bonjour 設定] のプルダウンメニューから、[許可] または [禁止] を選択します。
- 2 [Bonjour 名] の入力欄に、任意の名前を入力します。半角英数字記号を 63 字まで入力できます。
- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.21 NetWare 設定 > NetWare 設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [NetWare 設定] > [NetWare 設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [02 NetWare 設定] と同じです。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト ?

Web Connection スキャン準備完了

機種名: bizhub PRO 951 バネル操作(管理権モード)

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

NetWare 設定

* 設定変更時は本体の主電源を入れなおしてください。

IP 設定* 無効

イーサネットフレームタイプ* 自動検出

NetWare プリントモード* 無効

PServer 設定

プリントサーバー名* <MBT24B092>

☐ パスワードを変更する

プリントサーバーパスワード*

ポーリング間隔* 1 秒(1-65535)

Bindery(NDS)設定* NDS

Bindery

ファイルサーバー名*

NDS

NDSコンテキスト名*

NDSツリー名*

Nprinter/Rprinter 設定

プリントサーバー名* <MBT24B092>

プリンター番号* 255 (0-255, 255 自動)

OK キャンセル

NetWare 設定に関する設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- 4 * 印がついた項目の設定を変更した場合は、本体の電源を入れなおします。

9.9.22 NetWare 設定 > NetWare 状態

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [NetWare 設定] > [NetWare 状態] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [02 NetWare 設定] と同じです。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト ?

Web Connection スキャン準備完了

機種名: bizhub PRO 951 バネル操作(管理権モード)

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

NetWare 状態

サーバー名	キュー名

NetWare 接続の状態を表示します。

- サーバー名：NetWare 接続で検出されたサーバー名を表示します。
- キュー名：検出されたキュー名を表示します。

9.9.23 AppleTalk 設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [AppleTalk 設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラ NIC 設定] - [07 AppleTalk 設定] と同じです。

AppleTalk の設定を行います。

- 1 [AppleTalk 設定] のプルダウンメニューから、[許可] または [禁止] を選択します。
- 2 入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、7 章をごらんください。
- 3 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 4 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- 5 設定を変更した場合は、本体の電源を入れなおします。

9.9.24 OpenAPI 設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [OpenAPI 設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラ NIC 設定] - [12 OpenAPI 設定] と同じです。

拡張アプリケーション I/F (OpenAPI) の設定を行います。

- 1 [ポート番号] の入力欄に、任意の番号を入力します。

- 2 [SSL/TLS 使用] のプルダウンメニューから、[非 SSL 通信のみ可]、[SSL 通信のみ可]、[SSL/非 SSL 通信可] のいずれかを選択します（SSL 証明書がインストールされていない場合は、この項目は表示されません）。
- 3 [ポート番号 (SSL/TLS)] に、SSL 通信で使用するポート番号を設定します（SSL 証明書がインストールされていない場合は、この項目は表示されません）。
- 4 [証明書検証強度設定] の各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。
- 5 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 6 設定完了画面の [OK] をクリックします。

9.9.25 TCP Socket 設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [TCP Socket 設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [10 TCP Socket 設定] と同じです。

The screenshot shows the 'TCP Socket 設定' (TCP Socket Settings) screen. The sidebar on the left lists various settings categories, with 'TCP Socket 設定' highlighted. The main area contains the following settings:

- TCP Socket 設定** (TCP Socket Settings): A dropdown menu set to '有効' (Enabled).
- ポート番号** (Port Number): A text input field containing '59158' with a range '(1-65535)'.
- SSL/TLS 使用** (Use SSL/TLS): A checkbox that is currently unchecked.
- ポート番号 (SSL/TLS)** (Port Number (SSL/TLS)): A text input field containing '59158' with a range '(1-65535)'.
- TCP Socket(ASCII Mode)** (TCP Socket (ASCII Mode)): A dropdown menu set to '有効' (Enabled).
- ポート番号 (ASCII Mode)** (Port Number (ASCII Mode)): A text input field containing '59160' with a range '(1024-65535)'.

At the bottom right of the main area, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

TCP Socket の設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- 4 設定を変更した場合は、本体の電源を入れなおします。

9.9.26 IEEE802.1X 認証設定 > IEEE802.1X 認証設定

この画面は「ネットワーク」タブのメニュー「IEEE802.1X 認証設定」 > 「IEEE802.1X 認証設定」をクリックすると表示されます。



IEEE802.1X 認証の設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、下表をごらんください。

項目	説明	事前確認
[認証状態]	認証状態が表示されます。 [認証済み]：認証済みの場合に表示 [認証中]：認証中の場合に表示 [未認証]：未認証の場合に表示 [認証失敗]：認証失敗の場合に表示 [状態取得失敗]：認証状態取得失敗時に表示 [更新]をクリックすると、現在の認証状態に更新されます。	
[IEEE802.1X 認証設定]	[使用する]を選択します。	
[サブリカント設定]	サブリカント（認証クライアント）である本機が、認証サーバーから認証を受けるために必要な設定を行います。 ご使用の環境にあわせて設定してください。	
[ユーザー ID]	ユーザー ID を入力します。（半角 128 文字以内） ユーザー ID は、すべての EAP-Type で使用します。	
[パスワードを変更する]	パスワードを変更する場合は、チェックを入れます。	
[パスワード]	パスワードを入力します（半角 128 文字以内）。 パスワードは、[EAP-TLS] 以外の EAP-Type で使用します。	
[EAP-Type]	EAP 認証方式を選択します。 [サーバーに依存]を選択すると、認証サーバーが提供する EAP-Type で認証します。認証サーバーが提供する EAP-Type にあわせて、本機で必要なサブリカントの設定を行ってください。 [しない]には設定しないでください。	EAP 認証
[EAP-TTLS]	EAP-TTLS に関する設定を行います。	

項目	説明	事前確認
[ユーザー ID]	EAP-TTLS の認証で使用する anonymous 名を入力します (半角 128 文字以内)。 [EAP-Type] が、[EAP-TTLS] または [サーバーに依存] の場合に設定できます。	
[内部認証プロトコル]	[EAP-TTLS] の内部認証プロトコルを選択します。 [EAP-Type] が、[EAP-TTLS] または [サーバーに依存] の場合に設定できます。	
[クライアント証明書]	本機のクライアント証明書を使用して、認証情報を暗号化するかどうかなを選択します。本機にクライアント証明書が登録されている場合に設定できます。 [EAP-Type] で [EAP-TLS] を選択した場合は、クライアント証明書が必須になります。 [EAP-Type] が、[EAP-TTLS] または [PEAP] の場合にも設定できます。	
[暗号強度]	TLS で暗号化通信を行うときの暗号強度を選択します。 [低]: すべての鍵長で通信 [中]: 56 bit 超の鍵長で通信 [高]: 128 bit 超の鍵長で通信 [EAP-Type] で [しない] または [EAP-MD5] 以外を選択した場合に設定できます。	
[証明書検証強度設定]	サーバー証明書を検証する場合は、証明書の検証方法を設定します。	
[有効期限]	サーバー証明書が有効期限内であることを確認するかどうかなを選択します。	
[CN]	サーバー証明書の CN がサーバーのアドレスと一致しているかを確認するかどうかなを選択します。CN を確認する場合は、[サーバー ID] を設定してください。	
[サーバー ID]	サーバー ID を入力します (半角 64 文字以内)。 サーバー証明書の CN を検証する場合に設定が必要です。	サーバー認証書の CN を検証するか
[チェーン]	サーバー証明書のチェーン (証明のパス) に問題ないことを確認するかどうかなを選択します。 チェーンの確認は、本機で管理している外部証明書を参照して行います。	
[ネットワーク停止時間]	認証を開始してから指定時間内に認証に成功しない場合は、すべてのネットワーク通信を停止します。認証を開始してからネットワーク通信を停止するまでの猶予時間を設定する場合は、チェックを入れます。	
[停止時間]	認証を開始してからネットワーク通信を停止するまでの猶予時間 (秒) を設定します。 ネットワーク通信の停止後に再度認識させたい場合は、本機の主電源を入れなおしてください。	

- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- 4 * 印がついた項目の設定を変更した場合は、本体の電源を入れなおします。

9.9.27 IEEE802.1X 認証設定 > IEEE802.1X 認証試行

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [IEEE802.1X 認証設定] > [IEEE802.1X 認証試行] をクリックすると表示されます。



IEEE802.1X 認証を試行します。

- 1 IEEE802.1X 認証設定で [OFF] が選択されていると、IEEE802.1X の認証試行ができません。
[IEEE802.1X 認証設定] を押して、[使用する] に切替えます。
- 2 [認証試行] を押します。
[認証状態] に認証状態が表示されます。下表を参考にして確認します。

項目	説明	事前確認
[認証状態]	認証状態が表示されます。 [認証済み]：認証済みの場合に表示 [認証中]：認証中の場合に表示 [認証失敗]：認証失敗の場合に表示 [状態取得失敗]：認証状態取得失敗時に表示 [更新] を押すと、現在の認証状態に更新します。	

- 3 認証試行結果画面の [OK] をクリックします。

9.9.28 JSP 設定

この画面は [ネットワーク] タブのメニュー [JSP 設定] をクリックすると表示されます。

設定内容は、管理者設定の [04 ネットワーク設定] - [02 コントローラー NIC 設定] - [14 JSP 設定] と同じです。



Tomcat サーバーに接続するための初期設定を行います。

- 1 各項目のプルダウンメニューから、任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目については、7-97 ページをごらんください。
- 2 [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、この操作の内容は設定されません。
- 3 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- 4 設定を変更した場合は、本体の電源を入れなおします。

10

付録

10 付録

10.1 文字を入力するには

文字を入力できる項目のキーに軽く触れると、文字入力画面が開きます。

文字入力画面には、英記号、かな漢字、カタカナの3種類の画面があります。どの文字入力画面が表示されるかは、その項目に入力できる文字の種類によります。



参照

それぞれの文字入力画面については、次のページをごらんください。

文字入力画面（英記号）10-3 ページ

文字入力画面（ローマ字）10-4 ページ

文字入力画面（かな漢字）10-4 ページ

文字入力画面（カタカナ）10-5 ページ

10.1.1 文字入力画面のキーについて

英記号、かな漢字、カタカナの文字入力画面に共通のキーについて説明します。



名称	説明
英記号	文字入力画面（英記号）に切替わります。
ローマ字	文字入力画面（ローマ字）に切替わります。
かな漢字	文字入力画面（かな漢字）に切替わります。
カタカナ	文字入力画面（カタカナ）に切替わります。
← / →	カーソル位置が移動します。
削除	カーソルを置いた文字を削除します。カーソルが文字列右外側にある場合は、最後尾の文字を削除します。
OK	入力した文字を確定して、文字入力画面が閉じます。
キャンセル	入力した文字を解除して、文字入力画面が閉じます。

10.1.2 文字入力について

文字入力画面が表示されてからの基本的な文字入力手順について説明します。

- 1 該当の文字、記号のキーを押して、文字を入力します。
 - 英記号は、[Shift] で大文字、小文字を切替えます。
 - ローマ字は、[変換] / [無変換] でローマ字、ひらがな、カタカナ、漢字の入力を切替えます。
 - かな漢字は、[変換] / [無変換] でひらがな、漢字の入力を切替えます。
 - カタカナは、[全角] / [半角] で全角カタカナ、半角カタカナを切替えます。
- 2 [OK] を押します。

文字入力画面が閉じます。入力した文字が、項目の文字欄に表示されます。

文字入力画面（英記号）

アルファベット、数字、記号、スペースを入力できます。コンピュータのキーボードの配列と同じ文字の並びです。



名称	説明
Shift	大文字と小文字、数字と記号を切替えます。

文字入力画面（ローマ字）

ローマ字を入力できます。[変換] を使用して、ひらがな、カタカナ、漢字、（全角）英字を入力できます。入力した文字は、[変換] または [無変換] で確定されるまで反転表示されます。



名称	説明
変換	ひらがな、カタカナ、漢字、（全角）英字変換画面が表示されます。
無変換	ローマ字のまま入力した文字を確定します。
Shift	大文字と小文字、数字と記号を切替えます。

文字入力画面（かな漢字）

ひらがな、漢字を入力できます。入力した文字は、[変換] または [無変換] で確定されるまで反転表示されます。



名称	説明
変換	漢字変換画面が表示されます。
無変換	ひらがなのまま入力した文字を確定します。

漢字変換画面について

変換候補から、該当の漢字を選択して、[OK] を押します。変換候補が 6 個以上ある場合は、漢字変換画面を以下のボタンで切替えることで、すべての候補が表示できます。



名称	説明
先頭	変換候補が複数ページあった場合、先頭ページの変換候補に切替わります。
前候補	変換候補が複数ページあった場合、前のページに切替わります。
次候補	変換候補が複数ページあった場合、次のページに切替わります。
最後	変換候補が複数ページあった場合、最終ページの変換候補に切替わります。

文字入力画面（カタカナ）

カタカナを入力できます。[全角] / [半角] で全角カタカナ、半角カタカナを切替えます。



名称	説明
全角	文字入力画面が半角カタカナの場合、表示されます。全角カタカナの文字入力画面に切替えます。
半角	文字入力画面が全角カタカナの場合、表示されます。半角カタカナの文字入力画面に切替えます。

10.2 用語集

用語	内容
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	Ethernet の規格における仕様の一種。 銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。 通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、1000Base-T は 1000Mbps である。
APOP	Authenticated Post Office Protocol の略。通常の POP が電子メールの受信に使われるパスワードを暗号化しないのに対して、パスワードを暗号化することで安全性が向上した認証方法のこと
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読みこむプロトコル。 DHCP サーバーで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
DNS	Domain Name System の略。 ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のパソコンにアクセスできるようになる。
FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバーとクライアント (Web ブラウザーなど) がデータを送受信するのに使われるプロトコル。 文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行なうプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。
IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号 (アドレス)。 192.168.1.10 のように最大 3 桁の数字 4 つで表される。コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。
Java	Sun Microsystems 社が開発したプログラミング言語。 ハードウェアや OS に依存せずに動作する。 ただし、Java アプリケーションを動作させるためには、Java Virtual Machine (Java VM) と呼ばれる動作環境が必要である。
LAN	Local Area NetWork の略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピューター同士を接続したネットワークのこと。
LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。WindowsNT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。
NDS	Novell Directory Service の略。 ネットワーク上に存在するサーバーやプリンター、ユーザー情報などの共有資源、またそれらに対する個々のユーザーのアクセス権限などの情報を、階層構造で一元管理できる。
NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。 通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
OS (オーエス)	Operating System の略。コンピューターのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ (拡張子は .pdf)。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
ping	Packet INternet Groper の略。TCP/IP ネットワーク環境で相手の機器との通信状況を確認するのに利用するコマンドのこと。
POP	Post Office Protocol の略。メールサーバーから電子メール受信を行うためのプロトコルのこと。現在は POP のバージョン 3 である POP3 が主に使われている。

用語	内容
Proxy Server	Internet との接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティを確保するために設置されるサーバーのこと。
Pserver	NetWare 環境下におけるプリントサーバーモジュールのこと。プリントジョブの監視、変更、休止、再開、および中止を行う。
SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
SNMP	Simple NetWork Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
SSL/TLS	Secure Socket Layer/Transport Layer Security の略。Web サーバーとブラウザ間で安全にデータ通信するための暗号化方式のこと。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。
TIFF	Tagged Image File Format の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .tif）。データの型を表す「タグ」によって、1 つの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できる。
ウェブブラウザ	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。Internet Explorer や、Netscape Navigator などがある。
解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
クライアント	ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピュータのこと。
ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。電源を OFF しても、データが保持される。
プリンタードライバー	コンピュータとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
ポート番号	ネットワーク上のコンピュータ内で動いている複数の処理のそれぞれの通信口を識別する番号のこと。同一のポートを複数の処理で使うことはできない。
メモリ	データを一時保存するための記憶装置のこと。電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。

11

索引

11 索引

11.1 項目別索引

E

E-mail データ 8-19
E-mail データの設定データ 8-23

F

FTP (FTP server address) データ 8-19
FTP データの設定データ 8-24

H

HDD (box No.) データ 8-19
HDD データの設定データ 8-23

P

PageScope Web Connection 設定 9-2

S

SMB データ 8-19
SMB データの設定データ 8-24

W

Web Utilities 設定 8-2

あ行

安全にお使いいただくために 1-4

か行

管理者モード画面 9-6
キー操作音 (ブザー) 7-17
機械状態画面 2-2
警告 1-4

さ行

ジョブ履歴 8-30
ジョブ履歴一覧を表示する 8-32
ジョブ履歴機能を ON/OFF する 8-30
設定データ作成／編集の個別ルール 8-23
設定データを転送する 8-19

た行

注意 1-4
登録済み部門管理データをブラウザで編集する ... 8-6

な行

ネットワークスキャナーを設定する 8-15

は行

部門管理データの設定データ 8-23
部門管理データの編集 8-4
部門管理データをブラウザで新規登録する 8-4
報知音／音声 (スピーカー) 7-17

や行

用紙設定データ 8-19

ら行

リモートパネル、リモートモニター、マルチモニターの設定 ..8-12

11.2 キー索引

Numerics

1SHOT メッセージ表示時間 7-18

A

AppleTalk 設定 9-56

ATS 許可 7-25

ATS 設定 7-26

B

Bonjour 設定 9-54

D

Direct Hosting 設定 9-51

E

E-mail 件名 9-37

E-mail 受信 (POP) 9-44

E-mail 送信 (SMTP) 9-45

E-mail 本文 9-38

F

FTP サーバー設定 9-48

FTP 送信設定 9-47

I

IEEE802.1X 認証試行 9-60

IEEE802.1X 認証設定 9-58

IKE 設定 9-42

IPP 設定 9-47

IPsec SA 設定 9-43

IPsec 設定 9-42

IP フィルタリング 9-41

J

JSP 設定 9-60

L

LDAP サーバー登録 9-46

LDAP 設定 9-45

N

NetWare 状態 9-55

NetWare 設定 9-54

O

OpenAPI 設定 9-56

P

PS エラー印刷 9-34

R

ROM バージョン 9-7

S

SNMP 設定 9-48

T

TCP Socket 設定 9-57

TCP/IP 設定 9-40

W

Web サービス設定 9-52

WINS 設定 9-49

あ行

相手機 Wait/Proof 7-33

相手機シフト値設定 7-34

相手機常時一括読み 7-32

インターフェース設定 9-35

インポート/エクスポート 9-8

オートリセット設定 7-19

音量設定 7-17

か行

カウンター 9-7

環境設定 7-16

管理者パスワード設定 9-30

画像濃度選択 7-30

キー応答時間 7-20

キーカウンター/コピーカード挿入時イニシャル .. 7-38

機械状態 7-19

機能設定 7-25

給紙トレイ自動選択 7-25

給紙トレイ設定 7-25

クライアント設定 9-50

原稿画質の濃度シフト 7-29

言語設定 7-16

コピー 7-19

コピー応用設定登録 7-21

コピー出力設定登録 7-22

コピー設定 7-37

個別機能切替え設定 7-27, 7-39, 7-42

さ行

サポート情報 9-11

写真モード濃度選択 7-30

ショートカットキー登録 7-21

初期化 9-12

初期設定 7-37

初期設定 (読み込み設定) 7-41

時刻補正設定 9-43

自動用紙の種類選択 7-26

自動ログアウト 9-30

状態通知設定 9-9

ジョブ終了後のタンデム設定 7-36

ジョブスプール設定 9-35

ジョブリスト (ジョブスケジュール) 7-19

ジョブリスト (予約/保留リスト) 7-19

スキャナー 9-37

スキャン応用設定登録 7-24

スキャン設定 7-41, 9-39, 9-53

セキュリティ 9-14

操作/報知音設定 7-17

た行

タッチパネル調整	7-43
単位系設定	7-16
タンデム設定	7-32
通信相手先登録	9-43
デフォルト宛先設定	7-41
デフォルト画面設定	7-19
デフォルト設定	9-32
登録濃度設定	7-29
登録倍率設定	7-31

な行

認証設定	9-14
ネットワーク設定クリア	9-12
濃度設定	7-29

は行

ファンクションキー登録	7-22
部門登録	9-19
プリンター設定	9-32
プリンター先端画像消去量設定	7-28
プリント設定	9-50
報知音項目別設定	7-17
本体登録	9-10
ポート別出力設定	9-36

ま行

メンテナンス	9-7
--------------	-----

や行

ユーザー登録	9-17
ユーザー認証／部門管理	9-14
ユーザーパスワード変更	7-20

ら行

リセット機能任意設定	7-38
リセット設定	7-37

わ行

割振りリカバリー	7-35
----------------	------

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

コニカミルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright